目　　次

1．はじめに ―― 9

2．研究の概要 ―― 13

3．神戸市における公衆衛生活動 ―― 19

1）神戸市衛生局における震災関連業務 ―― 19

(1)生活、環境衛生活動に関すること ―― 19

(2)保健予防活動に関すること ―― 26

(3)医療の供給体制に関すること ―― 40

2）主な業務の経過 ―― 64

(1)生活環境・衛生活動 ―― 64

(2)救護所関係 ―― 67

(3)市民病院 ―― 68

(4)医療機関 ―― 68

(5)厚生省等連絡内容 ―― 70

3）業務実績の推移 ―― 72

(1)埋火葬業務　件数 ―― 72

(2)浴場確保 ―― 73

(3)避難所数とその推移 ―― 74

(4)救護班と救護所および診療搬送件数 ―― 75

(5)活動病院数 ―― 78

(6)活動診療所数 ―― 80

(7)活動歯科診療所数 ―― 82

(8)精神保健相談件数 ―― 84

(9)精神科入院件数 ―― 85

(10)医療ボランティア活動状況 ―― 86

4．神戸市中央保健所における公衆衛生活動 ―― 89

1）中央区における被害の状況 ―― 89

2）主な業務実績の推移 ―― 90

(1)生活・環境衛生活動 ―― 90

(2)保健予防活動 ―― 104

(3)医療供給体制 ―― 114

3）主な業務の経過 ―― 188
(1)職員の初動記録 ―― 188
(2)衛生活動 ―― 193
(3)医療救護活動 ―― 194
(4)精神医療・精神保健 ―― 195
(5)歯科医療・歯科保健 ―― 195
(6)保健婦活動 ―― 196
(7)薬剤関係業務 ―― 198
(8)栄養関係業務 ―― 199

4）関連通知・通達リスト ―― 200

資料）保健所ニュース ―― 204

5．西宮市における公衆衛生活動 ―― 225

1）西宮市における活動の現況 ―― 225
(1)被害状況と対処 ―― 225
(2)地域防災計画による西宮市の対応 ―― 225
(3)保健所の対応～環境衛生と巡回保健指導～ ―― 226
(4)医療救護活動～避難所における医療の確保～ ―― 228
(5)避難所の歯科保健対策
～保健所を基盤にした歯科保健活動～ ―― 229
(6)保健・医療・福祉・教育の連携 ―― 230

2）業務実績の推移 ―― 235
(1)避難所および避難者数の推移 ―― 235
(2)保健所の活動実績とその推移 ―― 244
(3)その他の業務 ―― 246

3）医療救護活動の概況 ―― 254
(1)避難所における救護活動 ―― 254
(2)西宮市医師会の会員診療状況 ―― 254
(3)西宮市内における病院の診療状況 ―― 257
(4)兵庫医科大学附属病院による救護体制 ―― 259
(5)兵庫県救護対策現地本部の活動 ―― 259
(6)その他の医療救護班の活動 ―― 262
(7)アメリカ合衆国スポーケン市からの救護医療物資 ―― 263
(8)医薬品の取扱い ―― 263

4）保健婦による巡回保健活動 283
(1)巡回健康相談の実施 283
(2)巡回健康相談の実績 293

5）精神保健活動 300
(1)精神保健相談の開始 300
(2)精神保健相談の推移 300

6）歯科保健対策 308
(1)巡回歯科診療の開始 308
(2)巡回歯科診療の実施にいたる経過 316
(3)巡回歯科診療の実積 320
(4)巡回歯科診療の出務者 320
(5)巡回歯科診療の成果と限界 328
(6)必要な資材 330
(7)巡回歯科診療の実績をふまえた今後の対策 332

7）機能訓練活動 338
(1)巡回リハビリテーションの開始 338
(2)巡回リハビリテーション活動の実績 338

6．兵庫県における精神科救護活動 345

7．防災関係法規と公衆衛生 353

8．大阪大学医学部公衆衛生学教室の活動記録 359

1）神戸市における活動記録 359

2）西宮市における活動記録 383

9．おわりに 389

はじめに

阪神・淡路大震災は、わが国の戦後50年の中で最大の震災であり、未曾有の大被害をもたらした。しかもわが国土は、どこにでも同様な規模の震災が起こりうる地盤の上にあることから、震災時の活動の内容を記録し、今後に備えることが、震災直後の時点において急務の課題と考えられた。

そこで当教室では、阪神・淡路大震災からまだ日が浅く、その復旧援助活動に忙殺されている時期ではあったが、関係の人たちの記憶も新しく、また資料や記録がまだ散逸していない時期において、大震災時にどのような公衆衛生活動が展開されてきたのか、その実情を調査すること、また関係機関、あるいは関係者が作成した資料や記録について収集、確保をはかることは、公衆衛生を学ぶ者の使命であると考えて調査研究を行ってきた次第である。

大震災後、被害の大きかった神戸市と西宮市の両地域を対象として、市役所、県・市保健所、避難所・救護所、県立精神保健センターなどの公衆衛生の関係機関を対象に、可能な限り現地を訪問して、公衆衛生活動に関する実態調査と資料の確保を行ってきた。当初は、いずれの地域も医療救護班の活動以外の実態が把握できる状況にはなかった。２月中旬ころより、ようやく活動をになっている関係機関の協力のもとに地域の公衆衛生活動の内容を記録として確保する作業を進めることが可能となった。さらに３月に入ってからは、市衛生局、保健所の各業務の担当職員の方にも、積極的なご協力をいただき、また保健所における教室員の24時間の滞在も行われ、大震災直後から３月までの公衆衛生活動について、おおむね資料、記録の収集、確保を行うことができた。その結果について、ここに報告書として発表させていただきたいと思う。

しかしここに報告させていただいた内容は、現実に展開された神戸市、また西宮市における公衆衛生活動の実態に対しては、ほとんど氷山の一角にしかすぎないものではないかと思える。もっともっと沢山の貴重な活動が実践されたことは明らかである。その報告が洩れているということについては、何卒、お許しいただきたい。今後さらに、調査を続け、一層の充実を図りたいと思う。また、不十分な点、間違っている点については、ご指摘いただきたい。

筆舌に尽くしがたい困難な事態に直面する中で、われわれの活動に対しこころよく協力していただいた、神戸市衛生局、神戸市中央保健所、西宮市保健環境部、兵庫県西宮保健所の職員の皆さんをはじめ、多くの関係者の皆さんに厚く御礼申し上げます。なお、調査活動の中で収集された、貴重な現場の実践の資料については、最大限そのまま〈資料〉として載せさせていただく方向で、本報告書は作成いたしました。資料の提供をいただいた皆さんに厚く御礼申し上げます。

本調査研究に対して、厚生省大臣官房厚生科学課篠崎英夫課長、健康政策局計画課西本至課長、外山千也前課長補佐、緒方剛課長補佐には、積極的なご指導、ご支援をいただきました。また、研究を進めている中で厚生科学研究費補助金（特別研究事業）の助成をいただくことができました。ここに謝意を表したいと思います。

平成７年６月３１日

大阪大学医学部公衆衛生学教室
多田羅　浩三

1）研究方法

大都市直下型の阪神・淡路大震災時において被害の大きかった神戸市および西宮市について、この間、これらの地域の市役所、保健所、避難所を対象に訪問し、地域の公衆衛生活動に関連する資料（会議および避難所掲示書類、活動実績など）を最大限、収集、確保（所在の確認を含む）した。さらに、関係職員に聞き取り調査を実施し、震災時の公衆衛生活動の記録を作成した。とくに、保健所の保健婦活動の経過および業務内容について記録を作成した。

2）研究内容

被災地において具体的に展開された公衆衛生活動の資料を収集し確保することが本研究の目的である。

主な内容は、以下のとおりである。

①救護班・救護所設置とその実績
②対人保健サービス（保健婦、精神保健相談員、栄養士、歯科衛生士）
③対物サービス（環境衛生および食品衛生監視員）
④医療の復旧状況
⑤支援自治体の活動記録

調査対象として確保することができた資料の具体的な内容は、以下の通りである。

（1）神戸市衛生局

①局の業務活動日誌（1月17日から2月28日の間）
②被災各区の救護所統計・医療機関統計・精神保健医療統計・市民病院統計・埋火葬統計等（1月30日から3月31日の間）

（2）神戸市中央保健所

①職員の初動態勢記録：
1月17日から19日の間の職員の業務内容について聞き取り記録
②避難所および避難者数の推移：
避難場所一覧約300枚、主食管理システム給食基礎数調査票約150枚、収容人数推移表、避難所一覧表（3月末日までの各日分）
③医療班の配置記録：
保健課長メモ、医療班派遣計画表、医療活動報告書40枚、医療チーム報告書250枚、

状況、医療チーム派遣計画表120枚
④医療活動・疾病状況：
初期従事者および関係者のメモ約100枚、救護活動日報45枚、医療報告書250枚、医療活動報告書40枚、医療活動報告まとめ、および健康相談記録（カルテ）約5000枚、巡回救護状況記録約150枚、搬送および死亡者調査票約200枚、搬送状況連絡票約140枚
⑤保健所の精神・歯科保健活動・薬剤・栄養関係・衛生課業務：
精神保健相談員からの聞き取り記録、精神科救護所相談等統計、歯科診療活動報告、診療可能歯科医院一覧表、中央保健所ニュース、保健所会議資料、薬品等不足分連絡票約50枚、医薬品等に関する調査票約80枚、給食施設の給食状況、食事状況調査票約50枚、生活環境調査票約100枚
⑥国・県 市からの公衆衛生活動に関連する通知・通達書類

（３）西宮保健所

西宮保健所ならびに西宮市環境保健局健康増進課の活動内容を中心とする。
①阪神大震災（西宮市）救援関係団体連絡会議：
配布資料（１月分30枚、２月分50枚）
②阪神大震災復興対策保健活動検討会議：
配布資料（４月１日資料50枚）
③避難所および避難者数の推移：
食料供給施設一覧、収容人数、避難所一覧約40枚
④医療班の活動に関する記録：
医療班活動状況報告、西宮避難所救護活動記録約1000枚
⑤巡回健康相談記録：
相談票約5000枚、巡回チーム訪問記録約300枚、スタッフ配置表約80枚
⑥歯科保健活動関係資料：
開設歯科医療機関の現状調査（西宮市歯科医師会作成）約50枚、被災地歯科診療患者実績（兵庫県歯科医師会作成）、連絡票、診療録

３）研究結果

阪神・淡路大震災時において被害の大きかった神戸市および西宮市について、地域の公衆衛生活動に関連する資料の収集確保を行った。
神戸市衛生局については、①医療機関の損壊にともなう入院患者の生活支援や搬送、医療機関情報の把握、②外部からの医療援助者・団体に対する対応（輸送・宿泊場所の確保・食糧確保・配置）、③埋火葬者への対応、④個々の保健所の状況の把握が中心であった。１月23日ころより各区の保健所に精神科救護所を設置し、保健婦を中心とする保健活動と、個別の保健医療課題に対応する活動がはじめられた。

神戸市の保健所は、被災した６保健所で管内の被害の状況も異なり、その活動内容の細部は異なるものの基本的な公衆衛生活動を行っていた。

直後は遺体の安置場所、避難所となったところもあったが、保健所のスペースを確保して救護班活動・救護所の配置などの医療活動の調整機関となった。また、避難所の不衛生な所を肩掛け噴霧器や薬剤散布車で消毒するなどの環境衛生、食品衛生の指導、衛生状態の自主管理体制の確立のための取り組みを実施していた。震災後、１週間後より被災者に対する保健婦活動や精神科保健医療活動といった保健活動も、医療活動と平行して実施されていた。

西宮市においては、震災直後の医療活動の調整は災害対策本部が設置された市とＮＧＯを中心として展開されたが、保健活動については遺体関係業務が落ちついた20日から市の保健部門と保健所の重層的な関係のもとに開始されていた。避難所などの被災者に対する基本的な保健活動は主として市が、保健所は外部からの応援部隊を含めて各種の保健チーム（精神、リハビリ、栄養、歯科保健）を編成して個別的な保健活動の推進、調整と管内の保健活動の集約を行っていた。

このように、神戸市の保健所と兵庫県の保健所で、医療救護活動に関する直接的な役割は異なっていること、ならびに民生行政との関係などから保健所業務の推進形態に違いが認められた。

４）結論

災害対策基本法に基づく、各自治体で作成されている地域防災計画には、公衆衛生関係活動としては、医療救護、防疫対策の両者については明確に位置づけられている。また、災害救助法には、被災状況の把握により、被災者についての応急的な衣食住についての生活支援体制がもりこまれている。

震災発生後より、神戸市ならびに西宮市における保健所ならびに保健センターを拠点として実践されてきた避難所や被災者に対して行われた公衆衛生に関する活動をありのまま収集した。その結果、災害時には医療救護の調整や支援、食品・環境などの衛生監視などのすでに防災計画の中に規定されている内容に加えて、高齢者や乳幼児、結核患者などに対する保健婦の訪問活動、避難所などにおける被災者の健康管理活動、精神科医療救護活動や心のケアの取り組みなどの対人保健活動が貴重な役割を果たしていることがみられた。保健所を中心として実施された対物サービスに関する衛生活動と保健婦の訪問活動を基本とした保健活動が一体となって推進されていることが、わが国の災害時の公衆衛生活動の基盤となっていることが確認された。

１）神戸市衛生局における震災関連業務

（１）生活、環境衛生活動における対策（資料3-1-1～5）

ａ）環境・食品衛生監視

「避難所における衛生確保指針」を定め、避難所における衛生状態を確保する。

①避難所へ消毒剤・機材の供給および監視と消毒の実施

定期的な室内清掃、換気の確認、ごみの衛生的保管、トイレや手洗い消毒設備の状況に応じて消毒薬を配置する。２月からふとん乾燥車を配置し、寝具の衛生保持の支援をする。

②避難所で自主運営管理のための指導

監視員による指導の他、各避難所がトイレなどの衛生保持のために自主運営の指導。

③避難所への食品衛生の巡回指導

弁当・パンの衛生管理（日付、保管場所、保管責任者、被災者への啓発）、飲料水については、生水、井戸水の飲用を避けるよう指導。炊き出しについては、食品の取り扱いの注意掲示。露店・自動車での飲食物販売の実態の把握。

ｂ）浴場の確保（衛生局）

①公衆浴場に対する給水支援事業

家屋の倒壊やライフライン途絶のため、入浴の機会を失った避難者が多いため、市民の衛生状態の確保の上で、公衆浴場の早期の営業再開をさせる必要性が生じていたため、1月25日に浴場調査を実施し、1月27日より水の給水など支援し３浴場が営業再開となる。

浴場は１月29日には仮設を含めて48か所、2月28日には121か所、3月30日には152か所となった。

②公衆浴場等の開設状況の情報提供

市民から開設状況の問い合わせの多かった入浴施設について提供する。１月１９日から公衆浴場、入浴施設開放民間施設およびコインランドリー施設についての情報提供をはじめる。

ｃ）埋火葬対策

斎場・墓園の被害状況の把握、他都市への火葬依頼、焼骨証明の発行、遺体搬送車両の確保、遺骨の一時預かり、火葬相談窓口など衛生局において行う。

火葬件数は1月31日までに2,547体にのぼり１月中に過半数が行われる。

資料3- 1- 1　避難所における衛生確保指針

避難所における衛生確保指針

1．　食品衛生

（1）弁当・パンの衛生管理

①日付管理

検品時に日付表示をチェックし、表示の無いものは、記載を求めるとともに、製造日を確認し、ダンボール箱等に明記すること。

また、喫食できると思われる時期を過ぎている食品は、配給しないこと。

②保管

低温かつ清潔な場所に保管すること。直射日光や暖房されている場所を避け、ネズミ・ゴキブリ等の害を受けない場所に塵埃を避けて保管すること。

③保管責任者の設置

保管責任者を決め、衛生的な保管・配給に努めること。

④被災者への啓発

配給後は速やかに喫食するよう注意を喚起すること。

（2）飲料水の衛生確保

①飲用にはペットボトル入りミネラルウォーター又は煮沸水を使用し、生水の飲用は避けること。

②給水車による汲み置きの水は、できるだけ当日給水のものを使用すること。

③井戸水をやむを得ず使用するときは、煮沸等殺菌すること。

（3）ボランティア等による炊き出し

①避難所の責任者の了解を得たうえで実施すること。

②調理は衛生的な場所で行うこと。

③原則的には加熱するものとし、なま物は避けること。

④肉魚等は冷蔵保管すること。

⑤衛生管理責任者を決め、衛生的な食品の取扱いに努めること。

2．　環境衛生

（1）室内環境

①定期的に清掃を行うこと。

②病気の者、高齢者に配慮しつつ、可能な限り換気を行うこと。

③分煙を奨励すること。

（2）屋外環境

ゴミを衛生的に保管すること。

（3）トイレの衛生

①定期的に清掃、消毒を行うこと。

②手指の消毒を励行すること。

3．　動物衛生

ペットの飼育については、周囲に迷惑をかけないこと。また、必要に応じて救護センターを紹介すること。

資料3- 1- 2　炊き出しの食品衛生についての掲示

～炊き出しをされる皆さんへ～

★食品の取り扱いは次の点に注意しましょう

保管

・原材料などの保管は暖かい場所を避けましょう

・特に、肉魚等の原材料は冷蔵保管しましょう

・ネズミやゴキブリの害を受けない場所を選びましょう

・ホコリなどがかからないように注意しましょう

調理

・調理を行うときは手指を消毒しましょう
（※消毒薬については、最寄りの保健所にご相談ください）

・提供品目はできるだけ加熱調理するものに限定しましょう

・十分火を通しましょう

提供

・調理後は出来るだけはやく提供しましょう

食中毒予防の３原則
→清潔、迅速、加熱または冷却

◎清潔；食品、手指、器具を清潔に保つこと

◎迅速；調理済みの食品は時間を置かず速やかに食べること

◎加熱；食品の内部まで十分に火を通すこと

◎冷却；調理済み食品を保管する場合は低温で保管すること

資料3- 1- 3　ボランティア向けの食品衛生指針

ボランティアの皆さんへ

～食品の衛生に十分注意しましょう～

連日の活動、どうもご苦労様です。
暮から夏にかけて気温が上昇してくると、食中毒菌の活動も活発になってきます。
食品の取り扱いを誤り、万が一にも食中毒等の食品事故を起こしてしまうとせっかくのご好意も、だいなしになってしまいます。
食品の取り扱いには十分なご注意をお願いします。

メニューを考えて

◎なま物は避けましょう。
◎その場で火を通すものをお願いします。

食品の取扱いは清潔に

◎食品の下処理は清潔な場所で行いましょう。
- 水などが十分に使用できる場所。
- 食品がホコリなどを被らない場所(屋内やテントの中等)。

◎下処理した食品は、清潔に保管・運搬しましょう。
- クーラーボックスや発泡樹脂製の保冷箱などを使いましょう。

◎手や器具は十分に洗いましょう。
- 水が使える場所では、セッケンも使ってていねいに洗いましょう。
- 水が使えない場所では、ウエットティシュやアルコールスプレーなどをご利用ください。

加熱は十分に

◎食品の中心まで十分に火を通しましょう。
- カセットコンロは火力が弱いので、十分時間をかけましょう。

素早い提供を

◎できるだけ早く食べてもらいましょう。
- つくり置きは避けましょう。
- 作ってすぐに食べてもらえるように配慮をお願いします。

神戸市衛生局・保健所・神戸市食品衛生協会

手洗いの方法

◎水が使える場合

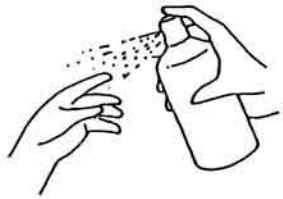
①セッケンをつかい十分汚れを落とす。



②清潔な手拭きでよく水分をとる

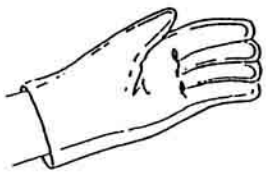


③アルコールスプレーを噴く

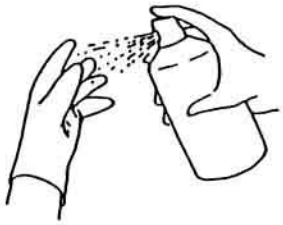


◎水が使えない場合

①使い捨て手袋をつける



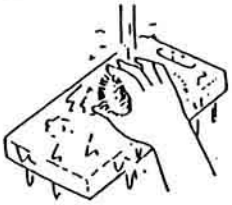
②アルコールスプレーを噴く



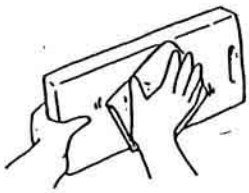
まな板などの洗い方

◎水が使える場合

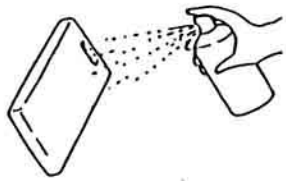
①セッケンをつかい十分汚れを落とす。



②清潔なふきんでよく水分をとる



③アルコールスプレーを噴く

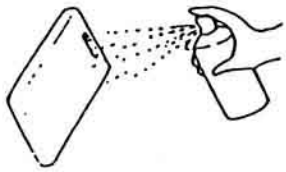


◎水が使えない場合

①ウエットティシュ等で汚れをよくふき取る



②アルコールスプレーを噴く



※使捨て手袋やアルコールスプレーが手に入らない場合は、
保健所衛生課にご相談ください。

資料3- 1- 4　露店・自動車で飲食店営業等を行う際の注意

露店・自動車で飲食店営業等を行う際の注意

※露店や自動車で飲食店営業、菓子製造業等を始める場合は、保健所長の許可が必要です。また、次の点に注意が必要です。

①提供品目は加熱して製造する食品に限定されています。

②飲料水を４０ℓ以上用意する等一定の基準を満たすことが必要です。

③これらの条件を満たしたうえで、営業所所在地などの保健所で営業許可を受けなければなりません。

④保健所長の許可は、衛生面での許可であり、道路の占有等を許可するものではありません。

◆詳しくは、申請者の住所又は営業所所在地の保健所衛生課にお問合わせください。

◆問合わせ先

東灘保健所	衛生課	東灘区住吉東町2－3－28	☎841-1333
灘 保健所	衛生課	灘区神ノ木通3－6－18	☎871-5101 内線384、385
中央保健所	衛生課	中央区雲井通5－1－1	☎232-4411 内線374、375、378、379
兵庫保健所	衛生課	兵庫区荒田町1－21－1	☎511-2111 内線333、334、335
北 保健所	衛生課	北区鈴蘭台西町1－25－1	☎593-1111 内線381、382
長田保健所	衛生課	長田区北町3－4－3	☎579-2311 内線462、463
須磨保健所	衛生課	須磨区中島町1－1－1	☎731-4341 内線432、431
垂水保健所	衛生課	垂水区日向1－5－1	☎708-5151 内線369、370
西 保健所	衛生課	西区玉津町小山字川端180-3	☎929-0001 内線329、330

★調理・販売に際し許可を要する食品の例示

◎飲食店営業：お好み焼き、たこ焼き、ホットドッグ　など

◎菓子製造業：たい焼き、回転焼き、今川焼き、カステラボール　など

資料3- 1- 5　神戸市の火葬状況一覧

震災発生後の火葬・焼骨証明件数　　平成７年１月18日～２月４日

日	鵯越斎場			甲南斎場			西神斎場			合　　計		
	火葬	焼骨	計	火葬	焼骨	計	火葬	焼骨	計	火葬	焼骨	計
18	48	0	48	閉		場	9	0	9	57	0	57
19	111	0	111	14	0	14	26	0	26	151	0	151
20	100	6	106	33	0	33	40	0	40	173	6	179
21	94	13	107	34	0	34	31	1	32	159	14	173
22	96	14	110	35	2	37	36	2	38	167	18	185
23	98	10	108	28	1	29	39	1	40	165	12	177
24	108	8	116	33	0	33	37	1	38	178	9	187
25	108	12	120	32	0	32	31	3	34	171	15	186
26	107	10	117	24	3	27	42	4	46	173	17	190
27	89	6	95	22	1	23	28	2	30	139	9	148
28	94	0	94	20	0	20	36	1	37	150	1	151
29	90	0	90	25	0	25	33	0	33	148	0	148
30	81	6	87	15	0	15	27	0	27	123	6	129
31	72	3	75	23	0	23	22	0	22	117	3	120
1	51	3	54	25	0	25	7	0	7	83	3	86
2	67	0	67	9	0	9	15	0	15	91	0	91
3	50	1	51	8	0	8	18	0	18	76	1	77
4	37	2	39	9	0	9	10	0	10	56	2	58
計	1501	94	1595	389	7	396	487	15	502	2377	116	2493

遺体火葬状況　　1月31日現在

市営斎場	鵯越斎場	１，３８４	計　２，１８１
	西神斎場	４５２	
	甲南斎場	３４５	
神戸市他都市依頼		３６６	
遺族他都市依頼	県下	７６５	計　１，３１３
	県外	５４８	
計		３，８６０	

※　１月31日現在　県警発表による災害死亡者数　3,605人　行方不明　12人

（２）保健予防活動に関する対策（資料3-1-6～7）

ａ）家庭・避難所の巡回訪問指導

避難所の数は、神戸市内においては1月31日時点で592か所、2月28日時点で527か所、3月31日時点で381か所であった。

保健婦等により高齢者、結核、精神等の患者の安否の確認、避難所における巡回健康相談が行われ、3月から避難所における健康診断が実施された。

ｂ）栄養状況の把握と指導

被災者の食生活の状況を把握し、栄養状態を改善できるように指導していた。

ｃ）予防接種に関すること

①インフルエンザの流行状況調査

1月25、26日に厚生省を中心に被災地におけるインフルエンザ流行状況などについて調査が実施された。

②インフルエンザ予防接種の実施

1月29日～2月16日までに1,649人接種。2月17日以降は市内医療機関で一般勧奨予防接種とする。

ｄ）精神保健・救護活動に関すること

作業所などの被害状況の把握、精神保健相談窓口の設置（相談と入院など）、精神科救護所を設置する。精神科救護所は、1月22日の長田保健所に始まり、1月26日に被災地の６保健所に設置される。

精神科の相談件数は1月31日時点の累計で1,041件、2月28日時点で3,876件、3月30日時点で6,185件であった。

資料3- 1- 6　兵庫県南部地震被災地における保健活動の推進

事　務　連　絡
平成７年２月１日

神戸市衛生局長　殿

厚生省健康政策局計画課長
厚生省保健医療局健康増進栄養課長

兵庫県南部地震被災地における保健活動の推進について

兵庫県南部地震による被災の復旧については、日々大変な御尽力をいただいております。

避難生活の長期化が見込まれる中で、種々の不自由な環境において、被災者の各々の心身の健康をいかに維持していくかが極めて大切なこととなっており、そのための保健所を中心とした効果的な保健対策の推進が必要と考えられます。

今後とも、当職として貴市と連携しつつ、これらの施策が推進されるように努めてまいる所存ですが、今般、被災地域における保健活動の推進に当たって留意すべき基本的事項をとりまとめました。各保健所管内の避難所等での保健活動を行う際の御参考にして頂ければ幸いに存じます。

被災地における保健活動の基本的事項

兵庫県南部地震により被災され、避難生活を余儀なくされている方々の健康を保持するための保健活動を行う参考として以下の事項をとりまとめた。

これらは、種々の制約下において行うべき基本的事項についてとりまとめたものであるので、それぞれの取組の中で創意工夫を行い、より個別の状況に即した形で保健活動が行われることが期待される。

また、これらの事項は、避難生活をされている方々に対する保健活動を基本として構成されているが、避難生活を取り巻く困難な環境を背景にして作成しているので、併せてその改善に向けて関係者、関係機関と調整をしていく際の参考ともし得るものである。

1．健康保持のために

避難生活では、これまでと異なる環境の中で、生活のリズムの乱れ、緊張、イライラ、栄養不足、運動不足等に陥りがちなので、次のことに留意して指導を行う。

①避難生活においては、生活が不規則になりがちなので、上手な睡眠の取り方等規則的な生活を送る方法を指導する。

②緊張や不安の日々が続くので、意識的にリラックスすることの重要性を説明するとともに、具体的にそれぞれの環境に応じたリラックスの方法やその時間の取り方について指導する。

③制約された食生活の中でも、それぞれの状況に応じた栄養のバランス等のとり方を指導する。

例えば、量的な供給が不十分な場合でも、良く噛むことで、消化・吸収がよくなり、栄養効率が良くなることを説明する。

また、量的にほぼ満たされる場合には、次のように個々人の環境に応じて、栄養のバランスをとりやすい方法を指導する。

・支給される食事は、残すと栄養のバランスが悪くなることを説明し、偏食せずにできるだけ摂るように指導する。

・食品が選べる場合は、同じ種類に偏らないようにしたり、加工食品では、使用食材の多いものを利用する。

・食事のバランスは、毎食とれなくても、数日間ではとれるよう指導する。

④水分の不足は、健康に対する種々の影響が考えられるので、水分補給の意義とその具体的補給方法を指導する。例えば、飲料水が十分摂れないときは、水分を多く含む食品（果物、清涼飲料、牛乳等）の中から適切なもので補うように指導する。

⑤便秘の予防も健康保持に大切である。避難生活では、排便の抑制や不規則な食事が原因で便秘になりやすいので、個々人の状況に応じて便秘の予防について指導する。

⑥健康保持には、運動が極めて大切であるので、運動の意義をよく説明する。個々人の状況に応じて、体操、散歩や速歩きなど適当な運動を実施するように指導する。さらに可能な状況下においては、球技等のスポーツも励行する。

2．心の健康を保つために

避難生活では、多くの人と一緒に生活するために、個々人のプライバシーが保てなかったり、また、ストレスや精神的不安が生じるので、心の健康状態を適確に把握した上で、適切な指導を行う。

①個々人の環境に合わせて、日常的に身近にできる気分転換法、ストレス解消法について指導を行う。

②周囲の環境との調和による心の健康法の意義について、理解を求める。例えば、お互いにあいさつを心掛けることやお互いを尊重し合うことの重要性について説明する。

③一人で悩まず気軽に相談するように働きかける。まずは親しい人への相談が効果的であるが、医師等専門家への相談が必要な方について、その発見に努め、保健所に設置されている精神科救護所や協力診療所等の適切な機関への紹介を行う。

3．かぜやインフルエンザの防止のために

かぜやインフルエンザがまん延する季節であることに加え、避難所における集団生活や不十分な換気等により、感染し易い状況にあり、また、避難生活の長期化に伴い、体調を崩しやすい状態にある。そのため、感染を防止し、身体の抵抗力の保持を行うための衛生面、栄養面、生活面に及ぶ適切な保健指導を行う必要があるが、必ずしも十分行える環境下にない方についてはそれぞれの状況に応じ、具体的に行う必要がある。例えば、

①感染の機会を低減させるために、その場の状況に見合った的確な対応策を把握した上で、手指の清潔保持、うがいの励行、マスク着用、換気の促進等具体的な衛生面の指導を行う。

②暖房が十分でない環境下にあっては、状況に応じた寒さを防ぐための生活上の工夫について助言を行うこと。

③１に掲げた規則的な生活、栄養のバランス、水分の補給等について指導を行う。

特に、重症化をきたしやすい乳幼児、高齢者、病弱者等に対しては、きめ細かな配慮の下で保健指導を行うとともに、医療や福祉施設への入所が必要な方についての発見に努め、医師や福祉事務所等の適切な機関への紹介を行う。

4．下痢症や食中毒を予防するために

飲料水、生活用水、加熱燃料の不足等により、手指や食べ物等の滅菌や消毒が不十分になり、不衛生な状態になりがちであるため、その状況にあった適切な衛生面の指導を徹底する。例えば、

①手指や調理用具（マナ板、包丁等）を清潔に保つための具体的指導を行う。

②不衛生な水の使用について、注意を喚起するとともに、必要に応じ、滅菌・消毒法を指導する。

③なま物は避ける、加熱調理をする等、食べ物の衛生的な取扱いについて、具体的な指導を行う。

5．生活衛生の確保のために

避難生活では、清潔、快適性等の確保が難しい状況にあるため、以下のような日常生活上の工夫を状況に応じて指導する。

①避難所内外の清潔を保つために、清掃、ゴミ処理等についての基本的情報を提供し、その実施体制を指導する。

②入浴機会が少ないことから、限られた入浴機会における効果的な活用法の指導を行うとともに、利用水量が制限されているので、浴槽の清潔保持のための具体的指導を行う。

6．共同生活をお互いによりよく送るために

避難所での生活が長期化しつつあるので、お互いに少しでも気持ちよく過ごせるよう援助を行う。

①互助の精神による助け合いが基本となるため、その涵養に向けて助力を行う。例えば、生活に役に立つ情報の交換を奨励することや、体調の悪い方や高齢者への手助け等が考えられる。

②秩序だった行動を取り、混乱が少しでも軽減出来るような調整を行う。例えば、配給品の受取のシステム化や自己の所持品に対する自己責任の明確化等の助言を行う。

③喫煙等、嗜好面について、他者への影響を考えた自制的行動が取られるような環境づくりを援助する。

7．正しい情報を得るために

流言、飛語にまどわされないように、情報の出所の確認をすることの指導と種々の情報が提供される媒体についての情報を提供する。必要に応じ、パンフレット等による情報の提供も行う。

資料3- 1- 7　自治体からの応援保健婦派遣計画

上段：派遣人数
下段：医療チームの一員として派遣（再掲）

保健婦派遣計画（２月）

日付	自治体数	派遣人数	東灘保健所 自治体数	派遣人数	奈良	広島	名古屋	福岡	札幌	京都	灘保健所 自治体数	派遣人数	富山	鹿児島	埼玉	山形	佐賀	福岡県	青森	奈良
1(水)	23	55	1	2		2					4	6		1	1			2	2	
		25										6		1	1			2	2	
2(木)	24	56	1	2		2					5	7		1	1			2	2	1
		26										7		1	1			2	2	1
3(金)	25	57	1	2		2					5	7		1	1			2	2	1
		26										7		1	1			2	2	1
4(土)	27	60	1	2		2					6	8		1	1		1	2	2	1
		28										7		1	1			2	2	1
5(日)	39	81	3	6		2	2		2		7	9		1	1	1	1	2	2	1
		37										8		1	1	1		2	2	1
6(月)	41	85	5	10	2	2	2	2	2		7	9		1	1	1	1	2	2	1
		40		3	1			2				8		1	1	1		2	2	1
7(火)	42	89	5	12	2	4	2	2	2		8	11	2	1	1	1	1	2	2	1
		40		3	1			2				8		1	1	1		2	2	1
8(水)	43	90	5	12	2	4	2	2	2		8	11	2	1	1	1	1	2	2	1
		40		3	1			2				8		1	1	1		2	2	1
9(木)	43	90	5	12	2	4	2	2	2		8	11	2	1	1	1	1	2	2	1
		40		3	1			2				8		1	1	1		2	2	1
10(金)	43	90	5	12	2	4	2	2	2		8	11	2	1	1	1	1	2	2	1
		40		3	1			2				8		1	1	1		2	2	1
11(土)	43	90	5	12	2	4	2	2	2		8	11	2	1	1	1	1	2	2	1
		40		3	1			2				8		1	1	1		2	2	1
12(日)	43	90	5	12	2	4	2	2	2		8	11	2	1	1	1	1	2	2	1
		40		3	1			2				8		1	1	1		2	2	1
13(月)	45	95	6	14	2	4	2	2	2	2	8	11	2	1	1	1	1	2	2	1
		40		3	1			2				8		1	1	1		2	2	1
14(火)	45	95	6	14	2	4	2	2	2	2	8	11	2	1	1	1	1	2	2	1
		40		3	1			2				8		1	1	1		2	2	1
15(水)	45	95	6	14	2	4	2	2	2	2	8	11	2	1	1	1	1	2	2	1
		40		3	1			2				8		1	1	1		2	2	1
16(木)	45	95	6	14	2	4	2	2	2	2	8	11	2	1	1	1	1	2	2	1
		40		3	1			2				8		1	1	1		2	2	1
17(金)	46	95	6	12	2	2	2	2	2	2	8	12	2	1	1	2	1	2	2	1
		41		3	1			2				8		1	1	1		2	2	1
18(土)	45	94	6	12	2	2	2	2	2	2	8	12	2	1	1	2	1	2	2	1
		41		3	1			2				8		1	1	1		2	2	1
19(日)	45	96	6	12	2	2	2	2	2	2	8	12	2	1	1	2	1	2	2	1
		41		3	1			2				8		1	1	1		2	2	1
20(月)	44	95	6	12	2	2	2	2	2	2	7	11	2	1	1	2		2	2	1
		41		3	1			2				8		1	1	1		2	2	1
21(火)	43	93	6	12	2	2	2	2	2	2	7	11	2	1	1	2		2	2	1
		39		3	1			2				8		1	1	1		2	2	1
22(水)	41	90	6	12	2	2	2	2	2	2	7	11	2	1	1	2		2	2	1
		39		3	1			2				8		1	1	1		2	2	1
23(木)	40	88	5	10	2		2	2	2	2	7	11	2	1	1	2		2	2	1
		39		3	1			2				8		1	1	1		2	2	1
24(金)	40	88	5	10	2		2	2	2	2	7	11	2	1	1	2		2	2	1
		39		3	1			2				8		1	1	1		2	2	1
25(土)	40	88	5	10	2		2	2	2	2	7	11	2	1	1	2		2	2	1
		39		3	1			2				8		1	1	1		2	2	1
26(日)	40	88	5	10	2		2	2	2	2	7	11	2	1	1	2		2	2	1
		41		3	1			2				8		1	1	1		2	2	1
27(月)	40	88	5	10	2		2	2	2	2	7	11	2	1	1	2		2	2	1
		39		3	1			2				8		1	1	1		2	2	1
28(火)	38	85	4	8			2	2	2	2	6	10	2	1	1	2		2	2	
		37		2				2				7		1	1	1		2	2	
計	1118	2401	131	282	44	64	48	46	48	32	200	290	44	28	28	36	16	56	56	26
		1058		68	22			46				218		28	28	24		56	56	26

保健婦派遣計画（２月）

日付	中央保健所								兵庫保健所							
	自治体数	派遣人数	大阪市	滋賀	山梨	和歌山	千葉市	沖縄	自治体数	派遣人数	北九州	東京都	茨城	宮城	鳥取	高知
1(水)	3	10 2	5	3	2 2				3	17 1	4	12		1 1		
2(木)	3	10 2	5	3	2 2				3	17 1	4	12		1 1		
3(金)	3	10 2	5	3	2 2				3	17 1	4	12		1 1		
4(土)	4	12 4	5	3	2 2		2 2		3	17 1	4	12		1 1		
5(日)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	5	19 3	2	12	2	1 1	2 2	
6(月)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	5	19 3	2	12	2	1 1	2 2	
7(火)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	5	19 3	2	12	2	1 1	2 2	
8(水)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	5	19 3	2	12	2	1 1	2 2	
9(木)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	5	19 3	2	12	2	1 1	2 2	
10(金)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	5	19 3	2	12	2	1 1	2 2	
11(土)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	5	19 3	2	12	2	1 1	2 2	
12(日)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	5	19 3	2	12	2	1 1	2 2	
13(月)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	6	21 3	2	12	2	1 1	2 2	2
14(火)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	6	21 3	2	12	2	1 1	2 2	2
15(水)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	6	21 3	2	12	2	1 1	2 2	2
16(木)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	6	21 3	2	12	2	1 1	2 2	2
17(金)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	6	21 3	2	12	2	1 1	2 2	2
18(土)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	6	21 3	2	12	2	1 1	2 2	2
19(日)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	6	21 3	2	12	2	1 1	2 2	2
20(月)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	6	21 3	2	12	2	1 1	2 2	2
21(火)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	6	21 3	2	12	2	1 1	2 2	2
22(水)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	6	21 3	2	12	2	1 1	2 2	2
23(木)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	6	21 3	2	12	2	1 1	2 2	2
24(金)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	6	21 3	2	12	2	1 1	2 2	2
25(土)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	6	21 3	2	12	2	1 1	2 2	2
26(日)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	6	21 5	2 2	12	2	1 1	2 2	2
27(月)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	6	21 3	2	12	2	1 1	2 2	2
28(火)	6	15 6	5	3	2 2	2 1	2 2	1 1	6	21 3	2	12	2	1 1	2 2	2
	157	402 154	140	84	56 56	48 24	50 50	24 24	148	556 78	64 2	336	48	28 28	48 48	32

保健婦派遣計画（２月）

日付	長田保健所																
	自治体数	派遣人数	愛媛	秋田	鳥根	神奈川	大分	三重	熊本	新潟	長野	石川	山口	長崎	群馬	横浜	鹿児島
1(水)	8	15			2	2		2	2	2	2				2	1	
		11			2				2	2	2				2	1	
2(木)	8	15			2	2		2	2	2	2				2	1	
		11			2				2	2	2				2	1	
3(金)	9	16		1	2	2		2	2	2	2				2	1	
		11			2				2	2	2				2	1	
4(土)	9	16		1	2	2		2	2	2	2				2	1	
		11			2				2	2	2				2	1	
5(日)	13	25	3	1	2	2		2	2	2	2	2	2	2	2	1	
		15			2				2	2	2		2	2	2	1	
6(月)	13	25	3	1	2	2		2	2	2	2	2	2	2	2	1	
		15			2				2	2	2		2	2	2	1	
7(火)	13	25	3	1	2	2		2	2	2	2	2	2	2	2	1	
		15			2				2	2	2		2	2	2	1	
8(水)	14	26	3	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	
		15			2				2	2	2		2	2	2	1	
木)	14	26	3	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	
		15			2				2	2	2		2	2	2	1	
10(金)	14	26	3	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	
		15			2				2	2	2		2	2	2	1	
11(土)	14	26	3	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	
		15			2				2	2	2		2	2	2	1	
12(日)	14	26	3	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	
		15			2				2	2	2		2	2	2	1	
13(月)	14	27	3	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	
		15			2				2	2	2		2	2	2	1	
14(火)	14	27	3	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	
		15			2				2	2	2		2	2	2	1	
15(水)	14	27	3	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	
		15			2				2	2	2		2	2	2	1	
16(木)	14	27	3	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	
		15			2				2	2	2		2	2	2	1	
17(金)	15	28	3	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1
		16			2				2	2	2		2	2	2	1	1
18(土)	14	27	3		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1
		16			2				2	2	2		2	2	2	1	1
、日)	14	29	3		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	1	1
		16			2				2	2	2		2	2	2	1	1
20(月)	14	29	3		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	1	1
		16			2				2	2	2		2	2	2	1	1
21(火)	13	27	3		2	2	2	2	2	2	2	2		2	4	1	1
		14			2				2	2	2			2	2	1	1
22(水)	11	24	4		2	2	2		2	2	2			2	4	1	1
		14			2				2	2	2			2	2	1	1
23(木)	11	24	4		2	2	2		2	2	2			2	4	1	1
		14			2				2	2	2			2	2	1	1
24(金)	11	24	4		2	2	2		2	2	2			2	4	1	1
		14			2				2	2	2			2	2	1	1
25(土)	11	24	4		2	2	2		2	2	2			2	4	1	1
		14			2				2	2	2			2	2	1	1
26(日)	11	24	4		2	2	2		2	2	2			2	4	1	1
		14			2				2	2	2			2	2	1	1
27(月)	11	24	4		2	2	2		2	2	2			2	4	1	1
		14			2				2	2	2			2	2	1	1
28(火)	11	24	4		2	2	2		2	2	2			2	4	1	1
		14			2				2	2	2			2	2	1	1
計	346	683	79	15	56	56	37	42	56	56	56	34	32	48	76	28	12
		400			56				56	56	56		32	48	56	28	12

保健婦派遣計画（２月

日付	須磨保健所						
	自治体数	派遣人数	栃木	宮崎	千葉県	川崎市	横須賀
1(水)	4	5	2	1		1	1
		5	2	1		1	1
2(木)	4	5	2	1		1	1
		5	2	1		1	1
3(金)	4	5	2	1		1	1
		5	2	1		1	1
4(土)	4	5	2	1		1	1
		5	2	1		1	1
5(日)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
6(月)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
7(火)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
8(水)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
9(木)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
10(金)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
11(土)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
12(日)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
13(月)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
14(火)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
15(水)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
16(木)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
17(金)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
18(土)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
19(日)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
20(月)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
21(火)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
22(水)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
23(木)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
24(金)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
25(土)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
26(日)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
27(月)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
28(火)	5	7	2	1	2	1	1
		5	2	1		1	1
計	136	188	56	28	48	28	28
		140	56	28		28	28

保健婦派遣計画（３月）

日付	自治体数	派遣人数	地区活動促進保健所 自治体数	派遣人数	奈良	広島	名古屋	札幌	京都	活動促進保健所 自治体数	派遣人数	高山	鹿児島	埼玉	山形	佐賀	福岡県	宮崎	奈良	東京都
1(水)	40	79 29	5		1	2	2	2	2	8	12 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	
2(木)	40	88 29	5	9	1	2	2	2	2	8	12 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	
3(金)	40	88 29	5	9	1	2	2	2	2	8	12 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	
4(土)	41	88 29	5	9	1	2	2	2	2	9	16 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	4
5(日)	41	88 29	5	9	1	2	2	2	2	9	16 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	4
6(月)	42	90 29	5	9	1	2	2	2	2	9	16 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	4
7(火)	43	94 29	5	9	1	2	2	2	2	9	16 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	4
8(水)	43	95 29	5	10	1	2	2	3	2	9	16 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	4
9(木)	43	95 29	5	(10)	1	2	2	3	2	9	(16) 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	4
10(金)	43	95 29	5	10	1	2	2	3	2	9	16 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	4
11(土)	43	95 29	5	10	1	2	2	3	2	9	16 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	4
12(日)	43	95 29	5	10	1	2	2	3	2	9	16 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	4
13(月)	43	94 29	5	9	1	2	2	2	2	9	(16) 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	4
14(火)	43	94 29	5	9	1	2	2	2	2	9	16 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	4
15(水)	43	94 29	5	9	1	2	2	2	2	9	16 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	4
16(木)	42	90 29	5	9	1	2	2	2	2	9	16 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	4
17(金)	40	78 29	5	9	1	2	2	2	2	8	(12) 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	
18(土)	40	78 29	5	9	1	2	2	2	2	8	12 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	
19(日)	40	78 29	5	9	1	2	2	2	2	8	12 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	
20(月)	40	78 29	5	9	1	2	2	2	2	8	12 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	
21(火)	38	75 29	5	9	1	2	2	2	2	8	12 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	
22(水)	38	75 29	5	9	1	2	2	2	2	8	12 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	
23(木)	38	75 29	5	9	1	2	2	2	2	8	12 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	
24(金)	38	75 29	5	9	1	2	2	2	2	8	12 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	
25(土)	37	73 29	4	7	1		2	2	2	8	12 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	
26(日)	37	73 29	4	7	1		2	2	2	8	12 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	
27(月)	36	71 27	4	7	1		2	2	2	8	12 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	
28(火)	36	71 27	4	7	1		2	2	2	8	12 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	
29(水)	36	71 27	4	7	1		2	2	2	8	12 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	
30(木)	36	71 26	4	7	1		2	2	2	8	12 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	
31(金)	35	69 26	4	7	1		2	2	2	8	12 4	2	1	1	2	1	2	2 2	1	
計	1238	2459 887	148	261	31	48	62	67	62	261	372 124	62	31 31	31 31	62	31	62	62 62	31	52

下段の数字は医療チームの一員として派遣（内訳）

※東京都の11日以降の派遣については、人数等 依頼連絡が入る予定の為 未定です

保健婦派遣計画（３月）

日付	中央保健所									長原保健所								
	自治体数	派遣人数	大阪市	滋賀県	愛知県	和歌山	千葉市	沖縄		自治体数	派遣人数	北九州	東京都	岩手	宮城	鳥取	高知	茨城県
1(水)	5	11 3	4	2		2 1	2 2	1		7	25 4	2	12	2 2	1 1	2	4 1	2
2(木)	5	11 3	4	2		2 1	2 2	1		7	25 4	2	12	2 2	1 1	2	4 1	2
3(金)	5	11 3	4	2		2 1	2 2	1		7	25 4	2	12	2 2	1 1	2	4 1	2
4(土)	5	11 3	4	2		2 1	2 2	1		6	19 4	2	8	2 2	1 1	2	4 1	
5(日)	5	11 3	4	2		2 1	2 2	1		6	19 4	2	8	2 2	1 1	2	4 1	
6(月)	6	13 3	4	2	2	2 1	2 2	1		6	19 4	2	8	2 2	1 1	2	4 1	
7(火)	6	13 3	4	2	2	2 1	2 2	1		6	19 4	2	8	2 2	1 1	2	4 1	
8(水)	6	13 3	4	2	2	2 1	2 2	1		6	19 4	2	8	2 2	1 1	2	4 1	
9(木)	6	13 3	4	2	2	2 1	2 2	1		6	19 4	2	8	2 2	1 1	2	4 1	
10(金)	6	13 3	4	2	2	2 1	2 2	1		6	19 4	2	8	2 2	1 1	2	4 1	
11(土)	6	13 3	4	2	2	2 1	2 2	1		6	19 4	2	8	2 2	1 1	2	4 1	
12(日)	6	13 3	4	2	2	2 1	2 2	1		6	19 4	2	8	2 2	1 1	2	4 1	
13(月)	6	13 3	4	2	2	2 1	2 2	1		6	19 4	2	8	2 2	1 1	2	4 1	
14(火)	6	13 3	4	2	2	2 1	2 2	1		6	19 4	2	8	2 2	1 1	2	4 1	
15(水)	6	13 3	4	2	2	2 1	2 2	1		6	19 4	2	8	2 2	1 1	2	4 1	
16(木)	6	13 3	4	2	2	2 1	2 2	1		6	19 4	2	8	2 2	1 1	2	4 1	
17(金)	6	13 3	4	2	2	2 1	2 2	1		5	11 4	2		2 2	1 1	2	4 1	
18(土)	6	13 3	4	2	2	2 1	2 2	1		5	11 4	2		2 2	1 1	2	4 1	
19(日)	6	13 3	4	2	2	2 1	2 2	1		5	11 4	2		2 2	1 1	2	4 1	
20(月)	6	13 3	4	2	2	2 1	2 2	1		5	11 4	2		2 2	1 1	2	4 1	
21(火)	5	12 3	4	2	2	2 1	2 2			5	11 4	2		2 2	1 1	2	4 1	
22(水)	5	12 3	4	2	2	2 1	2 2			5	11 4	2		2 2	1 1	2	4 1	
23(木)	5	12 3	4	2	2	2 1	2 2			5	11 4	2		2 2	1 1	2	4 1	
24(金)	5	12 3	4	2	2	2 1	2 2			5	11 4	2		2 2	1 1	2	4 1	
25(土)	5	12 3	4	2	2	2 1	2 2			5	11 4	2		2 2	1 1	2	4 1	
26(日)	5	12 3	4	2	2	2 1	2 2			5	11 4	2		2 2	1 1	2	4 1	
27(月)	5	12 3	4	2	2	2 1	2 2			5	11 4	2		2 2	1 1	2	4 1	
28(火)	5	12 3	4	2	2	2 1	2 2			5	11 4	2		2 2	1 1	2	4 1	
29(水)	5	12 3	4	2	2	2 1	2 2			5	11 4	2		2 2	1 1	2	4 1	
30(木)	5	12 3	4	2	2	2 1	2 2			5	11 4	2		2 2	1 1	2	4 1	
31(金)	4	10 3	4	2		2 1	2 2			5	11 4	2		2 2	1 1	2	4 1	
計	169	380 93	124	62	50	62 31	62 62	20		174	481 124	62	140	62 62	31 31	62	124 31	6

保健婦派遣計画（３月）

長田保健所

日付	自治体数	派遣人数	愛媛	秋田	島根	神奈川	大分	熊本	新潟	長野	石川	長崎	群馬
1(水)	11	24	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
2(木)	11	24	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
3(金)	11	24	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
4(土)	11	24	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
5(日)	11	24	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
6(月)	11	24	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
7(火)	11	24	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
8(水)	11	24	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
9(木)	11	24	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
10(金)	11	24	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
11(土)	11	✓ 24	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
12(日)	11	24	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
13(月)	11	24	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
14(火)	11	✓ 24	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
15(水)	11	✓ 24	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
16(木)	11	24	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
17(金)	11	24	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
18(土)	11	24	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
19(日)	11	✓ 24	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
20(月)	11	✓ 24	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
21(火)	10	22	4	2	2	2	2	2	2	2		2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
22(水)	10	22	4	2	2	2	2	2	2	2		2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
23(木)	10	22	4	2	2	2	2	2	2	2		2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
24(金)	10	22	4	2	2	2	2	2	2	2		2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
25(土)	10	22	4	2	2	2	2	2	2	2		2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
26(日)	10	22	4	2	2	2	2	2	2	2		2	2
		15	4	1	2			2	2	2			2
27(月)	9	20	4	2	2	2	2		2	2		2	2
		13	4	1	2				2	2			2
28(火)	9	20	4	2	2	2	2		2	2		2	2
		13	4	1	2				2	2			2
29(水)	9	20	4	2	2	2	2		2	2		2	2
		13	4	1	2				2	2			2
30(木)	9	20	4	2	2	2	2		2	2		2	2
		12	4	1	1				2	2			2
31(金)	9	20	4	2	2	2	2		2	2		2	2
		12	4	1	1				2	2			2
計	325	712	124	62	62	62	62	52	62	62	40	62	62
		453	124	31	60			52	62	62			62

保健婦派遣計画

日付	三重県保健所							
	自治体数	派遣人数	桑名	鈴鹿	津	松阪	伊勢	尾鷲
1(水)	4	7 3	2 2	1 1	2	2		
2(木)	4	7 3	2 2	1 1	2	2		
3(金)	4	7 3	2 2	1 1	2	2		
4(土)	5	9 3	2 2	1 1	2	2		2
5(日)	5	9 3	2 2	1 1	2	2		2
6(月)	5	9 3	2 2	1 1	2	2		2
7(火)	6	13 3	2 2	1 1	2	2	4	2
8(水)	6	13 3	2 2	1 1	2	2	4	2
9(木)	6	13 3	2 2	1 1	2	2	4	2
10(金)	6	13 3	2 2	1 1	2	2	4	2
11(土)	6	13 3	2 2	1 1	2	2	4	2
12(日)	6	13 3	2 2	1 1	2	2	4	2
13(月)	6	13 3	2 2	1 1	2	2	4	2
14(火)	6	13 3	2 2	1 1	2	2	4	2
15(水)	6	13 3	2 2	1 1	2	2	4	2
16(木)	5	9 3	2 2	1 1	2	2		2
17(金)	5	9 3	2 2	1 1	2	2		2
18(土)	5	9 3	2 2	1 1	2	2		2
19(日)	5	9 3	2 2	1 1	2	2		2
20(月)	5	9 3	2 2	1 1	2	2		2
21(火)	5	9 3	2 2	1 1	2	2		2
22(水)	5	9 3	2 2	1 1	2	2		2
23(木)	5	9 3	2 2	1 1	2	2		2
24(金)	5	9 3	2 2	1 1	2	2		2
25(土)	5	9 3	2 2	1 1	2	2		2
26(日)	5	9 3	2 2	1 1	2	2		2
27(月)	5	9 3	2 2	1 1	2	2		2
28(火)	5	9 3	2 2	1 1	2	2		2
29(水)	5	9 3	2 2	1 1	2	2		2
30(木)	5	9 3	2 2	1 1	2	2		2
31(金)	5	9 3	2 2	1 1	2	2		2
計	161	253 93	62 62	31 31	62	62	30	56

（３）医療の供給体制に関連する対策（資料3-1-8～24）

ａ）医療救護について

避難所での医療の確保のために救護所（常駐）、救護班（巡回）を設置した。

3月20日までの診療・搬送件数は214,608件であった。

①医療救護班の支援

常設の救護所数は、１月31日時点135か所、２月28日時点121か所、３月31日時点49か所であった。

②受け入れ

衛生局が自治体、県、国、自衛隊との連絡調整などの窓口となり、保健所と協力して対応する。衛生局では当初、医療班受け入れのための宿舎・食事・送迎・案内・輸送手段の確保（市公用車、タクシー）のためかなりの労力を要した。

③配置計画の策定（数の割り振り）

日程調整の上、配置する保健所を決め、地区については保健所が定めた。

ｂ）医薬品・医療器材の確保

①受け入れ、仕分けと配送と在庫管理

購入と医療機関・企業等からの提供、国・自治体の支援のものにより確保した。当初のｻﾞﾝﾎﾞｰﾎｰﾙ（産業貿易展示館）から神戸国際展示場に集積場を移し、そこから保健所に、そして保健所から各救護所に配送した。

②薬剤師の派遣依頼

1月23日から2月28日までの間の実績は、兵庫県病院薬剤士会より延べ41人の派遣、日本薬剤師会より延べ148人、その他の自主（派遣外）21人の派遣があった。

③病院の給食の支援

ライフラインの途絶のため、入院・入所者の食事が確保できない施設が生じた。そのために1月18日に市に相談のあった38施設に約9,500食を用意し、民生局関係約5,000食、衛生局関係約4,500食支給した。その後、2月15日まで給食の支援を実施した。給食は周辺業者より調達し、当初は配達先を市職員が、その後業者が直接配送した。

ｄ）医療機関の被害状況と診療状況の把握

衛生局が神戸市医師会を通じて行った。病院と医師会未加入診療所には電話で調査

する。

①診療所・病院の被害状況と診療状況の把握

被災６区においては、診療している診療所の割合は、1月31日時点では29%、2月28日時点は77%、3月31日時点は84%であった。

市内の病院112か所の中の診療状況は、1月31日時点で96か所、2月28日時点で105か所、3月31日時点で109か所であった。３月からは既存の医療施設による診療への移行の調整を行った。

②診療機関の照会・転送への対応

ｅ）医療ボランティアの対応（衛生局）

医療ボランティアの活動者数は、1月31日時点では医師45人、看護婦231人、その他18人、2月28日時点で、医師99人、看護婦316人、その他23人であった。登録者数は1月31日時点では医師373人、看護婦1,131人、その他1,627人、2月28日時点で医師410人、看護婦1,172人、その他139人であった。

資料3- 1- 8　救護所・救護班の設置状況

救護所・救護班設置状況　（　）内は２４時間対応再掲

日付け	東遊				遊				中央				兵庫				垂水				須磨				北	垂水	合計			
	本設	24時間	巡回	夜間	本設	24時間	巡回	夜間	本設	24時間	巡回	夜間	本設	24時間	巡回	夜間	本設	24時間	巡回	夜間	本設	24時間	巡回	夜間	巡回	巡回	本設	24時間	巡回	夜間
1／17	0	(0)	3	0	0	(0)	1	0	0	(0)	2	0	0	(0)	0	0	0	(0)	11	0	0	(0)	2	0	2	0	0	(0)	21	0
18	0	(0)	4	0	0	(0)	3	0	0	(0)	4	0	0	(0)	3	0	0	(0)	7	0	0	(0)	2	0	0	0	0	(0)	23	0
19	0	(0)	6	0	0	(0)	5	0	0	(0)	7	0	0	(0)	5	0	0	(0)	6	0	0	(0)	5	0	2	0	0	(0)	36	0
20	0	(0)	8	0	0	(0)	6	0	0	(0)	8	0	0	(0)	8	0	0	(0)	6	0	0	(0)	6	0	0	0	0	(0)	42	0
21	10	(0)	9	0	2	(0)	6	0	0	(0)	9	0	0	(0)	9	0	1	(0)	8	0	1	(0)	8	0	2	0	14	(0)	51	0
22	17	(3)	3	0	2	(2)	6	0	0	(0)	11	0	1	(1)	9	0	3	(0)	6	0	3	(2)	4	0	0	4	26	(8)	43	0
23	18	(4)	2	0	2	(2)	4	0	1	(1)	9	0	1	(1)	9	0	3	(0)	7	0	3	(2)	3	0	2	5	28	(10)	41	0
24	19	(4)	2	0	9	(3)	3	0	12	(2)	2	0	8	(1)	7	0	8	(2)	7	0	5	(2)	3	0	2	5	59	(14)	31	0
25	20	(10)	2	0	8	(5)	3	0	14	(3)	2	0	8	(1)	7	0	10	(3)	8	0	9	(2)	3	0	2	6	67	(24)	33	0
26	27	(12)	2	0	22	(6)	3	0	29	(4)	2	0	11	(1)	4	0	25	(5)	9	0	11	(2)	4	0	0	3	125	(30)	27	0
27	27	(12)	2	0	22	(6)	3	0	29	(8)	3	0	13	(3)	3	0	29	(5)	9	0	11	(2)	4	0	2	3	131	(36)	29	0
28	30	(12)	2	0	22	(6)	3	0	28	(8)	3	0	13	(3)	2	0	28	(2)	10	0	11	(2)	4	0	2	3	132	(33)	29	0
29	30	(12)	2	0	22	(6)	3	0	28	(8)	3	0	13	(3)	2	0	28	(2)	10	0	11	(2)	4	0	0	4	132	(33)	28	0
30	31	(12)	2	0	22	(8)	3	0	26	(11)	2	0	13	(4)	4	0	30	(2)	8	0	11	(3)	3	0	0	4	133	(40)	26	0
31	33	(13)	0	0	20	(8)	3	0	26	(10)	2	0	13	(3)	4	0	31	(2)	7	0	12	(2)	3	0	2	4	135	(38)	25	0
2／1	33	(13)	1	0	23	(9)	3	0	26	(11)	2	0	13	(3)	4	0	31	(2)	3	0	12	(2)	3	0	1	5	138	(40)	22	0
2	33	(13)	1	0	23	(9)	4	0	25	(11)	2	0	13	(4)	4	0	31	(2)	5	0	12	(2)	3	0	1	3	137	(41)	23	0
3	33	(13)	1	0	23	(9)	4	0	25	(11)	2	0	13	(4)	3	0	31	(2)	6	0	12	(2)	3	0	1	3	137	(41)	23	0
4	32	(13)	1	0	23	(9)	3	0	25	(11)	2	0	13	(4)	2	0	31	(2)	6	0	12	(2)	2	0	1	3	136	(41)	20	0
5	32	(13)	1	0	23	(9)	3	0	26	(11)	2	0	13	(4)	2	0	30	(2)	6	0	11	(2)	2	0	1	2	135	(41)	19	0
6	32	(13)	1	0	23	(9)	4	0	26	(13)	2	0	14	(4)	3	0	29	(2)	2	0	11	(2)	3	0	1	1	135	(43)	17	0
7	34	(13)	1	0	22	(7)	4	0	28	(13)	3	0	14	(3)	4	0	29	(1)	2	0	12	(2)	3	0	1	1	139	(39)	19	0
8	32	(12)	0	0	22	(7)	4	0	25	(15)	3	0	14	(2)	4	0	29	(1)	2	0	11	(2)	2	0	1	1	133	(39)	17	0
9	32	(12)	0	0	22	(7)	4	0	25	(15)	3	0	14	(2)	4	0	29	(1)	2	0	11	(2)	2	0	1	1	133	(39)	17	0
10	32	(12)	0	0	22	(7)	4	0	24	(14)	3	0	14	(3)	3	0	29	(1)	2	0	11	(2)	1	0	1	1	132	(39)	15	0
11	32	(12)	0	0	22	(7)	4	0	24	(14)	2	0	14	(3)	2	0	29	(2)	2	0	11	(2)	1	0	1	1	132	(40)	13	0
12	32	(12)	0	0	22	(7)	4	0	24	(14)	2	0	14	(3)	2	0	29	(2)	2	0	11	(2)	1	0	1	2	132	(40)	14	0
13	32	(13)	0	0	22	(7)	4	0	24	(15)	2	0	15	(3)	2	0	29	(2)	1	0	11	(2)	1	0	1	1	133	(42)	12	0
14	32	(13)	0	0	22	(7)	4	0	24	(13)	2	0	14	(3)	2	0	29	(2)	1	0	11	(2)	1	0	1	2	132	(40)	13	0
15	32	(13)	0	0	22	(7)	4	0	22	(13)	2	0	14	(3)	2	0	29	(2)	2	0	11	(2)	1	0	1	2	130	(40)	14	0
16	32	(13)	0	0	21	(7)	4	0	24	(13)	2	0	14	(3)	1	0	29	(2)	1	0	12	(2)	1	0	1	1	132	(40)	11	0
17	32	(13)	0	0	21	(7)	4	0	24	(13)	2	0	14	(3)	1	0	29	(2)	1	0	12	(2)	1	0	1	2	132	(40)	12	0
18	32	(13)	0	0	21	(7)	4	0	24	(13)	2	0	14	(3)	1	0	29	(2)	1	0	12	(2)	1	0	0	0	132	(40)	9	0
19	32	(13)	0	0	21	(7)	4	0	24	(13)	2	0	13	(3)	1	0	29	(2)	1	0	12	(2)	1	0	0	2	131	(40)	11	0
20	32	(13)	0	0	21	(7)	4	0	22	(13)	2	0	13	(3)	1	0	29	(2)	1	0	12	(2)	1	0	0	1	129	(40)	10	0
21	29	(14)	0	0	21	(7)	4	0	22	(13)	2	0	13	(3)	1	0	29	(2)	1	0	12	(2)	2	0	0	1	126	(41)	11	0
22	32	(14)	0	0	21	(7)	4	0	21	(12)	2	0	13	(3)	1	0	29	(2)	1	0	11	(2)	2	0	1	1	127	(40)	12	0
23	32	(14)	0	0	21	(7)	4	0	21	(12)	2	0	13	(3)	1	0	29	(2)	1	0	11	(2)	2	0	1	1	127	(40)	12	0
24	32	(14)	0	0	21	(7)	4	0	21	(12)	2	0	11	(2)	1	0	28	(2)	1	0	11	(2)	2	0	0	2	124	(39)	12	0
25	28	(13)	0	0	21	(7)	4	0	21	(12)	2	0	11	(2)	1	0	27	(2)	1	0	11	(2)	2	0	0	2	119	(38)	12	0
26	28	(13)	0	0	21	(7)	4	0	21	(12)	2	0	11	(2)	1	0	27	(2)	1	0	11	(2)	2	0	0	1	119	(38)	11	0
27	28	(8)	0	0	20	(7)	2	0	24	(11)	0	0	11	(2)	0	0	28	(2)	0	0	10	(2)	1	0	1	1	121	(32)	5	0
28	28	(8)	0	0	20	(7)	2	0	24	(11)	0	0	11	(2)	0	0	28	(2)	0	0	10	(2)	1	0	1	1	121	(32)	5	0
3／1	12	(3)	0	0	12	(4)	1	1	15	(8)	0	1	8	(0)	0	1	20	(0)	3	0	8	(2)	2	1	0	1	75	(17)	7	4
2	12	(3)	0	0	12	(4)	1	1	15	(8)	0	1	8	(0)	0	1	20	(0)	3	0	8	(2)	2	1	1	1	75	(17)	8	4
3	12	(0)	0	0	12	(0)	1	1	15	(3)	0	1	8	(0)	0	1	20	(0)	3	0	8	(0)	2	1	0	2	75	(3)	8	4
4	12	(0)	0	0	12	(0)	1	1	15	(3)	0	1	8	(0)	0	1	19	(0)	3	0	8	(0)	2	1	0	1	74	(3)	7	4
5	12	(0)	0	0	12	(0)	1	1	15	(3)	0	1	8	(0)	0	1	19	(0)	3	0	8	(0)	2	1	0	2	74	(3)	8	4
6	12	(0)	0	0	12	(0)	1	1	15	(3)	0	1	8	(0)	0	1	19	(0)	3	0	8	(0)	2	1	1	1	74	(3)	8	4
7	12	(0)	0	0	12	(0)	1	1	15	(4)	0	1	8	(0)	0	1	19	(0)	3	0	8	(0)	2	1	1	1	74	(4)	8	4
8	12	(0)	0	0	12	(0)	1	1	15	(4)	0	1	8	(0)	0	1	19	(0)	3	0	7	(0)	2	1	0	1	73	(4)	7	4
9	12	(0)	0	0	12	(0)	1	1	15	(4)	0	1	8	(0)	0	1	19	(0)	3	0	8	(0)	2	1	1	1	74	(4)	8	4
10	12	(0)	0	0	12	(0)	1	1	15	(4)	0	1	8	(0)	0	1	19	(0)	3	0	7	(0)	2	1	1	1	73	(4)	8	4
11	12	(0)	0	0	12	(0)	1	1	15	(4)	0	1	8	(0)	0	1	19	(0)	3	0	7	(0)	2	1	0	1	73	(4)	7	4
12	12	(0)	0	0	12	(0)	1	1	14	(4)	0	1	8	(0)	0	1	19	(0)	3	0	7	(0)	2	1	0	1	72	(4)	7	4
13	12	(0)	0	0	12	(0)	1	1	14	(4)	0	1	8	(0)	0	1	19	(0)	3	0	7	(0)	2	1	1	1	72	(4)	8	4
14	12	(0)	0	0	12	(0)	1	1	13	(4)	0	1	8	(0)	0	1	19	(0)	3	0	7	(0)	2	1	1	1	71	(4)	8	4
15	12	(0)	0	0	12	(0)	1	1	13	(4)	0	1	8	(0)	0	1	19	(0)	3	0	7	(0)	2	1	0	1	71	(4)	7	4
16	12	(0)	0	0	12	(0)	1	1	13	(4)	0	1	8	(0)	0	1	19	(0)	3	0	7	(0)	2	1	1	1	71	(4)	8	4
17	12	(0)	0	0	12	(0)	1	1	13	(4)	0	1	8	(0)	0	1	19	(0)	3	0	7	(0)	2	1	1	1	71	(4)	8	4
18	12	(0)	0	0	11	(0)	1	1	13	(4)	0	1	8	(0)	0	1	19	(0)	3	0	7	(0)	2	1	0	0	70	(4)	6	4
19	12	(0)	0	0	11	(0)	1	1	13	(4)	0	1	8	(0)	0	1	19	(0)	3	0	7	(0)	2	1	0	2	70	(4)	8	4
20	12	(0)	0	0	11	(0)	1	1	13	(4)	0	1	8	(0)	0	1	19	(0)	3	0	7	(0)	2	1	1	1	70	(4)	8	4
21	12	(0)	0	0	10	(0)	1	1	12	(4)	0	1	8	(0)	0	1	19	(0)	3	0	7	(0)	2	1	0	1	68	(4)	7	4
22	12	(0)	0	0	10	(0)	1	1	12	(4)	0	1	8	(0)	0	1	19	(0)	2	0	6	(0)	2	1	0	1	67	(4)	6	4
23	12	(0)	0	0	10	(0)	1	1	12	(4)	0	1	7	(0)	0	1	12	(0)	3	0	5	(0)	2	1	0	1	58	(4)	7	4
24	12	(0)	0	0	10	(0)	1	1	13	(4)	0	1	7	(0)	0	1	12	(0)	3	0	5	(0)	2	1	0	1	59	(4)	7	4
25	12	(0)	0	0	10	(0)	1	1	13	(4)	0	1	7	(0)	0	1	12	(0)	3	0	5	(0)	2	1	0	1	59	(4)	7	4
26	12	(0)	0	0	10	(0)	1	1	13	(4)	0	1	7	(0)	0	1	12	(0)	3	0	5	(0)	2	1	0	1	59	(4)	7	4
27	12	(0)	0	0	9	(0)	1	1	11	(3)	0	1	7	(0)	0	1	11	(0)	4	0	5	(0)	2	1	0	1	55	(3)	8	4
28	12	(0)	0	0	9	(0)	1	1	11	(3)	0	1	7	(0)	0	1	11	(0)	4	0	5	(0)	2	1	0	1	55	(3)	8	4
29	12	(0)	0	0	8	(0)	1	1	9	(3)	0	1	6	(0)	0	1	11	(0)	4	0	5	(0)	2	1	0	1	51	(3)	8	4
30	12	(0)	0	0	7	(0)	1	1	8	(3)	0	1	6	(0)	0	1	11	(0)	4	0	5	(0)	2	1	0	0	49	(3)	7	4
31	12	(0)	0	0	7	(0)	1	1	8	(3)	0	1	6	(0)	0	1	11	(0)	4	0	5	(0)	1	1	1	1	49	(3)	8	4
4／1	0	(0)	0	0	0	(0)	2	1	4	(0)	1	1	0	(0)	0	1	4	(0)	0	0	1	(0)	1	1	0	0	9	(0)	4	4
2	0	(0)	0	0	0	(0)	2	1	4	(0)	1	1	0	(0)	0	1	4	(0)	0	0	1	(0)	1	1	0	0	9	(0)	4	4
3	0	(0)	0	0	0	(0)	2	1	4	(0)	1	1	0	(0)	0	1	4	(0)	0	0	1	(0)	1	1	0	0	9	(0)	4	4
4	0	(0)	0	0	0	(0)	2	1	4	(0)	1	1	0	(0)	0	1	4	(0)	0	0	1	(0)	1	1	0	1	9	(0)	5	4
5	0	(0)	0	0	0	(0)	2	1	4	(0)	1	1	0	(0)	0	1	4	(0)	0	0	1	(0)	1	1	0	0	9	(0)	4	4
6	0	(0)	0	0	0	(0)	2	1	4	(0)	1	1	0	(0)	0	1	4	(0)	0	0	1	(0)	1	1	0	0	9	(0)	4	4
7	0	(0)	0	0	0	(0)	2	1	4	(0)	1	1	0	(0)	0	1	4	(0)	0	0	1	(0)	1	1	0	0	9	(0)	4	4
8	0	(0)	0	0	0	(0)	2	1	4	(0)	1	1	0	(0)	0	1	4	(0)	0	0	1	(0)	1	1	0	0	9	(0)	4	4
9	0	(0)	0	0	0	(0)	2	1	4	(0)	1	1	0	(0)	0	1	4	(0)	0	0	1	(0)	1	1	0	0	9	(0)	4	4
10	0	(0)	0	0	0	(0)	2	1	4	(0)	1	1	0	(0)	0	1	4	(0)	0	0	1	(0)	1	1	0	2	9	(0)	6	4
11	0	(0)	0	0	0	(0)	2	1	4	(0)	1	1	0	(0)	0	1	4	(0)	0	0	1	(0)	1	1	0	0	9	(0)	4	4
12	0	(0)	0	0	0	(0)	2	1	4	(0)	1	1	0	(0)	0	1	4	(0)	0	0	1	(0)	1	1	0	0	9	(0)	4	4
13	0	(0)	0	0	0	(0)	2	1	4	(0)	1	1	0	(0)	0	1	4	(0)	0	0	1	(0)	1	1	0	0	9	(0)	4	4
14	0	(0)	0	0	0	(0)	2	1	4	(0)	1	1	0	(0)	0	1	4	(0)	0	0	1	(0)	1	1	0	0	9	(0)	4	4
15	0	(0)	0	0	0	(0)	2	1	2	(0)	1	1	0	(0)	0	1	4	(0)	0	0	1	(0)	1	1	0	0	7	(0)	4	4
16	0	(0)	0	0	0	(0)	0	1	2	(0)	1	1	0	(0)	0	1	4	(0)	0	0	1	(0)	1	1	0	0	7	(0)	2	4
17	0	(0)	0	0	0	(0)	0	1	2	(0)	1	1	0	(0)	0	1	1	(0)	0	0	0	(0)	1	1	0	0	3	(0)	2	4
18	0	(0)	0	0	0	(0)	0	1	2	(0)	1	1	0	(0)	0	1	1	(0)	0	0	0	(0)	1	1	0	1	3	(0)	3	4
19	0	(0)	0	0	0	(0)	0	1	2	(0)	1	1	0	(0)	0	1	1	(0)	0	0	0	(0)	1	1	0	0	3	(0)	2	4
20	0	(0)	0	0	0	(0)	0	1	2	(0)	1	1	0	(0)	0	1	1	(0)	0	0	0	(0)	1	1	0	0	3	(0)	2	4
21	0	(0)	0	0	0	(0)	0	1	1	(0)	1	1	0	(0)	0	1	1	(0)	0	0	0	(0)	1	1	0	0	2	(0)	2	4
22	0	(0)	0	0	0	(0)	0	1	1	(0)	0	1	0	(0)	0	1	1	(0)	0	0	0	(0)	1	1	0	0	2	(0)	1	4
23	0	(0)	0	0	0	(0)	0	1	1	(0)	0	1	0	(0)	0	1	1	(0)	0	0	0	(0)	1	1	0	0	2	(0)	1	4
24	0	(0)	0	0	0	(0)	0	1	1	(0)	0	1	0	(0)	0	1	1	(0)	0	0	0	(0)	0	1	0	0	2	(0)	0	4
25	0	(0)	0	0	0	(0)	0	1	1	(0)	0	1	0	(0)	0	1	1	(0)	0	0	0	(0)	1	1	0	0	2	(0)	2	4
26	0	(0)	0	0	0	(0)	0	1	1	(0)	0	1	0	(0)	0	1	0	(0)	0	0	0	(0)	0	1	0	0	1	(0)	0	4
27	0	(0)	0	0	0	(0)	0	1	1	(0)	0	1	0	(0)	0	1	0	(0)	0	0	0	(0)	1	1	0	0	1	(0)	1	4
28	0	(0)	0	0	0	(0)	0	1	1	(0)	0	1	0	(0)	0	1	0	(0)	0	0	0	(0)	0	1	0	0	1	(0)	0	4
29	0	(0)	0	0	0	(0)	0	1	0	(0)	0	1	0	(0)	0	1	0	(0)	0	0	0	(0)	1	1	0	0	0	(0)	1	4
30	0	(0)	0	0	0	(0)	0	1	0	(0)	0	1	0	(0)	0	1	0	(0)	0	0	0	(0)	0	1	0	0	0	(0)	0	4
	1316	453	56	0	1097	268	221	61	1341	532	146	61	694	103	130	61	1607	75	271	0	627	81	193	61	50	123	6882	(1512)	1190	244

資料3- 1- 9　東灘区救護所（常設）設置状況

救護所（常設）設置状況　　H7.2.27

東灘保健所

NO	避難所	2月末までの救護班 収容数	団体名	24H	活動期限		3月以降の活動予定(案) 常設	団体名
1	御影北小学校	280	慶応大学	○	2月末まで	→	×	地域医療機関へ
2	御影小学校	440	北海道大学	×		→	○	北海道大学
3	御影中学校	360	北海道大学	×	2月末まで	→	×	地域医療機関へ
4	御影高校	730	大阪府	○	3/14まで	→	○	大阪府
5	御影公会堂	330	北海道大学	×	2月末まで	→	×	地域医療機関へ
6	住吉小学校	700	八尾病院	○	当分の間	→	○	八尾病院
7	魚崎小学校	638	大阪府	○	2月末まで	→	×	地域医療機関へ
8	本山第2小学校	176	奈良県	○	当分の間	→	○	奈良県
9	甲南大学	120	広島市	○	2月末まで	→	×	地域医療機関へ
10	本山南中学校	800	帝京大学	×	当分の間	→	○	帝京大学
11	本山第1小学校	334	北海道	×	3月末	→	○	北海道
12	本山第3小学校	514	名古屋市	×	当分の間	→	○	名古屋市
13	福池小学校	609	福岡市	×	2月末まで	→	○	広島市
14	本山南小学校	1,150	近畿大学	○	当分の間	→	○	近畿大学（慶応大学の可能性有）
15	東灘小学校	700	地球交流委員会(京都府)	×	当分の間	→	○	地球交流委員会（　県　）
16	深江見付小学校	100	地球交流委員会(京都府)	×	2月末まで	→	×	地域医療機関へ
17	住吉中学校	531	慶応大学	○	〃	→	×	〃
18	神戸商業高校	550	奈良県	×	〃	→	×	〃
19	本庄中・小学校	195	広島大学	×	〃	→	○	広島大学
20	魚崎中学校	264	札幌市	×	当分の間	→	○	札幌市
21	住之江公民館	15	八尾病院	×	2月末まで	→	×	地域医療機関へ
22	灘高校	216	慶応大学	×	〃	→	×	〃
23	東灘体育館	201	札幌市	×	〃	→	×	〃
24	神戸商大白鷗寮	159	広島大学	×	〃	→	×	〃
25	神戸商船大学寮	160	広島大学	×	〃	→	×	〃
26	御影工業高校	196	北海道大学	×	〃	→	×	〃
27	本庄児童センター	81	日本医師会	×	2月末まで	→	×	〃
28	本庄児相別館	280	日本医師会	×	〃	→	×	〃
							小計	12

巡回　班なし　→　なし　　区医師会及び救護班で対応

夜間対応　・・・　耳鼻咽喉診療所　　3月8日～ 救護班撤退

4月1日～ 救護所閉鎖

資料3- 1-10　灘区救護所（常設）設置状況

救護所（常設）設置状況　　H7．2．27

灘保健所

NO	避難救護所	2月末までの救護班 収容数	団体名	24H	活動期限		3月以降の活動予定(案) 常設	団体名
1	高羽小学校	300	鹿児島県	×	3月まで	→	○	鹿児島県(状況により回)
2	六甲小学校	1,424	関西NGOネットワーク	○	3月中旬	→	×	滋賀県（巡回）
			滋賀県	×	4月以降もあり			
3	灘小学校	570	関西NGOネットワーク	○	3月第2週	→	○	関西ＮＧＯ
4	成徳小学校	480	埼玉県	×	3月まで	→	○	埼玉県
5	西郷小学校	1,200	自衛隊	○	~3月4日	→	○	奈良県（3月4日~）
6	徳井会館	140	日赤(兵庫支部)	×	2月まで	→	×	医師会対応
7	神田小学校	1,174	自衛隊	○	3月まで	→	○	自衛隊
8	摩耶小学校	835	関西NGOネットワーク	○	2月まで	→	×	山形県（巡回）
9	西灘小学校	1,380	新潟市	×	2月27日まで	→	○	福岡県(2/28~3月末)
10	育陽東高等学校	970	奈良県	×	~3月3日	→	×	医師会対応
11	曙光中学校	400	日赤	○	3月4日まで	→	×	医師会対応
12	上野中学校	450	日本カトリック医療施設協会	×	2月まで	→	×	医師会対応
13	灘区民ホール	217	日本カトリック医療施設協会	×	3月まで	→	○	日本カトリック医療施設協会
14	浜田公園(県)	350	自衛隊	○	2月まで	→	×	
15	烏帽子中学校	400	佐賀県	×	3月まで	→	○	佐賀県
16	王子スポーツセンター	475	静岡県	×	3月まで	→	○	静岡県
17	西灘保育所	130	富山県	×	3月まで	→	○	富山県
18	神戸高校	500	福岡県	×	3月まで	→	×	医師会対応
19	福住小学校	600	山形県	×	3月まで	→	×	医師会対応
20	松陰会館	55	青森県	×	3月まで	→	○	青森県
							○の計	11

（2~1のこ）

巡回班　2班（仙台市・奈良県）　→　1班（仙台市）

保健所夜間常駐班　→　西市民病院

資料3- 1-11　中央区救護所（常設）設置状況

救護所（常設）設置状況　　H17.2.27

中央保健所

NO	避難所	2月末までの救護班 収容数	団体名	24H	活動期限		3月以降の活動予定(案) 常設	団体名
1	春日小学校	900	大阪市	○	3月末	→	○	大阪市（24h運営）
2	小野柄小学校	800	大阪府	○	3月末	→	○	大阪府（24h運営）
3	春日野小学校	560	山梨県	○	3月末	→	○	山梨県
4	宮本小学校	500	滋賀県	×	3月末	→	○	滋賀県
5	複合総合会館	154	長野県厚生連	×	2月末まで	→	○	沖縄県 2/27～
6	二宮小学校	320	東海農政局民間	×	2/27まで	→	×	巡回(愛知県)2/28～
7	湊小学校	400	労災病院	○	3/21まで	→	○	労災病院（24h運営）
8	神戸親和女子小学校	650	徳島大学	○	2月末まで	→	×	巡回(徳島県)
9	北野小学校	350	自衛隊	×	3月末	→	○	自衛隊
10	山の手小学校	750	中央市民病院	×	3月中旬	→	○	中央市民病院
11	中央保健・福祉センター	180	ボランティア等で対応	○	3月末	→	○	24h保健福祉ﾁｰﾑ(下記)
12	下山手小学校	350	和歌山県	○	3月末	→	○	和歌山県
13	神戸生田中学校	1,150	厚生年金事業団	○	3月末	→	○	厚生年金
14	楠中学校	400	神鋼病院	×	2月末	→	○	千葉市
15	若菜小学校	290	愛知県	○	3月末	→	○	愛知県
16	葺中小学校	500	巡回病院	×	2月末	→	×	巡回(愛知県)
17	御蔵台中学校	290	千葉市	×	2月末	→	×	NO.22 上筒井小学校へ
18	下山手市住	120	船員保険健診センター	×	2月末	→	×	医師会対応
19	八雲北にいのま	260	長野県厚生連	×	2月末	→	×	巡回(沖縄県)2/28～
20	複合保育所(19に統)	170		×	－	→	×	〃
21	弁護士会館(旧別館)	220	NTT	×	2月末	→	×	医師会対応
22	上筒井小学校	160	千葉県	○	3月中旬	→	○	千葉県
23	摩耶兵庫高校	200	九州大学医学部	○	3/11まで	→	○	九州大学医学部
24	南学校	179	沖縄県	×	3月末		×	NO.7浜小学校へ
							小計	15

巡回　班なし → なし

保健所夜間常駐班 → 千葉大

（第1，3土・日　松下記念病院）

（第2，4土・日　八鹿病院）

資料3- 1-12　兵庫区救護所（常設）設置状況

救護所（常設）設置状況　　H7，2，27

兵庫保健所

NO	避難所名	2月末までの救護班 収容数	団体名	24H	活動期限		3月以降の活動予定(案) 常設	団体名
1	水木小学校	1,100	赤十字	×	2月28日まで	→	○	兵庫区医師会
2	湊川中学校	1,200	日赤	×	当分の間	→	×	巡回（日赤）
3	兵庫中学校	1,500	こども病院	×	当分の間	→	○	高知県
			高知県	×	当分の間			
4	兵庫工業高等学校	1,900	北九州市	×	当分の間	→	○	北九州市
5	新湊高等学校	500	日赤	×	当分の間	→	×	巡回（日赤）
6	荒田小学校	800	慈恵医大	○	2月まで	→	○	茨城県(No. 8から巡回)
7	平野小学校	600	茨城県	○	2月28日まで	→	×	No. 6からの巡回
8	会下山小学校	1,050	宮城県	×	当分の間	→	○	宮城県
9	東山小学校	400	鳥取県	×	当分の間	→	○	鳥取県
10	大開小学校	950	岩手県	×	当分の間	→	○	岩手県
11	明親小学校	600	北九州市	×	当分の間	→	×	No. 4からの巡回
							0の計	7

巡回班　　なし　→　不要

保健所夜間常駐班　→　西市民病院

資料3- 1-13　長田区救護所（常設）設置状況

救護所（常設）設置状況　　H7.2.27

長田保健所

NO	避難所	2月末までの救護班 収容数	団体名	24H	活動期間		3月以降の活動予定(※) 常設	団体名
1	五位ノ池小学校	578	愛媛県	×	当分の間	→	○	愛媛県
2	高取台中学校	400	国立病院	×	当分の間	→	×	巡回
3	夢野台高等学校	500	中国四国済生会グループ	×	2月末まで	→	×	巡回
4	兵庫高校	1,300	関西医大(動体報告)	×	当分の間	→	○	関西医大
5	長田小学校	450	秋田県	×	当分の間	→	○	秋田県
6	長田高等学校	625	島根県	×	当分の間	→	○	島根県
7	長田区新庁舎	−	西市民病院	○	当分の間	→	×	6F 西市民病院
8	蓮池小学校(記載ミス)	1,400	国立病院	×	当分の間	→	○	国立病院
9	県立文化体育館	833	兵庫県	×	3月末まで	→	○	兵庫県
10	御蔵小学校	1,600	横浜市	×	2月末まで	→	○	市民病院 2班
11	長田公民館	180	神奈川県	×	当分の間	→	○	神奈川県
12	神楽小学校	1,177	大分県	×	当分の間	→	○	大分県
13	真野小学校	250	中国四国済生会グループ	×	2月末まで	→	×	巡回
14	真陽小学校	1,550	三重県	×	当分の間	→	○	三重県
15	駒ケ林中学校	1,100	熊本県	×	当分の間	→	○	熊本県
16	長楽小学校	1,300	国立病院	×	当分の間	→	○	国立病院
17	育英高校	450	自衛隊（広島）	×	当分の間	→	×	巡回
18	池田小学校	182	新潟県	×	当分の間	→	○	新潟県
19	長田工業高校	430	長野県	×	当分の間	→	○	長野県
20	宮川小学校	351	石川県	×	当分の間	→	○	石川県
21	志里池小学校	200	山口県	×	当分の間	→	×	No.25からの巡回
22	大橋中学校	350	長崎県	×	当分の間	→	○	長崎県
23	刈藻中学校	637	山口県	×	当分の間	→	○	山口県
24	二葉小学校	580	鹿児島市立病院	×	2月末まで	→	×	巡回
25	たかとり教会	0	海員病院	×	当分の間	→	×	巡回
26	名倉小学校	334	東京都	○	3月31まで	→	×	巡回
27	長田勤労福祉センター	450	国境なき医師団	×	当分の間	→	○	国境なき医師団
28	西代中学校	800	群馬県	×	当分の間	→	○	群馬県
							の計	19

巡回班　　なし → 3班（京都市1班、市民病院2班）

保健所夜間常駐班 → 西市民病院救急対応

資料3- 1-14　須磨区救護所（常設）設置状況

救護所（常設）設置状況　2月27日現在

須磨保健所

NO	避難所	2月末までの救護班 収容数	団体名	24H	活動期限		3月以降の活動予定(案) 常設	団体名
1	大黒小学校	1,140	徳州会	×	当分の間	→	○	市民病院
2	板宿小学校	1,540	大阪大学医学部	○	3月末まで	→	○	大阪大学医学部
3	東須磨小学校	653	自衛隊医療班	×	当分の間	→	○	自衛隊医療班
4	大田中学校	1,240	栃木県	○	当分の間	→	○	栃木県
5	鷹取中学校	1,350	宮崎県	○	当分の間	→	○	宮崎県
6	須磨区役所	700	川崎市 横須賀市	○	3月末まで	→	○	川崎市　他 夜　市民病院
7	須磨高校	250	国立名古屋	×	当分の間	→	×	巡回
8	若宮小学校	740	日赤	×	当分の間	→	×	巡回（日赤）
9	マリスト	540	中国労災病院	×	当分の間	→	○	広島県　3/7より順次医療
10	海の家	300	千葉県(船舶)	×	当分の間	→	○	千葉県　3/7船
							0の計	8

巡回班　　船舶ヘリ班　→　2班　船舶名古屋、船舶ヘリ班

保健所夜間常駐班　→　西市民病院

資料3- 1-15　救護所の再編について（案）

平成７年２月27日

救護所の再編について（案）

（　　）内２４時間対応：内数

	２　月		３　月		４月～	
	常　駐	巡回	常　駐	巡回	常　駐	巡回
東灘区	２８（　８）	0	１２（0）	0	0	0
灘　区	２０（　７）	2	１１（0）	1	２～３箇所	0
中央区	２４（１１）	0	１５（３）	0	数カ所程度	0
兵庫区	１１（　２）	0	７（0）	0	２～３箇所	0
長田区	２８（　２）	0	１９（0）	3	数カ所程度	1~2
須磨区	１０（　２）	1	８（0）	2	２～３箇所	1~2
計	１２１（３２）	3	７２（３）	6	１０数カ所程度	2~3

夜間対応

東灘区　　東灘診療所　　２４時間化

灘　区　　保健所に夜間の常駐班設置

中央区　　保健所に夜間の常駐班設置

兵庫区　　保健所に夜間の常駐班設置

長田区　　西市民病院　２４時間対応

須磨区　　保健所に夜間の常駐班設置

資料3- 1-16　避難所における医療体制の移行について

衛　生　局

避難所における医療体制の移行について

―― 救護所体制から地域医療体制へ ――

1　現状

① 地元医療機関の開業率の回復

② 避難所で生活する被災者の数の減少

③ 救護所での診療件数の減少

④ 外傷、風邪から慢性疾患への病態の変化

⑤ 他都市等からの派遣救護班の活動期間の長期化

2　今後の方向　避難所で生活する被災者の医療ニーズに十分に対応することを基本にすえ、地元地域医療機関の立ち上がり状況を勘案し、今後、段階的に救護所の数を減らし、順次、病院・診療所が医療を担う従来の地域医療体制へ速やかに移行させる。

3　方法等

① 常設の救護所で24時間対応のところは、順次昼間対応に移行する。

夜間については、従来より、救急体制で対応しているが、特に、避難住民の夜間の医療ニーズに対応するため、東灘診療所の24時間対応や保健所での夜間常駐救護班の設置を行う。

また、救護所が常設で置かれている避難所については、順次、巡回対応に移行する。

② 開設された診療所に近接した避難所においては、順次、救護所を廃止し、診療所が医療を担う体制へ移行させる。

③ なお、①②の具体的な移行については、避難所、市区医師会、救護所とよく調整のうえ進めていく。

資料3- 1-17　避難所における保健・医療体制

避難所における保健・医療体制

これまで、救護所における医療は応急の医療サービスを供給してきた。今後、疾病の中で増加している慢性疾患に対応するためには、検査体制も含め適切な診断・治療を行いうる医療機関での診療が必要である。

このためにも、救護所から地域医療機関へのバトンタッチが必要である。

1．医療体制の回復状況

（1）医療機関の復帰率

病　院　　６５件　　（開設率９１．５％　　（６区合計２月25日現在））

診療所　８０８件　　（開設率７６．７％　　（６区合計２月25日現在））

（2）急病診療所（神戸市医師会館）の開設

（3）休日急病電話相談所の開設

（4）２次救急輪番病院の再開（３月１日より）

（5）３次救急（中央市民病院、３月１日より）

2．３月以降の救護班の対応

区	２月　救護所数	３月以降の救護所	救護所の対応	保健活動	保健婦数
東灘	２８	１２	①休息する救護所については保健活動でカバーする。 ②医師会は夜間診療時間延長を輪番制でおこなう。 ③継続する救護所については、３月８日以降は医師会が運営する。（２ヵ～４ヵ所） ④夜間対応…東灘診療所２４時間対応とする。	避難所の巡回健康相談、健康教育 ①避難所の実態把握 ②要援護者への保健指導	３６人
灘	２０	１１	①休息する救護所については医師会から巡回診療を行う。 ②保健所から派遣する巡回班、及び継続する救護所からの巡回診療が①を加う。 ③夜間対応…保健所に市民病院スタッフによる救護班を配置	③被災者の健康チェック、疾病予防 ④健康教育	２９人
中央	２４	１５	①休息する救護所については、保健所から巡回する巡回班及び継続する救護所からの巡回診療を行う。 ②その他の避難所については、必要に応じて救護所及び保健所からの巡回をおこなう。 ③夜間対応…保健所に夜間診療班（千葉大）を配置		４１人

兵庫	11	7	①休息した4カ所の救護所に対しては、継続する救護所からの巡回診療を行う。 ②医師会員による救護所運営　1カ所 ③夜間対応…保健所に市民病院スタッフによる救護班を配置		50人
長田	28	19	①継続する救護所は近隣の避難所の巡回診療を行う ②　①でカバーができない避難所に対しては保健所から派遣する巡回班（3班）による診療を行う。 ③夜間対応…区庁舎6F西市民病院救急班が対応。		36人
須磨	10	8	①継続する救護所は近隣の避難所の巡回診療を行う ②　①でカバーができない避難所に対しては保健所から派遣する巡回班（3班）による診療を行う。 ③医師会員による救護所運営　1カ所(3/7以降) ④夜間対応…保健所に市民病院スタッフによる救護班を配置。		32人
合計	121	72			224人

資料3- 1-18　避難所における保健・医療体制の再編について

記　者　発　表
平成 7年 2月28日
神戸市災害対策本部衛生部
内3335～6 直322-5257～8

避難所における保健・医療体制の再編成について

1　趣旨　　震災後、地元医療機関が被災するなか、避難所における救急的医療の整備を図るため、全国の都道府県・政令指定都市等地方自治体、日赤、自衛隊、大学病院、公立・民間病院、及びボランティア団体等の協力を得て、救護班活動を行ってきた。

震災から約40日を経て、救護所における診療内容も落ち着きを見せ、診療件数の減少とともに、風邪や慢性疾患等が顕在化してきている。

一方、地元医療機関の復旧も進み、また救急医療体制も整備されてきた。

救護班活動は、災害直後の初期的な医療を担うものであり、地元医療機関の復旧が進んだ段階で、より適切な診断・治療が行える地域医療機関で診療を受けることが望ましい。

このようななか、3月1日より避難所における医療体制として、救護所体制から地域医療体制へとスムーズに移行させるとともに、保健所の保健婦、他府県からの派遣保健婦・看護婦等による、避難所で生活する被災者や在宅の要介護老人等に対する健康相談等の保健活動を強化していく。

2　医療体制の回復状況

(1)　医療機関の開設状況（東灘区～須磨区の6区）

病院　　開設率　91.5 %（65／71　2月25日現在）

診療所　　開設率　76.7 %（808／1054　2月25日現在）

(2)　急病診療所（神戸市医師会館）の再開（1月22日より）

(3)　休日急病電話相談所の再開

(4)　2次救急の輪番制の再開（病院群輪番制、3月 1日～）

⑤ 市民病院群の状況

ア．中央市民病院　・一般外来（9:00～15:00 受付　～17:00 診察）
・救急外来（24時間対応）

イ．東灘診療所の２４時間対応

ウ．西市民病院仮設診療所
・長田区総合庁舎６階に移転（２月20日～）
・24時間救急対応

エ．西神戸医療センター　・一般外来（9:00～12:00 受付　～17:00 診察）
・救急外来（24時間対応）

3　救護所体制から地域医療体制への移行

① 今後の方向

避難所で生活する被災者の医療ニーズに十分に対応することを基本にすえ、地域医療機関の回復状況並びに慢性疾患の増加を勘案し、今後、段階的に救護班・救護所による医療から病院・診療所が担う従来の地域医療体制に移行させる。

② 具体的方法

避難所の管理者、市区医師会、および救護班とよく調整のうえ、次のとおり進める。

ア．避難所に常設されている救護所で２４時間対応のところは、順次、昼間対応に移行するが、夜間については、東灘診療所、西市民病院仮設診療所での24時間救急対応、保健所での夜間常駐救護班の設置を行う。

また、常設の救護所が設置されている避難所及びその他の避難所は順次、救護班が巡回で診療を行う体制へ移行する。

イ．地域医療機関が回復した地域においては、順次、救護所体制から地元の診療所・病院が医療を担う体制に移行する。

4　保健活動の展開

① 目的

避難所生活の長期化に伴い、当初の初期的な医療活動から、避難所生活における健康管理を目的とした保健活動へとニーズが移りつつある。

そこで、他府県等からの応援を得るなどして、避難所等における健康相談、健康教育等の保健活動を引き続き強化していく。

② 主な活動内容

ア．避難所における巡回健康相談・指導

・保健知識の普及啓発

・要医療者の受診勧奨

・医療情報の提供等

イ．在宅の要援護者への訪問指導

・健康状況、療養状況の把握

・保健、福祉施策の活用指導（訪問看護、ホームヘルパー、福祉機器導入等）

資料3- 1-19　救護所の再編について

平成７年２月28日

救護所の再編について

	２　月	３　月～
	常　駐	常　駐
東灘区	２８	１２
灘　区	２０	１２
中央区	２４	１５
兵庫区	１１	８
長田区	２８	１９
須磨区	１０	８
計	１２１	７４

(注)常駐の救護所が置かれていない避難所は巡回診療で対応

夜間対応

東灘区　　東灘診療所　　２４時間化
灘　区　　保健所に夜間の常駐班設置
中央区　　保健所に夜間の常駐班設置
兵庫区　　保健所に夜間の常駐班設置
長田区　　西市民病院　２４時間対応
須磨区　　保健所に夜間の常駐班設置

資料3- 1-20　神戸市立中央市民病院東灘診療所の24時間対応について

平成７年２月２８日

神戸市立中央市民病院東灘診療所の２４時間対応について

１　趣旨　　東灘区内の避難所において、３月１日より、２４時間対応の救護所は昼間対応に移行する。（２月２８日現在、救護所数：２８ヵ所　内２４時間対応：８ヵ所）

それに合わせ、避難住民の夜間の医療ニーズに対応するため、東灘診療所の２４時間対応を行う。

２　期間　　平成７年３月１日～

３　診療体制

①午前９時３０分～午後５時	内、小、外、整、産、眼、耳鼻
②午後５時～午後８時	内、小、外
③午後８時～翌午前９時３０分	内

資料3- 1-21　救護活動における診療・搬送件数

救護活動診療件数

	東灘			灘			中央			兵庫			長田			須磨			北	垂水
日付	常設件数	巡回件数	小計	常設件数	巡回件数	小計	常設件数	巡回件数	小計	常設件数	巡回件数	小計	常設件数	巡回件数	小計	常設件数	巡回件数	小計	巡回件数	巡回件数
1月17日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	20	11	-
18日	-	-	0	380	416	796	395	395	790	-	478	478	84	29	113	11	110	121	-	-
19日	380	-	380	780	1047	1827	449	449	898	-	684	684	970	931	1901	185	170	355	-	-
20日	638	-	638	615	857	1472	175	175	350	-	614	614	767	870	1637	322	273	595	-	-
21日	1249	156	1405	893	1190	2083	590	590	1180	671	1058	1729	729	683	1412	596	232	828	-	-
22日	1338	58	1396	813	1111	1924	475	475	950	770	1194	1964	1026	1127	2153	539	243	782	-	115
23日	1519	192	1711	529	558	1087	596	489	1085	461	669	1130	850	1054	1904	892	276	1168	33	63
24日	1452	55	1507	315	418	733	1078	315	1393	467	448	915	1306	1270	2576	898	150	1048	13	77
25日	1409	80	1489	471	319	790	844	77	921	567	260	827	1286	1303	2589	553	303	856	30	22
26日	1429	72	1501	913	253	1166	999	260	1259	594	348	942	1855	477	2332	838	204	1042	-	47
27日	1339	66	1405	1249	389	1638	770	63	833	497	251	748	1854	272	2126	716	291	1007	5	31
28日	1096	71	1167	887	330	1217	878	85	963	530	280	810	1635	273	1908	1035	113	1148	12	25
29日	1156	52	1208	935	310	1245	1010	80	1090	517	424	941	1701	203	1904	1033	94	1127	-	41
30日	990	69	1059	1097	285	1382	794	57	851	509	233	742	1566	50	1616	868	125	993	-	39
31日	1171	80	1251	929	185	1114	857	52	909	404	189	593	1487	25	1512	572	72	644	7	44
2月 1日	1211	71	1282	936	166	1102	962	30	992	546	182	728	1358	0	1358	652	56	708	15	28
2日	1164	33	1197	921	176	1097	906	117	1023	566	212	778	1555	16	1571	660	67	727	1	27
3日	1050	24	1074	806	81	887	906	117	1023	538	110	648	1609	35	1644	674	72	746	1	18
4日	905	26	931	943	177	1120	1246	59	1305	502	163	665	1402	17	1419	456	47	503	18	12
5日	824	25	849	966	188	1154	1046	108	1154	448	157	605	1396	0	1396	516	54	570	3	19
6日	770	79	849	856	163	1019	1004	47	1051	433	64	497	1298	0	1298	636	58	694	5	16
7日	772	10	782	894	242	1136	969	76	1045	561	156	717	1168	0	1168	583	145	728	18	21
8日	998	11	1009	842	148	990	939	55	994	469	104	573	1111	0	1111	563	69	632	12	6
9日	908	11	919	778	181	959	931	49	980	450	122	572	1135	0	1135	636	41	677	2	6
10日	825	17	842	769	212	981	733	51	784	494	108	602	1169	0	1169	516	28	544	4	6
11日	890	51	941	719	205	924	889	93	982	468	90	558	1108	0	1108	533	45	578	11	11
12日	797	13	810	779	176	955	829	117	946	406	48	454	1162	0	1162	582	171	753	3	8
13日	774	2	776	679	158	837	766	68	834	418	101	519	1089	0	1089	522	34	556	13	5
14日	713	8	721	611	135	746	789	78	867	406	56	462	1080	0	1080	465	27	492	5	4
15日	706	28	734	664	167	831	776	67	843	377	55	432	1134	0	1134	449	21	470	7	12
16日	695	25	720	652	118	770	732	80	812	375	71	446	1085	0	1085	548	23	571	5	8
17日	722	5	727	697	142	839	728	117	845	356	66	422	1003	0	1003	442	16	458	5	7
18日	753	4	757	637	69	706	658	83	741	332	73	405	1054	0	1054	464	32	496	0	10
19日	806	22	828	658	122	780	710	55	765	323	57	380	924	0	924	419	35	454	0	13
20日	618	17	635	608	111	719	628	95	723	382	70	452	930	0	930	449	23	472	0	11
21日	647	1	648	527	103	630	591	60	651	384	66	450	901	0	901	405	35	440	0	11
22日	690	1	691	595	143	738	568	69	637	329	66	395	848	0	848	397	39	436	3	8
23日	666	2	668	445	121	566	548	41	589	274	80	354	878	0	878	341	22	363	8	8
24日	559	2	561	442	88	530	603	93	696	260	78	338	834	0	834	359	67	426	-	10
25日	550	10	560	436	87	523	516	65	581	249	118	367	781	0	781	347	36	383	-	8
26日	480	11	491	411	145	556	513	66	579	186	125	311	800	0	800	287	35	322	-	4
27日	430	29	459	395	155	550	515	74	589	253	139	392	765	0	765	365	45	410	3	7
28日	399	15	414	295	122	417	361	44	405	224	143	367	777	0	777	316	43	359	3	17
3月 1日	286	28	314	304	133	437	382	94	476	201	132	333	677	67	744	256	45	301	-	4
2日	273	18	291	241	95	336	402	113	515	178	126	304	619	24	643	260	32	292	9	6
3日	283	22	305	272	103	375	361	99	460	211	106	317	562	64	626	263	34	297	-	5
4日	253	0	253	239	91	330	375	105	480	240	124	364	606	41	647	243	27	270	-	6
5日	253	2	255	205	57	262	353	90	443	197	95	292	500	26	526	217	30	247	-	12
6日	269	2	271	180	115	295	369	85	454	194	145	339	532	34	566	247	33	280	2	6
7日	209	0	209	221	102	323	346	105	451	222	127	349	571	29	600	207	24	231	2	10
8日	85	0	85	166	70	236	330	97	427	206	103	309	560	32	592	181	37	218	-	9
9日	115	0	115	183	73	256	327	88	415	219	123	342	523	27	550	185	36	221	8	6
10日	100	0	100	167	79	246	327	83	410	194	110	304	480	45	525	166	53	219	4	10
11日	104	0	104	129	66	195	242	66	308	142	80	222	473	61	534	166	22	188	-	5
12日	54	0	54	129	67	196	262	83	345	121	56	177	481	33	514	139	36	175	-	9
13日	87	0	87	136	47	183	280	79	359	145	90	235	438	28	466	148	39	187	5	5
14日	66	0	66	122	36	158	257	73	330	135	79	214	372	25	397	113	21	134	1	11
15日	63	0	63	159	35	194	250	53	303	103	80	183	460	28	488	121	32	153	-	7
16日	82	0	82	125	47	172	245	104	349	151	75	226	411	29	440	130	34	164	14	10
17日	74	0	74	142	28	170	256	114	370	113	43	156	411	22	433	142	24	166	2	8
18日	0	0	0	117	46	163	235	118	353	110	59	169	419	11	430	109	26	135	-	10
19日	0	0	0	108	45	153	214	104	318	116	64	180	377	18	395	125	18	143	-	9
20日	0	0	0	104	35	139	192	105	297	110	26	136	341	12	353	92	17	109	2	6
21日	19	0	19	101	34	135	159	66	225	109	56	165	379	23	402	94	29	123	-	9
22日	0	0	0	105	64	169	196	83	279	133	50	183	283	23	306	83	22	105	-	5
23日	42	0	42	100	52	152	158	94	252	95	43	138	259	28	287	79	25	104	-	8
24日	33	0	33	78	40	118	163	73	236	9	37	46	232	17	249	83	21	104	0	11
25日	49	0	49	92	55	147	184	74	258	95	30	125	235	23	258	77	18	95	-	4
26日	10	0	10	89	40	129	123	61	184	85	39	124	235	27	262	64	13	77	-	7
27日	26	0	26	55	57	112	124	48	172	116	35	151	226	15	241	22	27	49	-	3
28日	34	0	34	62	46	108	125	51	176	106	52	158	235	19	254	0	28	28	-	6
29日	41	0	41	44	57	101	97	36	133	57	34	91	206	16	222	0	16	16	0	9
30日	19	0	19	36	45	81	67	14	81	91	43	134	191	13	204	0	23	23	-	5
31日	39	0	39	7	31	38	80	41	121	31	18	49	105	8	113	0	11	11	1	4

4月 1日		0	0		0	0	30	9	39		7	7	63	63	126	4	7	11	0	0
2日		0	0		0	0	23	9	32		1	1	89	81	170	1	14	15	0	0
3日		0	0		0	0	33	19	52		19	19	76	76	152	5	7	12	0	0
4日		0	0		0	0	35	9	44		7	7	50	50	100	4	13	17	0	3
5日		0	0		0	0	22	4	26		23	23	58	58	116	6	5	11	0	0
6日		0	0		0	0	25	9	34		14	14	70	70	140	5	17	22	0	0
7日		0	0		0	0	25	11	36		20	20	55	55	110	3	16	19	0	0
8日		0	0		0	0	31	14	45		10	10	68	68	136	2	4	6	0	0
9日		0	0		0	0	21	14	35		0	0	87	87	174	1	15	16	0	0
10日		0	0		0	0	23	11	34		13	13	28	28	56	1	6	7	0	9
11日		0	0		0	0	16	5	21		4	4	29	29	58	2	12	14	0	0
12日		0	0		0	0	18	5	23		12	12	34	34	68	5	8	13	0	0
13日		0	0		0	0	18	2	20		4	4	18	18	36	2	12	14	0	0
14日		0	0		0	0	8	11	19		5	5	21	21	42	0	1	1	0	0
15日		0	0		0	0	10	5	15		8	8	24	24	48	3	7	10	0	0
16日		0	0		0	0	11	0	11		0	0	17	17	34	1	3	4	0	0
17日		0	0		0	0	9	23	32		2	2	6	6	12		0	0	0	0
18日		0	0		0	0	10	5	15		2	2	6	6	12		3	3	0	6
19日		0	0		0	0	10	5	15		0	0	8	8	16		5	5	0	0
20日		0	0		0	0	8	6	14		3	3	10	10	20		8	8	0	0
21日		0	0		0	0	4	13	17		0	0	7	7	14		2	2	0	0
22日		0	0		0	0	3	3	6		2	2	10	10	20		6	6	0	0
23日		0	0		0	0	5	5	10		0	0	2	2	4		6	6	0	0
24日		0	0		0	0	4	13	17		0	0	10	10	20		0	0	0	0
25日		0	0		0	0	2	2	4		0	0	7	17	24		7	7	0	4
26日		0	0		0	0	2	2	4		0	0		0	0		1	1	0	0
27日		0	0		0	0	2	2	4		0	0		0	0		8	8	0	0
28日		0	0		0	0	2	13	15		0	0		0	0		0	0	0	0
29日		0	0		0	0	0	0	0		0	0		0	0		6	6	0	0
30日		0	0		0	0	0	0	0		0	0		0	0		3	3	0	0
合計	39456	1576	41032	33985	13660	47645	39163	8364	47527	21231	12446	33677	60722	10358	71080	26697	5117	31814	306	1072

	合計		
	常設件数	巡回件数	合計
1月17日	-	31	31
18日	870	1428	2298
19日	2764	3281	6045
20日	2517	2789	5306
21日	4728	3909	8637
22日	4961	4323	9284
23日	4847	3334	8181
24日	5516	2746	8262
25日	5130	2394	7524
26日	6628	1661	8289
27日	6425	1368	7793
28日	6061	1189	7250
29日	6352	1204	7556
30日	5824	858	6682
31日	5420	654	6074
2月 1日	5665	548	6213
2日	5772	649	6421
3日	5583	458	6041
4日	5454	519	5973
5日	5196	554	5750
6日	4997	432	5429
7日	4947	668	5615
8日	4922	405	5327
9日	4838	412	5250
10日	4506	426	4932
11日	4607	506	5113
12日	4555	536	5091
13日	4248	381	4629
14日	4064	313	4377
15日	4106	357	4463
16日	4087	330	4417
17日	3948	358	4306
18日	3898	271	4169
19日	3840	304	4144
20日	3815	327	3942
21日	3455	276	3731
22日	3427	329	3756
23日	3152	282	3434
24日	3057	338	3395
25日	2879	324	3203
26日	2677	386	3063
27日	2723	452	3175
28日	2372	387	2759
3月 1日	2106	503	2609
2日	1973	423	2396
3日	1952	433	2385
4日	1956	394	2350
5日	1725	312	2037
6日	1791	422	2213
7日	1776	399	2175
8日	1528	348	1876
9日	1552	361	1913
10日	1434	384	1818
11日	1256	300	1556
12日	1186	284	1470
13日	1234	293	1527
14日	1065	246	1311
15日	1156	235	1391
16日	1144	313	1457
17日	1138	241	1379
18日	990	270	1260
19日	940	258	1198
20日	839	203	1042
21日	861	217	1078
22日	800	247	1047
23日	733	250	983
24日	598	199	797
25日	732	204	936
26日	606	187	793
27日	569	185	754
28日	562	202	764
29日	445	168	613
30日	404	143	547
31日	262	114	376

4月 1日	97	86	183
2日	113	105	218
3日	114	121	235
4日	89	82	171
5日	86	90	176
6日	100	110	210
7日	83	102	185
8日	101	96	197
9日	109	116	225
10日	52	67	119
11日	47	50	97
12日	57	59	116
13日	38	36	74
14日	29	38	67
15日	37	44	81
16日	29	20	49
17日	15	31	46
18日	16	22	38
19日	18	18	36
20日	18	27	45
21日	11	22	33
22日	13	21	34
23日	7	13	20
24日	14	23	37
25日	9	30	39
26日	2	3	5
27日	2	10	12
28日	2	13	15
29日	0	6	6
30日	0	3	3
合計	221254	52899	274153

資料3- 1-22　神戸市医師会各区診療状況

神戸市医師会 各区診療状況

平成7年2月6日（月）
PM. 3：00　現在

	病院		診療所		合計
	診療可	連絡不通	診療可	連絡不通	
東灘区	4	1	127	60	192
灘区	8	0	105	48	161
中央区	12	0	150	99	252
兵庫区	11	1	119	42	173
北区	18	0	100	2	120
長田区	11	1	95	56	163
須磨区	11	0	88	24	123
垂水区	6	0	134	10	150
西区	16	0	74	1	91
	107	3	973	342	
	110		1，315		
	1，425				

資料3- 1-23　市内診療所・病院開設状況.

市内診療所・一般病院　　平成7年2月25日現在

開設状況

(1)診療所開設状況

	1月26日（木）	2月2日(木)	2月9日(木)	2月16日(木)	2月23日(木)	2月25日（土）
東　　区	26.4% (51箇所/193箇所)	63.7 (123 /193)	65.8 (127 /193)	72.0 (139 /193)	74.6 (144 /193)	76.7 (148 /193)
区	46.5 (73 /157)	63.7 (100 /157)	66.9 (105 /157)	69.4 (109 /157)	72.0 (113 /157)	74.7 (118 /158)
中　　央	10.9 (29 /265)	41.5 (110 /265)	49.4 (131 /265)	52.5 (139 /265)	66.8 (177 /265)	73.1 (193 /264)
兵　　庫	54.8 (91 /166)	65.1 (108 /166)	71.7 (119 /166)	70.5 (117 /166)	75.9 (126 /166)	77.7 (129 /166)
長　　田	13.5 (21 /155)	36.8 (57 /155)	61.3 (95 /155)	61.9 (96 /155)	72.3 (112 /155)	74.2 (115 /155)
須　　磨	33.1 (39 /118)	35.6 (42 /118)	74.6 (88 /118)	75.4 (89 /118)	87.3 (103 /118)	89.0 (105 /118)
計	28.8 (304 /1054)	51.2 (540 /1054)	63.1 (665 /1054)	65.4 (689 /1054)	73.5 (775 /1054)	76.7 (808 /1054)

*開設診療所／全診療所

(2)外来診療を行う市内一般病院（平成7年2月25日現在）

	東　区	区	中　央	兵　庫	長　田	須　磨	計
全　　数	5	8	22	12	12	12	71
開 設 数	4	8	21	11	11	10	65
計	80.0	100.0	95.5	91.7	91.7	83.3	91.5

資料3- 1-24　市民病院などの患者数一覧（２月末までの実績）

（参考）市民病院等の患者数一覧

（単位：人）

月日	中央市民病院			東灘診療所	西市民病院		西神戸医療C		
	入院	一般外来	救急外来	一般外来	救急外来		入院	一般外来	救急外来
1月17日	963	369（49）		約30	不詳		350	318	106
1月18日	973	228（15）		※ 0	234		370	521	53
1月19日	974	247（11）		約20	336		376	615	92
1月20日	907	294（13）		84	393		375	833	37
1月21日	858	182（7）		130	197		363	96	84
1月22日	785	198（25）		94	206		353	59	47
1月23日	752	474（31）		146	483		366	999	29
1月24日	748	600	108（41）	121	494		380	814	45
1月25日	744	601	85（24）	134	487		398	924	22
1月26日	728	591	91（25）	143	403		389	696	47
1月27日	722	649	65（17）	121	399		387	781	16
1月28日	709	0	133（20）	86	172		396	37	49
1月29日	703	0	95（11）	73	94		376	0	66
1月30日	700	664	56（13）	115	384		384	790	12
1月31日	685	630	51（15）	89	327		377	688	26
2月1日	672	709	46（12）	121	335		384	886	17
2月2日	663	731	51（13）	89	313		383	734	22
2月3日	666	873	51（19）	118	329		395	931	15
2月4日	653	0	72（15）	80	103		386	0	73
2月5日	646	0	63（8）	67	61		391	0	56
2月6日	643	1011	35（7）	114	409		410	990	13
2月7日	637	988	33（12）	88	365		410	861	13
2月8日	640	1131	52（14）	91	322		416	1002	15
2月9日	652	902	40（16）	96	327		423	786	24
2月10日	651	1022	50（12）	85	281		417	950	19
2月11日	635	0	80（6）	63	57		404	0	114
2月12日	635	0	68（10）	46	35		416	0	32
2月13日	636	832	48（15）	104	305		407	838	15
2月14日	643	799	31（13）	85	258		404	719	25
2月15日	642	745	35（11）	105	229		410	875	18
2月16日	652	731	45（10）	111	207		419	809	23
2月17日	654	810	50（13）	114	214		416	948	12
2月18日	650	0	59（8）	63	（引越）0		411	0	66
2月19日	649	0	70（11）	60	24		394	0	51
2月20日	659	894	43（11）	113	191	5	404	992	13
2月21日	706	936	36（3）	89	202	10	404	856	21
2月22日	697	1065	41（9）	100	252	10	398	1029	17
2月23日	691	908	43（8）	88	198	5	406	791	38
2月24日	697	950	44（11）	95	271	3	402	920	15
2月25日	702	0	74（16）	64	0	35	391	0	89
2月26日	697	0	84（17）	65	0	25	385	0	54
2月27日	702	982	40（8）	110	233	5	389	929	8
2月28日	731	865	34（8）	80	260	3	384	733	29

２）主な業務の経過（１月17日～２月28日）

ここに示す実績は、震災直後に聞き取ったものを記録として並べたものである。

（１）生活環境、衛生活動の経過

１月１７日　保健所から救急薬品が足りないと連絡がある。

１８日　けがの状況などの報告がある。職員の出務状況を把握する。最低必要要員以外は各保健所で応援要員として出務する。

１９日　局長通知「救護班活動について」を各保健所に送付する。衛生局の１月中の緊急体制を作成する。防疫用薬剤（ｸﾚｿﾞｰﾙ、ｵｽﾊﾟﾝ等）発注する。浴場等の入浴施設の開始状況情報の提供を開始する。

２０日　保健所による避難所巡回等により、避難所における弁当等の衛生対策をはじめる。

２１日　肩掛け噴霧器発注する。

２２日　防疫用消毒薬（手指消毒剤）発注する。

２３日　受入可能火葬場一覧を作成する。動物救援本部設置（兵庫県獣医師会事務所内）する。

２４日　自衛隊、兵庫県保健環境部生活衛生課から被災者における入浴場の確保について連絡がある。野営風呂を１か所設置する。
全避難所へ一般薬の配送する。避難所にシャワーを設置する。

２５日　浴場のうち営業可能な浴場の調査をする。

２７日　公衆浴場に、以後毎日３～６施設に給水する営業支援をはじめる。
殺虫剤（薫煙剤）を発注する。避難所における食品の衛生確保について局長通知する。

２９日　県がインフルエンザ予防接種市内４カ所ではじめる。全国クリーニング環境衛生同業組合連合会長が来庁する。日食協常務理事来庁する。
避難所に仮設浴場を設置する。

３０日　臨時保健所長会を開催する。
この時点の衛生対策の体制について
（1）避難所等の衛生確保：
避難所の便所などの衛生確保のため、他都市の協力を得ながら消毒用機材や薬剤を供給し、手指消毒方法の指導などを実施する。防疫体制として、各保健所１班（他都市応援の際には増やす）設置する。
（２）食品の衛生確保：
避難所における手弁当類食品の衛生確保強化のため、全市保健所に巡回指導の指示をするするとともに製造年月日などの表示が不適切な弁当類などについて製造施設を管轄する保健所に指導を依頼する。指導体制は、各保健所１～２班で編成する。中央・長田・須磨は実施済み。指導内容は、保管場所、日付管理、早めの喫食、用便後の手洗い消毒、飲料水の衛生である。

３１日　臨時保健所長会を開催し、各保健所対応状況、今後の対応の課題、勤務体制についてを確認する。他都市応援により、東灘３～４班、灘１班、長田３～５班の防疫班を配置する。

２月　１日　日食協が大阪、兵庫、神戸食協とで対策会議予定する。

３日　避難所への毛布乾燥車開始する（１台）。ふとん乾燥車を１～２台配車はじめる。ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ予防接種175人に実施する。

４日　水痘ﾜｸﾁﾝが阪大微研より30人分提供される。糖尿病の相談窓口について検討する。神戸市震災復興本部関係課長会が開催される。避難所における要介護老人の緊急一時受入施設（避難所）の開設について協議する。

６日　心障歯科診療所の歯科診療開始を広報する。

７日　コインランドリー開設情報状況の提供を開始する。
阪神大震災に伴う医療協力について、神戸大学医学部と連絡する。避難所及び在宅の要援護者の実態調査に関する検討会を行う。他都市応援の防疫班、東灘、灘、中央、兵庫、長田保健所に配置する。

８日　広島市から防疫対策派遣打診がある。京都市、大阪市の環境衛生担当幹部来庁する。全国ｸﾘｰﾆｰﾝｸﾞ環同組合大阪支部他が来庁する。

９日　1次要援護者緊急対策について検討する。ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ予防接種の継続実施について広報を行う。

１０日　本庁課長会を開催し、今後の保健所における事業展開、救護所の今後について、要援護老人の緊急一時受入状況について検討する。

１２日　防疫所破損箇所を点検する。日本トイレ協会よりトイレ物資提供がある。

１３日　市会全体議員総会がある。

１４日　臨時保健課長会が開催する。

１６日　神戸市災害対策本部本部員会議が開催される。

１７日　阪神大震災に伴う地域活動の実績報告が各保健所からある。
衛生課長会議で今後の衛生確保策について協議する。

２０日　本庁課長会が開催される。他都市応援防疫班を東灘２班、長田３班配置する。

２１日　コープこうべと石材連合会による墓石応急復旧協議会発足する。

２２日　第１回衛生局災害対策本部会議を開催する。

２３日　第１回保健医療福祉復興県民会議が開催される。

２４日　第２回衛生局災害対策本部会議（各課進捗状況、出務体制）が開催される。

２５日　市内の衛生対策の現状は、

（1）避難所等の衛生確保：

避難所などへの消毒剤および機材の供給、自主管理体制の指導、避難所の便所・市民トイレ・廃棄物集積所・下水道分岐部などの衛生状態の悪化の防止のための点検、監視、現状把握、必要に応じて消毒作業を行う。防疫体制としては、各保健所１班設置し、これに他都市からの応援数班があたる。防疫1班あたり平均作業者３人である。被災地６保健所への消毒用薬剤の配布状況は、ｸﾚｿﾞｰﾙ（５００ml入）7700本、逆性石鹸液（500ml入）800本である。１班の平均班構成人数は３人である。仮設便所の集合設置場所は10か所、公

園や多数集合場所等の公衆便所は３か所、避難所は３か所である。薬剤使用量の標準はｸﾚｿﾞｰﾙ30本、逆性石鹸液30本である。

（２）食品の衛生確保：

食品衛生巡回指導班を各保健所１班設け、避難所の食品衛生指導を実施する。

（２）救護所関係

１月１７日　日赤による救護班の編成。

２２日　神戸市災害対策本部への職員の派遣について依頼がある。
精神科救護所を長田、中央保健所に設置する。

２４日　精神科救護所を、被災６区全部に設置が完了する。

２６日　厚生省の指示により、都道府県、国立病院より救護班の派遣がある。
救護体制、常設125班、巡回27班。

２７日　外国医療チームについて厚生省より連絡がある。
精神科救護班設置の避難所への周知徹底について通知する。

２９日　市国際課より、アメリカ医療団（1/23～1/28）、フランス医師団アムダ（国境なき医療団）、アメリカからの救世軍、サンジェゴからの支援について連絡がある。神戸市薬剤師会からボランティアの申し入れがある。

２月　６日　救護活動日誌の作成について局長通知を行う。

９日　兵庫区臨時保健・医療相談ｾﾝﾀｰの設置を広報する。

１１日　要援護者第１次緊急対策の実施および上記の実態の把握について報告がある。

１２日　緊急一時受入施設「国民宿舎須磨荘」が開設される。

２４日　マスコミに公衆衛生関係の情報提供として、阪神大震災の被災者に対する保健婦活動を長田保健所保健指導係長、健康増進課主幹が報告する。

２６日　防疫作業日報の作成について、各保健所長に通知する。

（３）市民病院関係

１月１７日　西市民病院から援助要請がある。崩壊病棟患者の救出にあたる。
入院患者を他院へ搬送、公用車、市バスも動員する。

１８日　西神戸医療センターに給水する。兵庫、北、西の３保健所職員が西市民病院に搬送の応援をする。

２２日　中央市民病院の雑用水タンクの使用が可能になる、トイレ、空調など使用できるようになる。

２４日　中央市民１月２４日より全科診療可能となる。受付を午後３時まで延長する。

２月２０日　西市民病院が、長田総合庁舎において仮設診療所をつくり外来診療を再開する

（４）医療機関関係

１月１７日　医療用水については医療機関が連絡した上で、水道局北ｾﾝﾀｰ、奥平野浄水管理事務所に直接受け取りに行った。人工透析の水の確保が問題となる。水・ガス供給ストップし、院内調理不能になったため弁当の支給の要請があり、京阪神の大手に依頼したが資材調達難のため、岡山県環境保健部に業者斡旋依頼する。自衛隊ヘリに給食搬送を依頼する。小型機３機、大型機１機出動となる。

１８日　病院給食を、昼9500食、夜5000食配食する。王子競技場にヘリコプターで給食搬送し、６班体制で各病院に運ぶ。

２３日　神戸市医師会急病診療所を再開する。

２６日　市内聴覚障害者に対する病院紹介のFAXを地域医療課設置する。

２７日　神戸市医師会急病診療所の耳鼻科などの特殊専門科目診療の実施体制を設ける。休日急病電話相談所をもうける。

３１日　フジＴＶが倒壊病院の医療廃棄物、カルテ等の散乱状況について取材する。

２月　２日　診療所マップを市医師会が作成することになる。

８日　緊急非常病院給食の対応について各病院宛に通知する。

１５日　緊急非常病院給食供給を市がするのを終了し、発注業務を兵庫県私立病院協会神戸支部に引き継ぐ。

１９日　外来診療を行う市内一般病院93%、市内歯科診療所開設状況59%になる。

１４日　診療活動が不可能な状態にある病院は、東灘区の宮地病院（建物半壊）、中央区の腎友会病院（建物修繕）、兵庫区の中山病院（建物焼損）、北区の有馬高原病院（一般外来なし）、長田区の飯尾病院（倒壊の危険）、須磨区の須磨裕厚病院（外来診療無し）、須磨区の相信病院（立入禁止）である。

２７日　兵庫県救急医療システム検討委員会が開催される。

（５）厚生省等からの連絡

１月１８日　厚生省健康政策局指導課長が来庁する。

１９日　首相が視察に来る。西市民病院視察。
厚生大臣が視察に来る。厚生省に保健所被災状況報告する

２０日　厚生省から保健医療スタッフ派遣の照会がある。

２１日　厚生省から被災者一部負担金の取り扱いについて通知がある。
大蔵大臣が視察にくる。西市民病院を視察する。

２２日　厚生省が現地対策本部の設置を決定する。

２３日　厚生省健康政策局医事課から外国の医師資格を有する者の医療行為の取り扱いについて通知がある。厚生省現地対策本部業務開始する。

２４日　厚生省健康政策局指導課から医療機関へのマンパワー支援について通知があ

る。厚生省薬務局経済課から被災地における救護ｾﾝﾀｰ等への医薬品の供給について通知がある。

２５日　厚生省生活衛生局企画課から地震の犠牲者の緊急火葬支援体制について通知がある。インフルエンザ調査団がくる。

２６日　厚生省から地震にかかる保健婦の派遣について通知がある。

２７日　インフルエンザの予防接種のため、厚生省エイズ結核感染症課に対して使い捨て注射器、体温計（平測式）を依頼する。厚生省生活衛生局から併設浴場を開放するゴルフ場および浴場施策について連絡がある。

２８日　厚生事務次官、厚生省健康政策局長、厚生省薬務局審議官が来庁する。

２９日　兵庫県薬務課を通じて国にインフルエンザ予防接種器材を要請する。

３０日　板橋俊之課長補佐が、ウエルパス１ﾐﾘのもの500本を要請する。

２月　１日　被災地における保健活動の推進について厚生省より通知がある。

２日　国への要望を企画がまとめ国に要望する。厚生大臣視察について、現地対策本部と調整する。インフルエンｻﾞ予防接種の２月９日以降の件について厚生省と検討する。挫滅症候群における急性腎不全に対する相談窓口から厚生省から健康増進課に通知がある。

４日　厚生大臣が視察にくる。
厚生省食品保健課荒木仁司課長補佐、日食協の玉田節夫総務課長が来庁し、日食協が神戸対策本部を設置して対応したいとの申し入れがある。

５日　兵庫県南部地震対策本部連絡会議幹事会があり、庶務課長、係長が出席する。

６日　ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ接種体制について厚生省から連絡がある。
厚生省健康増進課栄養指導官が来庁する。
神戸市内の精神障害者共同作業所被災状況について社会援護局にﾌｧｯｸｽする。

７日　保健医療情報交換会を厚生省現地対策本部で開催する。
健康政策局指導課から保健医療スタッフ派遣の費用負担に対する回答がある。

９日　厚生省現対本部、市医師会、衛生局で医療情報交換会を開催する。

１４日　結核特対PCRの件について総枠内組み替えについて了解する。
インフルエンザ予防接種について臨時予防接種政令指定の件連絡する。
２月17日以降の医師会の医療機関での実施の件について連絡する。

１６日　２月17日からのインフルエンザ対策について報告する。国庫補助金特別交付の打診をする。

１９日　巡回歯科診療車を受け入れる。

２４日　厚生省から阪神大震災に関する特例措置について通知がある。
厚生省から高齢者・障害者向け地域型仮設寮の整備について通知がある。

２７日　厚生省に、救護活動における診療搬送件数を報告する。
厚生省保険局から被災者に係る一部負担金の取り扱いについて通知がある。

資料3- 1-25　神戸市衛生局の動き

衛生局の動き

日　時	震災関連	衛生局の動き
1．17	・5時46分　兵庫県南部地震発生 ・神戸市防災指令第3号発令 ・神戸市災害対策本部設置	・西市民病院全壊　患者の救出 ・救護班の編成 ・医薬品・医薬材料発注
1．18		・病院給食支援開始（～2／15） ・防疫用車両、防疫用薬剤・器材等整備集積開始 ・市立斎場で火葬業務を開始（本格的には19日から）
1．19	・村山首相　視察 ・厚生大臣　視察 ・政府激甚災害に指定	・「救護班活動について」（局長通知）を各保健所に送付 ・厚生省救援医薬品ヘリコプター搬送
1．20	・厚生省　「兵庫県南部地震にかかる保健医療スタッフの派遣について」を各都道府県に照会	・防疫業務及び避難所弁当の衛生対策開始
1．21	・大蔵大臣視察 ・厚生省「兵庫県南部地震による被災者の一部負担金の取扱いについて」	・他都市斎場による遺体の火葬 ・兵庫県南部地震動物救護本部設置 ・神戸難病相談所（兵庫県難病患者等支援センター）相談業務開始
1．22		・「神戸市災害対策本部への職員の派遣について」他都市に依頼 ・医薬品集積センターの設置（サンボーホールで実施） ・神戸動物救護センター設置（相談業務等一部業務開始） ・精神科救護所設置 ・歯科救護所設置
1．23	・厚生省　現地対策本部設置 ・厚生省　「外国の医師資格を有する者の医療行為の取扱いについて」 ・神戸市医師会急病診療所再開	
1．24	・WHO神戸センター設立承認 ・被災地における入浴場の確保について（兵庫県保健環境部生活衛生課） ・厚生省「被災地における救護センター等への医薬品の供給について」	・全避難所に一般薬配送 ・自衛隊による仮設風呂の設置 ・「防疫体制の強化について」（局長通知）を各保健所に送付 ・他都市防疫作業班の応援を得て防疫作業開始
1．25	・神戸市震災復興本部設置 ・厚生省「兵庫県南部地震の犠牲者の緊急火葬支援体制について」 ・インフルエンザ調査団（1／25、26）	・火葬相談窓口の設置（～31日） ・公衆浴場営業再開支援（燃料の斡旋開始） ・神戸動物救護センター収容業務開始
1．26	・厚生省「兵庫県南部地震にかかる保健婦の派遣について」	・救護班（厚生省、都道府県、国立病院より） ・市内聴覚障害者に対する病院紹介のFAX設置 ・薬剤師の対応について（局長） ・巡回歯科救護班診療開始
1．27		・「精神科救護班」設置の避難所への周知徹底 ・公衆浴場営業再開支援（給水業務開始） ・「避難所における食品の衛生確保について」（局長通知
1．28	・厚生事務次官　来神 ・厚生省健康政策局長　来神 ・厚生省薬務局審議官　来神	

日　時	震災関連	衛生局の動き
1．29	・県　患者のヘリコプター搬送について	・インフルエンザ予防接種実施　　～2／16 ・避難所仮設温水シャワーの設置
1．30		・臨時保健所長会 （各保健所対応状況、今後の対応の課題、勤務体制等）
1．31	・天皇皇后両陛下被災地訪問	
2．　1	・厚生省　「兵庫県南部地震被災地における保健活動の推進について」 ・厚生省　「挫滅症候群における急性腎不全に対する相談窓口について	・派遣保健婦等による巡回健康相談開始
2．　2		・避難所毛布乾燥開始
2．　3		・医薬品集積センターを国際展示場（ポートアイランド）に移転
2．　4		・「避難所における要介護老人の緊急一時受入施設（避難所）の開設について」（衛生局、民生局）
2．　5	・兵庫県南部地震対策本部連絡会議幹事会	
2．　6		・救護活動日誌の作成について（局長）
2．　7	・第1回神戸市復興計画検討委員会	・市立心障歯科診療所において歯科診療開始 ・コインランドリー開設情報提供開始
2．　8		・「緊急非常病院給食の対応について」（各病院あて）
2．　9		・医療情報交換会開催（厚生省現地対策本部、市医師会衛生局）
2．10		・兵庫区　臨時保健・医療相談センターの設置
2．12	・緊急一時受入施設「国民宿舎須磨荘」の開設設について（民生局）	
2．13	・市会全体議員総会	
2．14	・政府が「阪神・淡路大震災」と命名	・臨時保健課長会
2．15	・市会本会議	
2．17	・復興3法成立	・「避難所における衛生確保指針」を策定し、指導啓発を強化
2．20		・西市民病院が移転、長田区総合庁舎、仮設診療所で再開 ・「被災地における当面の結核対策について（局長通知）
2．22		・「受水槽給水施設の水道復旧に係る指導の強化について」（各保健所長あて　局長通知）
2．24	・厚生省「阪神・淡路大震災による被災者に係る一部負担金の取扱いについて」 ・厚生省「高齢者・障害者向け地域型仮設寮の整備について」	

日　時	震災関連	衛生局の動き
3．　1		・食品衛生及び環境衛生関係営業施設の全市一斉調査開始
3．　5	・神戸市合同慰霊祭（神戸文化ホール）	
3．　6		・乳幼児ツベルクリン反応検査・ＢＣＧ接種の開始（全保健所
3．12		・避難所弁当の収去検査開始
3．16		・住民健診開始（～３１日）
3．18		・「受水槽給水施設の水道復旧に係る留意事項について（住宅局長、教育委員会事務局長あて通知）
3．27	・神戸市復興計画ガイドライン策定	
4．　1	・（財）阪神・淡路大震災復興基金設立（設立者　県・市）	・露天営業等の衛生指導強化
4．　4	・政府の現地対策本部廃止	
4．11		・火葬費清算受付開始（～２４日）
4．15	・神戸市復興計画審議会第１回会議開催	
4．22	・第１回神戸市復興計画審議会開催	
4．25		・栄養指導車による巡回栄養指導（～6／29）
4．30		・救護所の終息
5．　8	・神戸市消防局基本計画策定にかかる基本的事項（答申）	
5．　9	・神戸市避難所実態調査始まる（5／9～16	
5．13		・神戸動物救護センター移転（鵯越墓園内）
5．15	・神戸市会５月市会開会	
5．17	・高齢者障害者向け地域仮設住宅２次募集開始	
5．16		
5．19	・国の７年度補正予算成立	
5．30		・医薬品集積センターの業務終了
6．　8	・兵庫県議選神戸市市議選告示	
6．　9	・西区の避難所９区で初めて解消される	
6．29	・神戸市復興計画審議会答申	
6．30	・神戸市復興計画策定	

3）業務実績の推移

公衆衛生活動に関係する、埋火葬件数、浴場件数、避難所数、救護所および救護班数、活動病院数、活動診療所数、活動歯科診療所数、精神保健相談件数、精神病院入院件数、医療ボランティア活動者数についての実績の推移を示す。

ここで示す実績は、震災後の推移をみることを目的として、震災直後の混乱した中で、神戸市衛生局が管轄している業務の状況を把握するために様式を定めて作成していた日報をもとに作成したものである。したがって、混乱期の中での暫定的な集計であるため日報の実績の修正がその後生じている。そのため、確定した数値がその後得られたものについては、可能な限り修正して以下に示す。

（1）埋火葬業務（累積件数の推移）

	火葬場別の実績				
	鴨越	西神	甲南	他都市	総数
1月29日	1222	406	305	376	2309
1月30日	1309	433	320	385	2447
1月31日	1384	455	343	385	2567
2月 1日	1435	462	368	385	2650
2月 3日	1556	493	386	380	2815
2月 4日	1595	503	395	380	2873
2月 5日	1595	503	395	380	2873
2月 6日	1651	517	410	380	2958
2月 7日	1672	526	414	380	2992
2月 8日	1712	541	422	380	3055
2月10日	1775	562	435	380	3152
2月11日	1812	567	437	380	3196
2月12日	1847	577	442	380	3246
2月13日	1847	577	442	380	3246
2月14日	1890	587	452	380	3309
2月15日	1926	597	458	380	3361
2月16日	1955	602	465	380	3402
2月17日	1987	609	472	380	3448
2月18日	2019	614	478	380	3491
2月19日	2019	614	478	380	3491
2月20日	2056	623	489	380	3548
2月21日	2078	628	499	380	3585
2月22日	2110	635	500	380	3625
2月23日	2139	641	503	380	3663

（2）浴場確保

	自衛隊仮設	仮設シャワー	一般浴場	民間施設	計
1月30日	9	4	18	17	48
1月31日	12	5	19	18	54
2月 1日	13	5	23	22	63
2月 2日	13	5	23	22	63
2月 3日	16	5	30	20	71
2月 4日	16	5	33	21	75
2月 5日	16	8	33	21	78
2月 6日	16	10	35	20	81
2月 7日	16	10	37	20	83
2月 8日	16	10	37	20	83
2月 9日	16	10	37	20	83
2月10日	16	10	40	20	86
2月11日	16	16	40	20	92
2月12日	16	16	40	19	91
2月13日	16	16	43	21	96
2月14日	16	16	45	21	98
2月15日	16	25	45	21	107
2月16日	16	25	45	21	107
2月17日	16	25	48	19	108
2月18日	16	25	50	19	110
2月19日	16	25	51	19	111
2月20日	16	25	51	19	111
2月21日	16	31	52	18	117
2月22日	16	31	52	17	116
2月23日	16	31	52	17	116
2月24日	16	31	52	17	116
2月25日	16	31	52	17	116
2月26日	16	31	56	18	121
2月27日	16	31	56	18	121
2月28日	16	31	57	17	121
3月 1日	16	31	59	17	123
3月 2日	16	31	59	17	123
3月 3日	16	42	61	16	135
3月 4日	16	42	61	16	135
3月 5日	16	42	61	16	135
3月 6日	16	42	61	16	135
3月 7日	15	42	61	16	134
3月 8日	15	42	63	16	136
3月 9日	15	42	63	16	136
3月10日	15	42	63	16	136
3月11日	14	42	63	16	135
3月12日	14	41	65	21	141
3月13日	14	41	65	23	143
3月14日	14	41	65	24	144
3月15日	14	41	65	22	142
3月16日	14	41	65	22	142
3月17日	14	41	67	22	144
3月18日	14	41	67	22	144
3月19日	14	41	67	22	144
3月20日	14	41	68	22	145
3月21日	14	41	68	22	145
3月22日	14	41	68	22	145
3月23日	14	41	70	22	147
3月24日	14	41	71	22	148
3月25日	14	41	73	22	150
3月26日	14	41	74	22	151
3月27日	14	41	75	22	152
3月28日	14	41	75	22	152
3月29日	14	41	75	22	152
3月30日	14	41	75	22	152
3月31日	14	41	75	22	152

（3）避難所数とその推移

	東灘	灘	中央	兵庫	長田	須磨	6区計	9区計
1月17日	37	70	86	93	71	67	424	497
1月24日	120	66	81	93	77	69	506	589
1月26日	120	74	84	96	78	67	519	599
2月 1日	110	74	87	92	60	66	489	564
2月 7日	100	74	87	89	59	61	470	539
3月 1日	100	69	77	79	58	53	436	485
4月 1日	95	62	58	62	54	50	381	416

(4) 救護所数と救護班数の推移

①常設救護所数

	東灘	灘	中央	兵庫	長田	須磨	北	垂水	計
1月17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月21日	10	2	0	0	1	1	0	0	14
1月22日	17	2	0	1	3	3	0	0	26
1月23日	18	2	1	1	3	3	0	0	28
1月24日	19	9	12	6	8	5	0	0	59
1月25日	20	8	14	6	10	9	0	0	67
1月26日	27	22	29	11	25	11	0	0	125
1月27日	27	22	29	13	29	11	0	0	131
1月28日	30	22	28	13	28	11	0	0	132
1月29日	30	22	28	13	28	11	0	0	132
1月30日	31	22	26	13	30	11	0	0	133
1月31日	33	20	26	13	31	12	0	0	135
2月 1日	33	23	26	13	31	12	0	0	138
2月 2日	33	23	25	13	31	12	0	0	137
2月 3日	33	23	25	13	31	12	0	0	137
2月 4日	32	23	25	13	31	12	0	0	136
2月 5日	32	23	26	13	30	11	0	0	135
2月 6日	32	23	26	14	29	11	0	0	135
2月 7日	34	22	28	14	29	12	0	0	139
2月 8日	32	22	25	14	29	11	0	0	133
2月 9日	32	22	25	14	29	11	0	0	133
2月10日	32	22	24	14	29	11	0	0	132
2月11日	32	22	24	14	29	11	0	0	132
2月12日	32	22	24	14	29	11	0	0	132
2月13日	32	22	24	15	29	11	0	0	133
2月14日	32	22	24	14	29	11	0	0	132
2月15日	32	22	22	14	29	11	0	0	130
2月16日	32	21	24	14	29	12	0	0	132
2月17日	32	21	24	14	29	12	0	0	132
2月18日	32	21	24	14	29	12	0	0	132
2月19日	32	21	24	13	29	12	0	0	131
2月20日	32	21	22	13	29	12	0	0	129
2月21日	29	21	22	13	29	12	0	0	126
2月22日	32	21	21	13	29	11	0	0	127
2月23日	32	21	21	13	29	11	0	0	127
2月24日	32	21	21	11	28	11	0	0	124
2月25日	28	21	21	11	27	11	0	0	119
2月26日	28	21	21	11	27	11	0	0	119
2月27日	28	20	24	11	28	10	0	0	121
2月28日	28	20	24	11	28	10	0	0	121
3月 1日	12	12	15	8	20	8	0	0	75
3月 2日	12	12	15	8	20	8	0	0	75
3月 3日	12	12	15	8	20	8	0	0	75
3月 4日	12	12	15	8	19	8	0	0	74
3月 5日	12	12	15	8	19	8	0	0	74
3月 6日	12	12	15	8	19	8	0	0	74
3月 7日	12	12	15	8	19	8	0	0	74
3月 8日	12	12	15	8	19	7	0	0	73
3月 9日	12	12	15	8	19	8	0	0	74
3月10日	12	12	15	8	19	7	0	0	73
3月11日	12	12	15	8	19	7	0	0	73
3月12日	12	12	14	8	19	7	0	0	72
3月13日	12	12	14	8	19	7	0	0	72
3月14日	12	12	13	8	19	7	0	0	71
3月15日	12	12	13	8	19	7	0	0	71
3月16日	12	12	13	8	19	7	0	0	71
3月17日	12	12	13	8	19	7	0	0	71
3月18日	12	11	13	8	19	7	0	0	70
3月19日	12	11	13	8	19	7	0	0	70
3月20日	12	11	13	8	19	7	0	0	70
3月21日	12	10	12	8	19	7	0	0	68
3月22日	12	10	12	8	19	6	0	0	67
3月23日	12	10	12	7	12	5	0	0	58
3月24日	12	10	13	7	12	5	0	0	59
3月25日	12	10	13	7	12	5	0	0	59
3月26日	12	10	13	7	12	5	0	0	59
3月27日	12	9	11	7	11	5	0	0	55
3月28日	12	9	11	7	11	5	0	0	55
3月29日	12	8	9	6	11	5	0	0	51
3月30日	12	7	8	6	11	5	0	0	49
3月31日	12	7	8	6	11	5	0	0	49

②常設２４時間体制救護所数（再掲）

	東灘	灘	中央	兵庫	長田	須磨	北	垂水	計
1月17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月21日	0	2	0	0	0	0	0	0	2
1月22日	3	2	0	1	0	2	0	0	8
1月23日	4	3	1	1	0	2	0	0	11
1月24日	4	5	2	1	2	2	0	0	16
1月25日	10	6	3	1	3	2	0	0	25
1月26日	12	6	4	1	5	2	0	0	30
1月27日	12	6	8	3	5	2	0	0	36
1月28日	12	6	8	3	2	2	0	0	33
1月29日	12	6	8	3	2	2	0	0	33
1月30日	12	8	11	4	2	3	0	0	40
1月31日	13	8	10	3	2	2	0	0	38
2月 1日	13	9	11	3	2	2	0	0	40
2月 2日	13	9	11	4	2	2	0	0	41
2月 3日	13	9	11	4	2	2	0	0	41
2月 4日	13	9	11	4	2	2	0	0	41
2月 5日	13	9	11	4	2	2	0	0	41
2月 6日	13	9	13	4	2	2	0	0	43
2月 7日	13	7	13	3	1	2	0	0	39
2月 8日	12	7	15	2	1	2	0	0	39
2月 9日	12	7	15	2	1	2	0	0	39
2月10日	12	7	14	3	1	2	0	0	39
2月11日	12	7	14	3	2	2	0	0	40
2月12日	12	7	14	3	2	2	0	0	40
2月13日	13	7	15	3	2	2	0	0	42
2月14日	13	7	13	3	2	2	0	0	40
2月15日	13	7	13	3	2	2	0	0	40
2月16日	13	7	13	3	2	2	0	0	40
2月17日	13	7	13	3	2	2	0	0	40
2月18日	13	7	13	3	2	2	0	0	40
2月19日	13	7	13	3	2	2	0	0	40
2月20日	13	7	13	3	2	2	0	0	40
2月21日	14	7	13	3	2	2	0	0	41
2月22日	14	7	12	3	2	2	0	0	40
2月23日	14	7	12	3	2	2	0	0	40
2月24日	14	7	12	2	2	2	0	0	39
2月25日	13	7	12	2	2	2	0	0	38
2月26日	13	7	12	2	2	2	0	0	38
2月27日	8	7	11	2	2	2	0	0	32
2月28日	8	7	11	2	2	2	0	0	32
3月 1日	3	4	8	0	0	2	0	0	17
3月 2日	3	4	8	0	0	2	0	0	17
3月 3日	0	0	3	0	0	0	0	0	3
3月 4日	0	0	3	0	0	0	0	0	3
3月 5日	0	0	3	0	0	0	0	0	3
3月 6日	0	0	3	0	0	0	0	0	3
3月 7日	0	0	4	0	0	0	0	0	4
3月 8日	0	0	4	0	0	0	0	0	4
3月 9日	0	0	4	0	0	0	0	0	4
3月10日	0	0	4	0	0	0	0	0	4
3月11日	0	0	4	0	0	0	0	0	4
3月12日	0	0	4	0	0	0	0	0	4
3月13日	0	0	4	0	0	0	0	0	4
3月14日	0	0	4	0	0	0	0	0	4
3月15日	0	0	4	0	0	0	0	0	4
3月16日	0	0	4	0	0	0	0	0	4
3月17日	0	0	4	0	0	0	0	0	4
3月18日	0	0	4	0	0	0	0	0	4
3月19日	0	0	4	0	0	0	0	0	4
3月20日	0	0	4	0	0	0	0	0	4
3月21日	0	0	4	0	0	0	0	0	4
3月22日	0	0	4	0	0	0	0	0	4
3月23日	0	0	4	0	0	0	0	0	4
3月24日	0	0	4	0	0	0	0	0	4
3月25日	0	0	4	0	0	0	0	0	4
3月26日	0	0	4	0	0	0	0	0	4
3月27日	0	0	3	0	0	0	0	0	3
3月28日	0	0	3	0	0	0	0	0	3
3月29日	0	0	3	0	0	0	0	0	3
3月30日	0	0	3	0	0	0	0	0	3
3月31日	0	0	3	0	0	0	0	0	3

③巡回救護班数（再掲）

	東灘	灘	中央	兵庫	長田	須磨	北	垂水	計
1月17日	3	1	2	0	11	2	2	0	21
1月18日	4	3	4	3	7	2	0	0	23
1月19日	6	5	7	5	6	5	2	0	36
1月20日	8	6	8	8	6	6	0	0	42
1月21日	9	6	9	9	8	8	2	0	51
1月22日	3	6	11	9	6	4	0	4	43
1月23日	2	4	9	9	7	3	2	5	41
1月24日	2	3	2	7	7	3	2	5	31
1月25日	2	3	2	7	8	3	2	6	33
1月26日	2	3	2	4	9	4	0	3	27
1月27日	2	3	3	3	9	4	2	3	29
1月28日	2	3	3	2	10	4	2	3	29
1月29日	2	3	3	2	10	4	0	4	28
1月30日	2	3	2	4	8	3	0	4	26
1月31日	0	3	2	4	7	3	2	4	25
2月 1日	1	3	2	4	3	3	1	5	22
2月 2日	1	4	2	4	5	3	1	3	23
2月 3日	1	4	2	3	6	3	1	3	23
2月 4日	1	3	2	2	6	2	1	3	20
2月 5日	1	3	2	2	6	2	1	2	19
2月 6日	1	4	2	3	2	3	1	1	17
2月 7日	1	4	3	4	2	3	1	1	19
2月 8日	0	4	3	4	2	2	1	1	17
2月 9日	0	4	3	4	2	2	1	1	17
2月10日	0	4	3	3	2	1	1	1	15
2月11日	0	4	2	2	2	1	1	1	13
2月12日	0	4	2	2	2	1	1	2	14
2月13日	0	4	2	2	1	1	1	1	12
2月14日	0	4	2	2	1	1	1	2	13
2月15日	0	4	2	2	2	1	1	2	14
2月16日	0	4	2	1	1	1	1	1	11
2月17日	0	4	2	1	1	1	1	2	12
2月18日	0	4	2	1	1	1	0	0	9
2月19日	0	4	2	1	1	1	0	2	11
2月20日	0	4	2	1	1	1	0	1	10
2月21日	0	4	2	1	1	2	0	1	11
2月22日	0	4	2	1	1	2	1	1	12
2月23日	0	4	2	1	1	2	1	1	12
2月24日	0	4	2	1	1	2	0	2	12
2月25日	0	4	2	1	1	2	0	2	12
2月26日	0	4	2	1	1	2	0	1	11
2月27日	0	2	0	0	0	1	1	1	5
2月28日	0	2	0	0	0	1	1	1	5
3月 1日	0	1	0	0	3	2	0	1	7
3月 2日	0	1	0	0	3	1	1	1	7
3月 3日	0	1	0	0	3	2	0	2	8
3月 4日	0	1	0	0	3	2	0	1	7
3月 5日	0	1	0	0	3	2	0	2	8
3月 6日	0	1	0	0	3	2	1	1	8
3月 7日	0	1	0	0	3	2	1	1	8
3月 8日	0	1	0	0	3	2	0	1	7
3月 9日	0	1	0	0	3	2	1	1	8
3月10日	0	1	0	0	3	2	1	1	8
3月11日	0	1	0	0	3	2	0	1	7
3月12日	0	1	0	0	3	2	0	1	7
3月13日	0	1	0	0	3	2	0	1	7
3月14日	0	1	0	0	3	2	1	1	8
3月15日	0	1	0	0	3	2	1	1	8
3月16日	0	1	0	0	3	2	0	1	7
3月17日	0	1	0	0	3	2	1	1	8
3月18日	0	1	0	0	3	2	1	0	7
3月19日	0	1	0	0	3	2	0	2	8
3月20日	0	1	0	0	3	2	0	1	7
3月21日	0	1	0	0	3	2	0	1	7
3月22日	0	1	0	0	2	2	1	1	7
3月23日	0	1	0	0	3	2	0	1	7
3月24日	0	1	0	0	3	2	0	1	7
3月25日	0	1	0	0	3	2	0	1	7
3月26日	0	1	0	0	3	2	0	1	7
3月27日	0	1	0	0	4	2	0	1	8
3月28日	0	1	0	0	4	2	0	1	8
3月29日	0	1	0	0	4	2	0	1	8
3月30日	0	1	0	0	4	2	0	1	8
3月31日	0	1	0	0	4	1	1	0	7

（5）活動病院数（外来診療を行う）

①一般病院

	東灘	灘	中央	兵庫	長田	須磨	6区計	北	垂水	西	9区計
市内病院数	5	8	21	11	12	12	69	15	7	11	102
1月28日	4	7	20	9	10	10	87%	13	7	11	89%
1月29日	4	7	20	9	10	10	87%	13	7	11	89%
1月30日	4	8	20	10	12	10	93%	14	7	11	94%
1月31日	4	8	20	10	12	10	93%	14	7	11	94%
2月 1日	4	8	20	10	11	10	91%	14	7	11	93%
2月 2日	4	8	20	10	11	10	91%	14	7	11	93%
2月 3日	4	8	20	10	11	10	91%	14	7	11	93%
2月 4日	4	8	20	10	11	10	91%	14	7	11	93%
2月 5日	4	8	20	10	11	10	91%	14	7	11	93%
2月 6日	4	8	20	10	11	10	91%	14	7	11	93%
2月 7日	4	8	20	10	11	10	91%	14	7	11	93%
2月 8日	4	8	20	10	11	10	91%	14	7	11	93%
2月 9日	4	8	20	10	11	10	91%	14	7	11	93%
2月10日	4	8	20	10	11	10	91%	14	7	11	93%
2月11日	4	8	20	10	11	10	91%	14	7	11	93%
2月12日	4	8	20	10	11	10	91%	14	7	11	93%
2月13日	4	8	20	10	11	10	91%	14	7	11	93%
2月14日	4	8	20	10	11	10	91%	14	7	11	93%
2月15日	4	8	20	10	11	10	91%	14	7	11	93%
2月16日	4	8	20	10	11	10	91%	14	7	11	93%
2月17日	4	8	20	10	11	10	91%	14	7	11	93%
2月18日	4	8	20	10	11	10	91%	14	7	11	93%
2月19日	4	8	20	10	11	10	91%	14	7	11	93%
2月20日	4	8	20	10	11	10	91%	14	7	11	93%
2月21日	4	8	20	10	11	10	91%	14	7	11	93%
2月22日	4	8	20	10	11	10	91%	14	7	11	93%
2月23日	4	8	20	10	11	10	91%	14	7	11	93%
2月24日	4	8	20	11	11	10	93%	14	7	11	94%
2月25日	4	8	20	11	11	10	93%	14	7	11	94%
2月26日	4	8	20	11	11	10	93%	14	7	11	94%
2月27日	4	8	20	11	11	10	93%	14	7	11	94%
2月28日	4	8	20	11	11	10	93%	14	7	11	94%
3月 1日	4	8	20	11	11	10	93%	14	7	11	94%
3月 2日	4	8	20	11	11	10	93%	14	7	11	94%
3月 3日	4	8	20	11	11	10	93%	14	7	11	94%
3月 4日	4	8	20	11	11	10	93%	14	7	11	94%
3月 5日	4	8	20	11	11	11	94%	14	7	11	95%
3月 6日	4	8	21	11	11	11	96%	14	7	11	96%
3月 7日	4	8	21	11	11	11	96%	14	7	11	96%
3月 8日	4	8	21	11	11	11	96%	14	7	11	96%
3月 9日	4	8	21	11	11	11	96%	14	7	11	96%
3月10日	4	8	21	11	11	11	96%	14	7	11	96%
3月11日	4	8	21	11	11	11	96%	14	7	11	96%
3月12日	4	8	21	11	11	11	96%	14	7	11	96%
3月13日	4	8	21	11	11	11	96%	14	7	11	96%
3月14日	4	8	21	11	11	11	96%	14	7	11	96%
3月15日	4	8	21	11	11	11	96%	14	7	11	96%
3月16日	4	8	21	11	11	11	96%	14	7	11	96%
3月17日	4	8	21	11	11	11	96%	14	7	11	96%
3月18日	4	8	21	11	11	11	96%	14	7	11	96%
3月19日	4	8	21	11	11	11	96%	14	7	11	96%
3月20日	4	8	21	11	11	11	96%	14	7	11	96%
3月21日	4	8	21	11	11	11	96%	14	7	11	96%
3月22日	4	8	21	11	11	11	96%	14	7	11	96%
3月23日	4	8	21	11	11	11	96%	14	7	11	96%
3月24日	4	8	21	11	11	11	96%	14	7	11	96%
3月25日	5	8	21	11	11	11	97%	14	7	11	97%
3月26日	5	8	21	11	11	11	97%	14	7	11	97%
3月27日	5	8	21	11	11	11	97%	14	7	11	97%
3月28日	5	8	21	11	11	11	97%	14	7	11	97%
3月29日	5	8	21	11	11	11	97%	14	7	11	97%
3月30日	5	8	21	11	11	11	97%	14	7	11	97%
3月31日	5	8	21	11	11	11	97%	14	7	11	97%

②市民病院の実績

	中央市民病院			東灘	西市民病院	西神戸医療センター		
	入院	一般外来	救急	一般外来	救急外来	入院	一般外来	救急
1月17日	963	369		30		350	318	106
1月18日	973	228		0	234	370	521	53
1月19日	974	247		20	336	376	615	92
1月20日	907	294		84	393	375	833	37
1月21日	858	185		130	197	363	96	84
1月22日	785	198		94	206	353	59	47
1月23日	752	474		146	483	366	999	29
1月24日	748	600	108	121	494	380	814	45
1月25日	744	601	85	134	487	398	924	22
1月26日	728	591	91	143	403	389	696	47
1月27日	722	649	65	121	399	387	781	16
1月28日	709	0	133	86	172	396	37	49
1月29日	703	0	95	73	94	376	0	66
1月30日	700	664	56	115	384	384	790	12
1月31日	685	630	51	89	327	377	688	26
2月 1日	672	709	46	121	335	384	886	17
2月 2日	663	731	51	89	313	383	734	22
2月 3日	666	873	51	118	329	395	931	15
2月 4日	653	0	72	80	103	386	0	73
2月 5日	646	0	63	67	61	391	0	56
2月 6日	643	1011	35	114	409	410	990	13
2月 7日	637	988	33	88	365	410	861	13
2月 8日	640	1131	52	91	322	416	1002	15
2月 9日	652	902	40	96	327	423	786	24
2月10日	651	1022	50	85	281	417	950	19
2月11日	635	0	80	63	57	404	0	114
2月12日	635	0	68	46	35	416	0	32
2月13日	636	832	48	104	305	407	838	15
2月14日	643	799	31	85	258	404	719	25
2月15日	642	745	35	105	229	410	875	18
2月16日	652	731	45	111	207	419	809	23
2月17日	654	810	50	114	214	416	948	12
2月18日	650	0	59	63	0	411	0	66
2月19日	649	0	70	60	24	394	0	51
2月20日	659	894	43	113	196	404	992	13
2月21日	706	936	36	89	212	404	856	21
2月22日	697	1065	41	100	262	398	1029	17
2月23日	691	908	43	88	203	406	791	38
2月24日	697	950	44	95	274	402	920	15
2月25日	702	0	74	64	35	391	0	89
2月26日	697	0	84	65	35	385	0	54
2月27日	702	982	40	110	238	389	929	8
2月28日	731	865	34	80	263	384	733	29
3月 1日	738	983	39	159	223	393	944	21
3月 2日	747	969	41	144	214	396	845	26
3月 3日	752	1198	50	125	272	401	1052	26
3月 4日	752	0	69	80	25	385	0	80
3月 5日	755	0	90	54	26	382	0	51
3月 6日	759	1498	47	156	294	395	1053	10
3月 7日	778	1401	50	118	337	392	877	19
3月 8日	794	1420	44	133	259	399	1122	16
3月 9日	799	1241	56	163	238	408	845	25
3月10日	807	1224	55	108	243	419	1033	12
3月11日	813	0	79	91	34	399	0	63
3月12日	796	0	79	82	20	397	0	39
3月13日	792	1261	48	177	333	402	974	10
3月14日	823	1323	43	150	271	405	870	16
3月15日	842	1244	38	155	199	402	1069	13
3月16日	847	1089	32	142	202	402	842	30
3月17日	848	1204	48	186	312	401	1126	10
3月18日	841	0	80	105	18	388	0	65
3月19日	824	0	92	62	15	394	0	42
3月20日	821	1442	50	212	302	405	1104	19

（6）活動診療所数

①活動診療所数

	東灘	灘	中央	兵庫	長田	須磨	6区計	北	垂水	西	9区計
診療所数	193	158	264	166	155	118	1054	112	146	90	1402
1月26日	51	73	29	91	21	39	304	99	136	31	570
1月30日	51	73	29	91	21	39	304	99	136	31	570
1月31日	51	73	29	91	21	39	304	99	136	31	570
2月 1日	123	100	110	108	57	42	540	102	139	31	812
2月 2日	123	100	110	108	57	42	540	102	139	31	812
2月 3日	123	100	110	108	57	42	540	102	139	31	812
2月 4日	123	100	110	108	57	42	540	102	139	31	812
2月 5日	123	100	110	108	57	42	540	102	139	31	812
2月 6日	123	100	110	108	57	42	540	102	139	31	812
2月 7日	127	105	131	119	95	88	665	100	134	74	973
2月 8日	127	105	131	119	95	88	665	100	134	74	973
2月 9日	127	105	131	119	95	88	665	100	134	74	973
2月10日	137	108	135	117	94	88	679	98	133	72	982
2月11日	137	108	135	117	94	88	679	98	133	72	982
2月12日	137	108	135	117	94	88	679	98	133	72	982
2月13日	137	108	136	117	95	88	681	98	134	72	985
2月14日	137	108	137	117	95	88	682	100	132	74	988
2月15日	139	109	139	117	96	89	689	100	135	74	998
2月16日	139	109	139	117	96	89	689	100	135	74	998
2月17日	139	109	139	117	96	89	689	100	135	74	998
2月18日	139	109	139	117	96	89	689	100	135	74	998
2月19日	139	109	139	117	96	89	689	100	135	74	998
2月20日	139	109	139	117	96	89	689	100	135	74	998
2月21日	139	109	139	117	96	89	689	100	135	74	998
2月22日	144	113	177	126	112	103	775	100	142	74	1091
2月23日	144	113	177	126	112	103	775	100	142	74	1091
2月24日	148	118	193	129	105	108	801	108	142	89	1140
2月25日	148	118	193	129	105	108	801	108	142	89	1140
2月26日	148	118	193	129	105	108	801	108	142	89	1140
2月27日	148	118	193	129	105	108	801	108	142	89	1140
2月28日	148	118	193	129	105	108	801	108	142	89	1140
3月 1日	148	118	193	129	105	108	801	108	142	89	1140
3月 2日	153	125	206	131	121	107	843	108	142	89	1182
3月 3日	153	125	206	131	121	107	843	108	142	89	1182
3月 4日	153	125	206	131	121	107	843	108	142	89	1182
3月 5日	153	125	206	131	121	107	843	108	142	89	1182
3月 6日	153	125	206	131	121	107	843	108	142	89	1182
3月 7日	153	125	206	131	121	107	843	108	142	89	1182
3月 8日	153	125	206	131	121	107	843	108	142	89	1182
3月 9日	153	125	206	131	121	107	843	108	142	89	1182
3月10日	153	125	206	131	121	107	843	108	142	89	1182
3月11日	153	125	206	131	121	107	843	108	142	89	1182
3月12日	153	125	206	131	121	107	843	108	142	89	1182
3月13日	153	125	206	131	121	107	843	108	142	89	1182
3月14日	153	125	206	131	121	107	843	108	142	89	1182
3月15日	153	125	206	131	121	107	843	108	142	89	1182
3月16日	153	125	206	131	121	107	843	108	142	89	1182
3月17日	153	125	206	131	121	107	843	108	142	89	1182
3月18日	163	127	216	134	124	106	870	108	142	89	1209
3月19日	163	127	216	134	124	106	870	108	142	89	1209
3月20日	163	127	216	134	124	106	870	108	142	89	1209
3月21日	163	127	216	134	124	106	870	108	142	89	1209
3月22日	163	127	216	134	124	106	870	108	142	89	1209
3月23日	163	127	216	134	124	106	870	108	142	89	1209
3月24日	163	127	216	134	124	106	870	108	142	89	1209
3月25日	163	127	216	134	124	106	870	108	142	89	1209
3月26日	163	127	216	134	124	106	870	108	142	89	1209
3月27日	163	127	216	134	124	106	870	108	142	89	1209
3月28日	163	127	216	134	124	106	870	108	142	89	1209
3月29日	163	127	216	134	124	106	870	108	142	89	1209
3月30日	163	127	216	134	124	106	870	108	142	89	1209
3月31日	163	127	216	134	124	106	870	108	142	89	1209
4月27日	165	134	220	138	129	109	895	107	141	90	1233
6月13日	170	136	244	142	134	110	936	109	144	90	1279

②活動診療所の割合

	東灘	灘	中央	兵庫	長田	須磨	小計	北	垂水	西	全市
1月26日	26%	46%	11%	55%	14%	33%	29%	88%	93%	34%	41%
1月30日	26%	46%	11%	55%	14%	33%	29%	88%	93%	34%	41%
1月31日	26%	46%	11%	55%	14%	33%	29%	88%	93%	34%	41%
2月 1日	64%	63%	42%	65%	37%	36%	51%	91%	95%	34%	58%
2月 2日	64%	63%	42%	65%	37%	36%	51%	91%	95%	34%	58%
2月 3日	64%	63%	42%	65%	37%	36%	51%	91%	95%	34%	58%
2月 4日	64%	63%	42%	65%	37%	36%	51%	91%	95%	34%	58%
2月 5日	64%	63%	42%	65%	37%	36%	51%	91%	95%	34%	58%
2月 6日	64%	63%	42%	65%	37%	36%	51%	91%	95%	34%	58%
2月 7日	66%	66%	50%	72%	61%	75%	63%	89%	92%	82%	69%
2月 8日	66%	66%	50%	72%	61%	75%	63%	89%	92%	82%	69%
2月 9日	66%	66%	50%	72%	61%	75%	63%	89%	92%	82%	69%
2月10日	71%	68%	51%	70%	61%	75%	64%	88%	91%	80%	70%
2月11日	71%	68%	51%	70%	61%	75%	64%	88%	91%	80%	70%
2月12日	71%	68%	51%	70%	61%	75%	64%	88%	91%	80%	70%
2月13日	71%	68%	52%	70%	61%	75%	65%	88%	92%	80%	70%
2月14日	71%	68%	52%	70%	61%	75%	65%	89%	90%	82%	70%
2月15日	72%	69%	53%	70%	62%	75%	65%	89%	92%	82%	71%
2月16日	72%	69%	53%	70%	62%	75%	65%	89%	92%	82%	71%
2月17日	72%	69%	53%	70%	62%	75%	65%	89%	92%	82%	71%
2月18日	72%	69%	53%	70%	62%	75%	65%	89%	92%	82%	71%
2月19日	72%	69%	53%	70%	62%	75%	65%	89%	92%	82%	71%
2月20日	72%	69%	53%	70%	62%	75%	65%	89%	92%	82%	71%
2月21日	72%	69%	53%	70%	62%	75%	65%	89%	92%	82%	71%
2月22日	75%	72%	67%	76%	72%	87%	74%	89%	97%	82%	78%
2月23日	75%	72%	67%	76%	72%	87%	74%	89%	97%	82%	78%
2月24日	77%	75%	73%	78%	68%	92%	76%	96%	97%	99%	81%
2月25日	77%	75%	73%	78%	68%	92%	76%	96%	97%	99%	81%
2月26日	77%	75%	73%	78%	68%	92%	76%	96%	97%	99%	81%
2月27日	77%	75%	73%	78%	68%	92%	76%	96%	97%	99%	81%
2月28日	77%	75%	73%	78%	68%	92%	76%	96%	97%	99%	81%
3月 1日	77%	75%	73%	78%	68%	92%	76%	96%	97%	99%	81%
3月 2日	79%	79%	78%	79%	78%	91%	80%	96%	97%	99%	84%
3月 3日	79%	79%	78%	79%	78%	91%	80%	96%	97%	99%	84%
3月 4日	79%	79%	78%	79%	78%	91%	80%	96%	97%	99%	84%
3月 5日	79%	79%	78%	79%	78%	91%	80%	96%	97%	99%	84%
3月 6日	79%	79%	78%	79%	78%	91%	80%	96%	97%	99%	84%
3月 7日	79%	79%	78%	79%	78%	91%	80%	96%	97%	99%	84%
3月 8日	79%	79%	78%	79%	78%	91%	80%	96%	97%	99%	84%
3月 9日	79%	79%	78%	79%	78%	91%	80%	96%	97%	99%	84%
3月10日	79%	79%	78%	79%	78%	91%	80%	96%	97%	99%	84%
3月11日	79%	79%	78%	79%	78%	91%	80%	96%	97%	99%	84%
3月12日	79%	79%	78%	79%	78%	91%	80%	96%	97%	99%	84%
3月13日	79%	79%	78%	79%	78%	91%	80%	96%	97%	99%	84%
3月14日	79%	79%	78%	79%	78%	91%	80%	96%	97%	99%	84%
3月15日	79%	79%	78%	79%	78%	91%	80%	96%	97%	99%	84%
3月16日	79%	79%	78%	79%	78%	91%	80%	96%	97%	99%	84%
3月17日	79%	79%	78%	79%	78%	91%	80%	96%	97%	99%	84%
3月18日	84%	80%	82%	81%	80%	90%	83%	96%	97%	99%	86%
3月19日	84%	80%	82%	81%	80%	90%	83%	96%	97%	99%	86%
3月20日	84%	80%	82%	81%	80%	90%	83%	96%	97%	99%	86%
3月21日	84%	80%	82%	81%	80%	90%	83%	96%	97%	99%	86%
3月22日	84%	80%	82%	81%	80%	90%	83%	96%	97%	99%	86%
3月23日	84%	80%	82%	81%	80%	90%	83%	96%	97%	99%	86%
3月24日	84%	80%	82%	81%	80%	90%	83%	96%	97%	99%	86%
3月25日	84%	80%	82%	81%	80%	90%	83%	96%	97%	99%	86%
3月26日	84%	80%	82%	81%	80%	90%	83%	96%	97%	99%	86%
3月27日	84%	80%	82%	81%	80%	90%	83%	96%	97%	99%	86%
3月28日	84%	80%	82%	81%	80%	90%	83%	96%	97%	99%	86%
3月29日	84%	80%	82%	81%	80%	90%	83%	96%	97%	99%	86%
3月30日	84%	80%	82%	81%	80%	90%	83%	96%	97%	99%	86%
3月31日	84%	80%	82%	81%	80%	90%	83%	96%	97%	99%	86%
4月27日	85%	85%	83%	83%	83%	92%	85%	96%	97%	100%	88%
6月13日	88%	86%	92%	86%	86%	93%	89%	97%	99%	100%	91%

（7）活動歯科診療所

①活動診療所数

	東灘	灘	中央	兵庫	長田	須磨	6区計	北	垂水	西	9区計
診療所数	101	77	184	81	82	76	601	77	92	54	824
1月25日	8	4	21	20	6	30	89	41	13	49	192
1月28日	15	15	26	27	24	35	142	45	59	50	296
1月29日	15	15	26	27	24	35	142	45	59	50	296
1月30日	15	15	26	27	24	37	144	45	59	50	298
1月31日	15	15	26	27	24	37	144	45	59	50	298
2月 1日	15	15	26	27	24	37	144	45	59	50	298
2月 2日	15	15	26	27	24	37	144	45	59	50	298
2月 3日	15	15	26	27	24	37	144	45	59	50	298
2月 4日	16	15	28	31	24	35	149	45	59	50	303
2月 5日	16	15	28	31	24	35	149	45	59	50	303
2月 6日	16	15	28	31	24	35	149	45	59	50	303
2月 7日	16	15	28	31	24	35	149	45	59	50	303
2月 8日	16	15	28	31	24	35	149	45	59	50	303
2月 9日	57	38	54	58	42	52	301	74	57	48	480
2月10日	57	38	54	58	42	52	301	74	57	48	480
2月11日	57	38	54	58	42	52	301	74	57	48	480
2月12日	57	38	54	58	42	52	301	74	57	48	480
2月13日	57	38	54	58	42	52	301	74	57	48	480
2月14日	57	38	54	58	42	52	301	74	57	48	480
2月15日	57	38	54	58	42	52	301	74	57	48	480
2月16日	57	38	54	58	42	52	301	74	57	48	480
2月17日	57	38	54	58	42	52	301	74	57	48	480
2月18日	57	38	54	58	42	52	301	74	57	48	480
2月19日	57	38	54	58	42	52	301	74	57	48	480
2月20日	57	38	54	58	42	52	301	74	57	48	480
2月21日	57	38	54	58	42	52	301	74	57	48	480
2月22日	67	45	56	59	52	52	331	74	57	48	510
2月23日	67	45	56	59	52	52	331	74	57	48	510
2月24日	67	45	56	59	52	52	331	74	57	48	510
2月25日	67	45	56	59	52	52	331	74	57	48	510
2月26日	67	45	56	59	52	52	331	74	57	48	510
2月27日	67	45	56	59	52	52	331	74	57	48	510
2月28日	67	45	56	59	52	52	331	74	57	48	510
3月 1日	67	45	56	59	52	52	331	74	57	48	510
3月 2日	67	45	56	59	52	52	331	74	57	48	510
3月 3日	67	45	56	59	52	52	331	74	57	48	510
3月 4日	67	45	56	59	52	52	331	74	57	48	510
3月 5日	67	45	56	59	52	52	331	74	57	48	510
3月 6日	78	51	80	64	50	64	387	76	62	52	577
3月 7日	78	51	80	64	50	64	387	76	62	52	577
3月 8日	78	51	80	64	50	64	387	76	62	52	577
3月 9日	78	51	80	64	50	64	387	76	62	52	577
3月10日	78	51	80	64	50	64	387	76	62	52	577
3月11日	78	51	80	64	50	64	387	76	62	52	577
3月12日	78	51	80	64	50	64	387	76	62	52	577
3月13日	78	51	80	64	50	64	387	76	62	52	577
3月14日	78	51	80	64	50	64	387	76	62	52	577
3月15日	78	51	80	64	50	64	387	76	62	52	577
3月16日	78	51	80	64	50	64	387	76	62	52	577
3月17日	78	51	80	64	50	64	387	76	62	52	577
3月18日	78	51	80	64	50	64	387	76	62	52	577
3月19日	78	51	80	64	50	64	387	76	62	52	577
3月20日	78	51	80	64	50	64	387	76	62	52	577
3月21日	78	51	80	64	50	64	387	76	62	52	577
3月22日	78	51	80	64	50	64	387	76	62	52	577
3月23日	78	51	80	64	50	64	387	76	62	52	577
3月24日	78	51	80	64	50	64	387	76	62	52	577
3月25日	78	51	80	64	50	64	387	76	62	52	577
3月26日	82	51	113	65	50	66	427	76	88	52	643
3月27日	82	51	113	65	50	66	427	76	88	52	643
3月28日	82	51	113	65	50	66	427	76	88	52	643
3月29日	82	51	113	65	50	66	427	76	88	52	643
3月30日	82	51	113	65	50	66	427	76	88	52	643
3月31日	82	51	113	65	50	66	427	76	88	52	643
4月27日	93	62	128	67	56	68	474	76	88	52	690
6月13日	96	65	139	67	60	70	497	76	89	53	715

②活動診療所割合

	東灘	灘	中央	兵庫	長田	須磨	6区計	北	垂水	西	9区計
1月25日	8%	5%	11%	25%	7%	39%	15%	53%	14%	91%	23%
1月28日	15%	19%	14%	33%	29%	46%	24%	58%	64%	93%	36%
1月29日	15%	19%	14%	33%	29%	46%	24%	58%	64%	93%	36%
1月30日	15%	19%	14%	33%	29%	49%	24%	58%	64%	93%	36%
1月31日	15%	19%	14%	33%	29%	49%	24%	58%	64%	93%	36%
2月 1日	15%	19%	14%	33%	29%	49%	24%	58%	64%	93%	36%
2月 2日	15%	19%	14%	33%	29%	49%	24%	58%	64%	93%	36%
2月 3日	15%	19%	14%	33%	29%	49%	24%	58%	64%	93%	36%
2月 4日	16%	19%	15%	38%	29%	46%	25%	58%	64%	93%	37%
2月 5日	16%	19%	15%	38%	29%	46%	25%	58%	64%	93%	37%
2月 6日	16%	19%	15%	38%	29%	46%	25%	58%	64%	93%	37%
2月 7日	16%	19%	15%	38%	29%	46%	25%	58%	64%	93%	37%
2月 8日	16%	19%	15%	38%	29%	46%	25%	58%	64%	93%	37%
2月 9日	56%	49%	29%	72%	51%	68%	50%	96%	62%	89%	58%
2月10日	56%	49%	29%	72%	51%	68%	50%	96%	62%	89%	58%
2月11日	56%	49%	29%	72%	51%	68%	50%	96%	62%	89%	58%
2月12日	56%	49%	29%	72%	51%	68%	50%	96%	62%	89%	58%
2月13日	56%	49%	29%	72%	51%	68%	50%	96%	62%	89%	58%
2月14日	56%	49%	29%	72%	51%	68%	50%	96%	62%	89%	58%
2月15日	56%	49%	29%	72%	51%	68%	50%	96%	62%	89%	58%
2月16日	56%	49%	29%	72%	51%	68%	50%	96%	62%	89%	58%
2月17日	56%	49%	29%	72%	51%	68%	50%	96%	62%	89%	58%
2月18日	56%	49%	29%	72%	51%	68%	50%	96%	62%	89%	58%
2月19日	56%	49%	29%	72%	51%	68%	50%	96%	62%	89%	58%
2月20日	56%	49%	29%	72%	51%	68%	50%	96%	62%	89%	58%
2月21日	56%	49%	29%	72%	51%	68%	50%	96%	62%	89%	58%
2月22日	66%	58%	30%	73%	63%	68%	55%	96%	62%	89%	62%
2月23日	66%	58%	30%	73%	63%	68%	55%	96%	62%	89%	62%
2月24日	66%	58%	30%	73%	63%	68%	55%	96%	62%	89%	62%
2月25日	66%	58%	30%	73%	63%	68%	55%	96%	62%	89%	62%
2月26日	66%	58%	30%	73%	63%	68%	55%	96%	62%	89%	62%
2月27日	66%	58%	30%	73%	63%	68%	55%	96%	62%	89%	62%
2月28日	66%	58%	30%	73%	63%	68%	55%	96%	62%	89%	62%
3月 1日	66%	58%	30%	73%	63%	68%	55%	96%	62%	89%	62%
3月 2日	66%	58%	30%	73%	63%	68%	55%	96%	62%	89%	62%
3月 3日	66%	58%	30%	73%	63%	68%	55%	96%	62%	89%	62%
3月 4日	66%	58%	30%	73%	63%	68%	55%	96%	62%	89%	62%
3月 5日	66%	58%	30%	73%	63%	68%	55%	96%	62%	89%	62%
3月 6日	77%	66%	43%	79%	61%	84%	64%	99%	67%	96%	70%
3月 7日	77%	66%	43%	79%	61%	84%	64%	99%	67%	96%	70%
3月 8日	77%	66%	43%	79%	61%	84%	64%	99%	67%	96%	70%
3月 9日	77%	66%	43%	79%	61%	84%	64%	99%	67%	96%	70%
3月10日	77%	66%	43%	79%	61%	84%	64%	99%	67%	96%	70%
3月11日	77%	66%	43%	79%	61%	84%	64%	99%	67%	96%	70%
3月12日	77%	66%	43%	79%	61%	84%	64%	99%	67%	96%	70%
3月13日	77%	66%	43%	79%	61%	84%	64%	99%	67%	96%	70%
3月14日	77%	66%	43%	79%	61%	84%	64%	99%	67%	96%	70%
3月15日	77%	66%	43%	79%	61%	84%	64%	99%	67%	96%	70%
3月16日	77%	66%	43%	79%	61%	84%	64%	99%	67%	96%	70%
3月17日	77%	66%	43%	79%	61%	84%	64%	99%	67%	96%	70%
3月18日	77%	66%	43%	79%	61%	84%	64%	99%	67%	96%	70%
3月19日	77%	66%	43%	79%	61%	84%	64%	99%	67%	96%	70%
3月20日	77%	66%	43%	79%	61%	84%	64%	99%	67%	96%	70%
3月21日	77%	66%	43%	79%	61%	84%	64%	99%	67%	96%	70%
3月22日	77%	66%	43%	79%	61%	84%	64%	99%	67%	96%	70%
3月23日	77%	66%	43%	79%	61%	84%	64%	99%	67%	96%	70%
3月24日	77%	66%	43%	79%	61%	84%	64%	99%	67%	96%	70%
3月25日	77%	66%	43%	79%	61%	84%	64%	99%	67%	96%	70%
3月26日	81%	66%	61%	80%	61%	87%	71%	99%	96%	96%	78%
3月27日	81%	66%	61%	80%	61%	87%	71%	99%	96%	96%	78%
3月28日	81%	66%	61%	80%	61%	87%	71%	99%	96%	96%	78%
3月29日	81%	66%	61%	80%	61%	87%	71%	99%	96%	96%	78%
3月30日	81%	66%	61%	80%	61%	87%	71%	99%	96%	96%	78%
3月31日	81%	66%	61%	80%	61%	87%	71%	99%	96%	96%	78%
4月27日	92%	81%	70%	83%	68%	89%	79%	99%	96%	96%	84%
6月13日	95%	84%	76%	83%	73%	92%	83%	99%	97%	98%	87%

（8）精神保健相談件数

	相談（累積）						
	東灘	灘	中央	兵庫	長田	須磨	計
28日まで	67	89	111	71	181	97	616
1月29日	87	104	131	88	217	139	766
1月30日	107	116	146	107	253	164	893
1月31日	128	132	158	125	288	210	1041
2月 2日	169	171	193	159	348	255	1295
2月 3日	189	180	207	184	391	277	1428
2月 4日	212	193	221	195	417	286	1524
2月 5日	229	213	237	207	446	296	1628
2月 6日	248	227	248	219	484	314	1740
2月 7日	268	245	260	235	503	327	1838
2月 8日	290	260	275	242	539	344	1950
2月 9日	309	270	287	263	569	360	2058
2月11日	340	315	312	275	678	387	2307
2月12日	349	333	317	281	699	409	2388
2月13日	360	349	330	298	730	443	2510
2月14日	370	365	336	310	746	473	2600
2月15日	389	372	345	322	799	503	2730
2月16日	401	391	351	337	813	525	2818
2月17日	421	398	361	352	856	545	2933
2月18日	436	412	363	358	879	570	3018
2月19日	445	422	367	359	894	600	3087
2月20日	467	433	375	374	905	636	3190
2月21日	488	446	378	389	914	670	3285
2月22日	498	465	382	399	922	702	3368
2月23日	514	479	394	405	943	735	3470
2月24日	532	492	398	410	951	751	3534
2月25日	543	506	404	413	958	768	3592
2月26日	560	516	408	413	982	784	3663
2月27日	581	528	416	432	1006	811	3774
2月28日	601	538	421	444	1037	835	3876
3月 1日	619	543	427	450	1049	864	3952
3月 2日	629	549	434	456	1075	882	4025
3月 3日	643	564	444	469	1097	905	4122
3月 4日	652	574	449	476	1104	923	4178
3月 5日	662	579	457	479	1116	940	4233
3月 6日	662	579	457	479	1116	940	4233
3月 7日	690	594	476	505	1177	979	4421
3月 8日	702	600	484	515	1195	1003	4499
3月 9日	721	605	492	523	1220	1029	4590
3月10日	736	610	504	533	1249	1051	4683
3月11日	748	620	515	535	1272	1071	4761
3月12日	755	625	520	538	1297	1090	4825
3月13日	776	632	536	544	1327	1117	4932
3月14日	801	638	548	549	1361	1142	5039
3月15日	819	643	559	555	1390	1161	5127
3月16日	837	651	570	561	1422	1185	5226
3月17日	862	658	579	572	1442	1200	5313
3月18日	869	662	585	577	1455	1221	5369
3月19日	879	665	589	583	1473	1233	5422
3月20日	902	669	602	591	1501	1248	5513
3月21日	914	674	607	594	1519	1265	5573
3月22日	929	682	617	594	1536	1281	5639
3月23日	946	692	626	614	1561	1308	5747
3月24日	953	698	638	623	1582	1318	5812
3月25日	967	703	644	626	1596	1336	5872
3月26日	974	708	648	631	1604	1342	5907
3月27日	987	710	658	644	1618	1358	5975
3月28日	1012	713	667	656	1633	1374	6055
3月29日	1021	720	671	666	1647	1394	6119
3月30日	1031	725	685	676	1658	1410	6185

（9）精神病院入院件数（保健所相談ケースの中における実績）

入院（累積）

	東灘	灘	中央	兵庫	長田	須磨	計
2月 6日	17	11	10	10	14	6	68
2月 7日	17	11	11	10	14	7	70
2月 8日	18	11	12	10	14	7	72
2月 9日	19	12	13	10	14	7	75
2月11日	20	13	15	10	15	7	80
2月12日	22	13	16	10	15	7	83
2月13日	22	13	16	10	16	8	85
2月14日	22	15	16	10	16	8	87
2月15日	22	16	16	10	16	8	88
2月16日	22	17	16	11	16	8	90
2月17日	25	17	16	11	17	9	95
2月18日	26	17	16	11	17	9	96
2月19日	29	17	18	11	17	9	101
2月20日	30	17	18	11	17	10	103
2月21日	31	17	18	13	19	10	108
2月22日	31	17	18	13	19	11	109
2月23日	32	17	21	14	20	11	115
2月24日	32	17	21	15	20	11	116
2月25日	32	17	21	15	20	12	117
2月26日	32	17	21	15	20	12	117
2月27日	32	17	21	15	20	13	118
2月28日	32	18	21	15	20	13	119
3月 1日	32	18	21	15	21	13	120
3月 2日	32	18	21	15	21	13	120
3月 3日	32	19	22	15	21	13	122
3月 4日	33	21	22	17	21	13	127
3月 5日	33	21	22	17	21	13	127
3月 6日	33	21	22	17	21	13	127
3月 7日	33	21	22	17	21	18	132
3月 8日	33	21	22	19	21	19	135
3月 9日	33	21	22	19	21	20	136
3月10日	34	22	23	19	20	20	138
3月11日	34	22	23	19	20	20	138
3月12日	35	23	23	19	20	20	140
3月13日	35	23	24	19	20	20	141
3月14日	35	23	24	19	20	20	141
3月15日	35	23	25	19	20	20	142
3月16日	35	24	26	21	20	21	147
3月17日	35	24	26	21	20	21	147
3月18日	36	24	26	21	21	22	150
3月19日	36	24	26	23	21	22	152
3月20日	36	24	26	23	21	23	153
3月21日	36	24	26	23	21	23	153
3月22日	36	24	26	23	21	23	153
3月23日	36	25	26	23	21	23	154
3月24日	36	26	26	23	22	23	156
3月25日	36	26	26	23	22	23	156
3月26日	37	26	26	23	22	23	157
3月27日	37	26	27	24	22	23	159
3月28日	38	27	27	26	22	25	165
3月29日	38	27	27	27	22	25	166

（１０）医療ボランティア活動状況

	活動者数				登録者数			
	医師	看護婦	その他	総計	医師	看護婦	その他	総計
1月28日	45	231	18	294	373	1131	1627	3131
1月30日	47	232	20	299	377	1137	126	1640
1月31日	49	236	20	305	381	1140	127	1648
2月 1日	51	242	20	313	382	1143	131	1656
2月 3日	56	249	21	326	393	1149	133	1675
2月 4日	60	250	21	331	395	1149	133	1677
2月 5日	62	253	21	336	398	1153	136	1687
2月 6日	63	256	21	340	398	1153	136	1687
2月 7日	65	260	21	346	401	1159	137	1697
2月 8日	67	264	21	352	405	1159	137	1701
2月 9日	69	271	21	361	406	1162	137	1705
2月10日	69	272	21	362	406	1164	137	1707
2月11日	73	276	21	370	407	1167	137	1711
2月12日	76	278	21	375	408	1171	137	1716
2月13日	78	278	21	377	408	1171	137	1716
2月14日	80	281	21	382	408	1171	137	1716
2月15日	82	282	23	387	409	1171	139	1719
2月16日	84	289	23	396	410	1171	139	1720
2月17日	86	293	23	402	410	1171	139	1720
2月18日	86	296	23	405	410	1171	139	1720
2月19日	86	300	23	409	410	1172	139	1721
2月20日	89	304	23	416	410	1172	139	1721
2月21日	89	304	23	416	410	1172	139	1721
2月22日	91	305	23	419	410	1172	139	1721
2月23日	93	307	23	423	410	1172	139	1721
2月24日	95	310	23	428	410	1172	139	1721
2月25日	96	312	23	431	410	1172	139	1721
2月26日	97	315	23	435	410	1172	139	1721
2月27日	98	316	23	437	410	1172	139	1721
2月28日	99	316	23	438	410	1172	139	1721
3月 1日	100	317	23	440	410	1172	139	1721
3月 2日	101	318	23	442	410	1173	139	1722
3月 3日	102	320	23	445	410	1173	139	1722
3月 4日	103	322	23	448	410	1173	139	1722
3月 5日	104	322	23	449	410	1173	139	1722
3月 6日	105	322	23	450	410	1173	139	1722
3月 7日	106	323	23	452	410	1173	139	1722
3月 8日	107	324	23	454	410	1173	139	1722
3月 9日	108	326	23	457	410	1173	139	1722
3月10日	109	327	23	459	410	1173	139	1722
3月11日	109	327	23	459	410	1173	139	1722
3月12日	111	330	23	464	410	1173	139	1722
3月13日	112	331	23	466	410	1173	139	1722
3月14日	112	331	23	466	410	1173	139	1722
3月15日	112	331	23	466	410	1173	139	1722
3月16日	112	331	23	466	410	1173	139	1722
3月17日	112	331	23	466	410	1173	139	1722
3月18日	112	331	23	466	410	1173	139	1722
3月19日	112	331	23	466	410	1173	139	1722
3月20日	112	331	23	466	410	1173	139	1722
3月21日	112	331	23	466	410	1173	139	1722
3月22日	112	331	23	466	410	1173	139	1722
3月23日	112	331	23	466	410	1173	139	1722
3月24日	112	331	23	466	410	1173	139	1722
3月25日	112	331	23	466	410	1173	139	1722
3月26日	112	331	23	466	410	1173	139	1722
3月27日	112	331	23	466	410	1173	139	1723
3月28日	112	331	23	466	410	1173	139	1723
3月29日	112	331	23	466	410	1173	139	1723
3月30日	112	331	23	466	410	1173	139	1723
3月31日	112	331	23	466	410	1173	139	1723

1）中央区における被害の状況

1月17日午前5時46分に発生した兵庫県南部地震は、神戸市全域に甚大なる被害を及ぼし、中央区も未曾有の被害を記録した。死者数は3月31日現在で183人を数え、倒壊家屋数（罹災証明発行数）は同日で全壊が22,074件、半壊が19,847件、一部損壊が25,375件に上った。

給食基礎数にみる避難所及び避難者数は、最大でそれぞれ90か所、39,090人となり、地震より1か月後の時点で89か所、28,874人、3月31日時点においても、未だ58か所、9,315人が避難所生活を強いられている。1月1日現在で52,118世帯、111,195人であった区内人口も、3月31日現在では50,483世帯、107,360人に減少しているのも震災の影響が少なからず考えられるであろう。

電気、水道、ガスのいわゆるライフラインも大きな損害を被った。電気の復旧は1月23日と比較的早かったが、水道は4月17日、ガスも4月12日と全面復旧までにかなりの時間を要した。また、区内の病院、診療所の復旧状況にもライフラインの回復が大きく影響した。

公共の交通機関、特に鉄道は深刻な事態をむかえた。ＪＲ・阪急電鉄・阪神電鉄はそれぞれ寸断され、復旧がもっとも早かったＪＲでさえ、全線の復旧は地震発生から3か月近い4月1日であり、他の2電鉄はさらに時間を要する状況にあった。神戸市市営地下鉄の一部、および北神急行が当初より稼働していたのは幸いであったが、ポートライナー・六甲ライナーは全面運休を余儀なくされ、神戸高速鉄道・山陽電鉄・神戸電鉄も未だ一部が不通となっている。

大震災による被害状況

	人口		世帯数		死者数	
日時	全市	中央区	全市	中央区	全市	中央区
平成7年1月1日	1,520,365	111,195	580,012	52,118		
4月1日	1,486,127	107,360	566,155	50,483		
4月5日					3,897	183

	避難所数		避難者数		
日時	全市	中央区	全市	中央区	配食数
ピーク時(1/18)	582		222,127		
(1/28)		89		39,090	
2月17日	527	89	106,050	19,646	28,874
3月31日	419	58	51,627	7,282	9,315
7月24日	281	42	16,325	2,256	

2）主な業務実績の推移

（1）生活、環境衛生活動

a）環境、食品衛生監視

①避難所に対する消毒剤、器材の供給および監視と消毒の実施

1月17日の午後に、神戸市衛生局（神戸市災害対策本部衛生部）に対して医師および保健婦などの派遣依頼を行い、あわせて、緊急に必要な医薬品等の手配を要請した。

18日より衛生課職員の大半の者を医療救護班の救護所となっている場所への案内、ならびに医薬品等の搬送業務にあてた。

避難所に対する防疫活動は、1月19日より開始した。その内容は、手洗い用消毒液、消毒液希釈水、バケツ等などの薬品・器材の配布と、手洗いなど衛生確保についての指導、および掲示物を使っての広報活動であった。1月22日から、避難所に設置されはじめた仮設トイレの消毒をはじめた。避難所への薬剤配布と消毒は、1月17日から24日までの1週間は81か所において実施し、オスバン355本、クレゾール15本を配布した。その後の消毒薬剤等の配布状況は、1月31日までに、延166か所の避難所に対しオスバン673本、クレゾール31本、2月1日から28日までに、延193か所に対し同593本、61本となった。また、区内の公衆便所の消毒を2月7日から9日にかけて17か所において行った（**資料4-1-1-1**）。

②避難所の環境衛生

1月27日に神戸諏訪山小学校より避難者数人にダニによる咬傷が見られたとの報告が入ったため、現地に出向いて状況を把握し、指導を行った。要望に応じて、避難所において毛布等寝具類の乾燥処理を実施した。2月9日から17日まで延2,270人、また3月8日から18日までに延1,903人に対して乾燥車を使用して行った（**資料4-1-1-2**）。

2月16日より22日頃まで、58か所の避難所にて生活環境衛生に関する実態調査を行った。調査により住環境、廃棄物処理、便所、弁当類の管理、食品の保管、ペットの管理等についての情報を収集した（**資料4-1-1-3**）。調査結果の内、避難所での食生活の状況については、「主食はおにぎりまたはパンのみ」が36か所、「副食あり」が32か所、「適当な保管場所がある」が57か所、「炊き出しあり」が41か所であった。居住環境に関しては、「暖房あり」が39か所、「既設便所使用可能」が51か所、「既存浴場あり」が51か所であった（**資料4-1-1-4**）。

③食品衛生、監視業務

地震発生直後から被災地域で多くの露店の出店、弁当販売等がみられるようになったため、1月27日から区内の露店出店状況の調査をはじめた。29日までに弁当販売、ホットドッグ、たこ焼き等10数件の調査を実施した。以降、2月4日、11日にも露店営業および弁当販売施設を監視し指導した（**資料4-1-1-5**）。2月17日には、区内の

避難所における食事環境の状況の調査結果に基づき、弁当類の衛生を確保するように区対策本部長宛に文書にて要請した。また、営業上の注意事項等の掲示物を印刷にて配布した（**資料4-1-1-6**）。避難所生活における食品衛生の問題が危惧されたが、食中毒等の大量発生は認められなかった。２月18日に避難所より食中毒患者の発生報告があったが、調査の結果、弁当等との因果関係なしと結論した。

④上水に関する調査

区内の井戸水、湧水使用個所の調査を１月の26日から２月の上旬にかけて行った。12か所の水源の調査を行い、あわせて使用時の注意啓蒙を促した（**資料4-1-1-7**）。

ｂ）浴場の確保

１月24日に中央区浴場組合より区内３か所の浴場で水の供給があれば営業を再開できるとの連絡があり、それについて給水の依頼を市水道局に対して行った。1月25日には区内浴場施設の被災状況調査をはじめた。１月30日の時点で区内29か所中、「通水等条件が整えば営業可能」が５施設、「建物倒壊、煙突等破損」が９施設、「浴槽、釜等設備破損」が９施設であった（**資料4-1-1-8**）。

区内施設以外に、外部より浴槽支援と浴場の提供の申し入れがあった。１月26日にはボランティアによるテント張り簡易浴槽の提供が始まった。神戸クアハウス（株）、自衛隊、県社会党本部等からの申し出があり、宮本小学校、小野柄小学校、湊島小学校、楠中学校に設置することとした（**資料4-1-1-9**）。

ｃ）ホテル、旅館業、理美容施設等の被災状況調査

簡易宿泊施設等を除くホテル、旅館業の被災状況調査を２月1日から3日にかけて実施した。区内61か所の内、「営業中」が14施設、「水道、ガスの復旧待ち」が19か所、「被害甚大で再開未定」が17か所、「倒壊」が3か所であった。

また、環境の汚染問題が懸念されることから、２月7日にテトラクロロエチレンを使用しているクリーニング所の被災状況調査を、コインランドリー営業再開状況の調査と併せて行った。３月1日より、他府県監視員の応援をうけて、管内食品および環境衛生関係全施設の被災状況および実態調査を開始した（**資料4-1-1-10**）。その結果、食品衛生関係の要許可業種では区内11,258施設の内15.4%にあたる1,592施設、不要許可業種では284施設中12.7%にあたる36施設が全壊していた。被災状況は深刻だったものの、３月時点までに要許可業種では60.5%、不要許可業種では68.0%の施設が営業を再開していた。環境衛生関係施設では、区内1,072施設中、15.9%にあたる151施設が全壊していたが、58.1%にあたる532施設が営業を再開していた。この調査では、休業施設での営業の意志をあわせて聞き取っているが、半数から７割程度が「不明」と回答していた。

ｄ）衛生関連情報等の広報活動

震災後の生活衛生上の内容や各種業務の周知と情報の提供を目的として、保健所発

行の保健所ニュースを活用した。保健所ニュースは、各避難所に救護班を通して配布し、またボランティアの協力により浴場に掲示した。

1月27日発行の第3号に「食品の衛生、手の消毒」、第4号に「飲み水の衛生、布団類の乾燥」、第7号に「部屋の換気、飲食物の衛生、ペットの管理、トイレの衛生等」について掲載し、以下、第9号、第11号、に関連情報を掲載した。

資料4-2-1-1　公園便所の消毒実施状況

公園便所の消毒実施状況

（区内の市街地設置分）

公園名	所在地	方式	水道	消毒日と衛生状態		備考
生田川公園	熊内町４丁目	水洗	○	2/8	良好	
大蔵山公園	楠町７－２ 文化ホール付近	水洗	○	2/8	良好	自衛隊駐屯中清掃実施？
大蔵山公園	楠町７－２ グランド東側	水洗	○	2/8	良好	自衛隊駐屯中清掃実施？
大蔵山公園	楠町７－２ 児童コーナー	水洗	○	2/8	良好	自衛隊駐屯中清掃実施？
東遊園地	加納町６丁目４－１	水洗	×	2/8	不良	大便残多し
東遊園地	加納町６丁目４－１	水洗	×	2/8	不良	大便残多し
磯上公園	八幡通２丁目					入口閉鎖中便所使用不可
相楽園	中山手通５丁目１					入口閉鎖中便所使用不可
相楽園	中山手通５丁目１					入口閉鎖中便所使用不可
王子南公園	坂口通１丁目	水洗	×	2/7	良好	大阪市実施
王子南公園	坂口通１丁目	水洗	×	2/7	良好	大阪市実施
脇浜児童公園	脇浜２丁目４	水洗	×	2/7	良好	大阪市実施
吾妻児童公園	吾妻通４丁目１	水洗	×	2/8	不良	大便残多く小便器詰まり
東雲高架下	若菜通１丁目１	水洗	×	2/8	良好	
諏訪山児童公園	諏訪山町２丁目	水洗	○	2/8	良好	
花隈駐車場	花隈町１	水洗	×	2/8	不良	大便残多し
砂子橋	葺合町守口城山	汲取	○	2/9	良好	

資料4-2-1-2　避難所における毛布類の乾燥実績一覧

（別表）

避難所における毛布類の乾燥実績一覧

（2月分）

実施日	実施場所	所在地	予定人員（人）	乾燥枚燥（枚）		配車	実施時間
				毛布	布団		
2／9	吾妻地域福祉センター	吾妻通5-1	160	102	41	1台	8:30 ~ 12:30
2／12	神戸鵯九山小学校	中山手通4-23-2	800	1，222	26	3台	8:30 ~ 16:00
2／14	行吉学園	中山手通2-23-1	180	224	19	2台	9:00 ~ 12:00
	神戸鵯九山小学校	中山手通4-23-2	800	75	5		12:30 ~ 14:00
2／15	神戸電子専門学校	山本通1-6-35	100	120	5	2台	9:30 ~ 11:30
	神戸鵯九山小学校	中山手通4-23-2	800	37	11		12:30 ~ 15:00
2／16	下山手小学校	下山手通7-1-7	300	206	8	3台	9:00 ~ 12:00
2／17	葺合文化センター	旗塚通4-4-1	150	280	86	2台	9:00 ~ 14:00
2月分 小計				2，266	201	13台	

（3月分）

実施日	実施場所	所在地	予定人員（人）	乾燥枚燥（枚）		配車	実施時間
				毛布	布団		
3／8	葺合高校	野崎通1-1-1	600	316	22	2台	9:00 ~ 14:00
	上筒井小学校	野崎通1-1-2					
	筒井台中学校	野崎通1-1-3					
3／9	八雲老人いこいの家	八雲通1-1-7	320	135	0	1台	9:00 ~ 13:00
	葺合保育所	八雲通1-1-6					
3／10	勤労会館	雲井通5-1-2	220	210	0	1台	9:00 ~ 15:00
3／13	北野小学校	中山手通3-17-1	250	175	0	2台	9:00 ~ 12:00
3／14	吾妻小学校	吾妻通4-1-6	710	471	0	2台	9:00 ~ 14:30
3／15	二宮小学校	二宮町3-12-1	250	75	10	1台	9:00 ~ 12:00
3／16	吾妻小学校	吾妻通4-1-6	710	65	0	1台	9:00 ~ 10:30
3／17	弁護士会館	橘通2-2-1	110	275	17	1台	9:00 ~ 14:00
	神戸地裁	橘通2-2-1	40				
3／18	神戸生田中学校	北長狭通4-10-1	250	181	25	1台	8:30 ~ 14:30
3月分 小計				1，903	74	12台	

資料4-2-1-3　避難所の生活環境調査票

避難所の生活環境調査表

調査日 平成7年2月___日　調査者氏名_____

避難所名		TEL
責任者氏名 施設長		住民長　　ボランティア等
施設関係		
避難者数		名（定員　　名）　昼間の避難者数　　名
避難場所	屋内［体育館・講堂・集会所・教室会議室等・廊下ロビー・その他(　　)］	
	屋外［テント・シート・簡易建築物・その他(　　)］	
食品関係		
飲食物	提供主食	弁当・おにぎり・パン
	副食	缶詰・レトルト・そうざい（　　）
	飲料	牛乳・ジュース類・お茶・その他（　　）
	保管場所	部屋・廊下・倉庫・テント・その他　　適・不適
	配布方法	整理券・その他　　責任者氏名(　　)
	炊き出し	有［(ごはん・みそ汁・　　)(室内・屋外テント等　　)］　無
	運　営	自主・ボランティア・その他　　・　　責任者氏名(　　)
	個人の持込食品	有（インスタントラーメン・ホット飲料・そうざい　　）　無
	残品処理	適・不適
	非常用保管食品	保管有（缶詰・レトルト・　　）　無
	保管場所	部屋・廊下・倉庫・テント・その他　　適・不適
飲用水	上水道	復旧済み・未復旧（予定日　　）
	保管容器	ペットボトル・ポリタンク・大型タンク（非常用水）日付 有・無
食品関係その他		

居住環境関係		
施設	暖房設備	有［全館・個別(ｴｱｺﾝ・電気ｽﾄｰﾌﾞ・ｺﾀﾂ・石油ｽﾄｰﾌﾞ・　　］　無
	換気	行っている・いない　禁煙（全館・一部・無し）
	清掃	している（自主・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ・その他　　）・していない
	履き変え	している・生活場所まで土足
寝具	下敷き	有（段ﾎﾞｰﾙ・発泡ｽﾁﾛｰﾙ・ﾀﾀﾐ・ﾏｯﾄ・ｼｰﾄ・　　）　無
	乾燥	している［日光消毒(　　日おき)・その他　　］　していない
洗濯機		有（　　台）　無
便所	既設	使用可能（　　カ所）
	簡易	有（　　個）場所　校庭・公園・道路・その他（　　）
	清掃	している（自主・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ・その他　　）　していない
手洗い	設備	有［(便所・洗面所・　　)(流水式・ため水・　　)］　無
	消毒液	有・無　（残り本数　　）
風呂	既存浴場	近隣に在り（　　）　無
	簡易浴槽	有　利用者数　　名/日　無
	シャワー	有（　　個）　無
廃棄物	保管場所	専用場所 有(　　）　無

居住環境関係その他	

ペット関係		
	飼養世帯	在り（　　世帯）　無
	飼養動物	犬（　　頭）・猫（　　）匹・その他（　　）
	管理状況	配慮している（　　）　いない
ペット関係その他		

その他健康に関すること	

資料4-2-1-4　避難所の生活環境調査結果

避難所関係	避難者数	最大 1,850名～最小 5 名		平均 223 名	14,511/65
	昼間の避難者数	最大 1,000名～最小 4 名		平均 108 名	7,000/65
場所	屋内のみ 49 施設	屋内と屋外 11 施設	屋外のみ 5 施設		
食品関係	配給主食	弁当あり 29 施設	おにぎり・パンのみ 36 施設	なし 0 施設	
	副食	あり 33 施設	なし 32 施設		
	飲料	牛乳あり 65 施設	牛乳以外の飲料 65 施設	なし 0 施設	
	保管場所	適 64 施設	不適 1 施設		
	炊き出し	あり 45 施設	（運営 自主 11 施設 ボランティア 38 施設 その他 2 施設）		
			なし 20 施設		
	残品処理	適 64 施設	不適 1 施設		
	非常用保管食品	保管あり 34 施設	なし 31 施設		
飲用水	上水道	復旧済み 54 施設	未復旧 11 施設		
居住環境関係	暖房	設備 あり 45 施設	なし 20 施設		
	換気	行っている 59 施設	いない 6 施設		
	禁煙	行っている 40 施設	いない 25 施設		
	清掃	している 62 施設	いない 3 施設		
	履き変え	している 59 施設	いない 6 施設		
寝具	下敷き	あり 61 施設	なし 4 施設		
	乾燥	している 24 施設	いない 41 施設		
洗濯機		あり 29 施設	なし 36 施設		
便所	既設	使用可能 52 施設	不可能 3 施設		
	簡易	あり 26 施設	なし 39 施設		
	清掃	している 61 施設	いない 4 施設		
手洗い	設備	あり 65 施設	なし 0 施設		
	消毒液	あり 62 施設	なし 3 施設		
風呂	既存浴場	近隣に在り 41 施設	なし 24 施設		
	簡易浴槽	あり 7 施設	なし 58 施設		
	シャワー	あり 11 施設	なし 54 施設		
廃棄物	専用場所	あり 62 施設	なし 3 施設		
ペット関係	飼養世帯	あり 40 施設	なし 25 施設		
	飼養動物	犬 最大 30 頭～最小 1 頭	平均 6 頭	198/36	
	〃	猫 最大 10 頭～最小 1 頭	平均 5 頭	59/13	
		その他（小鳥6、うさぎ1）			
	管理状況	配慮している 22 施設	いない 18 施設		
健康に関する要望		あり 20 施設	なし 45 施設		

資料4-2-1-5　露店・自動車等の監視結果

露店・自動車等の監視結果

日時（曜）７年１月２７日～３月２５日

監視区域　①ＪＲ神戸駅周辺　②宇治川商店街　③元町商店街・南京町
④北野町異人館街　⑤大安亭市場　⑥春日野道商店街
⑦フラワーロード　⑧その他

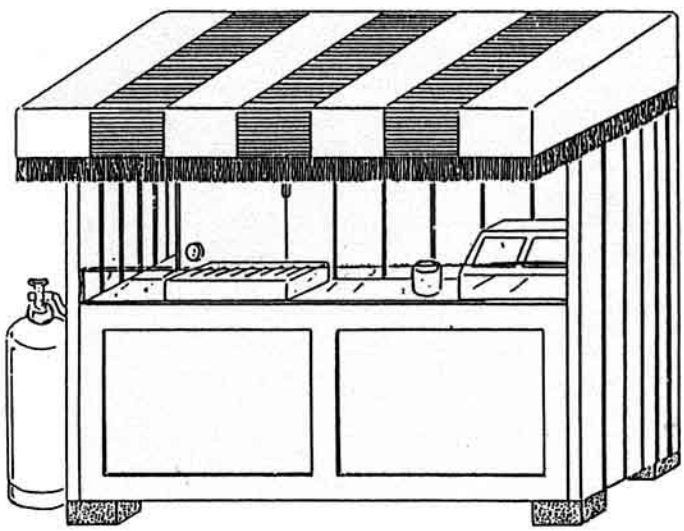
	業種	飲食店営業				菓子製造業				その他	合計
	業態 / 許可	有	無	不明	計	有	無	不明	計	物販	
1回目・1月27日～29日	露店										
	自動車										
	店頭										
	その他										
	計	避難所巡回時等に露店営業の確認調査実施１０数件(弁当販売・									
	営業内容 たこ焼き	ホットドック・タコ焼き等)									
	お好み焼き そば焼き										
	フランクフルト										
	加熱食品 加熱菓子										
	その他										
2回目・2月11日～13日	露店	4		１９	２３			3	3	1	２７
	自動車										
	店頭	7			7					5	１２
	その他	2			2						2
	計	１３		１９	３２			3	3	6	４１
	営業内容 たこ焼き			5	5						
	お好み焼き そば焼き	1		5	6						
	フランクフルト	1		3	4						
	加熱食品 加熱菓子	１１		6	１７			3	3		
	その他									6	
3回目・3月21日～25日	露店	4	4	9	１７			5	5	5	２７
	自動車	1	0	4	5					1	6
	店頭	１０	１３	1	２４	2	1		3	1	２８
	その他	6	4	0	１０						１０
	計	２１	２１	１４	５６	2	1	5	8	7	７１
	営業内容 たこ焼き	3		3	6						
	お好み焼き そば焼き	2		3	5						
	フランクフルト	1	4		5						
	加熱食品 加熱菓子	１５	１４	8	３５	2	1	5	8	2	
	その他		3							5	

資料4-2-1-6　飲食店営業者向け広報

飲食店営業(露店・自動車)で許可を受けるポイント

神戸市中央保健所

震災後に中央区内はビル解体工事が盛んに行われており、路上は極めてほこりが多い環境になっております。そのため、飲食店営業（露店・自動車）の許可を受け営業する場合、以下のようなほこりを防ぐ設備要件を十分に満たした施設で申請し営業されるようお願いします。





手洗いの洗浄消毒設備も必ず用意して下さい。

資料4-2-1-7　区内井水・湧水使用個所調査（２月１日現在）

区内井水・湧水使用個所調査

（２月１日現在）

場所		管理
①	南本町５丁目１　みなみ湯横	飲料水ではない旨の看板あり
②	〃　６丁目１　新生田川住宅公園北	看板なし
③	大安亭市場内　長尾商店	〃
④	〃　前田ミート	〃
⑤	〃　佐竹商店	看板あり
⑥	日暮通６丁目１　老人健康センター（大林組）	〃
⑦	春日野商店街　浜田屋	〃
⑧	宇治川商店街　宇治川蒲鉾	〃
⑨	八雲通１丁目１　松原豆腐店	口頭にて
⑩	日暮通２丁目２　松永製餡所	看板あり
⑪	花隈町　阿佐田	〃
⑫	八雲通３丁目１　神戸こんにゃく	〃

※看板等のない箇所については掲示するよう指導済み

資料4-2-1-8　公衆浴場の状況（１月30日現在）

公衆浴場の状況

（1月30日現在）

番号	施設の名称	施設の所在地	浴場の状況	再開状況
ノ1	元町温泉	元町通3丁目15－2	建物・浴槽破損	当分不可
2	摂津湯	元町通6丁目1－22	浴槽，煙突が破損	当分不可
3	竹の湯	北長狭通8丁目7－6	建物倒壊の恐れあり，煙突も破損	当分不可
4	司湯	下山手通8丁目1－24	1/28より営業（営業時間 12:00~16:30）	再開
5	常盤湯	下山手通8丁目7－8	建物倒壊	当分不可
6	いづみ湯	中山手通1丁目27－3	破損	当分不可
7	やまと温泉	中山手通7丁目27－3	営業中	営業中
8	多聞湯	多聞通5丁目1－22	補修中（パイプ類破損）	近々可能
9	百草湯	中町通4丁目1－6	煙突の補修10日必要（1/27現在）他にパイプ破損	近々可能
10	相生湯	再度筋町7－2	1/28より営業（営業時間 12:00~16:30）	再開
11	王子湯	上筒井通3丁目2－20	煙突破損	当分不可
12	上熊内温泉	熊内町2丁目5－5	休業中	休業中 ×
13	宮本温泉	宮本通1丁目2－6	建物，ボイラー破損	当分不可
14	第二おたふく湯	宮本通5丁目5－17	来週中に再開予定	近々可能
15	松湯	大日通7丁目1－3	廃業：マンション建設予定（玄関，脱衣室破損）	廃業
16	割塚温泉	割塚通4丁目2－20	煙突，釜，パイプ破損	当分不可
17	熊内湯	熊内橋通1丁目1－4	扉，屋根，浴室壁，浴室壁，脱衣室破損	当分不可
18	朝日湯	旗塚通3丁目3－14	扉破損，パイプ破損修理入札中・復旧めどたたず	当分不可
19	国香温泉	国香通2丁目3－7	建物入口・内部，浴槽破損のため使用不能	当分不可
20	文化湯	筒井町3丁目12－2	釜場破損	当分不可
21	八雲温泉	八雲通2丁目3－7	大きな破損無し（営業 11:00 連絡 06-393-9899）	1/31再開
22	みどり湯	北本町通4丁目2－27	建物倒壊	当分不可
23	みなみ湯	南本町通5丁目1－14	煙突・パイプ類破損	当分不可
24	宝湯	布引町2丁目2－3	建物の一部破損 修理中	当分不可
25	二宮温泉	二宮町4丁目2－18	建物倒壊の恐れあり	当分不可
26	琴緒湯	琴ノ緒町1丁目6－9	再開に2週間程度必要（開いつも地下鉄中）	近々可能
27	喜楽湯	加通3丁目30，31	建物倒壊	当分不可
28	昭和湯	下山手通8丁目17－6	浴槽・重油槽破損　（共同浴場）	当分不可
29	清風新温泉	中山手通8丁目1－2	浴槽・重油槽破損　（共同浴場）	当分不可

資料4-2-1-9　区内入浴施設設置状況

区内入浴施設設置状況

1　自衛隊による設置

設置場所	設置日	撤去日	実稼働日数	利用者数
新港第一突堤	1／24	3／6	40日	14,613人
小野柄小学校	1／25	4／25	78日	26,547人
港島小学校	1／31	3／10	36日	14,088人
計			154日	55,248人

2　仮設シャワー設置箇所

設置場所	設置日	設置場所	設置日
① 諏訪山小学校	1／29	⑥ 葺合高校	2／15
② 北野小学校	／31	⑦ 雲中小学校	／15
③ 春日野小学校	／31	⑧ 生田中学校	／16
④ 若菜小学校	2／3	⑨ 吾妻小学校	／28
⑤ 湊小学校	／4	⑩ 小野柄小学校	4／27

3　ボランテアによる設置箇所

設置場所	設置期間	提供者	形態
宮本（小）	1/29 ~ 2/28	船山（株）東京都中央区新富	テント張り簡易浴槽 (2槽、循環式、シャワー付き)
二宮（小）	2月下旬 ~	二宮(小)卒業生有志	テント張り簡易浴槽
上筒井（小）	2/6 ~ 4/2	(株) マミー　静岡県東海市	テント張り簡易浴槽、ドラムカン貯湯式
楠（中）	2/10 ~ 2/15	大分県社会党本部	テント張り簡易浴槽
吾妻（小）	2/28 ~	大林組	テント張り簡易浴槽、浴槽水貯湯式 (3槽、シャワー後日追加)

4　入浴設備（施設）開放個所

開放個所	期間	利用者数	備考
市立ポートアイランドスポーツセンター（港島中町6丁目）	2/20~3/31	9,087人	温水プールを転用
神戸クアハウス　(二宮町3丁目)	2/25~3/10	約 20,000人	温泉
オーガスタビル　(東川崎町1丁目)	3/7~4/18	2,170人	温水プールを転用
住友ゴム神戸工場　(脇浜町1丁目)	3/6~4/7	約12,000人	従業員浴槽
大阪ガス兵庫供給所　(北本町2丁目)			シャワー設置

資料4-2-1-10　区内施設営業実態調査結果

別紙

営業実態調査結果（概要）

（1）食品衛生関係

	平成6年12月末施設数	被害状況				営業状況				休業施設での営業の意志		
		全壊	半壊	一部損傷	外観異常なし	許可施設で営業	仮設店舗で営業中	休業中	震災後廃業届出済	有	無	不明
要許可業種	11258	1592	1244	3153	4369	5427	50	3193	296	1095	17	2079
	%	15.4	12.0	30.4	42.2	60.5	0.6	35.6	3.3	34.3	0.5	65.2
不要許可業種	284	36	21	85	142	115	4	45	5	24	0	22
	%	12.7	7.4	29.9	50.0	68.0	2.4	26.6	3.0	52.2	0.0	47.8

（2）環境衛生関係

平成6年12月末施設数	被害状況				営業状況				休業施設での営業の意志		
	全壊	半壊	一部損傷	外観異常なし	許可施設で営業	仮設店舗で営業中	休業中	震災後廃業届出済	有	無	不明
1072	151	130	256	411	532	0	271	113	53	8	185
%	15.9	13.7	27.0	43.4	58.1	0.0	29.6	12.3	21.5	3.3	75.2

＊平成6年12月末施設数と調査施設数に差がありますが、調査不能施設があったため生じたものです。

（２）保健予防活動

ａ）保健婦活動（表4-2-2-1）

地震発生後１月17日から19日まで、出勤可能な保健婦は、被災者に対する医療救護活動に従事した。避難所に救護所を設け、救護班または派遣救護班を案内し、被災者の救護にあたった。次第に応援医療チームが多くなってきたことをふまえ、20日の保健婦ミーティング開催時に、保健婦は医療救護から保健活動に専念することが必要であるとの意見でまとまり、この時期から在宅および避難所の住民に対して一定の相談記録票を作成し（資料4-2-2-1、2）、ケースの安否確認のための訪問と援助活動をはじめた（表4-2-2-2、資料4-2-2-3、4）。

保健活動の地域単位は、平時に用いているものと同様に中央区を東部、西部、中部の３ブロックに分けて、それぞれの特性と被災状況を勘案して対応した。

保健所保健婦と応援保健婦の業務の振り分けについては、地域のフォローケースは保健所保健婦が受け持ち、避難所・仮設住宅のケースは応援保健婦が担当することと決めた（資料4-2-2-5、6）。

①保健婦ミーティング

中央保健所における保健婦活動の内容は、各時期ごとに開催された保健婦ミーティングにより決定され、このミーティングで相互の情報交換を行うなかで、目標を確認し意志統一を図った。第1回目が１月20日に開催され、その後３月末までに12回開かれた。

開催された各時点における収集情報をもとに、被災者、避難所生活者の状況から、活動の対象とする人を次第に広げて対応する形となった。第1回目のミーティングでは、医療救護活動は救護班に担当してもらい、保健婦は保健活動に専念することを確認した。まず活動対象を寝たきり、結核、母子と定め、2回目ミーティング以降は一人暮らし等の高齢者、避難所、仮設住宅の生活者といったように対象者を広げて対処してきた。

②成人、老人に対する活動

１月20日のミーティングで最重点項目と認識された在宅寝たきりケース183名を対象に、安否確認および状況把握と援助活動を行った。183名中、在宅に76名、避難所に37名が無事でいることを確認した。この日消息がつかめなかった者については、後日再度訪問し状況の確認に努めた。27日にはリハビリ教室参加者の安否確認、２月1日には寝たきりであるが継続訪問することが不要とされていたケース、独居老人の安否確認と対象を拡大し、最終的には震災後に独居となった老人についても訪問活動を実施した。

③感染症ケースに対する活動

第１回ミーティングで重要対象の一つとされた結核ケースへの対応は、１月23日から保健婦の管理ケースの安否確認を行い、診療可能な医療機関の情報を提供し、受診勧奨を行った。

２月2日には、結核研究所の医師の提案にもとづき、結核ケースの発生状況を１週間毎に確認する事をはじめた。感染症に対する活動としては、水痘患者の発生の報告があったため２月4日、17日に水痘患者発生について調査（**資料4-2-2-7**）を行った。３月7日にコレラ患者が発生したとの報告があった。27日には赤痢患者の発生の報告があり同行者調査を行った。

④母子、乳幼児に対する活動

抵抗力の弱い３か月未満児の状況確認が早期に必要との判断から、１月24日より保健所の把握ケース173件に対し電話連絡による確認を行った。乳幼児ケースの多い中部地区は１月中に、また、老人等他のケースの多い東部、西部地区も２月11日には安否確認をほぼ終了し、以降は乳幼児健康相談に向けて震災前からの把握ケース以外にも対象を拡大した。

乳幼児健康相談を３月6日に中部地区、7日に東部地区、8日に西部地区で実施し、相談者数は119名であった（**資料4-2-2-8、9**）。

⑤避難所における活動

保健所の把握しているケースの対応と並行して、避難所生活者の健康状態の把握と健康管理に対する取り組みが必要であると判断して活動をはじめた（**資料4-2-2-10、11、12**）。

１月20日からの保健所保健婦による区内避難所の巡回、22日からの西市民病院看護婦による避難所周辺地域巡回等により、避難者の生活状況とその生活環境状況を把握した。１月25日から避難所における環境対策として環境改善指導と、インフルエンザの流行等の予防の指導を行った。２月1日に保健所保健婦と応援保健婦、応援看護婦との間の業務分担を行った。その結果、在宅者のケースと地域活動は保健所保健婦が、避難所における保健活動は応援保健婦が受け持つこととした。３月に入り、避難所生活が長期化してきたことにともない今後の問題の対応策の整理が必要と判断し、３月6日に滋賀県保健婦の協力を得て保健計画を作成した。

⑥仮設住宅入居者に対する活動

２月までは、保健婦活動の大部分を地域および避難所において実施していたが、避難所から仮設住宅に生活の場が移行し、新たに仮設住宅入居者の健康上の諸問題が浮上してきた。そこで、生活と健康状況を把握する必要性から２月28日から仮設住宅への訪問活動をはじめた（**資料4-2-2-13、14**）。

⑦その他の活動

保健婦の把握する、在宅、避難所で生活される方々に対する訪問活動を行う中で、震災による市民生活への影響の甚大さと広範さを強く認識させられた。これまでのフォローケースの対応のみならず、一般住民に対する活動も必要ではないかとの判断から、1月28日より被害が最も大きかった東部地区について全戸を対象に訪問をはじめた。2月2日からは地域の自治会役員、民生委員に対する訪問を実施し、地域の状況の把握と情報交換を行った（**資料4-2-2-15**）。

⑧応援保健婦、看護婦活動

地震発生直後より、全国各地の自治体から応援の保健婦、看護婦が派遣されてきた。以降は保健所保健婦と協力して、地域の保健活動に従事した。保健所保健婦は地域を、応援の保健婦、看護婦は避難所および仮設住宅を担当した。派遣、活動状況は表に示す通りである（**資料4-2-2-16、17**）。

b）精神保健活動

震災発生当初は、精神科医療のニーズが顕在化することは予測されていなかったが、直後より自宅の倒壊、医療機関の倒壊、交通の寸断等のために薬剤が手に入らなくなったり、避難所生活のストレスから症状の再燃や、増悪のため避難所生活不適応となる者もあらわれ、こういった精神科的課題の対応が緊急の課題として浮上してきた。

こうした状況の中で、保健所に精神科救護所が設置され、治療の中断した者に対応する、精神障害者の悪化防止対策を目的とする対象者の状況の把握、避難所における精神科的問題の相談と対応など、精神科の医療救護の中核として機能した。

在宅の精神障害者は、保健所等のデイケアや共同作業所に通いながら地域で生活を営んでいる者が多かったが、今回の地震により、中央区にある「中央区むつみ会」の共同作業所は半壊となり、作業の再開が危ぶまれる状況になった。通所していた者に対する生活支援が必要と考えられたことから早期の再開を目指し、その結果2月20日から作業所が再開された。

精神科救護は、精神保健相談員がキーパーソンとなって区内作業所の被害状況の把握を行い、1月22日からは応援医師とともに保健所において精神科救護活動に従事した（**表4-2-2-3**）。

震災によるメンタルヘルスを考慮して、各避難所に「こころの相談」ポスターを掲示し、多くの人に向けて精神ケアについての留意と、相談に結びつけるための広報活動を行った。

c）歯科保健活動

震災発生後の早期には、区内歯科医院の状況を把握し、稼働歯科医院についての情報を広報としてまとめた。2月に入り、地域の避難所の巡回相談に対応している保健婦等から、人々より歯科に関する要望があるとの情報を得、歯科保健活動を開始することになった。

以降、大学、都道府県からの歯科チームの応援を得て（**資料4-2-2-18**）、２月第２週から歯科保健指導を実施した。３月には5日から7日の間に乳幼児健康相談、20日から避難所における歯科相談を行い住民の歯科ニーズに対応した（**資料4-2-2-19**）。

ｄ）薬剤関係業務

緊急の医療対応とともに、救護現場に対する医薬品の供給が必要となり、地震発生の翌日より区役所１階に薬剤置き場を確保し業務を始めた。

業務は、保健所に設置した薬剤窓口に来所した者に対して直接薬剤を配布あうることと、各避難所の医薬品管理者への医薬品の配送とに分けられる。１月19日までは配布する緊急医薬品等の救援物資が少なく、救護班が所持してきた物資に依存する状況であった。20日以降になって衛生局より薬剤の搬入が継続的に行われ、避難所および一般向けの配布業務を行った。同時に、「医薬品等の利用について」等の掲示物により薬剤使用上の注意を呼びかけ、混乱時の薬物乱用に注意を促した（**資料4-2-2-20**）。

２月5日、11日、３月1日、18日の時点で避難所で不足している医薬品、希望する医薬品についての聞き取り調査を実施した（**資料4-2-2-21、22**）。また、住民が必要な医薬品を手に入れることを支援することを目的に、「現在営業中の薬局、薬店マップ」を配布した（**資料4-2-2-23、24**）。

地震発生から１月31日までの保健所窓口における一般薬、衛生用品の受付者数は2,524人に上り、その後、２月15日までが6,015人、28日までが7,581人、配布を中止した３月5日の時点では8,022人であった。

ｅ）栄養関係業務

地震発生以降、保健所を訪れる救護班に対する炊き出しを１月21日からはじめ、２月末まで継続した。同時に、保健所に来所した慢性疾患患者（糖尿病患者）に対して栄養相談を行うとともに冷凍医療食（４単位食）を配布した。一方で、区内の給食施設の震災後の給食状況を電話連絡にて把握し、関係機関と連絡をとった（**表4-2-2-4**）。26日には避難所巡回栄養相談を開始し、避難所住民の栄養問題に対応した。２月には避難所の栄養状況調査を滋賀県、衛生課と共同して実施し（**資料4-2-2-25**）、また３月には全市対象の集団給食施設調査を行った。

表4-2-2-1　保健婦の活動記録

PHN-保健婦, HC-保健所, Hp-病院, Ns-看護婦, Vo-ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ

日付	通達・所内の動き 保健婦全体の動き	避難所	成人・老人	母子・感染症・その他
1/20	PHNミーティング 第１回 1) 保健所PHNが10名出勤可能になった状況で開催 [提案１] 今後の活動を保健活動に絞る方針 [背景１] 地震発生以降の避難所を中心とした医療活動に従事する中で、活発に展開される医療活動に比較して地域における保健活動が不足していると認識 [提案２] 保健活動の対象の優先順位 1 寝たきりケース 2 結核ケース 3 母子ケース [提案３] 活動を開始する上で住民の状況を考慮すると、寝たきりケースはもっとも過酷な状況におかれ、結核ケースは治療中断や新規の感染の恐れ、また母子は環境の変化に敏感で感染のリスクも高いと判断	1/20 避難所巡回（H. CのPHN, 延108名） [対象] 担当地区全避難所・避難民 [目的・根拠] 避難民の生活環境状況の把握 [実施状況] 22日以降は準備したチェックリストを用い、正確な情報の収集に努める。避難所から寝たきり施設への入所希望者が多数いることを把握	1/20 寝たきり老人ケース訪問（HCのPHN延63名） [対象] 担当寝たきりケース [目的・根拠] 担当ケースの安否確認および状況把握と援助 [実施状況] 183名中在宅76名避難所37名	
1/22	PHNミーティング第２回 2) [提案１] 保健所PHNを2チームに分け特定のケースへの対応を検討する（西部・中部は母子・感染ケース、東部は老人・成人ケースを担当） [背景１] 災害の混乱の中での作業に追われ、適切な判断がなされていないとの危機感があった [提案２] 外部からの応援PHNへの役割分担（避難所での活動） [提案３] 結核ケースへの対応を強化 [背景３] 寝たきりケースへの対応が進み、情報が把握されてきた	1/22 避難所周辺地域巡回（西市民Hp. Ns 延53名） [対象] 吾妻小、小野柄小、湊小、芽合文化センター [目的・根拠] 避難民の生活環境と状況把握 [実施状況] チェックリストを用いて調査。避難所での換気の悪さ風の流行の実態把握	1/24 在宅ケア研究所に保健所PHNが受け持っている寝たきりケースの引き継ぎ計画の実行を依頼	1/23 結核訪問（HCのPHNのべ18名） [対象] 担当ケース [目的・根拠] 担当ケースの安否確認、治療中断者の再発・悪化、他への感染防止のための受診勧奨 [実施状況] ケース198名中在宅58名 避難所13名 医療機関リストを持参し受診勧奨 /24 ３ヶ月未満児状況確認（垂水PHN延べ３名） [目的・背景] 抵抗力のない３ヶ月未満児の状況把握が必要 [実施状況] 台帳記載の３ヶ月未満児ケースの電話連絡による状況確認。 対象173件中96件連絡ー26件確認 内在宅14件、他区避難10件
1/25		1/25 避難所環境対策の実行（HCのPHN9名、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱNs） [対象] 全避難所 [目的・根拠] 避難所巡回で指摘された環境悪化、風邪の流行の拡大防止と改善 [実施状況] 手洗い・うがいポスター作成 うがい薬を持参しうがい勧奨、手洗い指導 オスバン液を持参しトイレ清掃指導、分娩指導、換気改善		/25 母子フォローケース安否確認（Vo助産婦・PHN） [対象] 母子フォローケースで状況未確認のもの [目的・背景] 寝たきり老人継続ケースの訪問時に（1/20～）状況の把握できていないケースの再訪問の必要性を認識しつつも時間的・マンパワー的な不足 [実施状況] 保健所保健婦による電話対応

1/26 厚生省健康政策局計画課
→各都道府県保健所所管課長
「兵庫県南部地震にかかる保健婦の派遣について」

1/26 PHNミーティング第３回 3)

同日の通達（上記）を受け
所長、課長、大阪市・滋賀県PHNも参加
[内容]
応援PHNから地区担当PHNへの避難所の状況と活動内容の報告。応援PHNとの連携を図り、活動の組織化を強化する必要性が提案された
独居老人の安否確認を実施する上で、福祉事務所より名簿を入手するよう提案

1/27 乳幼児健診、ツ反、BCG実施 9)に向けての会場探し

[背景]
１医師より乳幼児健診・予防接種の実施提案があり、また、電話等による問い合わせも増加してきたこともふまえ、具体化に向けて活動を開始

[実施状況]
保健所外での実施をめざし担当地区のめぼしい施設を選定し、会場としての適正を電話確認の上で検討
（健診は1/29実施）

1/31 PHNミーティング第４回

[提案１]
応援PHNとの連携を強化し活動を組織化するためのマニュアル・報告書・資料の作成について
→この日、「応援保健婦看護婦の活動についてのお願い」4)、報告書、地図、活動状況、計画の要旨 5)を作成

[提案２]
既存自治組織の機能状態と情報・物資の伝達状況把握

[提案３]
寝たきり老人継続ケースの安否確認等の優先的なケースの対応が一段落し、他のケースに対応したいという要求があった

1/27 リハビリ教室参加者安否確認（保健所PHN3名）

[対象]
リハビリ教室参加者
[目的・背景]
優先度の高いケースへの対応が一段落
[実施状況]
電話連絡により確認
20名中死亡1名

1/28 東部地区全戸訪問

1/30 中部地区３ヶ月未満児再訪問（HCの担当PHN・応援PHN）

[対象]
1/24からの継続
[目的・背景] 8)
1/24～の状況確認以降、他のケース対応に追われていたが、乳幼児の多い中部での迅速な対応が必要と判断
[実施状況]
不在者メモを作成し、不在の際にはメモを残す
この後継続し、2/11より１歳児未満に対象を拡大

2/1 市衛生局健康増進課
→6区保健課長
「各自治体からの応援保健婦の派遣について」

2/2 厚生省の要請で結核研究所青木医師来県
（結核ケースの動態・所在を1週間毎に確認する事を提案）
→以降、各保健婦のケースとして随時対応

2/6 担当PHNと応援PHNによる情報交換、打ち合わせを9時から開始する事に定例化 6)

2/9 保健婦ミーティング第5回
［提案1］
1/24から実施されている乳幼児対策の対象を、3カ月未満から1歳未満に拡大
［提案2］
避難所で気分転換をはかる環境づくりを計画（ストレッチ運動・BGM放送等）
［提案3］
乳幼児健診をツ反・BCGと併せて実施する 10)
［背景3］
1月末には実施困難な状況であったが、復興が進むにつれ実施の必要性と実現可能性が大きくなった。

2/11 民生局長・衛生局長
→各福祉事務所長
各保健所保健課長
「要援護者第一次緊急対策の実施について」

2/1 HCのPHNから「応援保健婦・看護婦活動についてのお願い」と避難所業務用の記録用紙・地図・活動状況・計画の要旨を配布

［対象］
応援PHN. Ns
［目的・根拠］
保健活動における保健所PHNと応援PHNとの連携強化と保健活動の組織化。
地域はHCのPHN、避難所は応援PHNという役割分担の徹底

2/1 寝たきり継続訪問不要ケース安否確認
（垂水PHN延4名→西部地区から
西市民HpNs延4名→東部地区から）

［対象］
寝たきり継続訪問不要ケース
［目的・背景］
1/31の保健婦ミーティングでの［提案］をうけて
［実施状況］
担当PHNの作成した名簿113名の安否確認のうち在宅24名特変なし

2/1 独居老人安否確認
（自治労延28名、ボランティア延約30名 西市民HpNs延125名）

［対象］
(2/4以降は)福祉事務所の台帳に記載されている独居老人
［目的・背景］
1/26のPHNミーティングでの［提案］をうけて
［実施状況］
2/4に福祉事務所の台帳を入手。それ以前は1/28からの全戸訪問と平行して実施（2/20まで継続）
2/24現在1882名 中在宅539名

2/6 独居老人安否確認情報から必要と判断したケースの訪問
（HCのPHN）

［対象］
2/1からの独居老人安否確認情報から必要と判断されたケース
［実施状況］
2/1～2/16, 2/17～2/20の独居老人安否確認情報を随時入手し、対応ケースとしてあがった件数

継続

2/9 在宅ケア研究所の訪問指導員のケース引き継ぎ
［目的・背景］
12月末から保健所より在宅ケア研究所へのケースの引き継ぎが予定されていたが震災で中断。その後1/24に保健所からの要望で在宅ケア研究所が対応
［実施状況］
必要なケースのみ担当PHNが在宅ケア研究所の訪問指導員に同行。その他のケースはそのまま引継。

2/10 高齢者等実態調査
［対象］
避難所の65歳以上の方と要介護者
［実施状況］
保健所PHNおよび応援PHNが訪問

2/2 結核ケースの所在・病態を1週間後に訪問し追跡確認
保健所保健婦により継続

2/2 自治会・民生委員への巡回
［目的］
地区の状況を把握していると思われる自治会民生委員に状況を確認
［実施状況］
各地区担当PHNが全戸訪問

2/4 水痘調査（千葉県PHN2名）
［対象］
葺合高校避難所
［目的・背景］
2/4に阪大小児科チームが同校避難所にて患児を発見、入院。
流行状況の把握・ワクチン接種情報等の把握のため調査を行う必要性
［実施状況］
感染者なし。ワクチン接種必要患児3名発見。2名に2/5午前にワクチン接種

2/11 乳児訪問
（Yo看護婦）
［対象］
この時点で対応されているケースをのぞく1歳未満児976名
［目的・背景］
東部・西部地区は中部に比べ乳幼児のケースが少なく、また東部は老人ケースが多いこともあり取り組みがこの時期まで遅れた。一方、2/9の保健婦ﾐｰﾃｨﾝｸﾞでの［提案3］を受けて対象を1歳未満児に拡大
［実施状況］
今後の乳幼児健診・相談・ツ反BCGの計画を連絡し、情報伝達のため電話番号を記録。
夜泣き・乳児健診・予防接種等について問い合わせ・相談が多く、乳幼児相談の必要性を改めて認識

2/12 市衛生局より結核登録者状況の把握と報告の依頼

2/15 衛生局より各保健所事業の今後の方針発表 11)

2/17 PHNミーティング第6回

[提案1]
今後の保健婦活動を午前中に1回とし午後を他の活動に
[背景]
避難者が比較的元気で、そのうえ昼間は外出者が多い
[内容]
入浴サービスの情報を集める
乳幼児健康相談を3月上旬に実施することを決定

2/20 衛生局保健予防課長
→各保健所長
「被災地における当面の結核対策について」

2/23 巡回乳幼児相談についての会議 13)

広報活動、会場、日程、対象スタッフ、必要物品等についての具体的な話し合い
[背景]
以前にツ反、BCGは巡回では実施しないこと、「検診」ではなくあくまで「相談」として実施することを課長から依頼され、相談としての活動方針を考慮

2/27 PHNミーティング第7回

[提案]
難病ケースに対処するため名簿を作成 7)
[背景]
平常時は難病連（民間）が活動を行っていたが、PHNは一部の継続ケースの対処に限られていた。震災後、ケースの状況を把握する必要性を感じながらも実績のないことからこの時期まで着手できずにいた。
[実施状況]
4/24から保健所PHN
5/15から応援PHN

2/13 安否確認調査時不在の独居老人再訪問開始（HCのPHN））

継続

2/17 安否調査漏れ独居老人の訪問（西市民HpNs延26名）

[対象]
2/1～2/16の調査時に、情報を入手できなかった独居老人

2/20 各避難所における要援護者実態調査

[実施状況]
民政局の依頼により応援看護婦・ヘルパー・保母が避難所を巡回
[対象]
避難所の65歳以上の方および児童2616名
[結果]
要援護者272名

2/13 西市民病院Nsにより引き継ぎ（延べ48名）

2/17 第2回水痘調査

2/20～ 6歳未満児健康調査

[目的]
避難所の水痘患者発生報告を受け今後の乳幼児伝染病予防を目的
[実施状況]
保健所および応援のPHNが各避難所にて聞き取り調査
[対象]
320名

2/24 乳幼児健康相談会場視察（保健所保健婦）

2/26 結核登録者状況把握
1週間毎に報告（全市）

2/27 臨時相談係長会

2/27 乳幼児健康相談案内発送準備（ボランティア10名）

[発送先]
1.6未満乳幼児全ケース1176名
[目的・背景]
3/6～/8に実施予定の乳幼児相談会の広報
[実施状況]
全ケース発送のための宛名書き

2/28 乳幼児健康相談案内発送

2/28 仮設住宅への訪問開始（脇の浜）

3/2
PHNミーティング第８回
[内容]
乳幼児相談・予防接種の職員配置について
地域型仮設の説明について

3/3
PHNミーティング第９回
[内容]
乳幼児健康相談の内容
4月以降の保健所事業の見直しについて

3/10
定例事業にむけての物品整理

3/14
PHNミーティング　第10回
雲仙PHN活動の報告

3/15
PHNミーティング第11回
[内容]
神戸生き活き健診
医療班撤退について
[背景]
避難所の救護所を3月末で終了し以降地元医師会と中央市民Hpが救護活動にあたる

3/23
相談係長会
4月からのPHN活動

3/29
PHNミーティング　第12回
[提案]
応援PHNの活動について
業務分担(仮設住宅一名簿作成・図式化・巡回、避難所の巡回、保健所だより)
[背景]
4/1より応援態勢が変更され人数が減少

3/30
環境局より調査依頼
→家庭療養指導事業実態調査

3/6
滋賀県応援PHNと他県応援スタッフへの3/6の活動報告と情報提供
(滋賀県PHN)
[対象]
他府県スタッフ
[目的]
長期避難所生活に伴う保健上の問題の確認と対策施行の勧奨
[実施状況]
他府県PHNの受け持ち施設での具体的対策が徹底して行われた報告はなし

3/9
宮本小ケース報告
滋賀県PHNによる他県応援スタッフへの報告

3/4
独居老人の訪問対象名簿作成
(西市民HpNs延33名)
[目的・背景]
長期（約20日間）にわたる安否確認調査の間、初期に収集したデータが古くなり、新しいものが必要となった。また、これまで使用した名簿には年齢等の保健活動に必要な情報が不足しており、これを補った保健業務用名簿が必要となった。

3/11
独居老人訪問
(西市民HpNs延84名)
[対象]
独自に作成した独居老人訪問対象者名簿に記載されているケースと状況把握のできているケース
[実施状況]
PHNにより、Nsが保健の視点からの情報収集ができるような相談票が作成され、収集された1913件を訪問。大きな問題を抱えているわけではないが、今後、保健の立場からも状況を把握しておくべき在宅の高齢者が意外に多いことが明らかとなった。

3/3　乳幼児健康相談打ち合わせ

3/6
乳幼児健康相談（中部地区）
実施52名

3/7
乳幼児健康相談（東部地区）
実施37名

3/7
コレラ発生報告→同行者調査

3/8
乳幼児健康相談（西部地区）
実施29名

3/9
ツ反・BCG打ち合わせ

3/14
ツ反実施
３ヶ月乳児と未接種児

3/15
仮設住宅訪問開始（大倉山）

3/16
夜間電話相談
ポスター設置

3/17
Vo対象の健康相談
「日常生活の注意」

3/17
1.6、3歳児健診の打ち合わせ

3/20
基本健診結果説明
（～4/4　16ヶ所　343名）

3/23
「愛のかけはしカード」用紙作成

3/27
赤痢発生報告→同行者調査

資料4-2-2-1　保健婦活動日誌

兵庫県南部地震保健婦活動日誌

神戸市中央保健所

Ｈ７年　　月　　日　　保健婦（　　）

氏名（生年月日）	住所・ＴＥＬ	相談内容	対応

資料4-2-2-2 保健婦・看護婦・介護士活動報告

保健婦・看護婦・介護士　活動報告

月　日

場所＿＿＿＿＿＿　所属＿＿＿＿＿＿　名前＿＿＿＿＿＿

種別	件数	主たるケアの内容	健康所以外での相談（件数）
乳幼児			
心身障害			
成人病			
老人			
感染症			
精神			
その他			
再掲 ねたきり			
合計			

保健所に継続の必要なケース

その他・申し送り事項

備考（気のついたこと・要望など）

表4-2-2-2　保健婦訪問等件数内訳

保健婦訪問等件数内訳：訪問件数-不在件数，訪問以外の連絡方法による件数-不在件数）

１９９５・１・１７～３・１５

	寝たきり	結核	妊産婦	乳児	幼児	精神衛生	成人病
1/20	51-5,0	0,1					20-2,0
21	90-5,6					3-2,0	22,1
22	44-1,1						11-1,1
23	3,8	1,98-56					9,6
24	4,6	56-7,18-1				2-1,0	2,2
25	11,4	27-22,2		0,1		1,0	5,1
26	13-1,9	9-4,2		0,2			11,2
27	3,5	3,1	5,0	6,0		0,1	1,4
28	1,1	0,1		0,1-1		1,0	6,0
29	8,2	1,0		0,5		2,0	6,1
30	11-1,6	0,1		11-3,0		2,0	14-1,3
31	6-2,1			0,1			6,0
2/1	2,1			8-8,0			4,1
2	5-1,5	0,1		1,0		4,1	23,4
3	0,1	1,7		0,1			4,1
4	6,0		1,0	0,1			6,0
5		1,0				2,0	1,5
6	1,4			2-1,0			2,0
7	2,4			0,2		2,0	5,2
8	9-1,0			0,2		2,0	15-2,1
9	0,1			0,1		1,0	2,1
10	9,4	0,122-1	0,1	10-3,1			3,2
11	3,0	1,1		11-6,1		2,0	5-2,1
12	7,0	7-3,6		10-7,3			18-11,0
13	4,0	1,2		12-3,12-9			17,0
14	5,2	3-3,0		1-1,9		2,0	7,1
15	1,0	2,0		1,0			20-8,1
16	12,1	1,5				2,1	10,0
17	1,3	0,1	0,1				0,1
18	5,0						17-3,1
19	3,1	17-3,3					8-3,0
20	2,0	2,1	2,0				4,2
21	2,5	5-3,13-4				4,5	6,1
22	3,0	6-1,2				1,0	13-1,1
23	5,2	3-1,13	1,0			1,1	42-35,1
24	2-1,1	1,0				1,1	29-27,1
25	5,1	0,11-5	1,1			1,1	20-4,0
26	1,2	0,2					30-27,2
27		0,4				0,1	5,0
28	6,0	1,1					4,1
3/1	3,3	0,4		0,1		0,1	7,0
2	7-1,1		0,1-1		2,0		10-2,0
3	5,0					2,0	1,2
4	1,0	1,1					1,0
5		0,2					
6	2,1	0,2		1,0			5,1
7	3,0	0,1		0,1		1,0	1,2
8	3,1	0,2		0,9			3,1
9	5,1		1,0	1,0			13,1
10	2,1						12,1
11	3,0	1,0				1,0	2,0
12	3,0					2,0	2,0
13	2,1						
14	1,1						2,0
15							
合計	386-19,97	151-47,330-67	11,4-1	75-32,54-10	2,0	42-3,13	492-129,60

	連絡	障害者	難病	公害	その他	合計
1/20	20,0	39-4,0	3-1,0		5,0	87-7,0
21	8,0	45-5,2	5-1,0	1,0	11-2,0	95-10,3
22	7,0	30-1,2-2			2,0	50-2,3-2
23	2,5	1,3	0,1		0,1	13,114-56
24	5,4	3,3			1,2	69-8,29-1
25	25,4	5,3		0,1	3,0	66-22,12
26	23,3	3,7			5,2	51-4,18
27	3,1	5,4			6,0	29,11
28	13,0	7,2				27,4-1
29	9,11	1,0	1,0		2,0	22,17
30	9,5	5,3			8-1,2	49-5,14
31	1,2	4-2,0			0,1	11-2,4
2/1	11,0	3-1,3				26-9,4
2	17,1	3,1			10,1	58,9
3	16,0	2,1			1,0	24,10
4	23,2	6,0			1,0	37,3
5	0,2	3,6				7,13
6	12,2	2,6			2,1	20-1,9
7	14-1,4	3,2			3.0	27-1,10
8	12,2	5,1			3.0	37-2,6
9	2,8	3,1			0,1	8,12
10	4,0	3,2				20-3,128-1
11	4,2	2,0			3,2	28-8,7
12	7,2	5-1,0			5-2,0	52-24,11
13	10-1,4	4,2				44-4,20-9
14	0,3	5-1,0			1,0	19-5,13
15	12,4	3,2			4-1,3	42-9,10
16	7,10	12,0			1,0	33,16
17	3,2	1,0			2,0	6,5
18	6-1,4	2,1				25-4,6
19	6,1	2,1			1,0	34-6,5
20	9,2	2,2			8,1	27,8
21	10,6	3,4		1,0	2,0	31-3,29-4
22	8,4	2,0		2-1,1	2,0	34-3,8
23	8,5	5,3				60-36,23
24	3,0	1-1,2			2,0	37-28,4
25	9,4	3,1	2,0		3-1,0	39-5,18-5
26	4,0	1,0				35-27,4
27	4,4	1,0			1,0	11,9
28	26-3,1	6,0		1,0	1,0	39-3,3
3/1	24,7	2,1			0,1	33,15
2	14,3	7,2			5,0	38-2,6-1
3	7,10	6,0			1,0	17,12
4	2,3	1,0				5,4
5	0,1					0,3
6	4,3	0,1	1,0		6,0	17,7
7	5,5	2,0			3-1,2	12-1,11
8	5,3	2,2		0,1	2,0	12,18
9	2,2	4,0			8,0	29,3
10	4,6				1,0	17,7
11	1,0	0,1			1,0	6,1
12	1,1	1,0				6,1
13	0,4	2,1			1,0	3,5
14		1,1	1,0	1,0	4,0	9,1
15	1,0					1,0
合計	442-6,162	269-16,79-2	13-2,1	6-1,3	131-8,20	1634-244,726-80

資料4-2-2-3　保健婦訪問活動実績

保健婦訪問活動

対象	人数	在宅		避難所	親類・知人宅	入院	入所	仮設	不在	不明	その他
ねたきり者訪問指導継続者	183	1/23	70	38	37	28	8		0	2	0
		2/10	69	12	40	35	23		0	0	4(死亡) 震災前 1 震災後 2 震災 1
結核治療者	173	1/24	49	21	18	40	0		26	15	4 震災前より居所不明3 転出 1
リハビリ教室参加者	20	1/27	7	1	6	3	1		0	1	1(死亡) 震災 1
訪問指導継続不要のねたきり者	117	2/ 2	35	8	23	12	7		8	12	12(死亡)震災前 9 震災後 3
一人暮らし老人	1950	2/14	580	246	471	82	44		223	277	27(死亡)震災 27
乳　児	976	2/19	176	28	86	2	0		393	257	34 転出 29 欄国 3 死亡 2
難　病	236	6/ 7	83	1	10	7	0	1	77	57	

※不在……家はあるが訪問時不在。不在票を置き連絡を依頼する。

※不明……家が倒壊または立入禁止で状況がつかめなかった。

資料4-2-2-4　保健所保健婦・応援看護職訪問活動状況

保健所保健婦・応援看護職訪問活動状況

（1月17日～5月31日）

	訪問数	指導数	指導件数内訳							ねたきり（再掲）
			乳幼児	心身障害	成人病	老人	感染症	精神	その他	
避難所	か所 3031	件 11615	758	192	2929	4904	227	282	2323	116
在宅	世帯 5144	件 3014	387	410	373	1377	143	20	304	636
仮設	世帯 1330	件 931	4	82	330	282	5	16	212	20

資料4-2-2-5　応援保健婦・看護婦の活動についてのお願い

応援保健婦，看護婦の活動についてのお願い

1．避難所の巡回

＜目的＞　公衆衛生的立場から、避難所において住民がどのような状況で生活しているか把握し、予測される疾病の予防や健康問題に対処する。

＜巡回時把握する内容＞　別紙のとおり

(1)医療体制

(2)環境状況　・トイレ　・手洗い　・ゴミ　・給水　・暖房　・換気（分煙）

(3)配置薬の状況

(4)疾病の発生状況　・かぜ　・インフルエンザ　・水痘　・シラミ、ノミ　・その他

(5)その他　・規模（人数）

＜個別ケースの対応＞

(1)高齢者・乳幼児・妊婦・精神・その他

(2)医療チームや関係機関（福祉事務所、精神巡回Ｄｒ等）と連携をとり対応する。

＜集団に対する指導＞

(1)生活リズムの改善　・寝たきり予防　・健康体操　・ストレッチ

(2)ＢＧＭ，保健所ニュースの放送等

2．避難所周辺地域の生活状況を把握し、地域全体の健康問題を考え個々の健康問題に対応する。

・独居老人　・ねたきり者、障害者　・乳幼児 をかかえる家庭を中心に訪問し、健康問題に対応する。

3．流れ

＜ＡＭ　９：００＞

(1)東部、中部、西部の箱の避難所ファイルを見る。

(2)東部、中部、西部のＰＨＮに声をかけて出発する。

(3)医療チームの記録（事務所入って左側戸棚の上）に目を通してケースを把握する。

(4)保健所ニュースを持参し、配布する。（医療班の常設以外は必ず持参して下さい）

(5)避難所巡回、周辺地域の巡回

＜ＰＭ　１８：００＞

(1)看護相談報告書に記録しファイルに入れる。

(2)緊急ケースについては三木係長（三代主査）または、担当ＰＨＮに報告して下さい

(3)避難所の状況記録に転記する。

4．スタッフ交替時の申し送りは各スタッフ同士で確実に行う。

資料4-2-2-6　中央保健所保健婦・応援保健婦の活動について

中央保健所保健婦，応援保健婦の活動について

Ｈ７．３月
神戸市中央保健所

１．活動計画

地域全体の要援護者のうち、特に避難所内のハイリスク者と仮設住宅入居者を対象に、重点的に保健指導を行い、継続ケアのコーディネートを行う。

所内業務の優先度の高い事業から再開していく。

２．応援PHNの活動

⑴避難所における巡回健康相談

①救護班の撤退における避難所の被災者の不安解消と、医療ニーズに対応

②巡回健康相談によるケアニーズの把握と看護サービスの提供

⑵在宅（仮設住宅）等の家庭訪問

①仮設住宅の入居者、在宅の被災者の健康状態の把握

②寝たきり者、身障者等、要援護者等への訪問指導及び看護

③仮設住宅への移住による生活条件の変化に対する指導と助言

⑶地区担当PHNとのカンファレンス、引き継ぎは個別に時間を決めて行う

３．応援保健婦活動地域

＊千葉市PHN　(1人/日~金)：大倉山仮設住宅，　下山手小，山の手小，社会保険センター

＊和歌山県PHN(2人/水~金)：ポーアイ仮設住宅，神戸生田中，北野小，諏訪山小

＊大阪市PHN　(3人/日~金)：ポーアイ仮設住宅，①吾妻小，地域福祉センター，いこいの家

②小野柄小，地域福祉センター，

③二宮小，勤労会館

＊滋賀県PHN　(2人/水~金)：ポーアイ仮設住宅，春日野小，若菜小，宮本小

４．中央保健所PHNの活動　（４～６月）

⑴避難所における巡回健康相談

避難所数：東部　28ケ所，中部　11ケ所，西部　30ケ所

避難所内継続ケースフォロー

⑵在宅（仮設住宅）等の家庭訪問

①中央区内５ケ所　１２００戸

②地域の新規、継続ケース

⑶ケース処遇、他機関との連絡、調整

⑷所内事業　（乳幼児健康相談，１．６才児・３才児健診，予防接種）

所内業務　（検病調査，所内面接）

所外事業　（臨時１．６才児・３才児健診，基本健康診査）

⑸あんしんすこやか窓口（保健福祉総合相談窓口）

資料4-2-2-7　水痘調査の経過

水痘調査経過＜山の手小学校・社会保険センター関係分＞

・１月　日水痘らしき子供が社会保険センターにおり、みんなから嫌がられているとの情報あり、保健所より小児科医師訪問するが、不在で詳細不明。
・２月15日　20才男性（山の手小６－６）山の手小救護所受診し、中央市民病院に隔離目的で入院となる。１週間前に、社会保険センターにいた水痘の友人と遊び感染した様子とのこと。
・２月17日　４才女児（社会保険センターに避難）保健所救護所受診し水痘と診断され自宅療養となる。

２月17日　浜畑医師を交え検討し、山の手小、社会保険センターに避難中の６才以下の乳幼児に対し、予防接種の状況、体調チェックを行い今後の対策を検討することにする。（パニックとならぬように水痘感染については告げないようにする。）

１）保健婦、看護婦によるリストアップ、調査実施
・山の手小　19人（内13人実施）、社会保険センター　16人（内15人実施）

２）医師、保健婦から避難所内に隔離室を設けられないか山の手小、社会保険センターに申し入れる。
・山の手小－校長より医療班の使用している和室の利用承諾を得る
・社会保険センター－職員より相談室利用承諾を得る

２月18日　深谷医師を交え検討し、必要であれば乳児３人（いずれも社会保険センターに避難）のワクチン接種を行い、また６才以下の乳幼児の診察を行い体調チェックすることにする。

１）乳児３人（２Ｍ，５Ｍ，７Ｍ）の内１人（２Ｍ）しか会えず。
・社会保険センター内で、患児との濃厚接触が考えられるため、児の母ワクチン接種希望されず。
・症状発現時は小児科に受診すること、避難所にいることを告げ、できれば入院が望ましいことを話す。自宅で療養できるのであれば、病状が許せば自宅で療養可能であることを説明する。

２）他の乳児２名にも電話連絡をとる。
・症状発現時は小児科に受診すること、避難所にいることを告げ、自宅で療養できれば自宅療養をすすめる。

３）当日合えた幼児の診察を行う。
・山の手小　4人実施、社会保険センター　6人実施、新たな発症はみられず。

４）入院、自宅で療養できない場合に避難所内の隔離室を使用し、使用についての注意は別に決める。

今後の方針

(1)　水痘（他の感染症も含む）と疑わしい児は、小児科を受診させる
(2)　自宅療養を勧める（３Ｍまでの患児は入院が望ましい）
(3)　自宅療養できない場合は、避難所内の隔離を検討する
＊他の避難所でも６才以下の乳幼児に対して健康状態のチェックと予防接種状況調査を行い基礎資料を作成しておく。

資料4-2-2-8　乳幼児健康相談問診票

《　おたずね　》

神戸市中央保健所

中央保健所での　乳 児 健 診　を利用されたことがありますか		ある　　ない	
お子さんの 名前		生年月日：平成　　年　　月　　日	

☞あてはまる全ての項目に○をつけてください。

◆地震後育児に関して、うまくいかなくなったことがありますか。　　はい　　いいえ

［お子さんについて］

1．授乳間隔が不規則になった。
2．離乳食がすすまなくなった。
3．おかしが増えた。
4．歯の手入れができなくなった。
5．下痢、便秘をした。
6．身体の清潔が保ちにくかった。
7．トイレトレーニングが中断した。
8．くせがひどくなった。
9．ねつきが悪くなった。
10．夜泣きをするようになった。
11．外遊びができなくなった。
12．ぐずることが多くなった。
13．その他（　　）

［保護者の方について］

1．体調をくずした。
2．イライラしやすい。
3．クヨクヨする。
4．全てが不安。
5．その他

◆今も困っていることがありますか？　　後ほど、ご相談させていただきます。

食事のこと（　　）
育児のこと（　　）
歯のこと　（　　）
その他　　（　　）

◆地震後、どこかに避難されましたか。　　1．した　　2．しない

避難場所（　　）
その他　（　　）

＊その理由は何でしたか。

1．水が出ない　　2．ガスが出ない　　3．電気がつかない
4．家が壊れて住めない　　5．余震が恐い
6．その他（　　）

＊自宅に帰ってこられてのはいつですか。　　月　　日

資料4-2-2-9　乳幼児健康相談記録票

乳幼児健康相談記録票

受診場所（ 中 ・ 東 ・ 西 ）　　（95年 3月　日）

フリガナ			主訴その他	自宅、避難所（　　）、避難先（　　）	
氏名					
月齢	満　　歳　　か月　　日			（便　　日　　回）	
計測	体重 kg	身長 cm	パーセンタイル	(標) (脹)	
	胸囲 cm	頭囲 cm	カウプ鑑		
医師による相談			現在の食事状況	母乳　回 粉乳　ml ×　回 牛乳　ml ×　回 果汁　ml ×　回 離乳食　野菜スープ、おもゆ類、かゆ類、全卵、卵黄、白身魚、とうふ、肉類、野菜類、果物類、油脂類、海草類、その他（　　） 幼児食　回、断乳　完了　未 おやつ　回、歯磨き　回	

（医師名 稲田　誠 ）

育児相談	栄養相談	歯科相談
（　　）	（　　）	（　　）

神戸市中央保健所

資料4-2-2-10　避難所の巡回について

避難所の巡回目的：

公衆衛生的立場から避難所において住民がどのような状況で生活しているかを把握し、

後予測されるインフルエンザ等を予防するための方策を検討する。

巡回時把握する内容

避難所名前：　　規模（人数）：

訪問時間：

調査者氏名：

管理統括している代表者の氏名：

避難者の

年齢構成：

施設の広さ：

空気の流れ：

（換気の状況）

喫煙者の状況（たばこによって空気が汚染されていないか）：

分煙が可能かどうか：施設の環境上部屋があるか

管理者の反応

トイレの状況：

手洗いをどのようにしているか：

ごみの状況：

給水の状況：

温度差（昼と夜）：

夜間の暖房（個人としてほっかいろなど）確保されているか：

対象者の精神身体状況の把握：

	年齢別		
	１５歳以下	１６－６４	６５以上
咳			
発熱			
下痢			
頭痛			
便秘			
食欲不振			
不安			

可能であれば

慢性疾患をもっている人の状況：

疾患名	治療継続状況	困っていることはないか

妊婦

乳児

老人

精神

資料4-2-2-11　避難所の状況調査票

避難所の状況　　避難所名＿＿＿＿＿＿＿＿　連絡先＿＿＿＿＿＿＿＿　記載者

日付	医療体制	巡回診療	環境状況	配慮等の状況	インフルエンザ等	ケアの必要な高齢者	乳幼児	その他の問題

資料4-2-2-12　被災者健康相談票

No.

被災者健康相談票

種別	・面接　・その他 ・TEL ・訪問	対象者	・乳幼児　・ねたきり ・妊産婦　・難病 ・成老人　・その他

氏名	男・女	M.T.S.H　年　月　日生（　歳）	相談日	月　日
			避難所	

①元の住所	中央　区　町　丁目　番　号（☎　－　）	連絡先	
②現居所	中央　区　町　丁目　番　号（☎　－　）	連絡先	
③新居所	区　町　丁目　番　号（☎　－　）	連絡先	

相談者	氏名　続柄（　）	中央　区　町　丁目　番　号（☎　－　）

既往症		治療状況	

自覚症状				被災状況
	・頭痛，頭重 ・不眠 ・倦怠感 ・吐き気 ・めまい ・動悸，息切れ ・肩凝り ・関節，腰痛 ・目の症状 ・咽頭の症状	・せき ・たん ・便の性状 ・食欲 ・体重減少 ・精神運動減退 ・空虚感 ・不満足 ・決断力低下 ・焦燥感	・ゆううつ ・朝方抑うつ ・精神運動興奮 ・希望喪失 ・悲哀感 ・ ・ ・ ・ ・	家族状況

相談内容	指導内容
	今後の計画 解決 継続（　）

担当者（　）

経　過　用　紙

教護所		氏名		No.

月　日	相談方法	相　談　内　容	指　導　内　容	担当者

資料4-2-2-13　仮設住宅訪問記録

神戸市中央保健所　Ｈ７．４．

仮設住宅訪問記録記入について

＜下記の個票を１世帯に１枚作成して下さい＞

サイン

地区・室番号		調査日	年　月　日	調査結果	訪問指導	要　・　不要	
世帯主氏名		電話番号		入居区分	世帯	担当	PHN　CW

入居者名	続柄	生年月日(歳)	職　業	健康状態	福祉制度利用等

備考	旧住所	
	新住所	

１、調査日の下にサインをお願いします。

２、備考欄には、次の事項を参考に、特記事項があれば、記入して下さい。

１）健康問題・医療問題（栄養面、歯科も含む）

２）精神・心理的問題

３）育児問題

４）福祉制度関係

５）介護問題

６）経済的問題

７）家族関係

８）近隣関係

９）今後の生活設計

10）その他今後の対応に於ての留意点など

３、福祉制度については、［こうべの高齢者福祉施策］を参照して下さい。

４、継続の必要なケースは、種別の訪問記録票も記入して下さい。

資料4-2-2-14　仮設住宅における要指導者状況

H.7.

仮設住宅における要指導者状況

【 6月30日 】現在　　（中央）保健所

仮設住宅名	建設予定戸数	訪問済み戸数 独居者を( )に再掲上	要指導者数	要指導者数内訳												
				感染症	結核	精神	成人病	公害	心臓障害	肝臓病	その他の疾病	妊産婦	乳児	幼児	その他	寝たきり(再掲)
大倉山	169	153 (75)	12			2	3		4		3					3
ポートアイランド 第Ⅰ	400	292 (162)	62			2	32		11	2	14				1	7
〃 第Ⅱ	400	251 (132)	53		2	2	30		1	2	11				5	11
〃 第Ⅲ	130	81 (41)	24			1	11		12							1
〃 第Ⅳ	176	76 (44)	16				8		5		3					1
神仙寺	23	15 (9)	4				1		2						1	
脇の浜 3丁目	30	23 (9)	3						3							
〃 公園	38	35 (6)	5						4						1	
計	1366	926 (478)	179		2	7	85		42	4	31				8	12
(地域型仮設)		( )														
東川崎 公園	47	35 (20)	15				4		8		2				1	2
雲中 〃	31	26 (18)	10			2	2		6							
王子南 〃	71	39 (16)	7				1		5						1	
神若 〃	55	17 (11)	9			2	3		3	1						
春日野 〃	47	0 ( )														
筒井 〃	31	14 (9)	10				4		4		2					
計	282	131 (74)	51			4	14		26	1	4				2	2
合計	1648	1057 (552)	230		2	11	99		68	5	35				10	14

資料4-2-2-15　自治会の状況調査票

自治会の名称	自治範囲の町名	世　帯　数	人　　数

代表者（　　）　連絡先（　　）

☎

被災状況

残り世帯（　　）　人数（　　）

自治会内の避難所状況	
救援物資状況	
区役所の情報の有無	
医療情報の有無	
要観察者 保健，福祉関係その他	
住民の健康状況	
環境，食品衛生 その他要望など	

資料4-2-2-16　応援保健婦・看護婦派遣状況

応援保健婦・看護婦派遣状況

		1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月
保健婦	滋賀県	30	84	62	24	20	28
	大阪市	39	140	95	60	60	66
	山梨県	2	32	30	−	−	−
	和歌山県	−	48	62	24	−	−
	愛知県	10	56	114	−	−	−
	沖縄県	−	2´5	31	6	18	−
	千葉市	−	48	62	19	16	−
	埼玉県	−	−	−	−	36	40
	福島県	−	−	−	−	18	−
	垂水保健所	28	20	16	8	−	−
看護婦	西市民病院	日勤　78 当直　6	日勤207 当直　73	日勤152 当直112	−	−	−
	中央市民病院	−	−	−	−	100	220

資料4-2-2-17　応援保健婦活動状況

応援保健婦活動状況

自治体名	人数	日数	活動日	活動状況
千葉市	2人	1週間	2/5~ 3/30	筒井台中学校・葺合高校
滋賀県	3人 ~2/19 2/20~ 2人	3泊4日	1/20~ 3/31	宮本小学校・沖州会館・八雲老人いこいの家・葺合保育所 中央保健所ニュース発行
山梨県	2人	2日おき	1/26~ 3/25	春日野小学校
大阪市	5人 2/26~ 4人 3/3~ 3人	3/3~ 3日連勤	1/23~ 3/31	吾妻小学校・小野柄小学校・小野柄地域福祉センター 雲中小学校・葺合中学校・葺合文化センター 神戸生田中学校・山の手小学校・ 兵庫社会保険センター
愛知県	2人	3泊4日	1/27~ 3/26	若菜小学校・二宮小学校・神若老人いこいの家 西方寺・神若公園・国香公園
愛知県	2人	4泊5日	3/6~ 3/30	神戸諏訪山小学校・北野小学校・北野地域福祉センター 行吉学園
和歌山県	2人	2/14 2泊3日	2/5~ 3/31	下山手小学校・下山手地域福祉センター・下七会館 弁護士会館・生活学習センター・地方裁判所
沖縄県	1人	1週間	2/4~ 3/20	親和高校跡地・清風公民館・清風老人いこいの家 中山手南集会所・中山手北集会所・楠住宅4号集会所 楠住宅5号集会所・下山手集会所・下山手住宅1号棟集会所

表4-2-2-3　精神科救護所相談等統計

中央保健所　精神科救護所　相談等統計

日付	相談総数				処置		計
	来所	訪問	電話	避難所	入院	投薬	
1月22日	2	0	3	0	1	2	5
23日	3	2	4	0	1	4	9
24日	21	2	9	9	2	19	41
25日	23	2	7	12	2	30	44
26日	13	3	6	7	1	22	29
27日	17	3	7	12	0	32	39
28日	17	3	9	17	1	36	46
29日	17	3	5	18	1	32	43
30日	18	3	6	21	0	41	48
31日	10	2	5	16	0	26	33
2月 1日	16	2	5	16	0	31	39
2日	15	2	3	14	1	28	34
3日	11	3	8	14	14	0	36
4日	12	2	6	17	0	24	37
5日	14	2	5	19	0	31	40
6日	9	2	5	13	0	13	29
7日	10	2	4	12	1	11	28
8日	12	3	4	11	1	14	30
9日	12	2	4	12	1	21	30
10日	15	2	3	11	0	17	31
11日	5	3	3	10	2	6	21
12日	5	2	2	10	1	7	19
13日	12	1	3	9	0	13	25
14日	6	0	4	11	0	6	21
15日	8	1	2	9	0	12	20
16日	6	0	3	9	0	8	18
17日	10	0	4	8	0	10	22
18日	2	0	2	7	0	4	11
19日	4	2	3	9	2	8	18
20日	8	0	1	8	0	11	17
21日	3	0	2	9	0	6	14
22日	4	0	2	9	0	7	15
23日	10	3	1	8	3	10	22
24日	4	0	1	7	0	7	12
25日	6	0	1	8	0	10	15
26日	4	0	1	8	0	8	13
27日	8	0	2	7	1	11	17
28日	5	0	1	9	0	11	15
3月 1日	8	0	2	3	1	6	13
2日	7	0	2	4	0	6	13
3日	11	2	3	2	1	8	18
4日	6	0	1	3	0	5	10
5日	3	0	2	3	0	2	8
6日	3	0	3	1	0	3	7
7日	6	0	3	3	0	2	12
8日	3	0	2	3	0	2	8
9日	4	0	7	1	0	1	12
10日	7	0	1	4	0	5	12
11日	2	2	2	5	1	2	11
12日	3	0	2	0	0	2	5
13日	11	0	5	0	1	5	16
14日	6	1	4	1	0	6	12
15日	7	1	3	0	1	1	11
16日	6	0	3	2	1	3	11
計	93	6	45	35	6	59	179

資料4-2-2-18　歯科診療活動報告

H7.3.7

神戸市中央区における歯科診療活動報告

1）　被災地における歯科治療へのニーズに対応するため、中央区においては、神戸市中央区歯科医師会・大阪歯科大学・神戸大学・千葉県歯科医師会・東京歯科大学・日本大学松戸歯学部・歯科衛生士会　他のご支援により、仮設歯科診療所及び巡回歯科診療所が開設され、多くの被災者が応急歯科診療を受けられました。

避難所名	診療開設期間	診療者数	チーム名
吾妻小学校	1月28日～3月　3日	109人	中央区歯科医師会　他
上筒井小学校	2月　2日～3月10日	157人	千葉県歯科医療救護班
山の手小学校	2月　4日～2月10日	80人	大阪歯科大学　A班
春日野小学校	2月　6日～2月10日	20人	大阪歯科大学　B班
湊小学校	2月11日～2月17日	46人	大阪歯科大学　A班
神戸生田中学校	2月11日～2月17日	51人	大阪歯科大学　B班
二宮小学校	2月18日～2月24日	40人	大阪歯科大学　A班
楠中学校	2月18日～2月24日	19人	大阪歯科大学　B班

＊上筒井小学校については、2月2日~3月5日　までの人数

計　522　人

2）　大阪歯科大学　巡回調査班により、被災者口腔状況調査が実施されました。

避難所　24ケ所　　調査人数　　1205人

3）　中央区内診療可能歯科医院数　　182ケ所中　79ケ所　(3月3日現在)

・開院率は約44％ではあるが、夜間人口（被災者）への対応は可能と考える

＊　この度の震災における緊急歯科診療においては、地域歯科医院が再開され、また避難者からの要望も落ち着いてきたことから、その役割を終えつつある。

今後は、地域歯科医院と連携をとりつつ、被災者の歯科医療の確保に努めるとともに被災地における歯科保健活動を展開していきたい。

資料4-2-2-19　避難所巡回歯科相談実施報告

避難所巡回歯科相談　実施報告

中央保健所では、被災者への歯科保健対策として避難所において歯科相談を実施したので報告する。

1．実施形態：事前に実施された神戸いきいき健診の結果説明との同時開催とし、歯科相談コーナーを設置
2．実施回数：中央区内の避難所　１６ケ所　　１１４名（男２９名、女８５名）

3．感　　想：

- 夜明け前の大地震ということで予想通り義歯を紛失した方が多く、義歯があっても歯肉が痛く装着できないなど、避難所での食生活にも大変不自由を感じておられた。震災の翌日義歯を取り出しに行った方もあり、食の確保に密着した義歯の存在がうかがえた。また、歯肉の腫れや痛み、補綴物の脱離などのトラブルも多かった。
- しかし、すぐに歯科受診をした方は少なく、「もう少し落ち着いたら」「家がなんとかなったら」といった声がよく聞かれた。また、「歯科治療が中断してしまった」「かかりつけの歯科医院も潰れた」という方も少なくなかった。
- 巡回歯科診療が設置された避難所では「忙しくていけなかった」「診療があった事を知らなかった」「知っていたけど行かなかった」という人もあり歯科診療受診への働きかけや診療時間のＰＲが不足していたと考えられる。
- 水もない生活の中での口腔衛生状態の悪化が予想されたので、歯磨きの状況について尋ねると、震災から２ケ月が経過し落ち着いてきたのかほとんどの人が１日１～２回は磨いていた。しかし、「以前はちゃんと気を付けていたのに今は・・」「みんなの居るところでは、入れ歯は洗いにくくて」といった声もあり、なかなかもとの生活習慣に戻せないでいる様子で、今後の口腔衛生の働きかけの必要性を感じた。

4．結　　果

①
性年齢別

年代	～29	30～	40～	50～	60～	70～	80～	合計
男性	3	1	4	7	１１	2	1	２９
女性	1	3	１２	２５	３０	１２	2	８５

②
口の中の変化について（重複有）

項　目	歯　痛	歯肉痛	口内炎	義歯関係	補綴関係	その他	特に無
震災後	9	２２	3	２３	7	２４	４０
現　在	１１	２２	1	３３	１４	２９	２５

その他の相談内容では、歯科受診についてのもの、色素沈着、咬合等一般的な内容のものが多かった。

③
1日の歯みがき回数

回数	0	1	2	3	4	不明
人数	6	２８	５４	１５	0	１１

日　　程	場　　所	人数	相　談　内　容　等
3 /20 PM	筒井台中学校	8 人	・震災後、発熱し舌があれた。 ・補綴物がとれて噛めなくなった。 ・自宅に居たが、いつも通り歯みがきは注意した。 ・せっかく拾った命やからね、80までこの歯大事にせんとね。
3 /21 PM	神戸生田中学	8 人	・水もコップもなく、義歯の手入れができなかった ・歯肉が腫れて歯科を受診した。 ・避難所で義歯を落としヒビが入ったが、巡回歯科診療で修理してもらった。 ・震災から3日目に自宅から歯ブラシを取り出し初めて磨いた。 ・補綴物取れたが、忙しく巡回診療受けられず。
3 /22 AM	宮本小学校	7 人	・義歯みつかったが、壊れていて使えない。 ・12月末に数本抜歯したが、治療中断している。 ・義歯もかかりつけの歯科医院も焼けてしまった。
3 /22 PM	若菜小学校	7 人	・震災直後は口の中がザラザラしていた。 ・歯肉が腫れ義歯が入らなくなったが、売薬で治まった。 ・歯みがき時、出血するようになった。
3 /23 PM	春日野小学校	9 人	・歯磨きの回数が減ってしまった。 ・義歯紛失、治療中断 ・背骨を骨折し食事量が半減、歯肉痩せて義歯が合わない
3 /24 PM	楠中学校	7 人	・治療中断 ・歯の動揺がひどくなり、噛めなくなった。
3 /26 PM	二宮小学校	7 人	・震災の日上顎義歯はみつけて持ち出した。下顎義歯は翌日見つけ出し使っている。（10年以上使っている義歯なのでみつかりありがたい。） ・一時避難した北区で歯科受診したが、中央区に戻り治療中断になってしまった。 ・義歯紛失したが、明後日予約している。
3 /27 AM	所内	7 人	・義歯紛失し食べられなかったが、2週間前に新しい義歯ができ良好。 ・新しい義歯を作ってもらったが合わない。 ・震災から1週間後に義歯が無いことに気付き掘り出しにいったが、土塗れで入れる気がしない。
3 /27 PM	下山手小学校	5 人	・歯肉が腫れ痛く、受診した。 ・義歯が合わず痛い。

3/31 AM	湊小学校	7人	・ボランティアの診療を受け近医紹介されたが、やはりかかりつけ医を受診したい。が連絡取れない ・主治医も潰れてしまった。 ・息子に障害がありすでに下顎義歯なので上顎の歯は無くさないよう気を付けている。
3/31 PM	北野小学校	6人	・今までちゃんとしてたのに今は1日1回磨くかどうか。誰もしてくれへんもんね、自分でせんとね ・歯の動揺があり、義歯が合わない。 ・義歯紛失したのでかかりつけ医に連絡したら先生が亡くなっていた。
4/1 PM	山の手小学校	6人	・仕事を無くしたので時間ができた。歯科受診してみようかな。 ・歯科受診したいけど忙しくて・・。
4/2 PM	諏訪山小学校	6人	・歯が欠けたので噛み合わなくなった。 ・義歯紛失 ・歯みがきは思い出したときにする位。
4/3 PM	吾妻小学校	9人	・震災直前に義歯の印象を取ったところだったが、治療中断で主治医と連絡とれず困っている。 ・補綴物とれた。歯科診療あること知っていたが、受けず。 ・タンクの水で洗顔や歯みがきをしていたら、それはプールの水で飲めないと後で聞いた。それ以来歯肉が痛く不安。
4/4 PM	小野柄小学校	8人	・震災前より残根状態のまま放置、受診意欲無し。 ・前歯がグラグラしていたのを酔った勢いで引き抜いた。 ・受診の予約した後の震災、放置。 ・歯肉がヒリヒリ痛い、受診中。

今回、避難所に出向いて被災者の方たちの直接の声を聞けたことは、歯科衛生士として大変貴重で、重要な経験となった。被災者の歯科保健意識は低下してしまっているが、今回の歯科相談が新たなきっかけとなって歯科受診や口腔衛生に気づいていただければと思う。震災当初は直接のかかわりを持てなかったことが大きな反省点であるが、今後もあらゆる機会をとらえて歯科保健活動を実施していきたい。

資料4-2-2-20　医薬品使用上の注意に関する広報

医薬品利用のご注意

１．複数の市販薬や複数の医師から出された処方薬を飲んだり、長期間続けている場合は充分な注意が必要です。
　薬の使用にあたっては、お近くの薬局や避難所医療班の医師にお尋ねください。

２．医薬品は使用上の注意をよく読んで、必要な分量だけの使用に心がけてください。

※ 必要な時は下記へご連絡ください。

神戸市中央保健所　☎２３２－４４１１

資料4-2-2-21　薬品等不足分連絡票

月　日　　薬品等不足分連絡票

避難所救護班→中央区救護班本部

FAX　232－1495

TEL.　232－4411

内線　357　担当　磯元

避難所名＿＿＿＿＿＿＿＿　　医師名＿＿＿＿＿＿＿＿

薬品名	数量	代替が可か不可か	備　　考

上記の薬剤は　1．緊急を要するので至急持ってきてほしい。
　　2．急がないのでセットしておいてほしい。　　いずれかに○をしてください。

下記を参考にご請求下さい。

【中央区救護班　診療方針】

①救急的な対応を原則とする

②病院、診療所も開業し始めており、通常診療に誘導する。

③その際、交通難による通院不可能の例があることに注意する。

申し訳ありませんが避難所のＦＡＸを借りて送って下さい。

救護班本部受付者名＿＿＿＿＿＿＿＿

資料4-2-2-22　医薬品等に関する調査票

医薬品等に関する調査について

神戸市中央保健所

調査日　：　　月　　日（　　）

避難所名：　　避難者数：

1　医薬品の充足状況について

(1)　医薬品の在庫状況

①　風邪薬	：a 必要以上にある	b 適量ある	c 無い	d 不足している（不足数：　　）
②　シップ薬	：a 必要以上にある	b 適量ある	c 無い	d 不足している（不足数：　　）
③　うがい薬	：a 必要以上にある	b 適量ある	c 無い	d 不足している（不足数：　　）
④	：a 必要以上にある	b 適量ある	c 無い	d 不足している（不足数：　　）
⑤	：a 必要以上にある	b 適量ある	c 無い	d 不足している（不足数：　　）
⑥	：a 必要以上にある	b 適量ある	c 無い	d 不足している（不足数：　　）
⑦	：a 必要以上にある	b 適量ある	c 無い	d 不足している（不足数：　　）
⑧	：a 必要以上にある	b 適量ある	c 無い	d 不足している（不足数：　　）

(2)　医薬品の提供

a　保健所のみ　　b　保健所以外からも届いている（提供者：　　）

2　衛生用品の在庫状況について

(1)　衛生用品の在庫状況

①　ミルク	：a 必要以上にある	b 適量ある	c 無い	d 不足している（不足数：　　）
②　紙おしめ（子供用）	：a 必要以上にある	b 適量ある	c 無い	d 不足している（不足数：　　）
③　紙おしめ（大人用）	：a 必要以上にある	b 適量ある	c 無い	d 不足している（不足数：　　）
④　マスク	：a 必要以上にある	b 適量ある	c 無い	d 不足している（不足数：　　）
⑤　生理用品	：a 必要以上にある	b 適量ある	c 無い	d 不足している（不足数：　　）
⑥	：a 必要以上にある	b 適量ある	c 無い	d 不足している（不足数：　　）
⑦	：a 必要以上にある	b 適量ある	c 無い	d 不足している（不足数：　　）
⑧	：a 必要以上にある	b 適量ある	c 無い	d 不足している（不足数：　　）

(2)　衛生用品の提供

a　保健所のみ　　b　保健所以外からも届いている（提供者：　　）

3　医療廃棄物の処理状況について

a　適　切（処理方法：　　）

b　不適切（現　状：　　）

現在営業中の旧葺合地区の薬局・薬店　●保険薬局・■薬局・▲薬店



□ポーアイ地区

●日本船舶薬品薬局　港島　中町　2-2-1
■タキヤポーアイ薬局　〃　〃　3-1-2
●ダイエー薬局　〃　〃　3-2-6
▲ドラッグエーゼット　〃　〃　4-1-1
▲ドラッグサンポート　〃　〃　6-10-1

資料4-2-2-23　旧葺合地区の稼働薬局・薬店に関する広報


現在営業中の
旧生田地区の
薬局・薬店
やべちょう
あらたちょう
ばばちょう
神戸港地方
諏訪山町
山手学園
神戸山手女子短大
神戸生田中学
海洋気象台
中華同文学校
大倉山公園
楠町
神大医学部
楠中学校
湊川多聞小
神戸文化ホール
地下鉄大倉山駅
中央体育館
橘通
湊川神社
神戸地方裁判所
多聞通
高速神戸駅
中町通
古湊通
神戸駅
相生町
ハーバーランド
東川崎町
湊小学校
兵庫県生田庁舎
下山手小
花隅町
高速花隈駅
西元町駅
中央郵便局
元町高架通
元町通
栄町通
海岸通
波止場町
弁天町
山本通
神港学園
神戸諏訪山小
相楽園
山手小
北野小
北野町
神戸女子短大
兵庫県庁
シーエル
シンヤクトー
赤十字病院
地下鉄県庁前駅
兵庫県警
中山手通
下山手通
神戸税務署
生田警察署
生田消防署
生田神社
北長狭通
元町駅
三ノ宮駅
三宮町
大丸
西町
明石町
前町
播磨町
京町
東町
浪花町
江戸町
神戸市役所
海岸通
伊藤町
加納町
東遊園地
小野柄通
御幸通
磯上通
八幡通
磯辺通
浜辺通

表4-2-2-4　給食施設の給食状況

給食施設の震災後の給食状況

No	施設名	電気	ガス	水道	材料調達方法等
1	佐野サナトリウム	1/17	2/23	2/8	当初おにぎり対応
2	神戸逓信病院	1/17	2/28	1/24	日清医療より
3	劉外科病院	1/17	2/27	1/27	当初おにぎり対応
4	神鋼病院	1/17	−	1/23	加古川神鋼病院より
5	神戸労災病院	1/17	2/23	2/5	
6	上田病院	1/17	2/27	1/27	
7	シラハ病院	1/19	−	2/21	
8	神戸大学病院	1/17	2/13	1/23	病院非常食、他病院より
9	神戸赤十字病院	1/18	3/6	1/21	姫路赤十字病院より
10	神戸掖済会病院	1/17	2/21	1/18	
11	パルモア病院	1/17	2/24	2/16	当初職員持ちより
12	隈病院	1/18	3/13	2/10	当初職員が買い出しに北区へ
13	川北病院				入院患者なし
14	神戸海岸病院	1/18	−	3/3	
15	神戸博愛病院	1/17	3/8	2/10	
16	腎友会病院	1/19	−	2/28	3/6入院患者あり
17	荻原整形外科病院	1/19	3/6	2/28	ローソンで購入、日清医療
18	松本神経内科病院	1/23	2/16	1/23	缶詰、田舎から救援物資
19	原泌尿器科病院	1/17	3/5	2/20	
20	神戸市立中央市民病院	1/17	2/14	2/13	2/20～全面復旧
21	明芳病院	1/19	2/22	2/1	日清医療
22	三聖病院	1/19	3/17	1/28	1/30～病院で

資料4-2-2-25　避難所食事状況一覧表

避難所食事状況一覧表（旧葺合地区）

平成７年２月２１日～２７日調査

避難所名	避難場所	避難者総数	登開人数	水道使用	ガス使用	炊き出し	炊き出し運営	炊き出し内容	配給朝食内容	配給夕食内容	乳幼児・老人・病気の人	その他
筒井台中学校	教室・特別教室	２３０	１００	ＯＫ		有	ボランティア	豚汁・うどん・みそ汁・他	菓子パン・牛乳orジュース類	弁当orおにぎり＋おかず		
上筒井小学校	教室・講堂	８００	１８０	ＯＫ		有	ボランティア		〃	〃	3才まで5人・老人32人	炊き出し量ゆらがにしたい
葺合高校	体育館・会議室・食堂等	２００	50~60	ＯＫ		無			〃	〃		
ＹＷＣＡ	教室	5	5	ＯＫ		自炊						
宮本小学校	教室・体育館	１５００	８００			無			〃	〃	0~1才5人	2月4日訪問
沖州会館		１０２	20~30	ＯＫ		有	ボランティア・自主的		〃	〃		
宮本地域福祉センター	集会所・宮本公園テント	２２０	200 昼	ＯＫ		有	ボランティア		〃	〃		
春日野小学校	体育館・講堂・テント他	７００	２００	ＯＫ		有	ボランティア	汁物	〃	〃		野菜　果物が少ない
筒井公園	テント	３５	２０ 昼	ＯＫ		有	テントの有志	汁物・おでん他	〃	〃　インスタントみそ汁	86才1人	炊き出し・ボランティア希望
葺合中学校	多目的室	１１５	20~30	ＯＫ		有	ボランティア	汁物　（今までに4回）	〃	〃		野菜が不足
葺中小学校	教室・体育館	４５０	１５０	ＯＫ		有	ボランティア・自主的	汁物・おじや他	〃	弁当		朝食　菓子類をほしい
葺合文化センター	集会所・会議室他	１０９		ＯＫ		有	ボランティア	汁物	〃	〃		夕食は外部も含め250食
西方寺	講堂	４０				有(昼)	ボランティア	汁物	〃	〃		
神若老人いこいの家	集会所	１１０		ＯＫ		無			〃	弁当orおにぎり＋おかず		
神若公園	テント　（5世帯）	２３				無			〃	おにぎり＋おかず		若菜小学校で配給食もらう
若菜小学校	教室・集会所	３００	１００	ＯＫ		有	ボランティア	汁物	〃	〃		
葺合保育所	教室	１５０				有	ボランティア・自主的	うどん他	〃	〃	1才児1人	八雲老人いこいの家と同一
八雲老人いこいの家		２７９				有	〃	〃	〃	〃		2月4日訪問　上記も同一
シティーハイツ日暮	各戸	１６２	４０			無						配食のみ　（各戸に配る）
吾妻小学校	教室・体育館・廊下	９００	５００	ＯＫ		有	ボランティア	汁物	〃	弁当・おにぎり＋おかず		
吾妻地域福祉センター	集会所・廊下ロビー	８６	８０			有	自主的	みそ汁・シチュー	〃	おにぎり＋おかず		暖かいものがほしい
葺合総合会館		150+450		ＯＫ		有(昼)	ボランティア	汁物	〃	弁当	北本町3丁目1号横屋会所・市住13号横屋会所・生田川老人いこいの家葺合公民館＋テント・葺合グランド（テント）の分も契約	
二宮老人いこいの家		５０	３０			無			〃	おにぎり＋おかず	赤ちゃん1人	
二宮小学校	教室・廊下・テント	２１５	７０	ＯＫ		無			〃	弁当・おにぎり＋おかず		野菜・果物の代替え品希望
小野柄地域福祉センター	集会所	１５０				有(不定期)	ボランティア	汁物	〃	弁当	子供・老人が多い	
旭通４丁目広場	テント　（5コ）	８～１０	２～３			無			〃	おにぎり＋おかず・カップみそ汁		配食数50
勤労会館	2階部分	１１０		ＯＫ		無			〃	弁当・おにぎり＋おかず		
生田川公園	テント	６０	１０	ＯＫ		有	ボランティア	汁物	〃	おにぎり		
小野柄小学校	教室・講堂・テント他	９００		ＯＫ		有	ボランティア・自主的	汁物	〃	弁当		配食プラス300食
日石横空き地	テント	３５	４			無			〃	おにぎり＋おかず・カップみそ汁		3月末で退去予定
春日野商店街		１８０				無			〃	〃		商店街の人への配食のみ
旭中央住宅	集会所	１０	２～３			無			〃	〃		
ツイン葺井前テント	テント	３０	３～４	×	×	有	自主的	汁物	〃	〃	老人5~6人	
サンピアビル前テント	テント	５０				無			〃	〃		配食のみ
神姫タクシー	事務所	１２	５～６	×	×	無			〃	〃		

避難所食事状況一覧表（旧生田地区）

平成７年２月２１～２７日調査

避難所名	避難場所	避難者総数	炊出人数	水道通水	ガス復旧	炊き出し	炊き出し運営	炊き出し内容	配給朝食内容	配給夕食内容	乳幼児・老人・病気の人	その他
清風公民館	2階部分	29	6	OK		無			菓子パン・牛乳orジュース類	おにぎり・おゆず		弁当内容に変化も
楠中学校	体育館・格技室	367	60~80	OK		有(時々)	ボランティア	汁物・うどん他	〃	〃		
湊川多聞小学校	特別教室	184	70	OK	OK	有	ボランティア	汁物・ラーメン・カレー他	〃	弁当	1才児1人・糖尿病1人	外部の人に配食対応に困る
神戸文化ホール	中ホール・ロビー・楽屋	142	60	OK		無			〃	おにぎり・おゆず	老人が多い	
弁護士会館	4階講堂・1階ロビー	130	100	OK		有	ボランティア	豚汁 (今までに2回)	〃	〃		野菜、果物の配布希望
神戸地裁	廊下・ロビー	70	8	OK		無			〃	〃		野菜、みそ汁がほしい
生活学習センター	2階会議室	137	20	OK		有		汁物・うどん(今までに2回)	〃	〃		温かいもの、野菜果物希望
海員会館	会議室・大広間・事室	24	2～3	OK		有	自炊 (室内で)	汁物	〃	〃	65才以上6人	おかゆ希望有り
古湊老人いこいの家		31		OK		有	ボランティア	うどん(1回だけ)	〃	弁当		
湊小学校	体育館・音楽ホール・廊下	370	70			有	ボランティア	汁物・うどん・コロッケ他	〃	おにぎり		
市立盲学校	教室・体育館	200	40	OK		有	学校職員	みそ汁・カレー	〃	おにぎり・おゆず		
摩耶兵庫高校	教室・体育館・武道場他	200		OK		有	ボランティア	汁物・おじや他	〃	弁当		
遺族会館	会議室・和室室	40	10	一部OK		有	ボランティア	豚汁(今までに1回だけ)	〃	おにぎり		
こうべまちづくり会館	2階ホール・地階ギャラリ	100	10	OK		無			〃	おにぎり・おゆず		配給食180食
兵庫県職員会館	ロビー	60		OK		有	ボランティア		〃	〃		諏訪山小学校で配食うける
兵庫県庁３号館	ロビー	36		OK		有	ボランティア		〃	〃		〃
兵庫県庁１号館	ロビー	15		OK		有	ボランティア	カレー・おでん他	〃	〃		〃
下山手小学校	教室	300	150	OK		有(時々)	ボランティア	汁物・サラダ他	〃	〃		
下七会館		22	5	OK		無			〃	〃		
親和高校跡地	テント	40	15			自炊			〃	〃		燃料材がほしい
清風老人いこいの家	和室・ロビー	60	15			無			〃	〃		
中山手住宅北集会所		40	6			無			〃	〃		野菜、果物等がほしい
兵庫社会保険センター	トレーニング室・会議室等	380	100	OK		有	ボランティア	今までに2回	〃	〃	0才児1人	
山の手小学校	教室他	751	400	OK		有	ボランティア	汁物	〃	弁当	老人が多い	
中華同文学校	体育館	45	4～5	OK		有	ボランティア(学校)	汁物	〃	おにぎり・おゆず		炊き出し自主的にしていく
神戸諏訪山小学校		1200				有	ボランティア・自主的		〃	〃	。	重度特別サービス有
北野小学校	講堂・特別教室・テント	350	90 昼	OK		有	〃	おしたし・サラダ・汁物他	〃	〃 インスタントみそ汁		
行吉学園	教室	160	10 昼			有	ボランティア	近くの公園で	〃	おにぎり・どらず		
北野地域福祉センター		42	10	OK		無			〃	〃		
諏訪山地域福祉センター	地域福祉活動室・和室	25	10	OK		無			〃	〃	6・7才各1人・糖尿1人	神戸生田中で配食をもらう
神戸生田中学校	教室・体育館	640	300	OK		有	ボランティア・自主的	汁物・カレー他	〃	〃 カップみそ汁	0~5才9人・71才~44人	配食は1400食
下山手地域福祉センター		65	30	OK		無			〃	おにぎり・おゆず		
北野神戸外人クラブ	サンルーム	10		OK		無			〃	弁当		配給食を調理して支給
神戸市役所一号館	1階・2階	200		OK		有	ボランティア		〃	おにぎり		
電子専門学校	南館1階講堂	53	10 昼	OK		有	ボランティア	カレーラーメン	〃	〃		
光の三外離園	教室	31	5	OK	OK	有	自主的	汁物・サラダ	〃	〃		2月末で閉止

（３）医療供給体制

ａ）医療救護活動の展開および疾病動向の把握

１月17日の震災発生直後より、各地から派遣、ボランティアの医療救護班が神戸市に入り、救護活動に従事した。活動を展開する上でその拠点となったのは各区の保健所であり、保健所は、医療班の配置、および傷病者の情報管理や薬剤医薬品等の配布等の支援活動を行った。

中央保健所には、１月18日の日赤岡山医療班からはじまり、最大で１月29日に26団体221人が登録し医療救護活動に従事していた。医療班従事者数は、１月17日から31日までは延1,470人、２月28日までに延5,572人、３月末までに延8,610人を数えた（**表4-2-3-1**）。医療班の管理、業務の振り分けは初期には保健課、衛生課が共同で、後に保健課保健事業係が主として担当した（**資料4-2-3-1、2、3、4、5、6**）。

救護活動に伴う診療実績、診療状況についての記録を徹底するために、各救護班に医療チーム報告書（**資料4-2-3-7**）、救護活動日報（**資料4-2-3-8**）、医療活動報告書（**資料4-2-3-9**）、および巡回救護状況（**資料4-2-3-10**）の各書類を配布した。また、救護所受診者の診療録として定めた様式の健康相談記録（**資料4-2-3-11**）を使用してもらうことにした。地震発生からの各避難所における医療情報等の管理状況を、**表4-2-3-2**に示す。保管・管理は被災後１週間程度より行われていた。

救護活動は、いくつかのフェイズに分けられた。震災発生直後は少ない医療班を振り分けての巡回活動のみであったが、その後医療班の増加に伴い常駐、24時間常駐、巡回にわけて対応する形となった。保健事業係では、刻々に変化する避難所、避難者数を把握し、医療班の構成、マンパワーを考慮して振り分けを行った。大規模避難所および地域の中核となる避難所には24時間常駐の医療班、以下規模を考慮して常駐、巡回と割り振った。

医療班の体制と地元医療機関へのスムーズな引継を考慮する上で、疾病内容の変化を把握することは重要で、中央保健所では、医療活動報告書をもとに定期的に受診者数の推移を検討し、配置検討の基礎とした（**資料4-2-3-12、13**）。受診者の疾病内容が救急から呼吸器感染症、慢性疾患へと移り変わってきていること、受診者数が減ってきていること（**表4-2-3-3**）から２月13日と３月7日に医療関係者全体会議を開催して医療班の再編成を行った（**資料4-2-3-14、15**）。その結果、２月上旬と３月1日に体制の縮小を実施して地元医療機関に引継ぎを行い、４月30日をもって救護班活動を終了した。

ｂ）傷病者の搬送状況

傷病者の搬送については、搬送状況連絡票（**資料4-2-3-16**）、および搬送及び死亡者調査票（**資料4-2-3-17**）を作成して状況を報告してもらった（表4-2-3-4）。搬送が実際に行われたのが地震発生以降ごく初期の混乱期であったことから、情報の収集が徹底できなかったが、搬送者の実数はかなり多いものと推測される。

c）医薬品、医療器材の確保

初期には保健所に備蓄がなく、来所医療班が持ってきた医薬品に依存した。１月17日に合同庁舎１階の福祉事務所内に薬剤置き場を確保した。20日以降は市衛生局より毎日医薬品と衛生用品が継続的に搬入された。薬剤関連業務の項で詳述する。

d）医療機関の被害状況と診療状況の把握

本震災では、地元の病院、診療所等の医療機関も大きな被害を受けた。中央保健所では医師会、歯科医師会、薬剤師会の三師会と連絡をとり、各時点で診療可能医療機関の情報を把握し、関係諸機関および一般向けに広報活動を行った。区医師会より受けた稼働医療機関情報は１月31日29か所、２月7日131か所、23日177か所、28日193か所、３月3日206か所、10日206か所であった。復旧率は地震後１か月で82.9%であり、３月31日時点で86.6%となった。

e）歯科医療機関の被害状況と診療状況の把握

稼働歯科医療機関の情報については、保健所の歯科衛生士が区、市および県の歯科医師会と連絡をとり確認した。震災によるライフラインの被害は、歯科医院の復旧を行う上で重大な障害をもたらし、医科の診療所に比べ施設の回復が大幅に遅れた。

保健所の歯科衛生士が、１月24日から県歯科医師会休日歯科診療所において診療が可能となるとの情報を得た。26日には区歯科医師会の震災後の連絡担当者が定まった。また、口腔外科の対応は、六甲アイランド病院、中央市民病院、西神戸医療センターの３施設で診療が可能であるとの情報が26日に入った。

区、市および県の歯科医師会との連絡は漸次行われた。２月19日から県歯科医師会が電話相談をはじめ、21日には市の在宅歯科事業が動きはじめた。保健所で把握した稼働歯科医院数は、１月27日には182歯科診療所の内18か所、２月1日2か所、11日31か所、18日57か所、および３月1日には79か所であった。復旧率は地震後１か月で29.7%、３月31日時点で43.5%と半数以下にとどまり、医科診療所とは大きな隔たりがあった。

f）精神科医療救護について

①精神科救護所活動とその背景

神戸市中央保健所では１月22日に精神科救護所を設置し、被災した精神障害者の継続的医療の確保と、避難所等での精神症状の発現に対する救急対応、避難所巡回健康相談等に対応することとした。区内の精神科診療所の被害状況については、１月27日現在で、中央区10診療所の内診療可能なのはわずかに３診療所のみであった。

保健所に設置された精神科救護所では、他府県自治体、全国ＰＳＷ協会等から派遣された、精神科医師、看護婦（士）、ＰＳＷ等が常駐し救護活動に従事した。

被災後に治療の中断した患者に対する診療機会の提供、避難所生活という特異な環境の中で既往歴のある患者の症状が再燃したケースの対応、対人関係を保てずに問題行動をおこしたケース等に対し、往診を含めて対応した。中央保健所精神科救護所に

おける精神科医療および相談等の対応件数は、１月22日から31日までに337件、２月28日までに986件、３月16日には1,165件に上った。災害という特殊な環境の中で、精神科医療の需要はかなり大きいものであった。

②避難所の巡回および常駐

２月の第１週を過ぎると、交通機関やその他の状況の改善により精神科診療所が回復してきた。病院、診療所への通院が可能になると、元の医療機関に通院する患者が増えてきて、精神科救護所の役割が減ってきた。２月8日時点での区内の精神科診療所は、10診療所の内７か所が診療可能であった。一方で、避難所においては、長引く避難所生活の中で多くの人々がストレスを募らせ、生活不安等から体調の不良や不眠、イライラ等の症状が多く現れた。他方では、毎日の激務からかボランティアの人々のケアやＰＴＳＤといった新たな問題も見えてきたため、避難所における活動を強化し、巡回や常駐の医療班を組織することで対応を図った。

③地元医療機関への引継ぎ

３月に入ると地元の診療所が医療活動を再開をはじめるところが多くなってきたため、地元医療機関に患者を引き継ぐ方向で作業をはじめた。保健所の救護所のみを残し、巡回や避難所常駐の医療班の体制縮小、撤収をはかった。保健所救護所における対応は４月30日で終了した。

ｇ）医療ボランティアの対応

自治体や公的医療機関など組織的に派遣された医療班以外に、医療ボランティアとして現地に入り、診療活動に従事する者もあった。中央保健所では、次第に増加するボランティアに対応するために、窓口を開いて個人ボランティアの登録を行った（**資料4-2-3-18**）。登録者は、２月11日の41名をピークとして漸減したが、未登録者も多いため表の実数は正確とはいえず、実際はかなり多いものと推測される（**表4-2-3-5**）。

表4-2-3-1　医療救護班従事者数の推移

日付	団体数	班数	医者	看護婦	事務	その他	医療班計
1月17日	1	1	3	5	1	1	10
18日	2	5	4	7	1	1	13
19日	5	6	13	16	4	3	36
20日	6	9	11	18	4	3	36
21日	7	11	12	23	4	6	45
22日	7	13	23	43	6	8	80
23日	5	10	17	30	6	8	61
24日	12	22	37	47	10	11	105
25日	17	26	37	67	16	13	133
26日	19	32	37	62	14	14	127
27日	20	32	38	64	14	14	130
28日	24	31	43	74	14	14	145
29日	26	34	60	104	16	41	221
30日	20	31	50	84	16	16	166
31日	20	31	40	80	16	26	162
2月 1日	21	42	49	71	15	29	164
2日	21	42	52	87	14	32	185
3日	22	43	48	72	13	27	160
4日	23	45	48	72	13	27	160
5日	23	45	48	72	13	27	160
6日	25	38	38	59	15	18	130
7日	26	39	41	58	19	16	134
8日	26	39	40	57	19	17	133
9日	27	40	40	60	21	16	137
10日	27	38	40	60	23	14	137
11日	27	40	41	63	20	26	150
12日	27	39	40	62	20	24	146
13日	27	39	41	63	22	27	153
14日	27	39	39	58	22	26	145
15日	27	37	39	61	24	22	146
16日	27	38	40	60	26	27	153
17日	27	38	40	63	26	24	153
18日	27	38	41	65	25	22	153
19日	27	38	40	65	22	19	146
20日	25	32	39	61	22	17	139
21日	25	32	39	61	22	18	140
22日	25	32	38	60	22	21	141
23日	25	32	39	60	22	17	138
24日	23	30	38	59	21	18	136
25日	23	30	38	61	25	16	140
26日	23	30	38	61	24	17	140
27日	22	29	38	64	23	18	143
28日	18	24	38	61	18	23	140
3月 1日	19	28	37	54	33	33	157
2日	19	28	37	54	33	33	157
3日	19	28	39	55	34	35	163
4日	19	28	42	60	41	34	177
5日	19	28	42	60	41	34	177
6日	19	28	42	60	41	34	177
7日	19	28	42	60	36	50	188
8日	17	23	25	37	18	22	102
9日	17	23	25	37	18	22	102
10日	17	23	25	37	18	22	102
11日	16	21	23	34	18	16	91
12日	16	21	23	35	17	17	92
13日	16	21	23	35	17	18	93
14日	16	21	23	35	17	18	93
15日	16	21	23	35	17	18	93
16日	17	19	22	33	14	20	89
17日	17	19	22	33	16	17	88
18日	17	19	22	33	14	20	89
19日	17	19	22	33	14	20	89
20日	17	19	22	33	14	20	89
21日	16	17	18	29	13	16	76
22日	14	16	18	29	13	16	76
23日	14	16	18	29	13	14	74
24日	13	15	16	17	13	25	71
25日	13	15	18	27	13	14	72
26日	11	13	13	20	8	8	49
27日	11	13	13	20	8	8	49
28日	11	13	13	20	8	8	49
29日	10	11	12	18	7	7	44
30日	8	9	10	15	5	5	35
31日	8	9	10	15	5	5	35
合計	1362	1934	2315	3592	1290	1413	8610

資料4-2-3-1　保健課のまとめた医療班記録

阪神大震災医療班（救護所）記録（１）保健課

救護所（医療班）配置・活動状況	特　記　事　項
1/17　０５：４６　地震発生	
10:30　出勤者　3名（門間、日野、尾上）	
11:30　出勤者　4名（森本）	森本衛生課長　指揮。
16:30　出勤者　5名（馬場）	
16:50　区対策本部より救急救護所設置の要請あり。	
17:20　衛生局対策本部に医師・保健婦の派遣と医薬品等の手配を依頼。	
17:30　出勤者　6名（中瀬）	
17:30　保健所救護所設置（1階・区対策本部）。　中瀬Dr・大野PTN	
1/18	
00:30　日赤医療班（岡山）　到着。　小野栖・吾妻・若菜小の避難所へ。　6時解所。	地理不案内のため、職員添乗。
09:00　県立加古川病院、日赤（香川）到着。　湊川女門・神戸生田・舞中　社会保険センター等配置。	
11:00　保健所医療班（中瀬Dr・藤原PTN・馬場）　摩耶兵庫高校　他　8ヶ所。20時解散所。	
13:45　日赤〃春日野・港島・山の手・介護上会館配置。　20時解所。	14:00　加藤保健課長　出勤。　引継後指揮。
14:35　日赤　雲中・二宮・上筒井・真合高校・真合保育所配置。	38ヶ所。19,520人週回。
1/19	（18日22時現在）避難所　69ヶ所、　24,640人。
09:00　日赤（島根・岡山）、県立加古川病院週回に出発。	昨日、週回出来なかった小人数の避難所と多人数の避難所を週回。2日で一週。
10:00　日赤（富山）週回に出発。	43ヶ所、14,270人週回。
13:00　県立加古川病院第2班到着、週回に出発。	
17:00　千葉市到着、週回に出発。	＊三師会に被災状況の聴取と救急活動の支援を要請。医師会要請に応じて協力を得る。被害状況と診療情報等情報の交換を開始する。（1/18・21時）
1/20	小人数の新たな避難所と昨日週回出来なかった多人数の避難所を週回。
09:00　日赤（岡山）、千葉市、県立加古川病院に大阪府5班、和歌山県が加わり週回に出発。	33ヶ所、　9,510人週回。
1/21	＊週回のため、職員添乗・車不足に困る。
09:00　日赤（救急）、千葉市、県立加古川病院、大阪府5班、和歌山県　週回に出発。	多人数の避難所3週、小人数の避難所2週、新たな避難所1週。
10:00　淀川キリスト教病院、南大阪病院が受け持って頂き週回に加わる。	48ヶ所、17,300人。
ボランティアの金川Dr・笹子Dr・山内Drも週回に出発。	（1/21現在）　避難所　80ヶ所、32,262人。
柔整鍼灸協同組合、避難所を週回。	山内Dr　中央区の担業医。（診療所・自宅被害、当分の間支援を申し出。）
1/22	＊相変わらず、添乗職員・車不足。1日も早く常駐を。
08:30　県立加古川病院、千葉市週回に出発。	多人数の避難所は半日常駐、小人数の避難所・新たな避難所は週回。
09:00　大阪府6班、日赤（救急）、和歌山県2班、淀川キリスト教病院、南大阪病院　出発。	半日常駐＝千葉市・大阪府・和歌山県・淀川キリスト教病院・南大阪病院13ヶ所
ボランティア7山内Dr　出発。	週回＝日赤（救急）、和歌山県、山内Dr
10:00　精神科救護所　本部に常駐、週回診療開始。	本部に精神科救護所設置（24H）　直ちに週回。
1/23	
09:00　大阪府5班、千葉市、日赤（救急）2班、和歌山県1班、淀川キリスト教病院　出発。	1日常駐＝2ヶ所（吾妻・小野栖小）、半日常駐＝9ヶ所、他週回。
ボランティア7山内Dr　出発。　本部救護所　ボランティア　青木Dr・岡本Dr。	（1/23現在）　避難所 89ヶ所、33,837人。
10:00　米国からボランティア来所（Dr6、Ns12、通訳2）　吾妻・小野栖小で大阪府と共に。	＊県本部（宮本公園）設置。加古川病院県本部へ。
1/24	
09:00　大阪府6班、千葉市、和歌山県2班、淀川キリスト教病院、日赤2班、に滋賀県、逓信病院、自衛隊2班、東京海上火災、労災病院、豊岡病院、八鹿病院が加わり拠点常駐を開始。	拠点常駐＝12ヶ所、半日常駐＝2ヶ所、他週回。
1/25	
09:00　大阪府5班、千葉市、和歌山県2班、淀川キリスト教病院、日赤2班、滋賀県、逓信病院、自衛隊2班、東京海上火災、労災病院、豊岡病院、八鹿病院に東邦大学、島根平田市、茨木病院、南大阪病院が加わり24H制常駐を始める。	24H制休制＝2ヶ所（湊・山の手小）、1日常駐＝17ヶ所、他　週回。
小児科医療班　本部に常駐、週回診療。	（1/25現在）　避難所　83ヶ所、38,607人。
1/26	日赤、真合総合会館保健相談室に区の拠点設置。
09:00　大阪府6班、千葉市、和歌山県2班、淀川キリスト教病院、日赤、滋賀県、逓信病院、自衛隊2班、東京海上火災、労災病院、豊岡病院、八鹿病院、　東邦大学、島根平田市、南大阪病院に山梨県、愛知県、千葉県が加わり24H制・拠点常駐をすすめる。	本部に小児科医療班設置（24H）　直ちに週回。
1/27	24H制休制＝3ヶ所（下山手小）、拠点常駐＝17ヶ所。他は週回。
09:00　茨木病院を加え、配置。	24H制休制＝4ヶ所（上筒井小）、拠点常駐＝18ヶ所。
1/28	（1/27現在）　避難所　87ヶ所、38,924人。
09:00　簡易保険センター、大阪松下記念病院、立成技正会、徳島大学が加わる。	24H制休制＝8ヶ所（真合中、春日野小、宮本小、神戸深江小）
1/29　吾妻小、歯科診療班（1/28~3/3）	若菜
09:00　済生会、タイ国が加わる。	（1/29現在）　避難所　89ヶ所　38,903人。

阪神大震災医療班（救護所）記録（２）保健課

救護所（医療班）配置・活動状況	特　記　事　項
1/30 09:00　大阪府市6班、日赤、千葉市、東邦大学、和歌山県、東京海上、労災病院、八尾病院、徳島大学、豊岡病院、逓信病院、島根平田市民病院、千葉県、自衛隊、愛知県、山梨県、簡易保険センター、滋賀県、立成俊正会。　20団体、43班。	24H開設=80ヶ所（湊、山の手、下山手、上筒井≒真合≒春日野、宮本、神戸新訪山、若菜）　拠点常駐=14ヶ所。他は巡回診療。
1/31 09:00　24H開常駐、拠点常駐、他は巡回。	巡回=大阪府市の1班、自衛隊、本部小児科・精神科 （1/31現在）　避難所　85ヶ所　37,062人。
2/1 09:00　沖縄県が加わる。済生会に替わり中央市民病院が港島中へ。	巡回=大阪市1班、自衛隊、中央市民病院、本部小児科・精神科、沖縄県 ＊港島への交通アクセス不良のため済生会撤収。
2/2 09:00　前日体制維持。　上筒井小、歯科診療班設置(2/2~3/10)=千葉県医療班。	（2/1現在）　避難所　86ヶ所　37,607人。
2/3 09:00　沖縄県、盲学校常駐。港島中、24Hへ。タイ国医療班巡回。2/3~5。	24H開設=90ヶ所。
2/4 09:00　九州大学が加わり、摩耶浜病院へ。(24H)山の手小、歯科診療班(大歯大)2/4~2/10	24H開設=41ヶ所、拠点常駐=15ヶ所。
2/5 09:00　前日体制維持。	山の手小24H開から拠点常駐に。(東邦大学撤収、中央市民病院へ)＊港島中、医療班不要とのことで撤収。
2/6 09:00　大阪府市5ヶ所常駐を2ヶ所、24H開常駐に。配置受持変更。 厚生年金事業団、神鋼病院が加わる。　春日野小、歯科診療班(大歯大)2/6~2/10	24H開設=13ヶ所、拠点常駐=10ヶ所。(校区内巡回) ＊北野小に自衛隊。(24H)　＊島根平田市民病院、引上げ。 （2/6現在）　避難所　35,275人。
2/7 09:00　済生会病院巡回。(2/7~13)	
2/8 09:00　前日体制維持。	
2/9 09:00　前日体制維持。JA長野厚生連、加わる。(八雲・真合保育所)	
2/10 09:00　前日体制維持。(常駐撤収始まる。)	真合中(136名)常駐終了。以後巡回。
2/11 09:00　前日体制維持。　神戸生田中、湊小、歯科診療班(大歯大)2/11~2/17	真合中、千葉大学の産休Dr依頼。(2/11~12)
2/12 09:00　前日体制維持。	湊川多門小、(東京海上)常駐終了。以後檜中から巡回。 ＊二宮小、自衛隊撤収。
2/13 09:00　前日体制維持。	二宮小に東播磨病院活躍常駐で担当。24H開常駐=14ヶ所。拠点常駐=7ヶ所 （2/13現在）　避難所　88ヶ所　30,933人。
2/14 09:00　前日体制維持。　済生会病院、個人ボランティアで巡回継続。	弁護士会館、豊岡病院からNTTへ。
2/15 09:00　前日体制維持。	雲中小、24H開から常駐へ縮小。 （2/15現在）　避難所　89ヶ所　29,644人。
2/16 09:00　前日体制維持。	
2/17 09:00　前日体制維持。	（2/17現在）　避難所　89ヶ所　29,374人。
2/18 09:00　前日体制維持。　檜中、二宮小、歯科診療班(大歯大)2/18~24	
2/19 09:00　前日体制維持。	（2/19現在）　避難所　89ヶ所　28,716人。
2/20 09:00　前日体制維持。	檜中、24H開から常駐へ。夜間、看護婦配置。日赤(真合総合会館)撤収、以後JA長野が巡回。宮本小、24H開から常駐へ。
2/21 09:00　前日体制維持。	
2/22 09:00　前日体制維持。	
2/23 09:00　前日体制維持。	（2/23現在）　避難所　88ヶ所　27,531人。

阪神大震災医療班（救護所）記録（３）保健課

救護所（医療班）配置・活動状況	特　記　事　項
2/24 09:00　厚生年金事業団、大阪府・市、逓信病院、神鋼病院、中央市民病院、千葉市、和歌山県、山梨県、簡易保険センター、滋賀県、千葉県、労災病院、愛知県、徳島大学、NTT、JA長野厚生連、沖縄県、九州大学、千葉大学、東海病院群、伯鳳珠、協済会病院23団体。	24H編制体制＝11ヶ所、拠点常駐＝10ヶ所、巡回＝4ヶ所。他は校区内巡回。 （2/24現在）　避難所　88ヶ所　27,308人。
2/25 09:00　前日体制継持。	
2/26 09:00　前日体制継持。	
2/27 09:00　前日体制継持。JA長野厚生連、（八雲、真合総合会館）引上げ。（2/9~） 2/28　下山手市住（簡易保険センター1/28~）、灘労山（徳島大学1/28~）、檜中（神鋼病院2/6~）、弁護士会館（NTT2/14~）常設終了、以後巡回。	盲学校、常駐終息、以後巡回。沖縄県、巡回班として真合総合会館、八雲老人いこいの家へ。（2/28現在）　避難所　83ヶ所　26,066人。 二宮小、巡回診療、夜間休診。2/28~
3/1 09:00　体制縮小。（24H編制→常駐→巡回）　本部に千葉大学が加わる。（~3/31） 3/2~3/6 09:00　前日体制継持。 3/7 09:00　前日体制継持。 3/8 09:00　24H編制体制縮小、常駐を巡回へ。 3/9~3/15 09:00　前日体制継持。　3/10摩耶兵庫高校（九州大学引上げ2/4~）常設終了、以後湊小から巡回。 3/16 09:00　中央区医師会、夜間診療（二宮、吾妻、小野柄、下山手）、腹部組織医師団。 24H編制体制の救護所、拠点常駐に縮小。 拠点常駐は校区内、巡回。　巡回、診療編制短縮。 3/17~3/20 09:00　前日体制継持。 3/21 09:00　神戸灘労山小、救護所閉鎖終息。（住民の自立を促すためにとのことで申し入れ有。） 3/21 09:00　3月末日、他府県市からの医療班撤収予定につき、各救護所の縮小、診療編制の短縮調整。 3/22 09:00　撤収に向けて各避難所・救護所と調整。 3/23 09:00　撤収後の医療体制の周知。 3/24 09:00　救護所内の環境整理、薬品回収。 3/25 09:00　救護所4ヶ所（春日野、真合中、雲中、若菜）閉鎖終息。 3/26~3/27 09:00　避難所・救護所撤収後の状況把握、医療体制の周知。 3/28 09:00　上筒井、筒井台中、真合高校救護所閉鎖終息。 3/29 09:00　神戸生田中、檜中、湊川多門救護所閉鎖終息。	＊緊急・搬送用タクシー待機。~4月末日。 24H編制体制＝6ヶ所（小野柄、吾妻、神戸生田、春日野、湊、北野） 拠点常駐＝8ヶ所（雲中、檜中、山の手、宮本、若菜、下山手、摩耶兵庫、上筒井）　巡回＝5ヶ所（灘労山、真合中、湊川多門、二宮、真合高） （3/1現在）　避難所　78ヶ所　24,319人。 （3/7現在）　避難所　75ヶ所　20,852人。 救護所終息＝筒井台、真合高校、盲学校、　巡回＝10ヶ所、（真合中、雲中、若菜、二宮、八雲、真合総合会館、灘労山、下山手、湊川多門、摩耶兵庫） 拠点常駐＝5ヶ所、（上筒井、宮本、北野、山の手、檜中） 24H編制体制＝5ヶ所、（春日野、吾妻、小野柄、神戸生田、湊） （3/8現在）　避難所　75ヶ所　20,557人。 （3/15現在）　避難所　73ヶ所　16,894人。 拠点常駐＝10ヶ所。（上筒井、宮本、春日野、吾妻、小野柄、北野、山の手、神戸生田、檜中、湊、） 巡回＝11ヶ所。（真合中、雲中、若菜、二宮、八雲老人、真合総合会館、神戸灘労山、下山手、湊川多門、盲学校、摩耶兵庫） （3/20現在）　避難所　72ヶ所　14,719人。 和歌山県撤収。（1/20~3/20の2ヶ月間） 労災病院撤収。（1/24~） 沖縄県撤収。（2/1~） 山梨県・愛知県撤収。（1/26~） （3/26現在）　避難所　70ヶ所　13,718人。 千葉県撤収。（1/26~） 厚生年金事業団撤収。（2/6~）、千葉市撤収。（1/19~） （3/29現在）　避難所　66ヶ所　9,619人。

阪神大震災医療班（救護所）記録（４）保健課

救護所（医療班）配置・活動状況	特　記　事　項
3/30 09:00　滋賀県（宮本）、区医師会（二宮、吾妻、小野栖、下山手）、大阪市（吾妻）、大阪府（小野栖）、中央市民病院（山の手、湊）の5団体、9班。　本部、千葉大学。	（3/31現在）　避難所　66ヶ所　9,403人。
3/31 09:00　宮本、二宮、吾妻、小野栖の医療班常駐終了。 ＊他府県市からの医療班、本日をもって撤収終了。	滋賀県（1/24~）、自衛隊(2/6~)、千葉大学(3/1~)撤収。 大阪府・大阪市撤収。(1/20~)
4/1 09:00　吾妻小19:00~21:00区医師会週回、小野栖小19:00~21:00区医師会週回 下山手19:00~21:00区医師会週回、山の手小19:00~21:00中央市民病院週回 湊小19:00~21:00中央市民病院週回、市役所、13:30~15:00本部から週回 保健所本部内科（24H）県立西宮・塚口病院、中央市民病院（夜間） 精神科（昼間）近隣病院	＊他府県市の医療班撤収後、医師会・地元病院で対応。 （4/1現在）　避難所　65ヶ所　9,119人。
4/2～4/8 09:00　当分の間、避難住民の多い、あるいは医療機関のない避難所について、週回診療を継続。	（4/7現在）　避難所　64ヶ所　8,560人。
4/9 21:00　湊小、救護班活動終息。以後、地元の診療所のDr不定期に週回。	中央市民病院（湊小）撤収。
4/10~4/13 09:00　終息に向けて避難所と調整。	
4/14 21:00　吾妻、下山手小救護班活動終息。（区医師会週回）	（4/14現在）　避難所　63ヶ所　7,509人。
4/15 09:00　5月以降の医療体制確認。	
4/16 21:00　小野栖小、医師会の週回夜間診療終了。	
4/17 19:00　小野栖小、本部から1日置き夜間週回診療。（~4/28）	
4/18~4/19 09:00　前日体制維持。	
4/20 21:00　山の手小、救護班活動終息。（中央市民病院週回）	中央市民病院（山の手小）撤収。
4/21 17:00　本部　内科　昼間診療縮小。夜間は、4月末日まで。	県立西宮・塚口病院撤収。(4/1~) （4/21現在）　避難所　61ヶ所　6,919人。
4/22~4/27 09:00　本部　内科　夜間待機（中央市民病院） 精神科　昼間診療・週回	
4/28 17:00　本部　精神科　撤収終息。　以後、県精神保健センターが対応。	
4/29 19:00　本部　内科　夜間待機。	
4/30 24:00　医療班活動終了。以後、医療については、地元医療機関が地域医療を担う。	
阪神大震災に伴う医療班（救護所）活動を終了する。 今後、区民の保健・衛生活動を、より一層強化する。	

資料4-2-3-2　医療班派遣計画表

医　療　班　派　遣　計　画　表　(NO1)

1月18日～24日

避難所	1/18	19	20	21	22	23	24	備考
神戸生田中学校	県立加古川病院		大阪府 千葉県		夜間・南大阪病院	大阪市 ⇨	⇨ ⇨	
小野柄小学校	日赤病院	日赤病院		県立加古川病院	大阪府・千葉市	⇨	⇨	
吾妻小学校	日赤病院	日赤病院		大阪市	大阪市 夜間・南大阪病院	⇨ ⇨	⇨ ⇨	
雲中小学校	日赤病院	日赤病院		大阪	大阪府	⇨	大阪市	
楠中学校	県立加古川病院		大阪府		大阪府	⇨	⇨	
山の手小学校	日赤病院		千葉県		淀川キリスト教病院	⇨	和歌山県	
筒井台中学校		日赤病院	日赤病院		大阪府		千葉市	
下山手小学校	中央保健所		千葉県		大阪府	和歌山県	⇨	
葺合中学校	県立加古川病院	日赤病院	日赤病院		和歌山県		逓信病院	
春日野小学校	日赤病院	日赤病院		大阪	淀川キリスト教病院	⇨	⇨	
下山手市営住宅	県立加古川病院				和歌山県			
宮本小学校	日赤病院	日赤病院		大阪	大阪府			
上筒井小学校	日赤病院	日赤病院		大阪	大阪府			
湊川多聞小学校	県立加古川病院		大阪府	大阪	大阪府		東京海上	
湊小学校	日赤病院		千葉県	夜間・南大阪病院	大阪府	大阪府	労災病院	
若菜小学校	日赤病院	日赤病院		大阪	大阪府	千葉市	淀川キリスト教病院	
諏訪山小学校		県立加古川病院			大阪府			
弁護士会館	日赤病院		和歌山県		和歌山県			
北野小学校	日赤病院		千葉県	大阪府	⇨	大阪府		
葺合保育所 ・八雲老人いこいの家	日赤病院 県立加古川病院	日赤病院		大阪	千葉市			
葺合総合会館	日赤病院		県立加古川病院	⇨	大阪府		日赤病院	
港島中学校		県立加古川病院						
市立盲学校								
港島小学校	日赤病院							
二宮小学校	日赤病院	日赤病院		横市	横市			
社会保険センター	県立加古川病院	⇨	⇨	⇨				
葺合高校			日赤病院		大阪府			
摩耶兵庫高校			和歌山県	夜間 南大阪病院	大阪府 和歌山県			

医　療　班　派　遣　計　画　表　(NO2)

1月25日～31日

避難所施設名	1/25	26	27	28	29	30	31	備考
神戸生田中学校	大阪市	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	大阪市	
小野柄小学校	大阪府	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	大阪府	
吾妻小学校	大阪市 夜間・南大阪病院	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	大阪市 夜間・南大阪病院	
雲中小学校	大阪府	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	大阪府	
楠中学校	大阪府	⇨	⇨	⇨	⇨ 夜間・南大阪病院	⇨	大阪府	
山の手小学校	東邦大学	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	東邦大学	
筒井台中学校	千葉市	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	千葉市	
下山手小学校	和歌山県	通信病院	和歌山県	⇨	⇨	⇨	和歌山県	
葺合中学校			愛知県	⇨	⇨	八鹿病院	⇨	
春日野小学校	淀川キリスト教病院	⇨	山梨県	⇨	⇨	⇨	⇨	
下山手市営住宅	通信病院	⇨	⇨	簡保健診センター	⇨	⇨	⇨	
宮本小学校	滋賀県	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	滋賀県	
上筒井小学校			千葉県	⇨	⇨	⇨	千葉県	
湊川多聞小学校	東京海上	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	東京海上	
湊小学校	労災病院	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	労災病院	
若菜小学校	八鹿病院	⇨	⇨	⇨	⇨	愛知県	⇨	
神戸諏訪山小学校				大阪松下記念病院	⇨	徳島病院	⇨	
弁護士会館	豊岡病院	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	豊岡病院	
北野小学校				通信病院	⇨	⇨	通信病院	
葺合保育所　八雲老人いこいの家			滋賀県	島根県平田市	⇨	⇨	⇨	
葺合総合会館	日本病院	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	日本病院	
港島中学校						済生会・富田林病院	⇨	
市立盲学校								
旭住宅		島根県平田市	⇨					
山手文化会館	茨木病院	⇨	茨木病院					
光の丘幼稚園・電子専門学院	島根県平田市							

医　療　班　派　遣　計　画　表　(NO3)

2月　1日～　7日

避難勧告　所行	2/ 1	2	3	4	5	6	7	備考
神戸生田中学校	大阪市	⇨	⇨	⇨	⇨	厚生年金事業振興団	⇨	
小野柄小学校	大阪府	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	大阪府	
吾妻小学校	大阪市	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	大阪市	
雲中小学校	大阪府	⇨	⇨	⇨	⇨	通信病院	⇨	
楠中学校	大阪府	⇨	⇨	⇨	⇨	神鋼病院	⇨	
山の手小学校	東邦大学	⇨	⇨	⇨	神戸市中央市民病院	⇨	⇨	
筒井台中学校	千葉市	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	千葉市	
下山手小学校	和歌山県	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	和歌山県	
葺合中学校	八鹿病院	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	八鹿病院	
春日野小学校	山梨県	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	山梨県	
下山手市営住宅	隅保健診センター	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	隅保健診センター	
宮本小学校	滋賀県	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	滋賀県	
上筒井小学校	千葉県	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	千葉県	
湊川多聞小学校	東京海上	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	東京海上	
湊小学校	労災病院	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	労災病院	
若菜小学校	愛知県	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	愛知県	
神戸諏訪山小学校	徳島病院	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	徳島病院	
弁護士会館	豊岡病院	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	豊岡病院	
北野小学校	通信病院	⇨	⇨	⇨	⇨	自衛隊	⇨	
葺合保育所　八雲老人いこいの家	島根県平田市	⇨	⇨	⇨	⇨	大阪市		
葺合総合会館	日赤病院	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	日赤病院	
港島中学校	済生会・富田林病院	⇨	神戸市中央市民病院	⇨	⇨			
市立盲学校				沖縄県	⇨	⇨	⇨	
摩耶兵庫高校				九州大学	⇨	⇨	⇨	
自衛隊	通園	⇨	⇨	⇨	⇨			
大阪市	通園	⇨	⇨	⇨	⇨			
沖縄県	通園	⇨	⇨					
神戸市中央市民病院		通園						
大阪大学小児科	通園・常駐	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	
松下記念病院				本部	⇨			
タ　イ				通園	⇨			

資料4-2-3-3　医療班派遣状況記録様式の一つ

医療チーム

番号	名称	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1	2/2
1	昇合中学校		愛知県	〃	〃	〃	八鹿H-P	八鹿H-P		
2	昇合高校									
3	筒井台中学校	千葉市	千葉市	〃	〃	〃	〃	〃		
4	晋要小学校	大阪3	大阪3	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
5	小野柄小学校	大阪2	大阪2	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
6	上筒井小学校		千葉県	〃	〃		〃	〃		
7	春日野小学校	滋賀H-P	滋賀H-P 4/11名古屋ボランティア	山梨県	〃	〃	〃	〃		
8	富本小学校	滋賀県1	滋賀県1	〃	〃	〃	〃	〃		
9	昇合総合会館	日赤2	日赤1	〃	〃	〃	〃	〃		
10	鷲中小学校	大阪4	大阪4 4/11滋賀ボランティア	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
11	若葉小学校	八鹿H-P	八鹿H-P	〃	〃	〃	愛知県	愛知県		
12	二宮小学校		自衛隊					自衛隊		
13	富本公園									
14	神若公園									
15	神若3丁目									
16	西芳寺									
17	昇合保育所	滋賀2	滋賀2	〃	〃	平田市民H-P	〃	〃		
18	磯上グランド									
19	二宮神社									
20	琴ノ緒公園									
21	めぐみ愛児園									
22	八雲老人いこいの家	滋賀2	滋賀2	〃	〃	平田市民H-P	〃	〃		
23	二宮老人いこいの家									
24	加通4丁目広場									
25	神鋼保安室									
26	小野柄地域福祉センター									
27	逓信病院									
28	加通地域福祉センター									
29	昇合文化センター									
30	昇合更生センター									

次成母

番号	名称	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1	2/2
31	春日野交番									
32	神鋼病院									
33	東神戸診療所									
34	神戸ルーテル教会									
35	春日野商店街									
36	生田川一丁目									
37	シティハイツ北野									
38	筒井公園									
39	神若老人いこいの家									
40	YWCA									
41	神州会館									
42	宮本老人いこいの家									
43	ツイン雲井									
44	小野柄老人いこいの家									
45	測量事務所									
46	旭中央住宅		島根1-P	〃	〃					
47	神戸生田中学校	大阪1	大阪1	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
48	楠中学校	大阪5	大阪5	〃	〃	〃	〃	〃		
49	湊川多聞小学校	東京海上	東京海上	〃	〃	〃	〃	〃		
50	湊小学校	労災1-P	労災1-P 24応	〃	〃	〃	〃	〃		
51	港島小学校									
52	神戸諏訪山小学校				大阪府以下記念1-P	〃		徳島県		
53	下山手小学校	和歌山1-2	和歌山1-2	〃	〃	〃	〃	〃		
54	北野小学校	東邦大学		通信1-P	〃	〃	〃	〃		
55	山の手小学校	東邦大学	東邦大学	〃	〃	〃	〃	〃		
56	社会保険センター									
57	生活学習センター									
58	摩耶兵庫高校									
59	下山手市営住宅	通信1-P	通信1-P	簡保ロッジ	〃	〃	〃	〃		
60	親和高校跡地									

番号	名称	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1	2/2
61	中華同文学校									
62	清風公民館									
63	神戸地裁									
64	弁護士会館	豊風H-P	豊風H-P	〃	〃	〃		日高H-P		
65	北野地域福祉センター									
66	電子専門学校	平田市民H-P								
67	ヨゼフ教会									
68	神戸大学病院									
69	光が丘幼稚園	平田市民H-P								
70	新神戸オリエンタルホテル									
71	行(山手女学)園									
72	北野神戸外人クラブ									
73	文化ホール									
74	神港学園									
75	海員会館									
76	勤労会館									
77	下山手地域福祉センター									
78	山手文化会館	茨木H-P	茨木H-P	〃						
79	県警第3庁舎									
80	民団県本部									
81	正念寺									
182	入江ビル									
183	安田布引ビル									
84	神戸女子短期大									
85	北本町3.1号棟集									
86	下七会館									
87	松村歯科前									
88	生田川公園時									
89	遺族会館									
90	プロメテウスモータ									

番号	名称	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1	2/2
91	布引公用									
92	布引中学校									
93	シャルダン神戸									
94	賢友会ハイ									
95	まちづくり会館									
96	萬透園									
97	菁合高校		山梨県							
	港島中学校					消生会（湯田病院）	〃	〃		

資料4-2-3-4　医療班活動報告様式の一つ

～1/27まで

医療活動報告書（1月25日）　No1

中央保健所

避難場所名	組	自治体	手当数	病院対応必要数	備考
神戸生田中学	1	大阪①			
小野柄小学校	1	大阪②			
吾妻小学校	1	大阪③			
雲中小学校	1	大阪④			
巡回	1	大阪⑤			
筒井台中学	1	千葉市			
下山手小学校	1	和歌山			
楠中学	1	茨城県	38人		
春日野小学校	1	定期キリスト教病院			
下山手市営住宅	1	巡回病院			
宮本小学校	1	滋賀県			

※備考欄にスタッフの人数（Ｄｒ、Ｎｓ、他）を記入してください

資料4-2-3-5　医療班派遣状況記録様式の一つ

平成７年１月２７日　～現在　　中央保健所

派遣元	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪			
団体名	１班大阪(市) (北・十三市民 総合医)	２班大阪(府) (府HP 阪南 府生病)	３班大阪(市) (市立大学付属HP　)	４班大阪(府) (羽曳野 市立堺　)	５班大阪(府) (母子セン 成人病セ　)	６班大阪(市) (北市民 住吉市民　)	１班　日赤	２班　日赤	１班　自衛隊
Ｄｒ	２人	３人	２人	２人	２人	１人			
Ｎｓ	４人	６人	４人	４人	４人	２人			
その他	1	1							
計	7	10	6	6	6	3			
日程	未定	未定	未定	未定	未定	未定			
車	有り		有り			有り			
行先	神戸生田中学	小野柄小学校	吾妻小学校	葺中小学校	楠中学校	巡回	葺合総合会館	巡回	巡回
２４Ｈ									
避難者数	1.500	1.850	2.000	850	500		2.100		
受診者数									
食事	朝・夕はオリエントで	朝・夕はオリエントで	朝・夕はオリエントで	朝・夕はオリエントで	朝・夕はオリエントで	朝・夕はオリエントで			
宿泊	オリエントビーナス、バス	オリエントビーナス	オリエントビーナス、バス	オリエントビーナス	オリエントビーナス	オリエントビーナス、バス			
備考	・常駐(10時~17時) ・バス組は自前 ・民間救急車1台借り上げ	・常駐(10時~17時) ・救急車1台未使用 ・車2台中央HCに貸し出	・常駐(10時~17時)	・常駐(10時~17時)	・常駐(10時~17時)		・常駐(10時~17時)		

12
24
2
38

資料4-2-3-6　第２回医療関係者全体会議で示された医療班活動状況

医療班活動状況　（中央保健所）

1995年3月 7日

No	避難所	収容数	～ 2月28日 医療班		診療時間	待機	3月1日 ～ 3月15日 医療班		診療時間	待機	3月16日～ 医療班		診療時間	待機
1	上筒井小学校	120	千葉県	救護	24時間	泊	千葉県	救護	9:00~20:00	泊	千葉県	救護	13:00~20:00	泊
2	筒井台中学校	140	千葉市（千葉県）	救護			千葉県		必要時上筒井小へ		千葉県		必要時上筒井小へ	
3	真合高校	151	千葉市（千葉県）	巡回			千葉県				千葉県			
4	宮本小学校	400	滋賀県（三隊）	救護	10:00～17:00		滋賀県	救護	10:00~17:00		県本部	救護		
5	春日野小学校	500	山梨県（七隊）	救護	24時間	泊	山梨県	救護	24時間	泊	山梨県	救護	9:00~10:00 14:00~17:00	泊
6	真合中学校	63	通信病院 (~3/3)	巡回			3/3~愛知県	巡回	16:00~17:00		愛知県	巡回	16:00~17:00	
7	雲中小学校	180	通信病院 (~3/3)	救護	9:00～19:30		3/3~愛知県	巡回	17:00~19:00		〃	〃	17:00~19:00	
8	若菜小学校	220	救護(NTTセンター・記念館 避難所)	救護	24時間	泊	愛知県	巡回	10:00~12:00	泊	〃	〃	10:00~12:00	泊
9	二宮小学校	260	高砂市民病院（避難所）	救護	日帰り	日帰り	2/28~愛知県	巡回	14:00~16:00	Nsあり	滋賀県	巡回	17:00~19:00	Nsなし
10	吾妻小学校	900	大阪市（大阪市対策）	救護	24時間	泊	大阪市	救護	24時間	泊	大阪市	救護	10:00~12:00 13:00~17:00	泊
11	避難所 八重咲いこいの家	250	ＪＡ長野厚生連 (~2/27)	救護			2/28~沖縄県	巡回	17:30~18:30		沖縄県	巡回	17:30~18:30	
12	真合総合会館	150	ＪＡ長野厚生連 (~2/26)	救護	15:00～17:00		2/27~沖縄県	巡回	15:00~17:00		〃	〃	15:00~17:00	
13	小野柄小学校	600	大阪府（救護センター・避難所）	救護	24時間	泊	大阪府	救護	24時間	泊	大阪府	救護	10:00~12:00 13:00~17:00	泊
14	北野小学校	300	自衛隊（独自）	救護			自衛隊 (~3/8)	救護			自衛隊	救護	10:00~12:00 13:00~17:00	泊
15	山の手小学校	530	中央市民病院	救護	9:00~22:00		中央市民病院	救護	9:00~22:00		中央市民病院	救護	16:00~22:00	
16	神戸原坂小学校	500	徳島大学病院 (~2/28)	救護	24時間	泊	和歌山県	巡回	10:00~12:00		和歌山県	巡回	10:00~12:00	
17	下山手小学校	270	和歌山県	救護	24時間	泊	和歌山県	巡回	16:00~20:00	泊	〃	〃	16:00~20:00	泊
18	下山手市営住宅	120	簡易保険成人診センター	救護		2隊まで泊	中央区医師会	巡回	不定期		中央区医師会	〃		
19	神戸生田中学校	400	厚生年金事業団	救護	24時間	泊	厚生年金事業振興団	救護	24時間	泊	厚生年金事業振興団	救護	10:00~12:00 13:00~17:00	泊
20	楠中学校	182	神鋼病院 (~2/28)	救護	10:00～18:00	泊	千葉市	救護	13:00~20:00	Nsあり	千葉市	巡回	18:00~20:00	Nsなし
21	湊川多聞小学校	130	神鋼病院	巡回			千葉市	巡回	15:00~17:00		〃	〃	15:00~17:00	
22	弁護士会館	130	ＮＴＴ（災害救援）(~2/28)	救護	10:00～20:00		中央区医師会	巡回	不定期		中央区医師会	巡回		
23	湊小学校	350	労災病院（他）	救護	24時間	泊	労災病院 (3/21まで)	救護	24時間	泊	労災病院	救護	16:00~20:00	
24	市立盲学校	120	沖縄県（消防応援、福祉）	救護			労災病院	終了	湊小学校へ		〃	巡回	10:00~11:00	
25	神戸兵庫高校	141	九州大学医学部	救護	24時間	泊	3/11~労災病院	救護	17:00~19:00		〃	〃	14:00~15:00	
26	保健所 救護室		千葉大学病院部	救護	24時間	泊	千葉大学病院 (~3/7) 東京慈恵病院 (~3/12)	救護	9:00~12:00 15:00~18:00	泊	千葉大学病院 北海道庁	救護	9:00~12:00 15:00~18:00	泊
							15団体 23班				16団体 20班			

資料4-2-3-7　医療チーム報告書

医療チーム報告書

団体名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　構成＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　派遣元＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

チーム構成　Ｄｒ　名　Ｎｓ　名　ＰＨＮ　名　その他＿＿＿＿＿＿＿＿

出務医師専門科目＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

チーム日程　平成７年　月　日～平成７年　月　日

次回交替予定日　平成７年　月　日　午前　午後

診療科目

車	有り	無し
携帯電話	有り TEL	無し
食事	保健所　持参 （朝・夕）	
宿泊	保健所	その他（　　）

備考

※お願い　派遣元（チーム日程ではなく）での滞在日程を教えてください。

資料4-2-3-8　救護活動日報

救護活動日報

月　日　　保健所

1．救護所の状況

常設

設置箇所数　　ケ所

診療件数　　件

主な疾病

（　　件）　　（　　件）

（　　件）　　（　　件）

（　　件）　　（　　件）

巡回

巡回診療箇所数　　ケ所

診療件数　　件

主な疾病

（　　件）　　（　　件）

（　　件）　　（　　件）

（　　件）　　（　　件）

医療機関への転送件数　　件（うち巡回診療箇所　　件）

※内訳（常設と巡回と区別して記入してください）

2．保健婦活動等

(1)保健婦の訪問数　　件

(2)保健婦の救護所内での指導数　　件

(3)避難所での死亡件数　　件

3．その他（特記事項、連絡事項等）

資料4-2-3-9　医療活動報告書

医療活動報告書

担当者＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿班
※注意　1避難所につき報告書1枚でお願いします。

1）平成7年　　月　　日（　）　　AM：PM　：　～　：

2）避難所名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　Dr.＿＿名　Ns.＿＿名　その他＿＿＿名

3）内容

患者の症状		診療件数	主たる処置内容	備考
感　　冒				
慢性疾患	（高血圧）			
	（糖尿病）			
	（喘息）			
	その他の疾患			
急性の一時疾患（熱 腹痛など）				
外　　傷				
筋・骨格系疾患（腰痛 肩こり）				
その他の疾患				
保健指導				

4）　継続診療・指導の必要なケース

名　　前	年齢	性別	症状・主訴	処置	今後の方向

5）避難所・救護所の状況について

神戸市中央保健所　TEL（232）－4411
FAX（232）－1495
担当：三代・萱嶋・龍野

資料4-2-3-10　巡回救護状況調査票

(4)巡回救護状況　　記入者 _____班

1　　月　　日(　　)AM　PM　：　～　：

2　避難所名 _____

3　内容

処置回数	主な患者の症状・主訴	主に使用した薬品名	主たる処置内容

4　継続処置の必要なケースとその内容

名　前	年齢	性	症状・主訴	処　置	今後の方向

5　気の付いた点（環境など）

資料4-2-3-11　健康相談記録票

◎太線内は受診者で記入して下さい。

健康相談記録

No.　　（初診日　年　月　日）

フリガナ 氏名		男 女	生年月日	□明 □大 □昭 □平　年　月　日　満　歳	住所	□避難所（　　） □自宅
住所	市　区　町通　丁目 台				電話	☎　－
地震前の受診	□なし □あり　□高血圧　□心臓病 □糖尿病　□喘息 □その他（　　）				自覚症状	
主治医の状況	医療機関名（　　） □診療中　□休診中　□不明			主治医までの交通状況	□通院可　□不可 受診先斡旋（　　）	

月	日	経過	処置

1.24×2,500　神戸市中央保健所

表4-2-3-2　各避難所の医療記録保管状況

①健康相談記録

	1/17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
神戸生田中学校																					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小野柄小学校									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吾妻小学校									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
雲中小学校									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
楠中学校																					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
春日野小学校											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
楠中学校																					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山の手小学校									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
筒井台中学校								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下山手小学校										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下山手住宅											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヨゼフ幼稚園											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
清風公民館											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
清風老人憩いの家											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
宮本小学校									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上筒井小学校										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
若草小学校									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諏訪山小学校												○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
垂合文化センター																○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
垂合中学校										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	
市立盲学校																○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
摩耶高校																			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
二宮小学校																												○	○	○
北野小学校																														
遺族会館																														
花隈児童公園																														
社会保険センター																				○	○									
下七会館											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下山手地域福祉センター																					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
多聞小学校																												○	○	○
垂合高校										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
文化ホール																					○	○	○		○	○	○	○	○	○

注）表中の○印は、タイトルに示される医療記録が保管されていることを表す
以下の表も同様である

②一括メモ

	1/17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
神戸生田中学校								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
小野柄小学校																														
吾妻小学校							○	○																						
雲中小学校																														
楠中学校																														
春日野小学校						○	○	○	○	○																				
楠中学校																														
山の手小学校																														
筒井台中学校																														
下山手小学校								○	○																					
下山手住宅																														
ヨゼフ幼稚園																														
清風公民館																														
清風老人憩いの家																														
宮本小学校																														
上筒井小学校								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
若葉小学校																														
諏訪山小学校																														
基合文化センター																														
基合中学校																														
市立盲学校																														
摩耶高校																														
二宮小学校																														
北野小学校																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	~2/27
道祖会館																														
花隈児童公園																														
社会保険センター																														
下七会館																														
下山手地域福祉センター																														
多聞小学校																														
基合高校																														
文化ホール																														

③患者一覧

	1/17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
神戸生田中学校																														
小野柄小学校				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
春賀小学校							○	○																						
雪中小学校																														
楠中学校																														
春日野小学校																														
楠中学校																														
山の手小学校																								○	○	○	○	○	○	○
筒井台中学校																														
下山手小学校																														
下山手住宅																														
ヨゼフ幼稚園																														
清風公民館																														
清風老人憩いの家																														
宮本小学校																														
上筒井小学校							○	○	○																					
若菖小学校									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諏訪山小学校																														
基合文化センター																														
基合中学校																														
市立盲学校																														
原野高校																														
二宮小学校																														
北野小学校																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	~2/27
道旅会館																														
花隈児童公園																														
社会保険センター																				○	○									
下七会館											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下山手地域福祉センター																					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
多聞小学校																														
基合高校																														
文化ホール																														

④医療活動報告

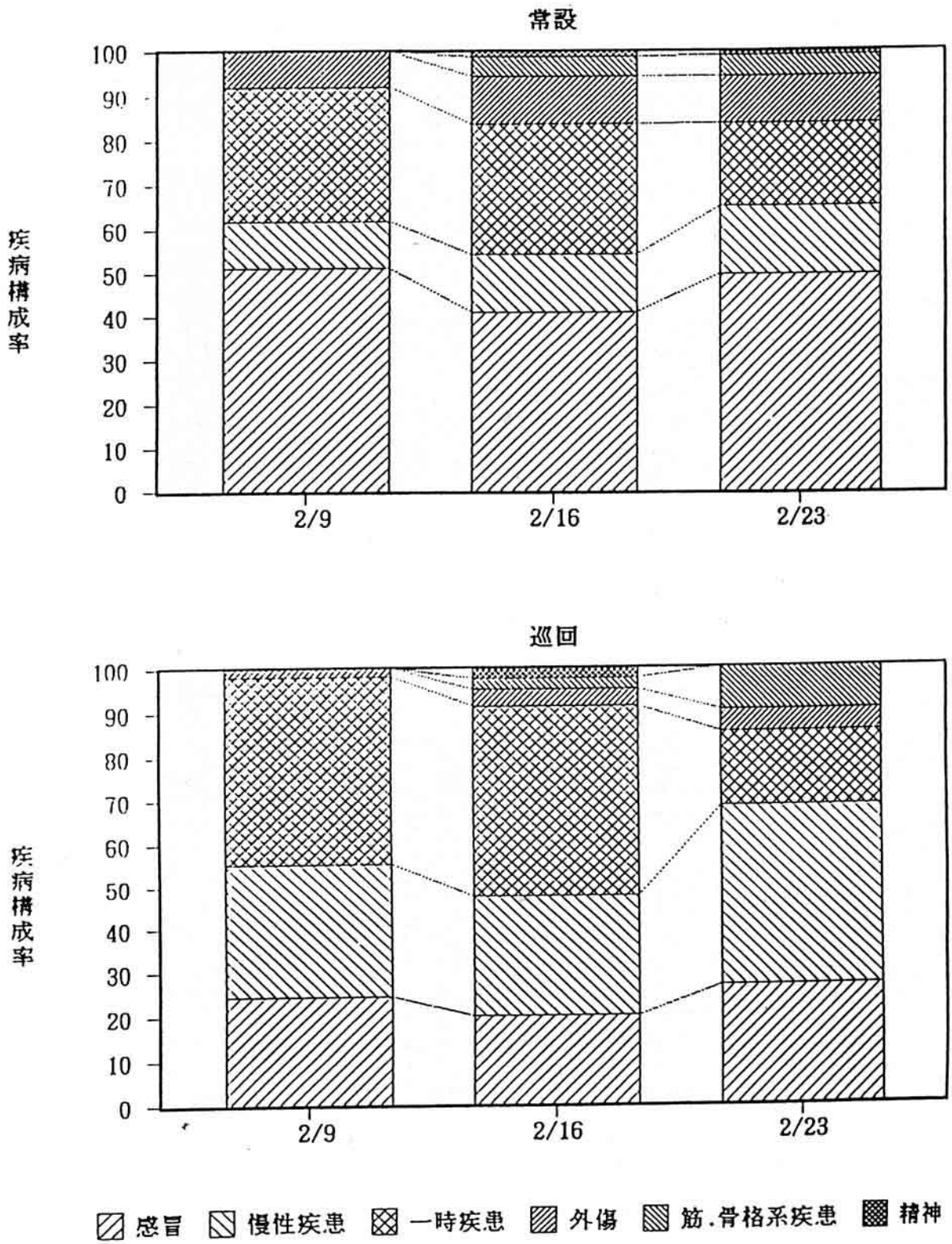
	1/17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
神戸生田中学校																						○	○	○	○	○	○	○	○	○
小野柄小学校					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吾妻小学校																														○
雲中小学校																					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
楠中学校																					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
春日野小学校											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
楠中学校																					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山の手小学校									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
筒井台中学校										(○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下山手小学校								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下山手住宅											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヨゼフ幼稚園											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
清風公民館											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
清風老人憩いの家											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
宮本小学校									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上筒井小学校										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
若菜小学校										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諏訪山小学校														○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
葺合文化センター																														
葺合中学校																														
市立盲学校																○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
摩耶高校																					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
二宮小学校																												○	○	○
北野小学校																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	~2/27
道旅会館													○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	~2/28
花隈児童公園															○						○									
社会保険センター																				○	○									
下七会館													○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下山手地域福祉センター																					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
多聞小学校																														
葺合高校											(○	○	○	○	○	○	○	○	○	○)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
文化ホール																														

⑤その他

	1/17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
神戸生田中学校																														
小野柄小学校																														
吾妻小学校									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
雲中小学校																														
楠中学校																					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
春日野小学校																														
楠中学校																														
山の手小学校																														
筒井台中学校																														
下山手小学校																														
下山手住宅																														
ヨゼフ幼稚園																														
清風公民館																														
清風老人憩いの家																														
宮本小学校																														
上筒井小学校										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
若草小学校																														
諏訪山小学校																														
基合文化センター																														
基合中学校																														
市立盲学校																														
摩耶高校																														
二宮小学校				○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○				
北野小学校																			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	~2/27
遺族会館																														
花隈児童公園																														
社会保険センター																														
下七会館																														
下山手地域福祉センター																														
多聞小学校																														
基合高校																														
文化ホール																														

資料4-2-3-12　第２回医療関係者全体会議で示された疾病状況の推移

神戸市災害対策本部救護所.中央区における疾病の推移



資料4-2-3-13　救護所別受診者数の推移

実数=受診者数　'-'=未巡回及び未回収

番号	避難所	合計	1/17	1/18	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31
1	神戸生田中学	555	-	-	-	-	-	-	58	83	76	46	69	62	66	44	51
	まちづくり会館	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	波止場町国産住宅	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	元町北会館	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	小野柄小学校	575	-	-	75	-	65	-	61	72	80	70	69	83	-		
3	吾妻小学校	626	-	-	50	-	80	34	63	95	-	-	-	-	100	115	89
	吾妻地域福祉セ	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	森口工業	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	東八日吾自治会	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	雲中小学校	310	-	-	23	-	-	-	-	56	77	50	56	-	21	5	22
	安田布引ビル	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平安祭典	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	神若公園	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	生田川公園一帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	神若老人いこい	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	神若保育所	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	西芳寺	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	国香公園	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	楠中学校	310	-	-	23	-	-	-	-	56	77	50	56	-	21	5	22
	文化ホール	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	西橘公園	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	八幡公園	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	山の手小学校	588	-	-	-	-	-	28	41	77	34	75	50	71	84	62	66
7	筒井台中学校	297	-	-	20	16	-	47	17	34	26	19	20	19	42	25	12
	舞合高校	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	神戸ルーテル教会	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	下山手小学校	320	-	-	-	-	-	39	-	-	-	39	38	45	51	45	63
	下山手地域福祉セ	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	下八自治会	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	遺族会館	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	下七会館	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	社会保険センター	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中華同文学校	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	舞合中学校	294	-	-	20	18	-	33	17	61	-	23	12	102	8	-	-
	舞合文化センター	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	新神戸テント村	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	43
10	春日野小学校	707	-	50	100	-	82	70	-	37	47	40	23	72	71	51	64
11	下山手市営住宅	349	-	100	-	-	-	-	-	78	38	19	11	45	34	18	6
	親和高校跡地	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	清風公民館	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	清風老人いこい	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中山手南集会所	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中山手北集会所	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	松村歯科前	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	楠住宅2号3階集会所	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	宮本小学校	848	-	125	50	-	84	-	65	-	14	77	95	83	84	84	87
	宮本老人いこい	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	神州会館	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	宮本公園	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	上筒井小学校	374	-	20	-	-	-	-	-	-	-	53	53	52	65	54	77
	YWCA	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	湊川多聞小学校	287	-	-	-	-	-	6	-	60	45	36	40	40	25	-	35
15	湊小学校	1205	-	-	-	-	25	72	36	92	206	200	190	108	100	92	84
	大慈保育園	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	若菜小学校	476	-	-	35	-	36	24	28	30	-	56	38	45	70	50	64
17	神戸凱旋九山小学校	79	-	-	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	56	-
	神港学園	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	神戸女子短期	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	電子専門学院	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	光の丘幼稚園	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	北野外人クラブ	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	北野地域福祉セ	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	弁護士会館	35	-	-	-	-	-	-	-	-	14	6	5	10	-	-	-	-
	神戸会員会館	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	裁判所	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	生活学習センター	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	市住集会所	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ジョイエール下山手	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	宇治川商店街	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	鷲合保/八雲老人	362	-	-	10	1	11	62	-	51	19	32	13	50	44	32	37	
	春日野商店街	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	御井公園	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	シティハイツ日暮	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	正応寺	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	脇浜1.2自治会	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	シャルダン神戸北	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	鷲合総合会館	455	-	120	-	40	35	9	33	60	53	58	-	-	-	47	-	
	北本町3.1号集会所	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21	市立盲学校	99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	57	42	
22	兵庫摩耶高校	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	相生町	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	古湊方面	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23	北野小学校	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24	二宮小学校	20	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25	本部救護室	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	勤労会館	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	日石西側空地	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	神姫タクシー事	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	旭通4広場	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	旭地域福祉セ	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ツイン八雲	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小野柄地域福祉セ	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	サンピアテント前	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26	本部小児科	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	9214	0	415	449	75	418	424	419	942	806	949	838	887	886	842	864	

実数=受診者数　'-'=未巡回及び未回収

番号	避難所	合計	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9	2/10	2/11	2/12	2/13	2/14	2/15	2/16	2/17	2/18	2/19	2/20	2/21	2/22	2/23	2/24	2/25	2/26	2/27	2/28
1	神戸生田中学	1255	67	61	57	57	52	54	44	70	57	36	46	39	63	51	44	48	33	37	48	35	30	28	35	43	39	45	36	
	まちづくり会館	10	-	-	-	-	-	-	0	-	2	-	2	-	4	-	0	-	1	-	1	-	0	-	-	-	-	-	-	
	波止場町国産住宅	55	-	-	-	-	-	-	5	-	11	-	3	-	8	-	7	-	10	-	6	-	1	-	-	1	-	-	3	
	元町北会館	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	小野柄小学校	1558	-	60	64	-	-	73	92	85	65	49	77	70	84	51	49	62	71	50	71	42	54	53	56	75	63	86	56	
3	吾妻小学校	2050	99	89	91	83	99	111	64	67	91	83	91	90	93	94	84	75	71	44	49	56	56	45	63	62	73	59	68	
	吾妻地域福祉セ	8	-	-	-	-	-	0	0	1	0	-	6	-	1	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	森口工業	7	-	-	-	-	-	-	4	0	0	-	0	1	0	0	1	1	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	東八日吾自治会	17	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	雲中小学校	870	55	-	-	74	45	39	39	47	66	32	41	35	31	34	40	42	31	44	27	30	23	10	19	12	15	18	21	
	安田布引ビル	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	平安祭典	17	-	-	-	-	-	3	4	2	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	神若公園	3	-	-	-	-	-	3	-	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	生田川公園一帯	10	-	-	-	-	-	-	10	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	神若老人いこい	26	-	-	-	-	-	4	5	5	8	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	神若保育所	2	-	-	-	-	-	-	-	0	0	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	西芳寺	0	-	-	-	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	国香公園	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	楠中学校	400	34	-	-	37	45	26	24	12	20	9	9	11	11	13	15	9	16	20	17	5	15	9	6	12	6	7	12	
	文化ホール	6	-	-	-	-	-	-	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	西橘公園	13	-	-	-	-	-	-	8	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	八幡公園	13	-	-	-	-	-	-	0	13	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	山の手小学校	1259	77	90	-	73	56	33	47	59	57	50	53	51	45	50	40	50	57	32	45	36	48	37	35	40	41	26	31	
7	篠井台中学校	213	27	11	-	3	13	15	9	10	18	8	9	16	5	5	9	5	6	6	5	6	2	5	4	5	2	3	6	
	鷹合高校	87	1	7	-	3	-	8	4	11	4	-	4	8	3	2	1	-	9	0	14	3	1	0	1	1	2	0	0	
	神戸ルーテル教会	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	下山手小学校	950	58	46	35	56	58	58	31	48	38	15	29	27	37	25	40	25	24	31	30	44	39	39	25	30	18	26	18	
	下山手地域福祉セ	68	4	-	-	-	-	1	3	-	-	1	3	3	0	1	2	3	3	1	9	2	5	3	4	7	4	5	4	
	下八自治会	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	遺族会館	101	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	5	7	5	6	5	8	11	8	9	5	5	9	4	4	-	-	-	
	下七会館	59	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	3	3	1	2	2	4	4	4	3	6	3	3	2	3	3	3	6	
	社会保険センター	54	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	0	2	4	9	6	6	1	2	1	1	2	2	4	5	6	
	中華同文学校	13	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	2	-	-	1	-	-	-	-	2	2	1	3	
9	鷹合中学校	306	-	10	18	152	17	6	11	8	10	12	9	-	-	1	6	5	6	2	7	4	1	1	3	5	2	8	2	
	鷹合文化センター	50	-	-	-	-	-	2	5	2	4	-	-	-	-	4	5	5	5	6	1	0	0	1	2	3	4	1	0	
	新神戸テント村	334	20	30	-	-	-	10	11	9	6	-	38	3	17	1	20	17	15	16	-	18	13	18	-	21	20	15	16	
10	春日野小学校	1487	50	65	59	58	69	62	35	51	38	44	81	47	52	58	71	49	53	67	68	61	61	53	61	50	37	48	39	
11	下山手市営住宅	256	17	15	-	17	12	14	16	20	-	13	15	7	11	4	2	13	11	4	5	13	6	7	7	3	9	2	13	

	腹和高校跡地	41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2	3	6	5	4	8	1	2	4	2	
	清風公民館	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
	清風老人いこい	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	8	-	-	-	-	-	6	-	-	5	
	中山手南集会所	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	0	0	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	中山手北集会所	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	松村歯科前	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	神住宅2号3階集会所	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12	宮本小学校	1150	95	78	-	-	-	57	62	66	57	45	50	66	39	63	44	57	45	48	46	39	32	25	32	33	25	27	19	
	宮本老人いこい	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	刈州会館	1	-	-	-	-	-	0	0	7	0	0	0	0	1	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	宮本公園	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
13	上筒井小学校	737	49	44	59	42	43	38	42	23	31	59	-	16	20	17	29	21	25	17	32	26	22	16	9	15	19	15	8	
	YWCA	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
14	湊川多聞小学校	234	-	33	-	24	33	26	23	24	21	21	15	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
15	湊小学校	1081	63	80	58	68	51	55	50	55	48	56	42	32	40	41	40	30	32	18	28	24	22	21	23	33	20	28	23	
	大慈保育園	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
16	若菜小学校	957	58	51	68	69	29	89	37	49		24	39	37	20	54	34	33	36	38	30	11	24	18	22	26	21	18	22	
17	神戸鵬翔山小学校	1073	-	-	-	49	58	53	53	60	65	47	59	51	45	61	49	38	45	37	45	42	37	45	30	39	30	未	35	
	神港学園	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	神戸女子短期	72	-	-	-	-	-	-	-	4	-	6	6	5	3	5	8	1	6	-	3	13	-	5	-	3	-	-	4	
	電子専門学院	72	-	-	-	-	-	-	-	3	-	6	5	10	6	5	1	6	5	-	-	9	2	4	0	5	-	-	5	
	光の丘幼稚園	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	3	2	4	4	-	-	4	3	3	2	11	-	-	-	
	北野外人クラブ	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	4	-	-	5	4	-	-	3	4	4	4	4	-	-	-	
	北野地域福祉セ	31	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	5	5	3	3	2	2	3	-	1	-	-	1	-	4	-	-	0	
18	弁護士会館	350	-	-	-	179	33	24	5	7	5	7	4	12	4	0	8	3	3	4	2	5	3	7	11	7	8	7	2	
	神戸海員会館	18	-	-	-	-	-	-	-	0	1	0	-	-	4	3	-	2	1	-	-	2	-	3	-	2		-	-	
	裁判所	94	-	-	-	-	-	-	1	5	5	9	7	11	0	2	-	3	5	4	7	2	2	4	6	6	6	7	2	
	生活学習センター	138	-	-	-	-	-	-	4	12	1	16	3	13	5	6	-	3	5	7	2	7	6	7	8	12	6	7	8	
	市住集会所	55	-	-	-	-	-	-	2	5	1	3	0	0	3	0	-	2	9	5	7	3	4	5	1	2	0	2	1	
	ジョイエール下山手	16	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	宇治川商店街	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
19	鷲合保/八雲老人	367	22	27	-	47	19	-	14	5	18	13	20	40	10	13	8	16	12	7	18	11	6	6	10	9	7	7	2	
	春日野商店街	3	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	筒井公園	6	-	-	-	-	-	-	4	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	シティハイツ日暮	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	正応寺	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	脇浜1.2自治会	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	シャルダン神戸北	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
20	鷲合総合会館	487	-	-	-	-	-	30	31	29	36	-	31	26	40	30	24	26	36	29	26	27	12	11	10	6	9	6	12	
	北本町3.1号集会所	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
21	市立盲学校	262	3	10	-	15	3	10	11	10	11	18	13	16	6	13	10	12	12	11	6	10	11	15	10	11	11	4	-	
22	摩や兵庫	398	-	-	-	18	-	18	23	22	9	18	12	19	22	24	23	20	16	26	22	15	16	13	9	15	14	11	13	
	祖父町	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	古湊方面	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
23	北野小学校	1294	47	70	-	69	53	59	73	72	66	64	54		52	49	56	57	46	45	36	50	35	56	35	42	29	40	39	
24	二宮小学校	519	-	-	35	37	31	36	26	25	19	18	40	22	5	15	21	11	20	20	25	15	14	21	10	19	6	12	16	
25	本部城護室	830	43	50	46	53	44	52	60	27	20	29	25	46	38	25	34	24	21	21	22	21	23	28	23	11	12	10	22	
	勤労会館	40	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	3	-	5	4	1	-	-	-	3	3	4	0	3	4	4	4	
	日石西側空地	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	1	-	-	-	
	神姫タクシー事	4	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	地通1広場	10	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	5	-	-	-	1	1	-	
	地地域福祉セ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ツイン八雲	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	小野柄地域福祉セ	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	2	4	3	3	
	サンピアテント前	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
26	本部小児科	18	-	-	-	-	-	-	1	5	4				4	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	合計	22043	889	927	590	1283	863	1073	1003	1039	944	829	958	863	849	848	844	813	839	739	780	723	660	649	592	709	579	571	587	0

資料4-2-3-3　疾病状況の推移

疾病状況

日時	感冒	慢性疾患	1次疾患	外傷	筋・骨格系	精神	その他	不明	診療件数	件数累計
2月 6日	410	29	0	56	0	0	0	443	938	938
7日	375	92	20	49	0	3	0	190	729	1667
8日	461	125	0	74	0	4	0	271	935	2602
9日	470	112	14	72	0	1	0	278	947	3549
10日	407	115	44	84	7	1	0	177	835	4384
11日	437	178	42	62	45	0	0	207	971	5355
12日	330	114	67	61	53	4	0	205	834	6189
13日	336	130	55	84	32	2	0	202	841	7030
14日	318	101	156	51	27	0	2	288	943	7973
15日	333	126	31	88	45	12	0	205	840	8813
16日	326	122	25	84	35	11	84	148	835	9648
17日	362	108	32	69	48	9	0	211	839	10487
18日	342	85	25	86	33	7	0	161	739	11226
19日	367	131	39	100	35	14	0	72	758	11984
20日	346	163	24	68	42	3	0	96	742	12726
21日	323	142	16	59	30	6	0	75	651	13377
22日	367	116	19	71	38	0	0	36	647	14024
23日	282	102	15	60	29	4	0	94	586	14610
24日	295	143	31	66	69	1	0	86	691	15301
25日	249	104	33	69	35	3	0	143	636	15937
26日	261	102	16	60	38	8	0	125	610	16547
27日	255	85	28	74	36	3	0	106	587	17134
28日	110	56	7	27	19	2	0	24	245	17379
3月 1日	344	152	44	20	36	19	28	24	667	18046
2日	353	152	61	36	46	14	85	36	783	18829
3日	337	158	44	23	45	17	27	32	683	19512
4日	343	182	36	32	38	19	28	27	705	20217
5日	252	128	49	8	23	12	4	28	504	20721
6日	342	191	55	25	32	15	12	31	703	21424
7日	321	146	54	19	37	15	14	41	647	22071
8日	295	148	48	25	32	19	12	32	611	22682
9日	298	143	45	28	34	23	9	44	624	23306
10日	317	163	44	23	28	21	10	43	649	23955
11日	249	106	31	29	31	20	8	26	500	24455
12日	260	133	44	25	28	22	11	22	545	25000
13日	258	129	40	25	22	15	9	37	535	25535
14日	258	120	41	33	31	14	12	38	547	26082
15日	264	100	59	35	27	18	4	38	545	26627
16日	218	114	41	32	25	9	7	25	471	27098
17日	236	110	44	29	22	16	4	34	495	27593
18日	207	98	37	31	45	14	5	21	458	28051
19日	179	96	34	18	20	12	9	22	390	28441
20日	167	101	27	25	15	7	8	9	359	28800
21日	142	59	49	14	16	7	12	13	312	29112
22日	167	66	41	8	20	9	14	28	353	29465
23日	129	72	17	21	14	6	14	23	296	29761
24日	141	52	23	17	16	11	13	30	303	30064
25日	170	78	28	25	23	6	12	24	366	30430
26日	125	38	22	19	18	9	10	20	261	30691
27日	133	41	28	16	17	12	15	14	276	30967
28日	120	49	40	14	10	10	5	19	267	31234
29日	182	40	24	10	13	10	4	87	370	31604
30日	75	30	15	4	12	6	1	9	152	31756
31日	84	33	10	8	8	4	7	17	171	31927
計	14728	5809	1914	2251	1480	509	499	4737	31927	

資料4-2-3-14　第１回医療関係者全体会議

平成７年２月１３日（月）

場所：中央保健所　５階③会議室
時間：午後３時～４時３０分

議　　題

１．保健医療の現状について

(1)　保健所

(2)　医師会

(3)　救護班

２．今後について

３．その他

資料4-2-3-15　第２回医療関係者全体会議

救護所、医師会、保健所

第２回医療関係者全体会議

平成７年３月７日(火)15:00~16:30

於：中央保健所５階３番会議室

1　あいさつ

中央保健所長	浜田所長
中央区医師会長	進藤会長

2　議　題

(1) 医療班の現況並びに今後について

(2) 保健・衛生活動について

(3) 意見交換

(4) その他連絡事項

資料4-2-3-16　搬送状況連絡票

搬送状況連絡票

記入者　　班

避難所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

搬送された人の氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　性別　男　女

生年月日　M・T・S

住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号　（　　）　－

搬送先病院名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

搬送方法　　救急車　　自家用の車

緊急連絡先

住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話　（　　）　－

続柄

症状

資料4-2-3-17　搬送及び死亡者調査票

別紙　2

搬送及び死亡者調査票

年　月　日

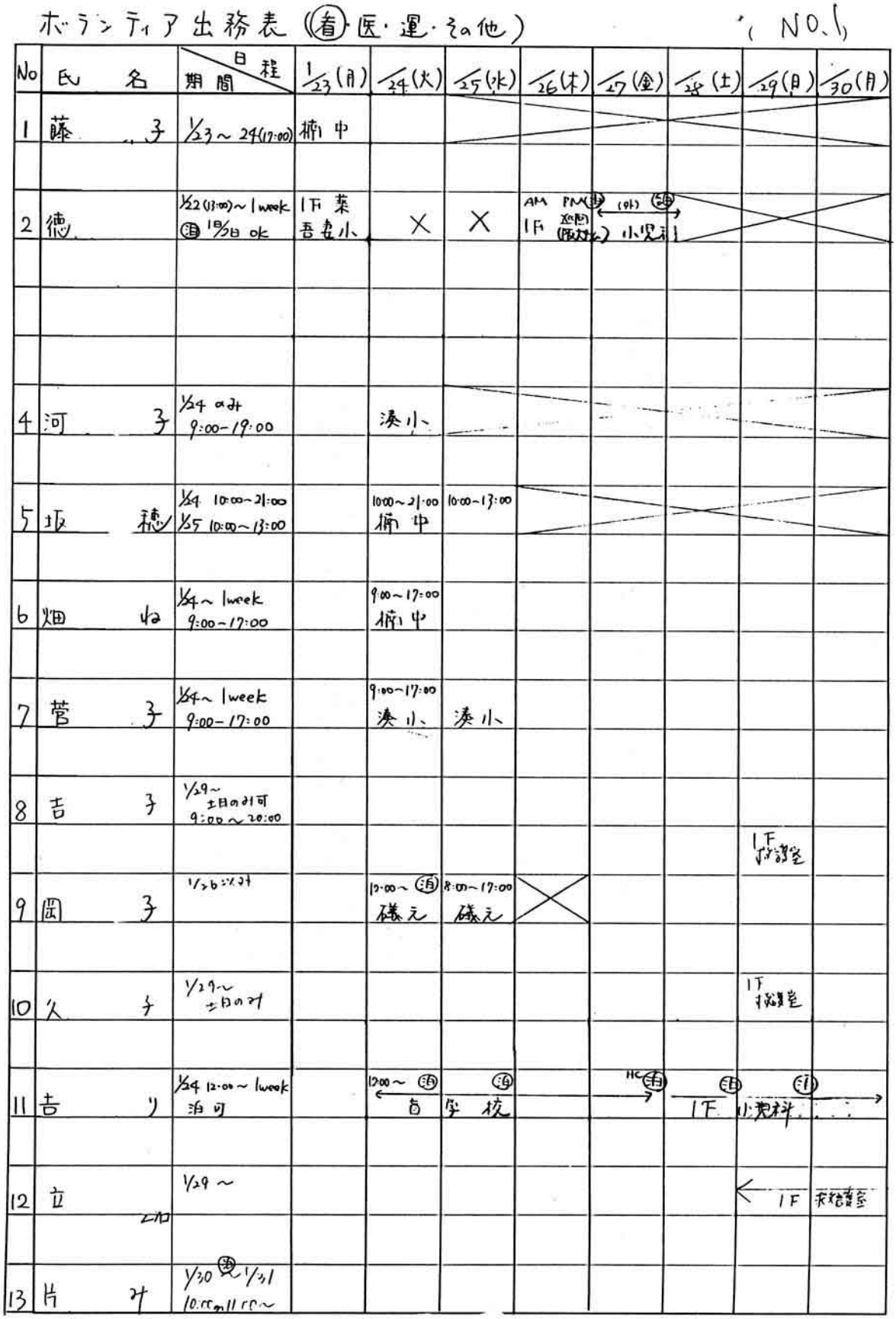
保健所名	中央保健所		
避難所名			
医療班チーム名			
氏名	（　歳）	性別	男・女
住所	区　町・通　丁目　番地　号		
☎（　）　－			
既往症			
診断名			
現症・所見			
搬送先	病院		
死因（解る範囲で）			

表4-2-3-4　搬送者数の推移

日付	搬送者数
1月17日	
18日	
19日	
20日	
21日	
22日	57
23日	4
24日	4
25日	4
26日	3
27日	3
28日	6
29日	3
30日	4
31日	4
2月 1日	5
2日	6
3日	4
4日	5
5日	6
6日	10
7日	4
8日	4
9日	5
10日	2
11日	5
12日	1
13日	1
14日	3
15日	4
16日	1
17日	6
18日	0
19日	4
20日	4
21日	9
22日	2
23日	2
24日	0
25日	2
26日	2
27日	4
28日	1

日付	搬送者数
3月 1日	0
2日	1
3日	1
4日	1
5日	1
6日	0
7日	1
8日	0
9日	1
10日	1
11日	0
12日	2
13日	1
14日	0
15日	0
16日	0
17日	1
18日	0
19日	0
20日	0
21日	0
22日	1
23日	0
24日	0
25日	1
26日	0
27日	0
28日	0
29日	0
30日	0
31日	0
計	207

資料4-2-3-18　ボランティア出務表



ボランティア出務表（㊗医・運・その他）　（NO.1）

No	氏名	日程 / 期間	1/23(月)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)	28(土)	29(月)	30(月)
1	藤　子	1/23～24(17:00)	術中							
2	徳	1/22(13:00)～1week ㊏19日 ok	1下 菜 吾妻小	×	×	AM PM ㊏ (外) ㊐ 1F 面談 (阪大) 小児科				
4	河　子	1/24 のみ 9:00-19:00		湊小						
5	坂　穂	1/24 10:00～21:00 1/25 10:00～13:00		10:00～21:00 術中	10:00～13:00					
6	畑　ね	1/24～1week 9:00-17:00		9:00～17:00 術中						
7	菅　子	1/24～1week 9:00-17:00		9:00～17:00 湊小	湊小					
8	吉　子	1/29～ 土日のみ可 9:00～20:00							1F 放課室	
9	岡　子	1/26～24		12:00～㊏ 磯え	8:00～17:00 磯え	×				
10	久　子	1/29～ 土日のみ							1F 放課室	
11	吉　り	1/24 12:00～1week 泊可		12:00～㊏ ← 自	㊏ 学 校		HC ㊏ →	㊏ 1F	㊏ 小児科	→
12	立　ユカ	1/29～							← 1F 求給湯室	
13	片　み	1/30 ㊋ 1/31 10:00or11:00～								

表4-2-3-5　ボランティア登録者数の推移

ボランティア登録者数の推移

日付	ボラ医	ボラNS	ボラ車	ボラその他	ボラ計
1月17日	1	0	0	0	1
18日	1	0	0	0	1
19日	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0
21日	1	0	0	0	1
22日	1	0	0	0	1
23日	3	4	3	6	16
24日	4	11	5	6	26
25日	5	8	6	6	25
26日	5	7	10	9	31
27日	6	10	6	7	29
28日	9	13	5	8	35
29日	10	12	4	9	35
30日	8	10	3	7	28
31日	7	13	7	7	34
2月 1日	7	8	7	8	30
2日	6	11	6	8	31
3日	5	8	5	11	29
4日	3	9	3	11	26
5日	1	12	3	13	29
6日	1	12	3	8	24
7日	2	15	4	7	28
8日	1	17	4	8	30
9日	2	21	3	9	35
10日	2	17	3	15	37
11日	3	25	1	12	41
12日	2	25	1	11	39
13日	0	16	1	8	25
14日	1	15	0	8	24
15日	2	13	0	2	17
16日	1	12	0	2	15
17日	1	12	0	2	15
18日	1	14	2	2	19
19日	0	16	2	2	20
20日	1	15	1	2	19
21日	1	13	1	2	17
22日	2	10	1	2	15
23日	0	10	1	2	13
24日	1	9	1	2	13
25日	0	7	0	2	9
26日	0	6	0	1	7
27日	0	3	0	1	4
28日	1	2	0	1	4
3月 1日	0	0	0	1	1
2日	0	0	0	1	1
3日	0	0	0	1	1
4日	0	2	0	1	3
5日	0	2	1	2	5
6日	0	1	0	1	2
7日	0	1	0	1	2
8日	0	1	0	1	2
9日	0	1	0	1	2
10日	0	1	0	1	2
11日	0	2	0	1	3
12日	0	3	1	1	5
13日	0	2	0	1	3
14日	0	3	0	1	4
15日	0	0	0	1	1
16日	0	0	0	1	1
17日	0	0	0	2	2
18日	0	0	0	2	2
19日	0	0	1	2	3
20日	0	1	0	2	3
21日	0	0	0	2	2
22日	0	0	0	2	2
23日	0	0	0	2	2
24日	0	0	0	2	2
25日	0	0	0	2	2
26日	0	0	1	3	4
27日	0	0	0	3	3
28日	0	0	0	3	3
29日	0	0	0	3	3
30日	0	1	0	3	4
31日	0	0	0	3	3
合計	108	462	106	280	956

3）主な業務の経過

（1）職員の初動記録（表4-3-1-1）

多くの保健所職員が区外に居住しており、また被災により自宅およびその周辺に損害を受け、交通網も麻痺するなどの悪条件も重なり、被災直後より出勤できた者は少なかった。保健課員１名と衛生課員１名が比較的早期に出務し、保健課長、衛生課長と連絡をとりあいながら初期は職員の安否確認と相互連絡を行った。その後、保健課長が出務すると、医療班に対応して道案内と担当の振り分けを主として活動していた。１月17日の16時までは、保健課員は電話連絡により職員の安否確認を、衛生課員は12時過ぎの衛生局よりの依頼により西市民病院の救援にライトバンで向かった。

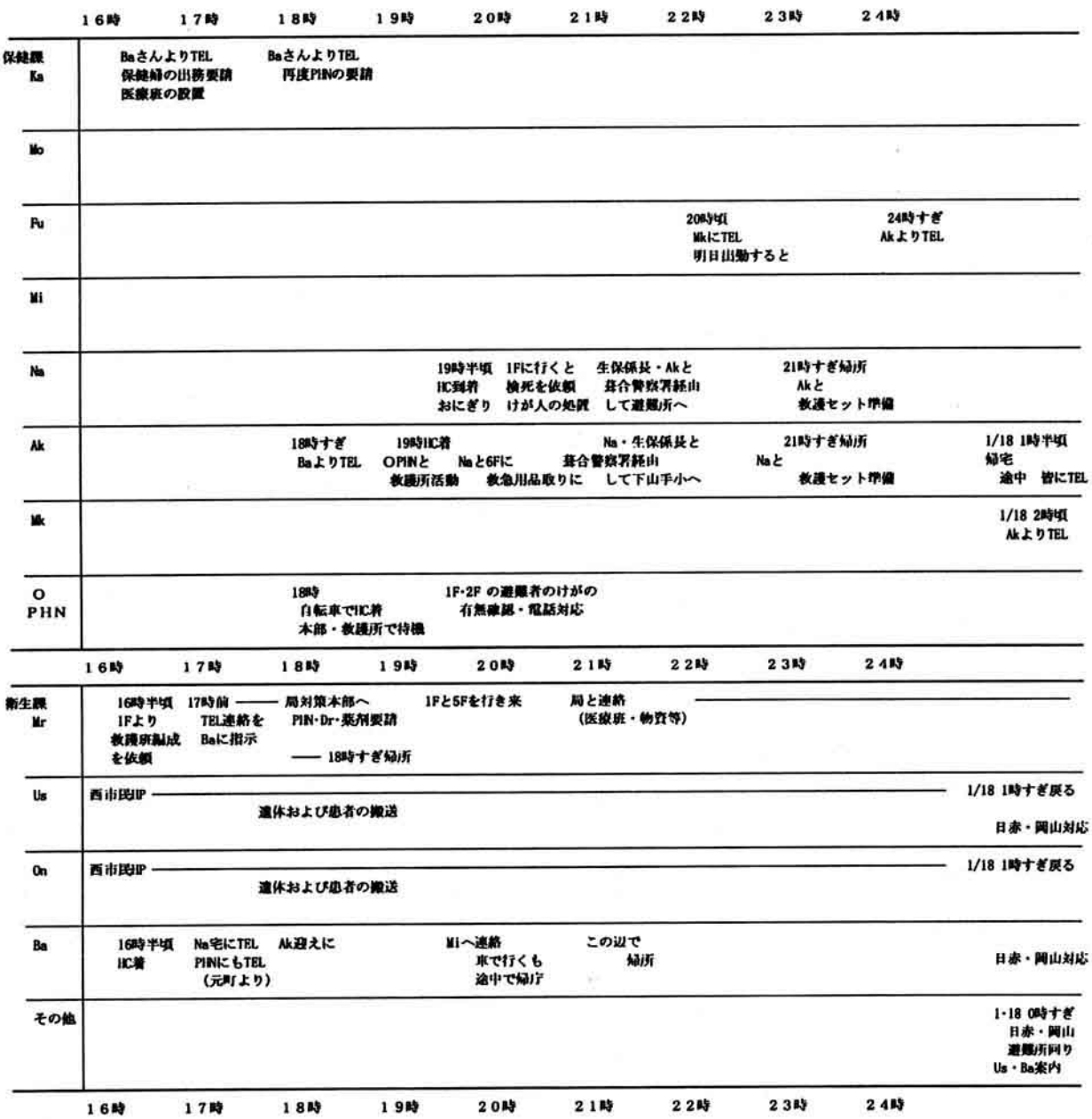
1／17

	5:46 地震発生 8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
保健課 Ka	6:30～7:30 所長・課長・課員へ　8:30 TELで連絡　Mrへ TEL 7:30 駅へ	9時すぎ HCのMoにTEL 指示（待機・Mriuう）	11時頃 HCMoにTEL 現状確認			単車で再度出るが 通行不能 （須磨・長田で火災）			
Mo	8:30頃　8:40頃　9時前より　9:30前 HC到着　衛生課のTEL　TELよく鳴る　局よりTEL依頼 1Fには5･6人　Baさんより　所員・局員　衛生課員来たら		11時頃TELあり 衛生局庶務課 職員出勤状況確認	12時各病院にTEL 通信・神鋼・上田 サナトリウム　他		職員の安否確認TEL		電話不通 以降片づけ	— 16時半
Fu	連絡網による 電話連絡を待つ				（職員名簿、10人位）				
Mi	課HCにMiuかうも —— 帰宅し自宅待機 遠体多数で 入れず								
Na		9時すぎHCにTEL Moのみ					14時頃２度目のTEL 状況を尋ねる		
Ak	連絡網による 電話連絡を待つ	9時すぎHCへTEL つながらず	IdPINへTEL 出勤できず		昼過ぎMoよりTEL				
Mk	7時駅へ　8時頃KaにTEL　皆にTEL試みるも Miuうも　ムリせず待機　つながらず 動かず				昼から To・Enら からTEL	——	連絡ついた人には 自宅待機と説明		
その他		10時すぎ 1Fより課長 下に来るよう							

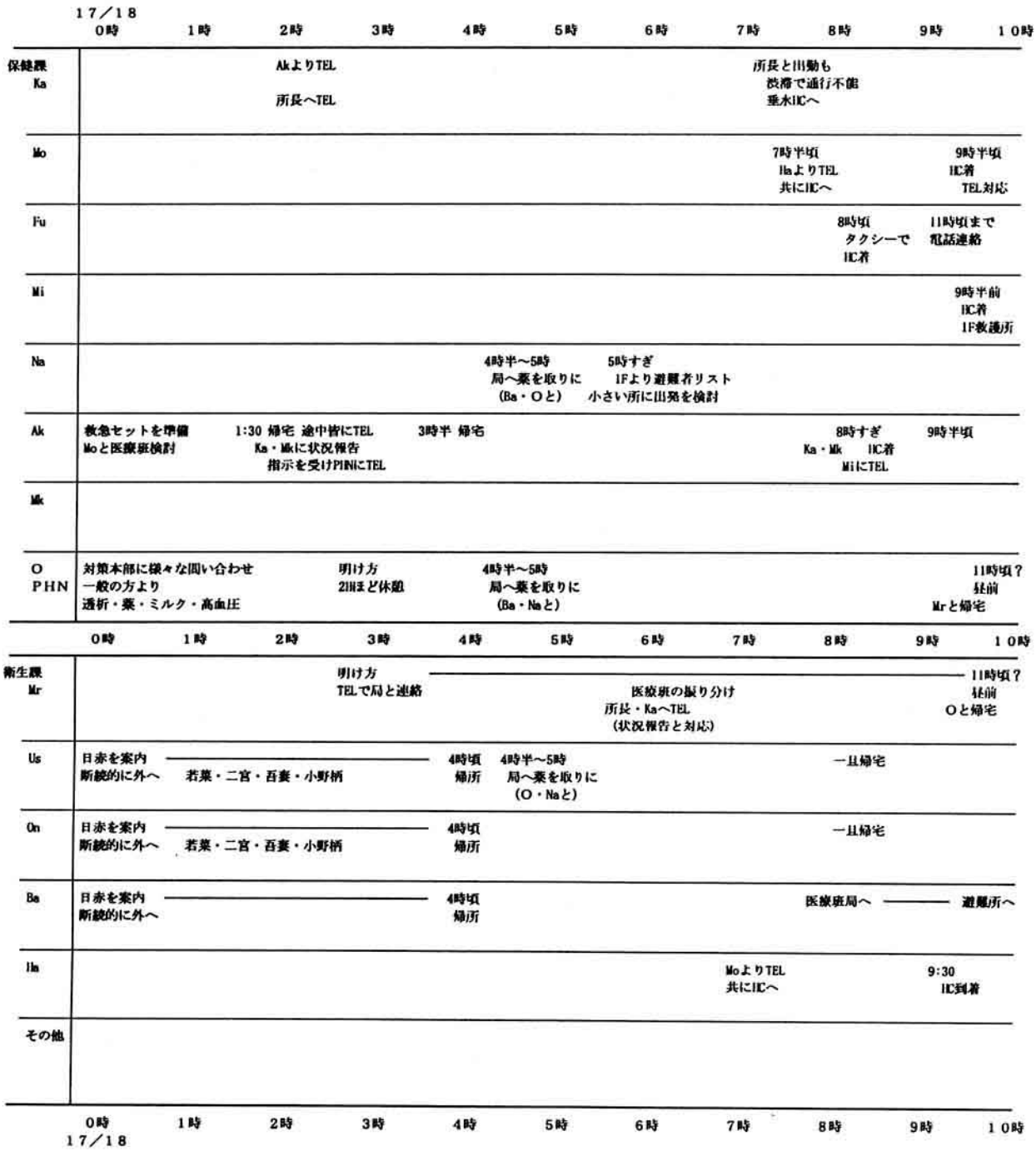
	5:46 地震発生 8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
衛生課 Mr	8時前　課員数人からTEL KaとTEL　出れるようなら	9時 車で家を出る			12時頃HC着 12時すぎ 局よりTEL 西1Pの救援を	13時すぎ 1F区役所へ	職員の安否確認を Moに指示		16時半頃 1Fより 救援班編成 を依頼
Us		9:30頃　～10時　10時すぎ HC着　局へTEL　1Fへ			12時すぎ　12時半すぎ 1Fより戻る　ライトバンで 道づくり　出発				
On		9:30頃 HC着	10時すぎ 1Fへ	11時すぎ？　12時すぎ　12時半　12時半すぎ 局よりTEL　1Fより戻る　局よりTEL　トラックで 病院の状況　道づくり　1PのPt確認　出発					
Ba	8-8時半 垂水HC	9時前 HCMoにTEL	Mr宅にTEL 垂水待機		12時前 車で出発				16時半 HC着

	5:46 地震発生 8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時

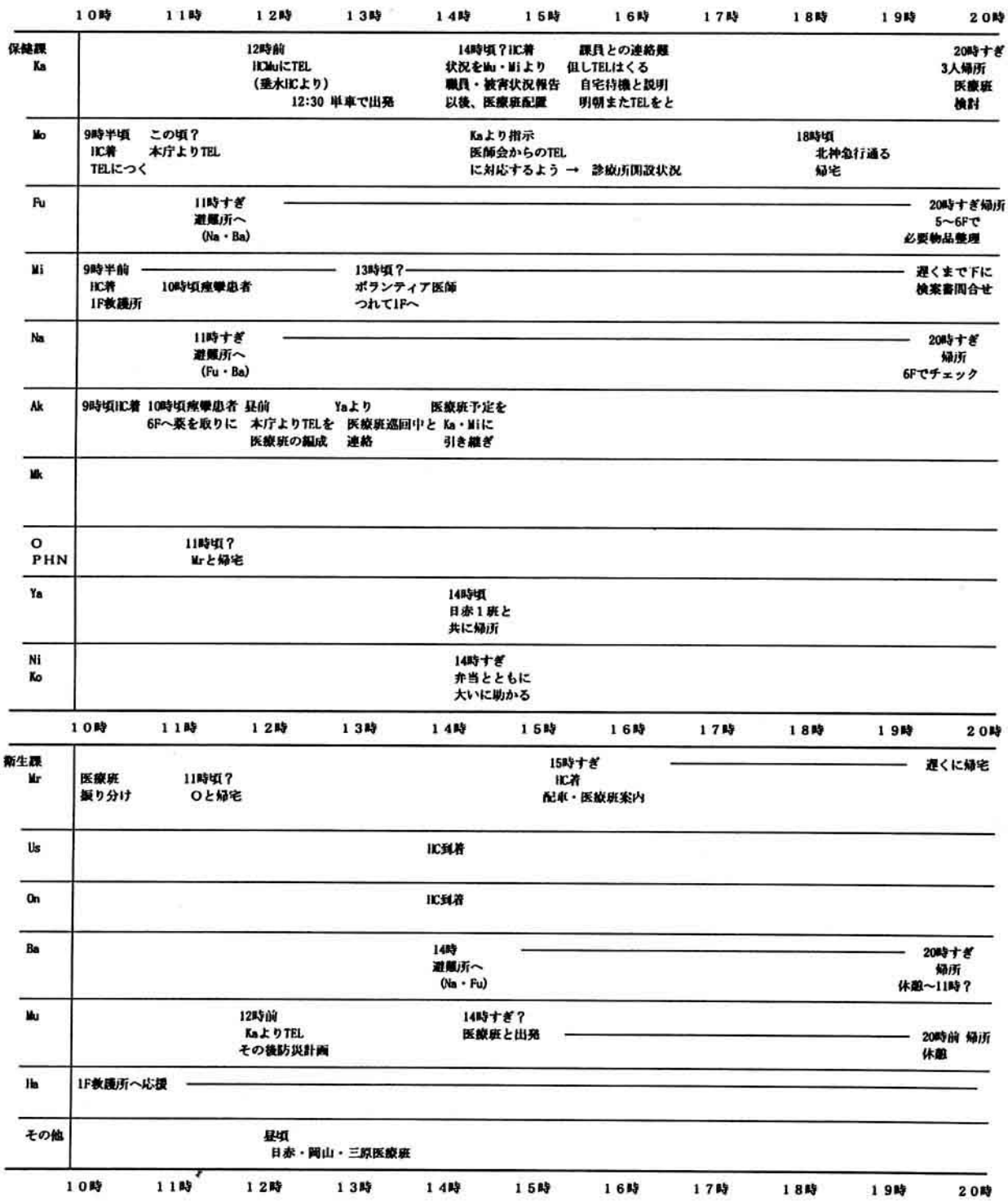
16時過ぎに区対策本部より保健所救護班の編成を依頼され、設置を急ぐとともに１階、２階に集まってきた傷病者の手当に従事する。また、遺体の検死を依頼する者も多く、保健課主査（医師）を中心として、保健婦１名、垂水保健所からの保健婦１名が救護用品を準備し、近くの避難所に向かった。衛生課員は引き続き西市民病院にて遺体および患者の搬送に従事し、衛生課長は断続的に衛生局と情報を交換し現状を把握することに努めた。



18日０時過ぎ日赤岡山医療班が到着し、衛生課員２名、保健課員１名が若菜小、二宮小、吾妻小、尾上小の避難所を案内する。衛生課長は、明け方より衛生局、保健課長、所長と連絡をとりあい、医療班の振り分けを始める。保健課主査（医師）は５時過ぎに区対策本部より避難者リストを受け取り、小規模の避難所に対する救護活動を検討した。



11時過ぎに保健課医師、保健婦、衛生課員が避難所での救護活動に出発した。14時過ぎには保健課長が到着し、医療班の配置、振り分けを担当する。順次到着した保健婦は、１階の救護所および避難所における救護活動に従事した。衛生課長は医療班の案内、配車作業に従事し、衛生課員は医療班の案内業務におわれた。



18／19

	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時	6時
保健課 Ka	20時すぎ Naら3人帰所 医療班折衝										
Mo											
Fu	20時すぎ 帰所	6Fの部屋を調べ 必要なものを下へ (5～6Fを上下)		5F 訪問物品等 整理				3･4時頃 ソファで仮眠		5･6時頃 起床	
Mi	継続して1Fの救援所に 検案書の打ち合わせ									5･6時頃 起床	
Na	20時すぎ 帰所	Fuと共に 5～6Fを上下			11時頃帰宅						
Ak											
Mk											
O PHN											
Ya	?時 日赤1班と帰所										

	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時	6時
衛生課 Mr				遅くに帰宅							
Us											
On											
Ba	20時すぎ 帰所	休憩		23時頃 帰宅							
Mu	20時前 帰所	休憩									
その他											

	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時	6時

18／19

（２）衛生活動

１月17日　医療班の受付を開始し、順次避難所に配置する。地理に不案内の団体が多く、職員を割り振り道案内をつける（これ以降、２月上旬まで継続する）。

18日　引き続き、課員のほとんどが医療班の道案内を続ける。

19日　防疫用薬剤等を市衛生局より受け取り、避難所に対する防疫活動を開始する。

オスバンの配布が主体となる。

22日　仮設トイレの消毒を開始する。

24日　区内の浴場支援を衛生局に交渉するが、条件が揃わず不可。

25日　浴場施設の被災状況調査を開始する。

26日　簡易テント提供の申し出があり、配置を宮本小学校に決定する。区内井水、湧水調査を開始する（順次２月上旬まで続けられる）。

27日　避難所よりダニの発生情報があり、現地にて対応指導を行う。

区内露店の出店状況調査を開始する（29日まで継続する）。

30日　公衆浴場の被災状況を確認する。

２月　１日　旅館業の被災状況調査を実施する（3日まで継続する）。

４日　区内の露店営業および弁当販売業の調査、監視を行う（6日まで継続する）。

７日　区内の公園、公共トイレの消毒を開始（9日まで継続する）。

区内クリーニング所の被災状況調査を開始する（２月中旬まで継続）。

９日　避難所における寝具類の乾燥処理を実施する。

11日　露店営業および弁当販売施設の監視指導、調査を実施する（15日まで継続）。

16日　58か所の避難所において、生活環境衛生の実態調査を開始する（22日頃まで継続）。

17日　区対策本部長に対し、避難所における弁当類の衛生確保について要請を行う。

18日　食中毒の発生報告があり、調査を実施する。

20日　課員1名、罹災証明発行事務に3月末まで出務。

25日　神奈川県より消毒等防疫作業班来所。区内公園等のトイレの洗浄、消毒を実施する。

28日　宮本小に設置された簡易浴槽が撤去される。

３月　１日　管内の食品および環境衛生関係全施設の被災および実態調査を他府県監視員の応援協力の下で開始し、被災状況、再開時の使用水、被災後の方針、休業期間の目安等を聞き取る。関係施設は、食品関係約11,000件、環境関係約1,500件で、派遣監視員は大阪府、奈良県、和歌山県より３月1日より24日までのべ40名であった。調査は4月上旬まで継続した。調査と同時に、再開にあたっての注意事項等を記載したリーフレットを配布した。

５日　公衆浴場再開状況調査を実施する。

7日　和歌山県および日本食品衛生協会より食品衛生監視員計8名が派遣され、被災施設に対しアルコールスプレー、エンボス手袋を配布する。

8日　避難所における寝具類の乾燥を実施する（３月18日まで）。葺合高校上筒井小等12か所において出動乾燥車のべ12台を使用し、毛布類約1,100枚、布団74枚の乾燥を行う。

12日　避難所に配布された弁当に関する苦情があり、以降、定期的に配布弁当の検査を行うとともに、避難所における弁当等食品の衛生管理について指導の強化を図る。

21日　露店営業および弁当販売施設の監視指導を実施する（25日まで）。

（３）　医療救護活動

１月17日

17:20　衛生局対策本部に対し、医師、保健婦の配置および医薬品等の供給を依頼する。

17:30　１階区対策本部内に保健所救護所を設置する。

18日　日赤岡山、加古川病院、日赤香川が到着する。直ちに配置を決定し避難所の巡回
を開始する。

19日　日赤富山、千葉市が到着し、巡回診療体制に参入する。

20日　大阪府、和歌山県が加入する。

21日　淀川キリスト教病院、南大阪病院、柔整組合が加入する。

22日　22日現在の医療救護体制は、13か所の避難所で半日駐在方式がとられ、他は巡回診療となる。

23日　11か所の避難所で拠点駐在となる。

24日　拠点常駐を12か所の避難所で開始する。半日常駐の避難所は2か所。

25日　小児科医療班が本部に常駐を始め、同時に巡回も担当する。24時間常駐を開始する。

26日　3か所の避難所で24時間常駐を開始する。常駐拠点は17か所となる。

27日　24時間体制の避難所が4か所となる。拠点常駐は18か所となる。

30日　24時間体制8か所、拠点常駐14か所。

２月　1日　24時間常駐8か所、常駐拠点23か所。

3～9日　インフルエンザ予防接種を実施する。24時間体制は9か所。

4日　24時間体制10か所、拠点常駐15か所。

5日　各避難所において、不足、希望医薬品の聞き取り調査を実施する。

6日　24時間体制13か所、拠点常駐10か所。

11日　避難所において、在庫、不足医薬品および医療廃棄物の管理調査を実施する。

13日　24時間常駐14か所、拠点常駐7か所。

24日　24時間体制11か所、拠点常駐10か所、巡回診療4か所。

3月 1日　地元医師会の復興状況を考慮し、この日より医療班の体制を縮小する。24時間体制を6か所、拠点常駐を8か所、巡回診療を5か所とする。

8日　24時間体制縮小し常駐へ、常駐を巡回診療へとする。3か所の救護所を終息する。

24時間体制5か所、拠点常駐5か所、巡回診療10か所となる。

16日　区医師会が夜間診療を開始し、併せて臨時相談医をおく。救護活動は、24時間体制を縮小する。拠点常駐10か所、巡回診療11か所となる。

21日　和歌山県、労災病院が救護活動を終息する。

22日　救護班の撤収に向けて、各避難所、救護所間の調整をはかる。

23日　沖縄県が撤収する。

24日　救護所内の環境整理を始め、医薬品の回収を行う。

25日　山梨県、愛知県が撤収する。

28日　千葉県が撤収する。

29日　厚生年金事業団、千葉市が撤収する。

30日　医療班は、5団体9班となる。

31日　滋賀県、自衛隊、千葉市、大阪府市が撤収する。この日をもって、他府県市からの医療班の撤収を完了する。

（4）　精神科医療・精神保健

1月22日　保健所に精神科救護所を設置する。避難所にはポスターを配布し、「こころの相談」を精神科救護所にて実施していることを広報する。県立光風病院より応援医師が駆けつけ診療体制に参加する。

24日　滋賀県、和歌山県チームが到着する。

2月 5日　区内11か所の精神科診療所の内、8か所が再開する。救護所からアルコール依存者の問題が挙げられる。この頃、精神科を含む救護所を設置し始める。

3月10日　千葉県が上筒井小における精神科救護所を撤収する。

（5）　歯科医療・歯科保健

1月24日　市歯科医師会より、中央区の連絡担当者決定との連絡が入る。

27日　区歯科医師会より、区内の稼働診療所情報が入る。182歯科医院の内、18か所が稼働。区歯科医師会より、大阪歯科大学医療班が参加するとの連絡がある。

2月 4日　歯科巡回診療のための事前調査を開始する。

7日　兵庫県より送られた歯ブラシが6,000本到着し、調査対象の避難所へ配布される。
12日　歯科医療の今後の方針を相談する。
15日　口腔衛生用品およびポスターの分配を開始する。
18日　稼働歯科医院情報を配布する。この日、182歯科医院の内57か所が稼働。
19日　県歯科医師会が電話相談を開始する。
20日　16か所の避難所における歯科相談を開始する。
3月 1日　診療可能歯科医院一覧表を全避難所へ配布する。1日現在で182歯科医院中79か所が診療可能となる。
3日　大阪歯科大学医療班が吾妻小を撤収する。
5～7日　乳幼児健康相談において、歯科相談を実施し125名より相談を受ける。
7日　医療関係者全体会議において状況報告を行う。

（6）　保健婦活動

1月19日　出務者により医療救護班を編成し、避難所における医療救護活動に従事する。
20日　第1回保健婦ミーティングを開催する。医療救護活動から離れ、保健婦は保健活動に専念することを確認する。プライオリティーを考慮し、寝たきり老人の対応から開始することを決定する。
22日　第2回保健婦ミーティングを開催。保健婦を2チームに分け、それぞれ母子および感染症、成人および老人ケースの今後の取り組みを検討する。寝たきりについで結核ケースの対応を強化する事を申し合わせる。応援の西市民病院看護婦と協力して、避難所周辺地域の巡回を開始する。
23日　結核ケースの訪問を開始する。
24日　3か月未満児の状況確認を開始する。
25日　避難所の環境対策として、手洗いやうがいを勧奨するポスターを配布する。母子ケースの安否確認を開始する。
26日　第3回保健婦ミーティングを実施。他府県からの応援保健婦も参加し、保健所保健婦との連携を深める。
27日　電話連絡により、リハビリ教室参加者の安否確認を開始する
28日　東部地区の全戸訪問を開始する。
31日　第4回保健婦ミーティングを実施する。応援保健婦との連携の強化を確認する。
2月 1日　応援保健婦に対する業務マニュアルを作成し、配布する。寝たきり継続訪問不要ケースの安否確認を開始する。
2日　結核ケースの状況を1週間毎に確認し、以降継続する。自治会、民生委員への巡回を始める。

4日　水痘の発生情報が入り、対象避難所にて調査を行う。
6日　応援保健婦との情報交換を6日以降毎日行うこととする。独居老人の安否確認を開始する。
9日　第５回保健婦ミーティングを開催。乳幼児状況確認の対象を拡大する。在宅ケア研究所よりケースを引継ぎ以降の対象とする。
10日　高齢者等実態調査を実施する。東部、西部地区において、乳幼児訪問を開始する。
13日　前回訪問時に不在だった独居老人の再訪問を開始する。
17日　安否調査漏れ独居老人の訪問。2か所の避難所において水痘調査を実施する。
18日　2回目の水痘調査を実施する。
20日　各避難所において要援護者の実態調査を行う。
27日　臨時相談係長会議において、各保健所の活動状況と今後の活動への提言を申し合わせる。第７回保健婦ミーティングを開き、難病ケースへの対応開始を決定する。
28日　仮設住宅への訪問を開始する。乳幼児相談の案内を発送する。
3月 2日　仮設住宅の訪問を脇の浜より開始する。
3日　第９回保健婦ミーティングを実施。今後の事業の見直しと乳幼児相談の打ち合わせを行う。
4日　西市民病院の応援看護婦とともに、独居老人の訪問対象名簿を作成する。
6日　中部地区において乳幼児健康相談を実施する。滋賀県の応援保健婦と、宮本小の短期保健目標を設定する。
7日　東部地区において乳幼児健康相談を実施する。コレラの発生報告があり同行者調査を行う。
8日　西部地区において乳幼児健康相談を実施する。
9日　ツベルクリン反応、BCGの打ち合わせを行う。3/6の宮本小における短期保健目標設定のケース報告を受け、滋賀県保健婦により他県応援スタッフへ報告する。
10日　定例事業にむけての物品を整理する。
11日　独居老人の訪問を西市民病院看護婦のべ84名で行う。
14日　第10回保健婦ミーティングを実施し、雲仙での保健婦活動の報告を検討する。３か月乳児と未接種児を対象に、ツベルクリン反応を実施する。
15日　仮設住宅の訪問を開始する。
16日　夜間電話相談を開始する。ファイルおよびポスターを配布し、広報を行う。
17日　「日常生活上の注意」をテーマに、ボランティア対象の健康教育を実施する。1.6、３歳児健診の打ち合わせを行う。
20日　基本健診の結果説明を開始する。４月４日までに16か所343名に対し実施。
22日　中央区ボランティアより、保健活動に対する協力の申し出がある。
23日　愛の架け橋カードの用紙を作成する。相談係長会において、４月からの保

健婦活動についての打ち合わせを行う。

27日　赤痢発生の報告があり、同行者の調査を実施する。

29日　第12回保健婦ミーティングを開き、４月からの保健婦活動について確認する。

30日　環境局より、家庭療養指導事業の実態調査について調査の依頼がある。

（７）薬剤関係業務

1月18日　神戸市衛生局１号館６階に、医薬品を取りに行く。救急医薬品等は少なく、医療チームの持参した医薬品に頼る。１階福祉事務所奥に薬剤置き場を確保する。

19日　粉ミルクを50ｇ、おしめを数枚ずつ小分けして避難所に配布する。

20日　薬剤、衛生用品およびミルク等を市衛生局より分配して搬入する。薬剤置き場を１階福祉事務所入り口に移転する。

21日　薬剤等の物資が充実する。以降、衛生局より毎日搬入される。区内病院への電話連絡により、診療状況の調査を行う。

22日　避難所への電話連絡により、医療状況の調査、医薬品状況の調査を開始する。

衛生局の医薬品が、サンボーホールにまとめて管理されることとなる。

24日　避難所へ医薬品を発送する（風邪薬、胃腸薬、下痢止めが主）。

26日　衛生局より避難所向け一般薬が搬入される（風邪薬、咳止め、消毒薬、トローチ、湿布薬、目薬、うがい薬、マスク中心）。

27日　避難所へ医薬品を発送する（一般薬、衛生用品）。

28日　避難所の保健管理担当者へ、一般薬、衛生用品を配布する。
（ビタミン剤、清拭剤、マスク、トイレ消臭剤）。

29日　「医薬品の利用について」掲示用の注意書用紙を避難所へ配布する。全避難所の保健管理担当者へ一般薬、衛生用品を配布する。

2月　1日　衛生局より避難所向け一般薬が搬入される（感冒薬、鎮痛剤、咳止め薬中心）。

2日　衛生局医薬品集積センターが、サンボーホールから国際展示場に移転する。
「医薬品の利用について」の掲示用の注意書用紙を避難所に配布する。

3日　避難所の保健管理担当者へ、一般薬、衛生用品を配布する。

5日　各避難所の、不足、希望医薬品の聞き取り調査を実施する。

6日　避難所の保健管理担当者へ、不足一般薬、衛生用品を配布する。
（希望医薬品：目薬、マスク、ビタミン剤、胃腸薬）

11日　全避難所における在庫・不足医薬品および医療廃棄物の管理状況調査を実施する。避難所の保健管理担当者へ、不足一般薬、衛生用品を配布する。
薬剤置き場を１階から６階に移す。

25日　衛生局より避難所向け一般薬が搬入される（うがい薬、マスク、ビタミン剤、食品ビタミン剤等）。
28日　保健所来所者に対する一般薬の配布を中止する。
3月 1日　全避難所の保健管理担当者へ一般薬、衛生用品を配布する。
避難所における不足医薬品および一般薬・処方薬の在庫管理状況調査を実施する。
「医薬品利用のご注意」、「薬局、薬店営業状況マップ」を配布する。
2日　避難所における不足医薬品および一般薬・処方薬の在庫管理状況調査を実施する。
3日　避難所における不足医薬品および一般薬・処方薬の在庫管理状況調査を実施する。
4日　避難所の保健管理担当者へ一般薬、衛生用品を配布する。
5日　保健所来所者に対する衛生用品（おしめ、ミルク、生理用品）の配布を中止する。
17日　衛生局より避難所向けのマスクが搬入される。
18日　全避難所の保健管理担当者へマスクを配布する。
避難所における不足医薬品および一般薬・処方薬の在庫管理状況調査を実施する。
19日　避難所の保健管理担当者へ不足一般薬、衛生用品を配布する。
20日　国際展示場へ返却医薬品を整理する。

（8）栄養関係業務

1月21日　保健所の栄養士が医療班への炊き出しを開始する。
26日　避難所における巡回栄養相談を開始する。
2月 1日　管内病院給食の現状把握および相談を開始し、5日まで継続する。
2日　保健所ニュースにアトピー用食材案内を掲載する。
4日　避難所での栄養状況調査を開始し3月2日まで継続する。この日までに、県栄養士
会より栄養士がのべ21名応援に訪れる。
6日　保健所ニュースに「食生活の注意について」を掲載する。
9日　各社よりベビーフードが提供される。
3月 *日　衛生局より、全市対象の集団給食施設調査について連絡が入る。
6～8日　乳幼児栄養相談を実施する。
10日　管内病院給食の復旧状態調査
17日　「健康管理と食事」をテーマに、ボランティア対象の健康教育を実施する。
20日～避難所生き活き健診の一環として、個別栄養相談を開始する。併行して訪問相談を実施する。

4）関連通知、通達リスト

1月20日　厚生省保険局医療課長　→　都道府県民生主管部
厚生省老人保健福祉局　→　都道府県老人医療主管部
兵庫県南部地震による被災者に係る一部負担金等の取り扱いについて
災害救助法適用市町村の住民対象の支払猶予措置（2月末まで）

1月20日　厚生省社会援護局保健・更正・援護企画課長　および　厚生省児童家庭局母子保健課長　→　兵庫県・大阪府・徳島県・京都府・岡山県・京都市・大阪市・神戸市民生・衛生主管部（局）担当課長
下記制度対象者に対する特別な処置に対するお願い（タイトルなし）
1　生活保護法
2　身体障害者福祉法
3　戦傷病者特別援護法
4　児童福祉法
5　母子保健法
6　小児慢性特定疾患治療研究事業

1月23日　厚生省老人保健福祉局老人保健課長　→　各都道府県老人保健施設主管課長
「兵庫県南部地震」の被災者に対する老人保健施設の対応について

1月25日　厚生省児童家庭局母子保健課長　→
→　都道府県・指定都市・政令市・特別区民生主管部（局）長
「兵庫県南部地震」の被災者に係る公費負担医療における費用徴収の取り扱いについて
1　育成医療・補装具等の給付
2　養育医療の給付

1月25日　厚生省保健医療局エイズ結核感染症課長　→　各都道府県衛生主管部（局）予防接種対策担当課長
兵庫県南部地震に伴う予防接種の取り扱いについて
1　予防接種実施依頼書のない場合の予防接種実施について
2　実費徴収は行わない等の配慮
3　実施の際の予診の徹底

1月26日　厚生省健康政策局計画課　→　各都道府県保健婦所管課長
兵庫県南部地震にかかる保健婦の派遣について

（滋賀県に対する中央保健所への派遣要請）

1月27日　市衛生局保健予防課　→　各保健所特定疾患担当者
人工肛門・人工膀胱保有者（オストメイト）の相談室開設について

1月27日　兵庫県立精神保健センター所長　→
震災に伴う児童等の精神疾患への対応体制について
1　配置施設
2　配置時期（1/27より）
3　その他

1月29日　兵庫県保健環境部医務課長　→　神戸市地域医療課長・西宮市健康管理課長・芦屋市健康課長・宝塚市健康管理課長
患者のヘリコプター搬送について

1月30日　（社）全国老人保健施設協会兵庫県支部長・兵庫県老人保健施設協会会長
→　災害対策本部関係機関
兵庫県南部地震に伴う、県下老人保健施設の対応について
被災者のうち下記の者の入所に応じる県内施設一覧
1　独居老人
2　肢体不自由
3　常時介護を要する方々
4　寝たきり或いはこれに準ずる方々

1月30日　兵庫県理学療法士会　→　理事・部長　委員会・小児福祉担当
兵庫県南部地震に関する報告
兵庫県南部地震「巡回リハビリテーションチーム」の今後の支援体制について
3月末を当面のめどに巡回リハビリテーション

2月 1日　市衛生局健康増進課　→　6区各保健課長
各自治体からの保健婦の派遣について
各保健所の受け入れ体制を決定

2月 1日　厚生省健康政策局指導課長・厚生省保健医療局疾病対策課長
→　神戸市衛生局長
挫滅症候群における急性腎不全に対する相談窓口について

2月 1日　市衛生局健康増進課長　→　各保健課長

兵庫県南部地震による被災者に係る一部負担金の取り扱いについて
避難民（市民）の２月末日までの一部負担金猶予

２月 2日　神戸市立中央市民病院長　→　各保健所長
中央市民病院の診療体制について（お知らせ）
診療体制の連絡
１　一般外来
２　救急
３　入院
４　その他

２月 2日　市衛生局保健予防課　→
兵庫県南部地震避難所等におけるインフルエンザ予防接種の実施について
対象者
原則として避難所生活の65歳以上の希望者（2/3から）

２月 6日　救援薬品集積センター　→　各保健所保健課長・支所長
糖尿病関係薬品等の無償提供について

２月 7日　市衛生局健康増進課長　→　各保健所保健課長
各保健所管内の高齢者等の実態について（紹介）

２月 8日　市衛生局庶務課長　→　所属長
防災指令３号発令中の服務取り扱いについて

２月 8日　市衛生局保健予防課長　→　各保健所保健課長
避難所でのインフルエンザ予防接種の実施について
厚生省派遣予防接種チームの実施計画について（2/10～/16）

２月11日　民生局長・衛生局長　→　各福祉事務所長・各保健所保健課長
要援護者　第一次緊急対策の実施について
各避難所および在宅における実態調査（2/13～3/10）
対象　65歳以上の高齢者（避難所、在宅）
重度の身体障害者及び知的障害者（避難所、在宅）
中学生以下（14歳以下）の児童（避難所）

２月14日　市衛生局保健予防課長　→　各保健所保健課長
兵庫県南部地震に伴う予防接種の取り扱いについて
下記の者に対する予防接種実施

1　神戸市居住者で他市町村に滞在中の者
2　他市町村居住者で神戸市内に滞在中の者

2月14日　兵庫県南部地震対策担当大臣　→　神戸市長
避難所に避難している高齢者に係る保健対策について
今後とも保健対策を継続するよう要望

2月17日　市衛生局健康増進課　→　各保健所保健課長
厚生省プレス資料の送付について
阪神淡路大震災にかかる地域医療の復旧・確保について
1　社会福祉・医療事業団の低利融資の充実・強化
2　補助制度の充実
3　社会保険制度の特別措置
4　仮設診療所等

2月20日　市衛生局保健予防課長　→　各保健所長
被災地における当面の結核対策について

2月20日　市衛生局健康増進課　→　各保健所保健所長
保険診療の一部負担金の免除について
社会保険制度等の特別措置
1　一部負担金の免除等
2　保険料の免除等

2月28日　市災害対策本部衛生部　→　記者発表
避難所における保健・医療体制の再編成について
3/1以降の避難所における医療体制

2月28日　兵庫県福祉部保健課　→　開設者
阪神・淡路大震災に伴う保険診療について
1　3月以降の一部負担金等の取り扱いについて
2　被保険者の資格確認について

資料　保健所発行の「中央保健所ニュース」１～18号

【中央保健所ニュース】　No.1

平成７年１月２４日

（神戸市中央保健所発行）

１月２３日（月）１６時現在で
中央区では８９ケ所
３万５千人の方が避難所で
頑張っておられます。

避難されました皆様方へ

各医療機関の診療情報



保健所で把握していますので、
電話（232-4411 内線367）で
お問い合わせください。
*主な避難所では、医療班が
巡回診療しております。

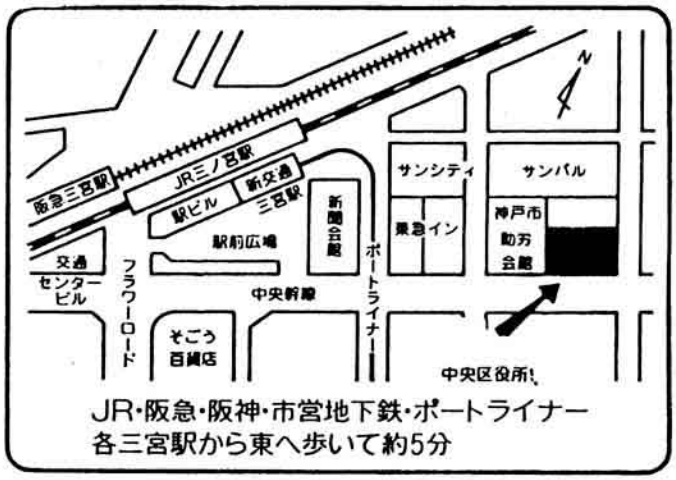
医療・保健の相談（健康に関する相談）

・看護婦が昼間常駐している避難所
(1月23日現在)があります。（今後変更することもあります）

吾妻小学校　　小野柄小学校
葺合総合会館　生田中学校　　湊小学校

・その他の避難所では直接保健所にご
相談ください。保健所では常時相談を
受け付けています。

中央区対策本部 救護、保健相談所（中央区役所１階）においても、診察や衛生用品等を用意しています。



★一般常備薬、衛生用品

各避難所には常備薬等が配置されます。養護教諭や各避難所の管理者に申し出てください。

避難所でかぜが増えています。





かぜを予防するために

・うがいをしましょう
・部屋の換気で空気をきれいにしましょう
・咳がでている人は、マスクをしましょう
・大勢が休んでおられる場所ではたばこはひかえてください

吸うときは決められた場所で
吸いましょう

【中央保健所ニュース】

No. 2
平成7年1月27日

26日現在 中央区では 38，607人の方(83か所)が避難所で生活されています。　　神戸市中央保健所発行

◇◇体調をくずした方はいらっしゃいませんか？◇◇

☆診察を初めておられる病院や診療所は下記のとおりです
☆かかりつけのお医者さんの、病院や診療所は開いてますでしょうか。
高血圧・糖尿病・喘息といった病気で、定期的にお医者さんにかかっておられた方は、続けて診てもらう必要があります。通える範囲のお医者さんに相談してみてはいかがでしょうか。
☆避難生活などで、身体の調子をくずされた方は、区役所や避難所内の救護所もご利用ください。



①中央区災害対策本部

救護室のはたらき

- 診察と相談
  - 内科
  - 外科
  - 小児科
  - 精神科
  - ┘専門的なご相談に応じます
- 一般薬の配布—お薬屋さんでほしい薬が手に入らない場合は、救援物資の薬品、ミルク、おむつなどを用意しています。遠くの方は、避難所の代表の方にご相談ください。

場所：中央区役所内　1階　救護室　　電話：231－4411

＊夜間の急病にも24時間対応します。（内科・外科・小児科）

＊保健所の保健婦や栄養士による相談もご利用下さい。

②各避難所にも救護室をつくっています。
病院・診療所へ行けない方のためには、各避難所への巡回救護もおこなっています。
これは、多くのボランティアの医師、看護婦の皆さん、自治体、病院のご援助によるものです。

☆中央区診療可能医療機関☆

★診療科目・診療時間を確認してから、受診して下さい。

神戸大学医学部付属病院	(341-7451)	風間耳鼻咽喉科	(222-0452)	細見耳鼻咽喉科	(341-5666)
神戸逓信病院	(232-7516)	渡辺小児科	(221-5111)	森川クリニック	(341-0984)
神戸労災病院	(231-5901)	金澤内科・胃腸科	(241-3110)	ワシオ産婦人科	(391-5919)
神戸市立中央市民病院	(302-4321)	横山整形外科	(251-0102)	明芳医院	(361-2516)
神戸赤十字病院	(341-4572)	佐古外科	(231-1135)	小沢医院	(341-5547)
神鋼病院	(261-6711)	安丸医院	(241-2330)	原小児科	(341-3074)
神戸済生会病院	(361-4111)	打村整形	(242-2759)	竹内医院	(341-1150)
神戸海岸病院	(251-8866)	東神戸診療所	(231-9031)	生田診療所	(351-0251)
劉外科病院	(221-6221)	西田医院	(221-1412)	高橋眼科	(361-0770)
パルモア病院	(321-6000)	福島神経内科	(242-7226)	大石医院	(371-0888)
野友会病院	(241-8911)	飯田眼科	(221-0016)	黒田医院	(341-5581)
限病院	(371-3721)	青木小児科	(221-2402)	浪方医院	(341-1452)
萩原整形外科病院	(351-5751)	岡本医院	(221-0522)	藤見医院	(575-3556)
川北病院	(321-1621)	富永放射線科	(231-0371)	河本医院	(341-0388)
上田病院	(241-3305)	黒瀬内科	(221-3882)	玉垣外科	(681-8000)
シラハ病院	(251-6100)	武医院	(221-6308)	小西診療所	(351-1014)
神戸博愛病院	(321-1721)	小倉内科	(221-2021)	市医師会診療所	(341-2313)
松本神経内科病院	(222-1621)	リークリニック	(261-1135)	めぐみ胃腸科	(302-2522)
原泌尿器科病院	(371-1203)	西田医院	(221-3325)	顔医院	(303-1551)
明芳病院	(221-1450)	林眼科	(241-7511)		
三聖病院	(261-2211)	松川神経科	(231-6018)		
佐野サナトリウム	(241-7211)	鴻山内科クリニック	(341-9581)		

（中央区医師会からお知らせいただきました）

【中央保健所ニュース】

No. 3
平成７年１月２７日
神戸市中央保健所発行

◇◇◇コラム　♪こころの健康・きもちのコントロール♪◇◇◇

地震のショックにより、精神的に不安定になったり、落ちこんだりすることは、誰にでも起こりえることです。お互いに誘いあって外に出て、体を動かしてみることも必要でしょう。励ましあい、がんばるとともに気分転換を上手にし、休養をとることも大切です。

自分だけではうまくコントロールできない場合は、第三者や専門家に相談することも効果的です。そこで、精神科の医師による相談（カウンセリング）、診療をはじめました。ご利用ください。

お問合せは、電話　２３１－４４１１　内線３０９までどうぞ。

＊＝＝＝＝＝＊＝＝＝＝＝＊＝＝＝＝＝＊＝＝＝＝＝＊＝＝＝＝＝＊＝＝＝＝＝＊＝＝＝＝＝＊

◇◇◇食品・環境の衛生に注意しましょう◇◇◇



こんなことがありました！！
あるボランテイアの方のお話によると、とっておいたおにぎりが傷んでいたそうです。

冬場とはいえ、食中毒の危険があります。次のことに気をつけてください。

①食品は、なるべく直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。
②お弁当やおにぎりは、配布の当日中に食べましょう。
③菓子パン・牛乳（長期間保存できるものを除く）は、なるべく早く食べるようにしてください。
④カン詰・ビン詰・ペットボトルのものは開封後は早く食べましょう。
⑤用便後は必ず消毒薬で手を洗いましょう。

保健所から消毒薬を配布しています。皆さんも、便所を毎日清掃し消毒しましょう。

◇◇◇情報欄◇◇◇

断水のため、市民の多くがお風呂に入れず、つらい生活を強いられていますが、特に新陳代謝の激しい子どもにとっては、皮膚を清潔にすることが大切です。中央区保健所には赤ちゃんのおしりふき用などのウェットティッシュ、おむつ等を用意しています。

また、耳の不自由な方や言葉の不自由な方々は、この災害で病気になられても適切な医療機関に受診できず、苦労されていることと思います。

そこで、ビッグニュースを２つお知らせします。

ベビーバスを設置！

Ａ　ボランティア団体「がんばれ神戸」

場所：中山手カトリック教会内　あけの星幼稚園
日時：１月２５日から毎日　１１時から１６時まで
対象：２歳未満に限る
持参するもの：着替え、おむつ
※保健婦さんや看護婦さんが赤ちゃんの体調をみてくれます。

Ｂ　上田病院

場所：上田病院　中央区国香通１丁目１－４
　　電話　２４１－３３０５
日時：１月２７日から毎日　９時から１７時まで
対象：①１歳未満の乳児
　　②３歳までのアトピーの強い幼児
持参するもの：着替え



手話ができるボランティア医師が巡回！

日時：１月２７日～２９日
中央区保健所管内を巡回しますが、ご希望の方は、神戸市中央保健所　☎２３２－４４１１内線３６６へご連絡下さい。

【中央保健所ニュース】

No. 4
平成７年１月３０日
神戸市中央保健所発行

◇◇◇小さなお子さんをお持ちのご家族の方へ◇◇◇

☆「子どもの健康電話相談」

◇小児科医師による電話相談　実施中！！
（２４時間実施　☎ 232-4411　内 381）
◇保健所の保健婦や栄養士による電話相談　実施中！！
（午前９時～午後５時　☎ 232-4411　内 ３６８～３７２）

急に熱が出た、下痢をしたがどうすればよいかと心配な場合には電話相談をご利用下さい。
避難所の生活では、環境が変わり、なかなか自由に活動できないため、いつもの元気が出ないお子さんもおられるのではないでしょうか。
お子さんの体の健康と心の健康で気になることについてもご相談下さい。

◇◇◇歯の痛み等でお困りの方へ◇◇◇

虫歯で歯が痛い・入れ歯があわなくて食事ができない等でお困りの方はいませんか？
避難所の救急医療班で歯科診療（大阪歯科大学医療チーム）を行っています。

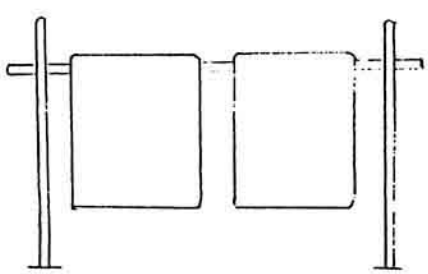
場	所	吾妻小学校
日	時	１月２４日～２月４日 １０：００～１２：００ １３：００～１５：００

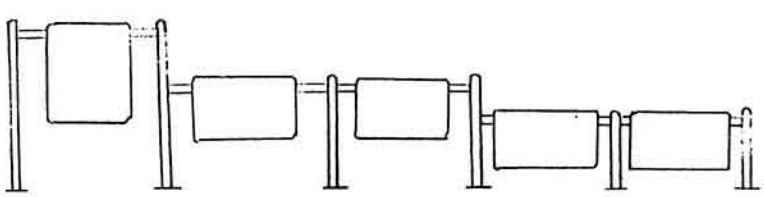
◇◇◇飲み水についてのお知らせ◇◇◇

☆水道水が出はじめているところがあります。
場所によっては、最初赤（茶）色の水が出ることがありますので、水を出し、透明になってから使って下さい。
☆生水（涌き水・井戸水）は、飲まないようにし、飲料水には十分注意しましょう。

◇◇◇おふとんや毛布の天干しをしましょう◇◇◇

☆避難所での生活も２週間となりました。
寒い季節とはいえ、おふとんや毛布に汗などがつきますので、短い時間でも良いですから、天気の良い日に外で干して下さい。





【中央保健所ニュース】

No. 5
平成7年1月30日
神戸市中央保健所発行

☆☆☆耳の不自由な方へ☆☆☆

★手話通訳と共に救急班が相談に応じています。

ご希望の方は、中央保健所☎２３２－４４１１（内線３６６）ＦＡＸ２３２－１４９５にご連絡ください。避難所の代表の方や救護班に連絡して下されば、手話通訳と共に相談に伺います。

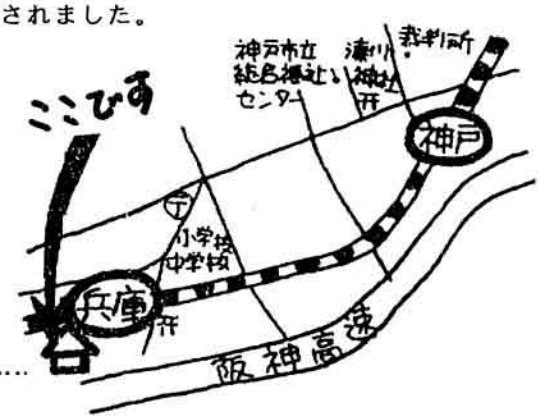
★聴覚障害者救護対策本部として、「神戸ろうあハウス」が設置されました。

下記にても相談を受け付けています。

神戸市兵庫区駅南通り５－４西高架下１６号

ＦＡＸ　０７８・５７９・０７５５

ＴＥＬ　０７８・５２１・０５０７



○ＪＲ兵庫駅から歩いて３分

○阪急西宮北口駅から歩いて３～４時間

○地下鉄新神戸駅から歩いて１時間半～２時間

♪……♪……♪……♪……♪……♪……♪……♪……

６５才以上の方に
インフルエンザの予防接種をいたします

現在風邪にかかっていない人が対象です。

インフルエンザにかかりにくく、かかっても肺炎などの重症化を予防します。

日　時　１月２９日～１月３１日
午後１時～２時までが受付

場　所　①東灘区―野寄公園
②中央区―県福祉センター
③兵庫区―久遠寺
④長田区―県立文化体育館東隣

＊　その後の日程と場所については未定ですが、今後も続けていく予定です。
詳しいことのお問い合わせ先は、
兵庫県保健環境部　地域保健課　☎３６２－３２６４

＝＝＝＊＝＝＝＊＝＝＝＊＝＝＝＊＝＝＝＊＝＝＝＊＝＝＝＊＝＝＝＊＝＝＝＊＝＝＝＊

☆うがいはできていますか？☆

こんな話がありました。

のどが痛いので、避難所のお世話係さんから「うがいをしてみたら？」といわれ、うがい薬をもらいまいた。そこでさっそくうがいをすると、のどはスッキリし、とっても気持ちよかったです。みなさんもうがいをしてみませんか？



【中央保健所ニュース】

No. 6
平成7年1月30日
神戸市中央保健所発行

◇◇◇つぎの歯科医院が診察可能です◇◇◇

電話連絡の上受診して下さい。

医院名	住所	電話	診療時間
池端歯科医院	上筒井通5丁目	☎242-2116	月～金 9:00～12:30 木・土 9:00～12:30
数見歯科医院	上筒井通2丁目	☎221-3136	月～金 9:00～12:00 15:00～18:00 土 9:00～12:00
川西歯科医院	生田町1丁目	☎242-7031	月～金 9:30～12:30 14:00～16:30
住谷歯科医院	熊内町1丁目	☎222-6474 急患対応	月・水・金 11:00～12:00 13:00～16:00
高橋歯科医院	熊内町2丁目	☎221-3453	月～金 9:00～12:00
本多歯科医院	熊内橋通6丁目	☎222-3788	月～土 9:00～12:00
李歯科医院	旗塚通6丁目	☎221-1636	1月30・31日 9:00～13:00 2月から 月～金 9:00～13:00 15:00～17:00 土 9:00～13:00 水 休診
高橋歯科医院	琴緒町2丁目	☎241-9224	月～金 10:00～12:00 13:00～16:00
成川歯科医院		☎242-5308	24時間対応
西田歯科医院	港島中町3丁目	☎302-4180	月～土 9:00～12:00 14:00～18:30
吉江歯科医院	加納町2丁目	☎222-2130	月～金 9:30～13:00 14:30～18:30 土 9:30～13:00
安井歯科医院	山本通3丁目	☎241-0055	月～土 10:00～13:00 14:00～17:00 木 休診
島谷歯科医院	花隅町19－9	☎341-1029	月～金 10:00～12:00 15:00～17:00
村井歯科医院	花隅町33	☎341-2963 急患対応	月～金 9:00～13:00 14:00～17:00
吉田歯科医院	下山手通5丁目	☎351-5468	月～金 10:00～12:30 13:30～16:00
米田歯科医院	港島中町2丁目	☎302-3306	9:00～15:00
市山歯科医院	中島通1－3－10	☎221-1062	月～土 11:00～13:00
以上の他 歯科医師会 休日歯科診療所においても診療を行っています。			
兵庫県歯科医師会 休日歯科診療所	山本通5丁目 3－27	☎351-1722	毎日 10:00～14:30

少しの水で、口の中をすっきり！！

歯磨きをつけなくても歯ブラシで丁寧に歯を磨くだけで、口の中を清潔に保つことができます。
食事の後には歯を磨きを！！



【中央保健所ニュース】

No. 7
平成7年　2月　1日
神戸市中央保健所発行

1月31日現在、中央区では37，741人の方が（85か所）避難所で不自由な生活をされています。

◇◇お部屋の換気ができていますか◇◇

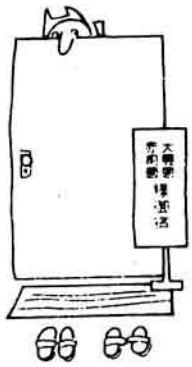


寒さやほこりで、のどを痛めている方もおられるようです。
部屋の空気が悪いと、気分も悪くなり、食事もおいしくなくなります。
そのうえ、ますますインフルエンザを流行させてしまうことになりかねません。
寒いときではありますが、**声をかけ合って、窓を開ける**といいですね。
お昼のおそうじタイムなどを決め、子供たちと一緒に換気に挑戦してみて下さい。
また周辺で行われている家屋等の解体工事にともなう『ホコリ』にも注意して
ください。マスクをかけて外出をしましょう。マスクの必要な方は避難所の責任者に申し出て下さい。

◎◎飲食物の衛生に気をつけてくだい◎◎

冬でも食中毒は起こります。
弁当、おにぎりなどは、保管せずにできるだけ早く食べましょう。！
パックの牛乳は開けたらすぐに飲んでしまいましょう。
手洗いは「食品衛生」の基本です。飲食物に触れる前には、必ず手を洗いましょう。

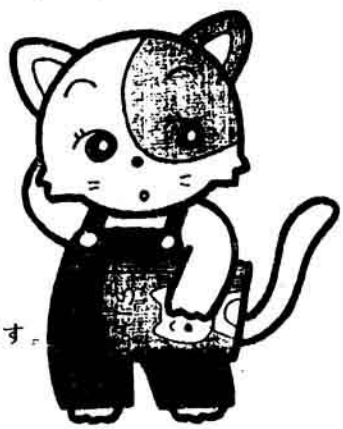
トイレの清潔について



トイレは、多くの人が使うので、ついつい不潔になりがちです。
トイレの床に水等が流れていると、さらに汚れが広がります。時々は
窓を空けて床を乾かし、
トイレ専用の履物を使いましょう。
また、手の消毒もいたしましょう。（保健所から消毒薬をお配りしています）

†・†・†・†・†・†・†・†・†・†・†・†・†・†・†・†・†・†・†

ペットについてのお願い



ひと以外の生き物も、家族同様、大切な生き物ですね。
地震のショックによって、興奮しやすかったり吠えたりと、
飼い主のご苦労が多いようです。
その一方、避難所には喘息の方もおられるときがあります。
ペットを飼っているかたは、集団の中での他の人への心配りをお願いします。

中央保健所ニュース

No．8
平成７年２月２日
神戸市中央保健所

２月１日現在、中央区では３７，６０７人の方が
８６か所の避難所で不自由な生活をされています。

◇アトピーの方々へ◇

１　食材を提供しています

ご希望の方は中央保健所（電話２３２－４４１１、内線３７０）にご連絡ください。食材の提供とご相談に応じます。食材の必要な時には、必ず電話をしてからお出かけください。

その他、下記でもご相談ください。

連絡先：アトピッ子地球の子ネットワーク気付
食物アレルギー患者支援ネットワーク
電話番号０７８－２７１－７４０９



２　ホームステイを受け入れています

（対象）

・食物アレルギーで体に合う食べ物（雑穀、アレルギー用調味料、アレルギー用ミルク）が入手できない方
・成人アトピーで身体から浸出液が出たり肌が割れたりして、入浴やシャワーがないと生活が成り立たない方

連絡先：アトピッ子地球の子ネットワーク気付
食物アレルギー患者支援ネットワーク　電話番号０７８－２７１－７４０９

★心の健康は保たれていますか。

誰もが予期しなかった大震災で、心身ともに平静さはまだまだ取りもどせませんね。
ただ、身に起こった災難についての受け止め方は、人それぞれに異なります。
地震のショックで眠れなかったり、イライラが続いたり、食欲がなくなったりしていませんか。
現在、診察等はつぎの医療機関で行っています。

松本神経内科病院	――午前中―――	TEL:２２２－１６２１	中央区北野町4-10-19
福島神経科	――午前中―――	TEL:２４２－７２２６	中央区布引1-1-25
谷本神経クリニック	－１０:００～１４:００	TEL:８８１－８７２９	灘区水道筋4-3-3
島田クリニック	－１１:００～１２:００	TEL:２２１－８８０５	中央区琴ノ緒町5-3-5
宋神経科（アルコール外来）	１０:３０～１３:００	TEL:３３３－９２８１	中央区栄町2-7-4
松本医院	１０:００～１３:００	TEL:２２１－３１８８	中央区八幡通3-2-11
神鋼病院	9:00～12:00 13:00-15:00	TEL:２６１－６７１１	
明石神経科（院外処方箋が出していただけます）	水曜日	TEL:２３１－２４７０	中央区布引3-1-8
波田（はだ）神経科	月、水、金（13:00-16:00）	TEL:３４１－１７４５	中央区中町通2-2-17
松川神経科	平日午前中	TEL:２３１－６０１８	中央区中山手4-3-11

☆　中央保健所内精神科救護所、上筒井小学校と宮本小学校救護所内（２月５日から）でも
専門医による「心の健康相談」を行なっています。

中央保健所ニュース

No，9
平成７年２月３日
神戸市中央保健所

２月３日現在、中央区では３７，５４２人の方が
８６か所の避難所で不自由な生活をされています。

◎被災者の方々へ

－医療機関に受診されるときの健康保険証の取扱い－

★「保険証」がなくても「保険診療」として取り扱われます。

★診察費の自己負担分の支払いは２月末まで待ってもらうことができます。

☆お風呂の開設情報☆（２月１日現在）

○公衆浴場

番号	浴場の名前	営業予定時間	所在地	電話番号
①	やまと温泉		中山手通７－３４－８	３４１－６１９１
②	相生湯	１３：００～２０：００	再度筋町７－２	３４１－０３９８
③	司湯	１２：００～１６：３０	下山手８－１－２４	３４１－７０８５
④	八雲温泉	１１：００～１８：００(陸)	八雲４－２－１２	２２１－１８３９
⑤	朝日湯	１０：００～２２：００	旗塚３－３－１４	２２１－７８６７
		（１７：００～１９：００は休憩）		
		月曜～金曜の１３：００～１７：００は　女性専用		

○自衛隊による開設

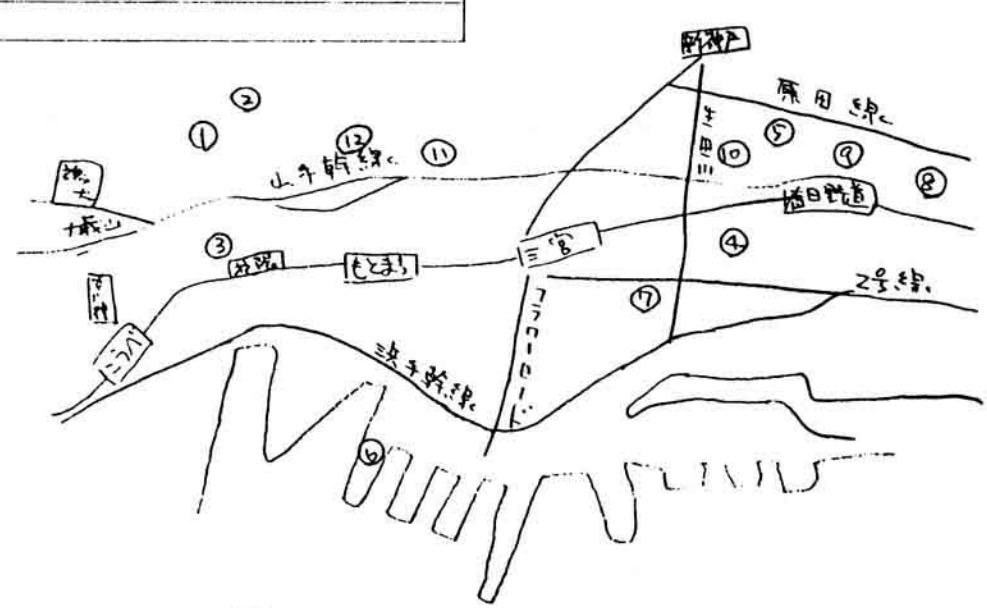
番号	浴場の名前	開設予定時間
⑥	新港第１突堤	９：００～１８：００ （注：奇数日－男性用　偶数日－女性用）
⑦	小野柄小学校	

○民間ボランティアによる開設

番号	浴場の名前
⑧	宮本小学校

○シャワー設置場所

番号	浴場の名前
⑨	春日野小学校
⑩	北野小学校
11	諏訪山小学校



中央保健所ニュース

No．10
平成７年２月６日
神戸市中央保健所

２月５日現在、中央区では３５，２８３人の方が
８７か所の避難所で不自由な生活をされています。

お知らせとお願い

避難所の食生活は救援食料に依存しているため、嗜好に合わなかったり、冷たくて食べにくいといった事があると思いますが、頑張って食べましょう。

野菜やくだものなどの繊維質やビタミンに富んだもの、水分（お茶、牛乳、缶ジュースなど）を多めにとるようにして、今後の健康維持にこころがけてください。

また、乳幼児やご老人、体の不自由な方への食事やおやつの配給については、周囲の方々のご援助とご協力を是非ともお願いします。



低温（ていおん）ヤケドにご注意

使いすてカイロは、直接肌に貼らないで。

赤くなったり、水ぶくれができたときは、手当を受けてください。

幼児や老人の方への使用には、家族や周囲の人が特に注意をしてあげてください。

その他、使用上の注意をよく読んで、使用後は「もえないゴミ」に捨ててください。

出かけるときはマスクを持って

市内の各所ではビルの解体が行われ、インフルエンザの流行も見られます。

出かける際は、忘れずにマスクを持っていくようにしましょう。



ペット飼育に関する相談、要望は

神戸市南部地震動物救援本部
（でんわ 741－8112）まで

避難所でペットを飼っている方は、周囲の方への心配りをお願いします。
ペットの飼育相談や一時あづかりの相談も取り扱っていただけます。

中央保健所ニュース

No，11
平成７年２月８日
神戸市中央保健所

２月８日現在、中央区では３４，７２０人の方が
９０か所の避難所で不自由な生活をされています。

マンション、ビル等受水槽をご利用の皆様へ

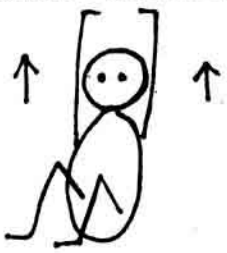
現在約５２％給水が可能となりました。使用にあたり下記の点に注意願います。

- しばらく使っていなかった蛇口では、出はじめの水は、飲み水には使わないようにして下さい。
  水の色、濁り、におい、味に異常はないか、砂などの異物が混じってないかを確認しましょう。
  生水は飲まず、沸かして飲みましょう。
  又、井戸水、わき水は飲まないようにしましょう。
- 手もよごれやすい時です。手洗い、消毒もお続けください。（消毒薬は保健所に用意しております。）

からだをほぐしましょう

「あれー動かへんわ！」「だいぶ固うなっとるわ」
輪になってストレッチ体操を行ったところ、大変好評でした。（２月７日葺合保育所での取組みより）

①
腕を上へ引き上げる。



②



うつぶせになって腕を立て胸をそらす。

③
体を左右にねじる。



前かがみになる仕事が多くて、背中の筋肉とお腹の筋肉が弱っています。
“ぎっくり腰”の予防のためにも体操をしましょう。気持ちも体もすっきりしますよ。さあ、はじめましょう！！

【中央保健所ニュース】

No. 12
平成７年２月１１日
中央保健所発行

２月１１日現在、中央区では３５，００３人の人が
８７か所の避難所で不自由な生活をされています。



入れ歯、むし歯等でお困りの方!!　次の歯科診療所で診察が受けられます。

＊電話連絡の上、受診してください。

被災地歯科診療所

開始日	実施場所	電話	協力府県・団体名
1/28～	吾妻小学校　吾妻通４	231-2421	大阪歯科大学付属病院 （診療時間１０：００～１５：００）
2/11～2/17	湊小学校	360-1200	
2/11～2/17	生田中学校	334-1850	
2/18～2/24	二宮小学校	221-0002	
2/18～2/24	神戸諏訪山小学校	221-2589	
2/2～	上筒井小学校　野崎通１	241-1080	千葉県医療班（診療時間11時～）

◇◇◇つぎの歯科医院が診察可能です◇◇◇

＊電話連絡の上、受診してください。

医院名	住　所	電　話
池端歯科医院	上筒井通５丁目	☎242-2116
数見歯科医院	上筒井通２丁目	☎221-3136
川西歯科医院	生田町１丁目	☎242-7031
住谷歯科医院	熊内町１丁目	☎222-6474
高橋歯科医院	熊内町２丁目	☎221-3453
本多歯科医院	熊内橋通６丁目	☎222-3788
李歯科医院	旗塚通６丁目	☎221-1636
高橋歯科医院	琴緒町２丁目	☎241-9224
西田歯科医院	港島中町３丁目	☎302-4180
吉江歯科医院	加納町２丁目	☎222-2130
安井歯科医院	山本通３丁目	☎241-0055
島谷歯科医院	花隅町１９－９	☎341-1029
村井歯科医院	花隅町３３	☎341-2963
吉田歯科医院	下山手通５丁目	☎351-5468
米田歯科医院	港島中町２丁目	☎302-3306
市山歯科医院	中島通1－3－10	☎221-1062

医院名	住　所	電　話
小川歯科医院	東雲通１丁目	☎261-8115
田中歯科医院	港島中町６丁目	☎303-3338
飯田歯科医院	中山手通５丁目	☎341-9582
松村歯科医院	下山手通７丁目	☎341-2917
井堂歯科医院	相生町１丁目	☎361-7373
廣田歯科医院	古湊通１丁目	☎362-6074
松村歯科医院	多聞通３丁目	☎361-1833
加藤歯科医院	北長狭通４丁目	☎331-1832
藤原歯科医院	相生町4-8-8	☎341-8148
山路歯科医院	日暮通4-2-12	☎242-7464
国谷歯科医院	元町通2 9-1	☎331 4010
聖栄歯科医院	下山手通4-10-21	☎332-6480
丸川歯科医院	北長狭通2-5-8	☎331-4433
黒田歯科医院	京町76-1	☎321-2927
山崎歯科医院	北長狭通4-1-12	☎392-0037

兵庫県歯科医師会休日歯科診療所　山本通5丁目　☎351-1722　毎日　10:00～14:30

＝＝＝＊＝＝＝＊＝＝＝＊＝＝＝＊＝＝＝＊＝＝＝＊＝＝＝＊＝＝＝＊＝＝＝＊＝＝＝＊

ご存じですか？？「マスク」の利用法!!

外出時のほこり予防には　【防塵マスク】　風邪の予防には　【ガーゼマスク】



目的に応じて購入、利用しましょう。
特に、避難所で集団生活している方は、できるだけ着用しましょう！！

中央保健所ニュース

No，13
平成7年2月15日
神戸市中央保健所

2月13日現在、中央区では30，933人の方が
88か所の避難所で不自由な生活をされています。

☆かかりつけの医師と連絡をとってください☆

特に高血圧、糖尿病などの病気の方で、まだかかりつけの医師と連絡を取っておられない方は、一度かかりつけ医師の診察をお受けください。かかりつけ医師が、あなたの健康のことを一番よくご存じです。



かかりつけ医師との連絡がとれない方や健康に関することでお困りの事があれば保健婦や栄養士も巡回しておりますので、気軽にご相談ください。　【保健所　☎232-4411】

☆「救護所」のはたらき☆

○震災時のけがや、かぜなどの短期間の応急処置を行います。
○被災によって通院が困難な方もご相談ください。



地元診療所の先生も避難所を訪問することになりました。

病気やけがでお困りの方は、ご遠慮なくご相談を！

中央保健所ニュース

No，14
平成7年2月20日
神戸市中央保健所

2月20日現在、中央区では28，626人の方が
89か所の避難所で不自由な生活をされています。

災害のあとの **こころ** と **からだ** の
変化にとまどわれていませんか ？？

子どもたちも

災害によって傷ついています。
子どもたちにも目をむけて
ください。

○**子どもたちの気持ち**を聞いて
あげましょう
○子どもたちに**自分の気持ち**を
説明してあげましょう
○子どもたちがいきいき活動で
きるよう行事を組みましょう
○災害ごっこの遊びや災害の絵
をかいたりすることを禁じな
いようにしましょう

おとしよりも

強い打撃を受けています。
○混乱してる時は**くり返し**て
日付や状況を説明してあげ
ましょう
○何度も名前をよんだり、
ふれてあげましょう
○安心するような**言葉をかけ**
てあげましょう



これらのことを通して、子どもたちが災害という現実を子どもたちなりに理解し、それを乗り越えていくための手助けをしてあげることが大切です！！

災害のあとには、***皆さん***がそれまでの日常生活では感じたことのなかったようなおかしな気分や身体の変調を経験することがあります。
不安や悩みをひとりでかかえこまず、カウンセラー、精神科医ソーシャルワーカーといった専門家に相談してください。

★こころの健康に関して利用できる相談窓口

○精神科救護所　☎０３０－３５７－４４０６（直　通）
（中央保健所内）　２３２－１４１１（内線３８６）
○兵庫県精神保健センター　☎０７８－５３１－２７０１

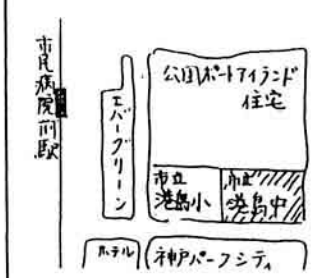
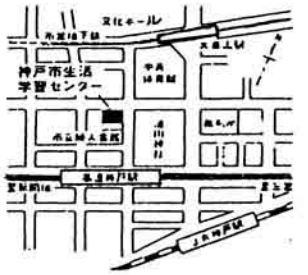
中央保健所ニュース

No.１５
平成７年２月２８日
神戸市中央保健所

乳幼児健康相談のご案内

震災後皆様いかがお過ごしでしょうか。
お子様の体についての心配、不安はないでしょうか。
この度、中央保健所では巡回で１歳６か月までの子どもさんの健康相談を下記のとおり行います！！
ゆっくりと来ていただけるよう、お湯なども準備しています。ぜひご利用ください。

記

３月６日（月）	３月７日（火）	３月８日（水）
神戸市立港島中学校 １階図書室 tel 302-1771	旗塚地域福祉センター 葺合文化センター山側 tel 291-0171	生活学習センター３階 湊川神社西となり tel 361-6977
		

受付時間：いずれも　１時３０分～３時
内容：小児科医師の診察
・計測、保健相談、栄養相談、歯科相談

ツベルクリン反応及びＢＣＧ接種について

２月に中断しておりました、ツベルクリン反応及びＢＣＧ接種が３月より実施出来るようになりました。

日時　ツベルクリン反応検査　３月１４日（火）１：３０～３：００
　　判定及びＢＣＧ　３月１６日（木）１：３０～３：００

場所　中央保健所６階

＊母子手帳を必ずお持ちください。

対象者：平成６年１２月１５日までに生まれた乳幼児のうち、ＢＣＧを受けていない方
＊区役所及び周辺には駐車場がありませんので、お車ではお越しにならないようお願いします。
＊中央区総合庁舎への入り口は東側のみとなりますのでご了承ください。
また、周辺は危険な場所等がありますますのでご注意ください。



お問合せ先
神戸市中央保健所
神戸市中央区雲井通５－１－１
電話　２３２－４４１１　内線４８１



【中央保健所ニュース】

No. 16
平成7年　3月15日
神戸市中央保健所発行

区　民　健　診　の　ご　案　内

弁当が到着したら、製造年月日または賞味期限を確かめましょう！
弁当が配られたら、できるだけ早く食べましょう！

日　時	場　所	日　時	場　所
3月16日(木) 9時30分~11時30分 結果は 3月20日	筒井台中学校 電話（241）3201 野崎通1丁目1－3	3月22日(木) 9時30分~11時30分 結果は3月26日	二宮小学校 電話（221）0002 二宮町3丁目12－1
3月17日(金) 9時30分~11時30分 結果は 3月21日	神戸生田中学校 電話（334）1850 北長狭通4丁目10-1	3月23日(木) 9時30分~11時30分 結果は3月27日	下山手小学校 電話（360）4913 下山手通7丁目1－7
3月18日(土) 9時30分~11時30分 結果は 3月22日	宮本小学校 電話（221）1600 宮本通2丁目1－36	3月27日(月) 9時30分~11時30分 結果は3月31日	湊小学校 電話（360）1200 東川崎町1丁目4－1
13時30分~15時30分 結果は 3月22日	若菜小学校 電話（241）7501 神若通7丁目1－1	13時30分~15時30分 結果は3月31日	北野小学校 電話（221）1325 中山手通3丁目17-1
3月19日(日) 9時30分~11時30分 結果は 3月23日	春日野小学校 電話（241）3109 宮本通7丁目1－6	3月28日(火) 9時30分~11時30分 結果は4月　1日	山の手小学校 電話（341）8911 中山手通7丁目31-1
13時30分~15時30分 結果は 3月23日	葺合小学校 電話（231）3441 旭内町3丁目1－7	3月29日(木) 9時30分~11時30分 結果は4月　2日	神戸阪急山小学校 電話（221）2539 中山手通4丁目23-2
3月20日(月) 9時30分~11時30分 結果は 3月24日	楠中学校 電話（371）0101 楠町4丁目2－5	3月30日(木) 9時30分~11時30分 結果は4月　3日	吾妻小学校 電話（231）2421 吾妻通4丁目1－6
		3月31日(金) 9時30分~11時30分 結果は4月　4日	小野柄小学校 電話（221）0003 小野柄通2丁目1-30

＊《健診の内容》
問診，胸部X線間接撮影，血圧測定，
尿検査（尿糖・尿蛋白・尿潜血）、
血液検査（脂質・肝機能・腎機能
・血糖・貧血）

検査の結果は，健診会場と同じ会場で4日後の午後2時～3時30分（宮本小学校、春日野小学校、湊小学校は午前10時～11時30分）にお渡しする予定です

お問合せ先
神戸市中央保健所
神戸市中央区雲井通5－1－1
☎　232－4411　内線481

【中央保健所ニュース】

No．１７
平成７年　３月２９日
神戸市中央保健所発行

ラジオ体操で心も体もリフレッシュ！

中央保健所内避難所２か所（宮本小学校、沖洲会館）で、３月４日から、毎日ラジオ体操を実施しています。

長期の避難生活によるストレスの解消、気分転換、運動不足の解消、健康の保持、体操することによる仲間づくり（自主活動グループの育成）を目的に行われ、宮本小学校では延べ５００人以上、沖洲会館では延べ１５０人以上が参加されました。

体操内容はラジオ体操第１と立位モーニングストレッチ体操（上肢・下肢・腰部・体側部・腹部のストレッチ）で、宮本小学校の体育館・各教室・運動場、沖洲会館の大部屋で、皆が気持ち良い汗を流しました。参加者の感想は下に示したとおり概ね好評でした。

これを機会に他の避難所でも，ラジオ体操で心と体をリフレッシュしませんか？

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

音楽が流れると
いろいろなところで
体を動かしている状況を
見かけます。

毎日してたら、体が良く動いて軽くなる。
ストレッチ体操は脳の下が伸びて気持ち良い。
体操のおかげで低血圧だったのが
血圧１１０まで上がって良かった。

負担にならないので、
楽しみに待っている。

運動場でする人は極く一部。
廊下や他の教室・体育館でも、
できる部分だけでもしている
人がたくさんいます。



昼寝したり退屈しているので、
気持ちよく、すっとする。

見てするので、わかっている人が
前に出て指導してくれるとしやすい。

寝てばかりではいかん。
足が悪いけどできるだけ
するよ（９１歳女性）。

一人ではなかなかできないので、
皆で声を掛け合ってするのは良いことだ。





お問合せ先
神戸市中央保健所
神戸市中央区雲非通５－１－１
☎　２３２－４４１１　内線４８１

【中　央　保　健　所　ニ　ュ　ー　ス】

No．18
平成７年　４月１８日
神戸市中央保健所発行

乳幼児の健やかな成長のために－予防接種、健康診査のお知らせ－

【春季ポリオ生ワクチンのお知らせ】

対　象　　平成７年１月３１日までに生まれた乳幼児で、まだ２回服用していない乳幼児
日　時　　５月８日（月）、９日（火）、２３日（火）
　　午後１時３０分～３時まで
場　所　　中央保健所（中央区役所６階）





《お　願　い》
当日は必ず母子手帳をご持参ください。
予防接種券には住所・氏名等を記入しておいてください。
お子さんの朝の体温は必ず計ってからきてください。

１歳６ケ月児健診

４月１９日（水）＊平成5年6~7月生まれ
４月２６日（水）＊平成5年8~9月生まれ
５月２４日（水）＊平成5年10月 生まれ

３　歳　児　健　診

５月１０日（水）＊平成4年1月~2月生まれ
５月１７日（水）＊平成4年3月~4月生まれ
５月３１日（水）＊平成4年5月　生まれ

＊健診対象年齢の幼児のおられるご家庭には、ご案内をお送りしています。
中央保健所（中央区役所６階）午後１時１５分～２時３０分



基本健康診査が始まります（料金無料、対象者は４０歳以上）

《検査内容》
問診、胸部Ｘ線間接撮影、血圧測定、
尿検査（尿糖・尿蛋白・尿潜血）、
血液検査（脂質・肝機能・腎機能）

５月１７日から
毎週水曜日
受付時間：午前９時１５分～１０時３０分
場　　所：中央保健所（中央区役所６階）

＊その他の血液検査－血液型判定・ＨＩＶ（エイズ）・Ｂ型肝炎・性病－も、基本健康診査とあわせて保健所内で実施しております（一部有料）。どうぞご利用ください。

健診車による巡回区民健診

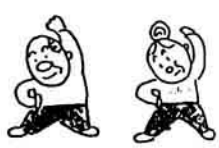
日程と会場が決まりました。
※ 検査の内容は、基本健康診査と同じです。

５月１１日（木）港島立体駐車場
　9:30~11:00　（港島中町2丁目2-3）
５月１５日（月）港島市営住宅集会所
　13:30~15:00　（港島中町2丁目）
５月１６日（火）下　七　会　館
　13:30~15:00　（下山手7丁目4-10）
５月１８日（木）浄　福　寺
　9:30~11:00　（北野町4丁目11-19）
５月２２日（月）大倉山公園管理事務所
　13:30~15:00　（大倉山公園西側入口の近く）

＜胃がん検診＞は
５月１２日（金）から
毎週火・金曜日
受付時間：　９：００～１１：００
場　　所：中央保健所（中央区役所６階）
＊予約制ですので、事前にお申込下さい。

お問い合わせ先）
〒６５１　中央区雲非通５丁目１－１
神戸市中央保健所
☎（２３２）４４１１

＊５月１７日から『広報こうべ中央区版』が発行されますので、「保健所ニュース」の配布は今回で終了させていただきます。ご了解ください。



１）　西宮市における活動の概況

(1)被害状況と対処

a) 被災地区の概況

西宮市は震災の中心地のひとつで、西部の夙川・香櫨園地区は神戸市から延長する震度７の500メートル帯の東端にあたり、また中東部の西宮北口周辺、上ケ原・甲東園地区にも、震度７に相当する被害地区が散在する。全世帯数の約36%に相当する約６万世帯が全半壊し、地震発生の直後は人口の１割を超える４万4351人が194か所の避難所で夜を明かす状況であった。

また、人口424,000人の0.25%近くに相当する1,010人が直接的な被害として死亡し、交通は阪神、阪急、ＪＲの３本の鉄道がすべて不通となり、道路も国道２号線、43号線および171号線の神戸、大阪、京都方面を結ぶ主要道の各所が遮断され、緊急時の対応への大きな障害となった。

b) 保健医療活動

市はただちに市長を本部長とする災害対策本部をおき、被災地の救護活動を開始した。当市は交通が遮断されているとはいえ、神戸、芦屋地区等に比較すると東部の大阪方面からの援助や交通が得やすく、保健対策の面でも、早くから市・保健所・医療機関・ボランティアの協力による組織的な取り組みを開始することができた。

市内の保健対策としては

①市の災害対策本部、県救護対策現地本部およびボランティア医師団による医療

②保健所を基盤とする保健指導、健康相談

③医師会や病院による医療とその診療機能の回復

という、３つの方面での保健・医療の対策が進められるとともに

④死体の処理、葬儀および、トイレ、ゴミ処理などの環境衛生対策

という、災害時特有の課題に取り組んだ。

(2)地域防災計画による西宮市の対応

a)医療・助産部の対応と救護班の編成

停電・断水等のライフラインが停止する被害を受けたため、防災組織計画に基づく「医療助産部」を担当すべき市立中央病院はその機能を十分に発揮することができなかった。そのため市立病院では病院機能の復旧を優先させることを余儀なくされ、初動対応ができなかった。また救護班については、防災計画では中央病院が２班を編成する計画となっていたが、全て救援チームに委ねることとなった。救護班の派遣は手順に従って兵庫県・日本赤十字社・自衛隊伊丹総監部・市医師会に応援要請を行った。また民間ボランティアの調整は、海外での医療救援経験が豊富なグループが中心とな

って組織された「関西ＮＧＯネットワーク医療部会」に依頼した。

b)情報収集と医療マンパワー確保

医療機関の被害状況については、医師会・歯科医師会に依頼して情報が集約された。市内の医療機関独自の対応による医療提供は、市の報告によると、各医療機関とも17日当日のマンパワー確保は5-7割という状況で、地震発生から72時間までに18,500人の診療が行われている。震災６日目には市内の病院長会議が医師会災害対策本部との合同で召集され、情報交換が行われた。

避難所に開設した救護所の医療班は、105か所で活動した1,121班の全てが救援の医療チームによって編成されたものであった。

医師会への応援要請は西宮市医師会災害対策本部と連携して、震災直後は、①市内医療機関の被害情報把握と給水などの確保による診療機能の回復、②医薬品等の供給ライン回復支援、供給、③医療機関の回復状況の広報、④福山市医師会や愛知県医師会の救援医療班の受け入れ、がはかられた。

c)感染症対策と避難所巡回検診

市健康管理課では、避難所でのインフルエンザ様疾患の多発報告に対応するために、兵庫県の指導により1月29日から2月17日の間に予防接種を行った。また、避難所で発見された「かいせん患者」の対応を西宮保健所と救援医療チーム、地元皮膚科医師の協力で感染防止に努めた。治療用の仮設住居の確保などの対応には苦慮したことが、市の報告からうかがえる。

d)二次避難所「かぶとやま荘」の開所

避難所の避難者のうち日常生活動作能力の低下した高齢者を一時的に受け入れ、健康回復を図る施設として、環境条件の整った老人保養施設「かぶとやま荘」二次避難所を3月1日より開設した。6月30日には、初期の目的が達成されたため、閉所したが、この間、25名の利用があり、利用者の最高齢者は95歳であった。

(3)　保健所の対応～環境衛生と巡回保健指導～

a) 遺体の保管と輸送

保健所の対応としては、震災直後の第１週は遺体の保管、輸送、焼却、埋葬に関する業務が主となった。

時期が冬であったとはいえ、平常時の4-5か月の死亡数に相当する死者にたいして、市内の施設は故障して稼動不能、近隣の施設も都市ガスの使用が不可能であるという悪条件が重なった。北岡保健所長の言葉をかりれば、「遺体の処理こそ、その地の文化を表すもの」として、冷却保管と輸送に多くの努力と業務が集中された。

b) 保健婦をリーダーとする「保健チーム」の活動

その後、20日からは保健所長の発議により、「保健チーム」を形成し保健活動を開始した。保健チームは、医療チームとは別個に、主に公衆衛生の医師と保健婦を中心とする数名の専門家グループにより、避難所を巡回しておこなう巡回健康相談を主な内容とした。西宮保健所に午前９時に集合して４～５チームを毎日編成し、大阪府や他府県から派遣された医師・保健婦が中心で数か所の避難所を地区分担して回り、毎日５時に保健所で報告会議を開き、医療チーム、保健チーム相互の情報交換を行った。

この巡回保健活動は、県内外の保健所等の持続的な協力による医師と保健婦の派遣を背景として、それぞれのチームリーダーには市または保健所の保健婦があたって実施された。この専門家による巡回健康相談事業は避難所で不安な生活を与儀なくされている住民に大きな安心と信頼を与えると同時に、ここで得られた情報は医療チームの対応、あるいは事後の保健チームによる継続的な対応としてサービスを持続させる重要な情報源となった。その統括責任者は所長であるが、全体のオーガナイズは保健指導課長（保健婦）と保健婦長があたった。

c) 精神保健、歯科保健、リハビリ、栄養、心理の各チームの活動

第２週に入ろうとする時点で、保健チームにより発見された課題は、急性期の対応にかわって、避難者の精神保健上の問題、歯科医療の対応、ならびに慢性疾患の管理、なかでも生活環境の変化に応じた高齢者のリハビリテーションの必要、であった。そこで、１月24日からは、この保健チームの中の専門チームとして、精神科チームの活動が開始され、次いで歯科保健チーム（26日）、リハビリテーションチーム（27日）が活動を開始した。その後、在宅訪問チーム、栄養チーム、臨床心理チームなど、各特性別の保健チームを形成し、出動は１日数十人、約10チームの活動として、実施している。

例えば３月１日には、保健チーム３グループ、精神科チーム、リハビリテーションチーム、臨床心理士チーム、栄養チームおよび事業所へと８チームの計５２名が従事した。

医療活動が市内の医療機関の機能復旧とともに縮小していく反面、保健面では高齢者の生活復帰、機能訓練、健康管理、精神保健、心のケアなど、重要な課題が次々とあらわれて、持続的なニーズに応じて対応が強化されてきた。この活動は医療活動が終結した４月以降も引き続いて、避難所と仮設住宅を主な対象として継続されている。

d) 県と市の保健サービスの二重構造の特性を活かした活動

上記の「保健チーム」の活動は、保健所の保健指導課が中心となって組織、企画されたが、その実施は市の生活経済局保健環境部健康管理課との共同のもとに進められた。特に巡回チームのリーダーとしては地域の実情に詳しい市の保健婦が主としてあたり、医療救護班との連絡調整も円滑に進められた。巡回指導の個人別の記録はすべて市健康管理課において保管、集計された。

このように市の対策本部のもとで現場からの直接の要請に応える医療救護活動が進

められると同時に、将来の予測や顕在化されない保健上の課題を対象とする予防、保健指導、健康相談などの活動を平行して進めることができたのは、保健サービスが県と市の二重構造の特性が活かされたものであるといえる。人口規模の大きい市においても、あるいは人口の大きい地区であるほど、保健・医療・環境の全般を把握して事業を計画、推進する役割を担う保健所の不可欠な役割の重要性が示された。

(4)医療救護活動～避難所における医療の確保～

a) 避難所における救護所の開設とその受け入れ

指定避難所をはじめ市内の各地に設置された避難所には、救護所の開設に関しての計画はもとより、避難所の管理・運営に関するマニュアルがなく、避難所管理者等による被災者への医療・保健面での指示が十分にできない状況であった。そこで市は救援にかけつけた大学、病院、医師会その他のボランティア医療グループの協力を得て、震災後１週間目までに、指定避難所のうち、規模の大きい避難所（1000人以上）を中心に、市内10数か所の避難所に救護所を設置した。これらの仮設診療所における常設の診療活動にくわえて、救護所のない避難所については診療班がそれぞれ避難所を巡回して診療、医療相談を行った。２週目からは日本赤十字も活動に加わった。

当初、医療救援チームによる救援内容の把握（スタッフ数・滞在可能日数・食住の確保状況等）と避難所の管理者の意向、被災者の健康状況の把握などの調整作業には時間を要し、避難所によって対応が異なるなど、維持・運営について必ずしも円滑には進まなかったことが、市の報告からうかがわれる。避難所の施設内には、あらかじめ救護室の確保など医療保健活動に関するマニュアルが必要であることが示唆された。

医療チームの滞在時の生活手段は、避難所で供与される例も少なくなかったが、ほとんどが救援者側で確保された。ただし受入側に条件整備を求められるチームもあり、調整が困難なケースもあった。

なお、医薬品の供給については、大部分が救援品の医薬品でまかなわれたが、大学からの救護班では大学病院の薬剤、資材の提供が行われた。

b) 市対策本部とＮＧＯネットワークの連携

これらの「医療チーム」の活動は市の対策本部が統括することになるが、日常的な連絡、調整等の機能は、「ＮＧＯ関西ネットワーク」に委ねられた。ＮＧＯ関西ネットワークはマニュアルを作成し、医療チーム間の引継ぎ等が円滑に行われるように努めた。また、医療活動に従事している各チームは毎日午後８時に、ＮＧＯ関西ネットワークの診療活動の基地となっている市立中央体育館で、ミーティングをもち、情報の交換、協議をおこなった。

ここでは、医療の要請の内容が被災１週間目において救急や外傷などから①慢性疾患の管理、②精神保健・心のケア及び③歯科医療に移ってきたことが指摘されている。

c) 生起する新しい課題への対応

上記の連絡会において指摘された課題に対しては、参加者や参加機関を通じた尽力により、それぞれに対応する取り組みが開始された。

①慢性疾患については医師会との連携が比較的によくとれ、協力的な医師のいる地区から徐々に、小学校区ごとの、医療班と医院の対応が築かれるようになった。

②精神衛生に関しては、第3週から臨床心理グループの「心の相談」が中央公民館に常設され、医療チームとの連携のもとに活動を開始した。

③歯科医療については、個別のボランティア歯科医師の「無料義歯作製」などの散発的な活動も早くから開始されているが、市歯科医師会・市環境保健部・保健所等と協議して、大阪大学医学部公衆衛生学教室のスタッフのコーディネイトによる巡回歯科診療・相談が開始された。また、2月1日から自衛隊歯科診療班が中央体育館で診療活動を開始した。

(5)避難所の歯科保健対策～保健所を基盤にした歯科保健活動～

a) 巡回歯科診療の開始

被災地における歯科保健に関するニーズに対応するため、西宮市では1月26日より避難所における巡回歯科診療が開始された。

ほぼ同時期に、神戸市の灘、東灘の各区でも歯科診療車を利用した診療活動が開始されているが、西宮市においては市、保健所、歯科医師会の協議のもとで、できるだけ被災者の便宜を図りながら歯科診療が実施できるように、ポータブルの歯科診療機器等を携行して避難所を訪問して診療・保健指導・相談を進めることとした。その業務の調整は西宮保健所と西宮歯科医師会において行った。

1月31日には岐阜県歯科医師会の歯科診療車が市内に移送され、2月1日から、数日ごとに避難所を移動して診療バスによる巡回歯科診療も開始された。また、西宮歯科総合福祉センターでは従来の障害者歯科、休日急病、在宅老人歯科、等の機能を救護活動に集中して歯科診療の対応が進められた。

b) 保健指導、相談業務に重点をおいた活動

歯科診療チームはおもに歯科医師と歯科衛生士のボランティアによって実施されたが、特に歯科衛生士は避難所の居室へも出向き、生活の場や状況に応じた歯科保健指導、相談業務を進めていった。

2月24日時点では、市内の 140余りの避難所に1万数千人が生活していたが、巡回歯科診療班はこれまでにのべ 145か所（実数95か所）の避難所において約600名の住民に対する歯科治療、保健指導等が実施された。現場で診療業務に従事したボランティアは歯科医師 112人日、歯科衛生士66人日、その他25人日であった。

この間に、市内の診療可能な歯科診療所数は、210か所のうち 86か所（25日しらべ）から120か所（28日調べ）へと変動し、2月20現在では 163診療所（78%）の歯科医

院が診療可能な状態に復帰したので、２月25日以後は、市内の歯科医療機関と西宮歯科総合福祉センターの活動に委ねられている。

(6)保健・医療・福祉・教育の連携

a)「避難所の救護活動に係わる関係団体打ち合せ会」の開催

西宮市は被災地の救護活動に従事している各機関・団体の連絡・調整をはかるため、1月26日に「避難所の救護活動に係わる関係団体打ち合せ会」を開催した。第１回のこの会議には、相互の活動の内容を確認し、重複をさけてできるだけ対象を広範にし、連絡を密にして相互に補完するような方策が話し合われた。**（資料5-1-1）**

その翌週、2月3日には第2回の関係団体打ち合せ会を開催した**（資料5-1-2）**。会議の出席者は**資料5-1-3**に示すとおりである。この第２回目の会議においては、兵庫医科大学の病院機能の回復、医院・病院などの市内医療機関の１次医療機能回復を念頭に、各活動の「引きぎわ」について検討され、当面は２月一杯を目標に活動を持続させつつ、動向については市の本部との協議・連絡の上で進めることが話合われた。

このように市の対策本部が保健所や大学病院、赤十字、ＮＧＯその他の医療ボランティア等との連携を積極的にはかりつつ、活動をそれぞれの自律性に委ねたことが、西宮市において医療救護が比較的に円滑に進み、各種の保健活動の展開をも可能にしたと評価することができる。

b) 保健活動担当者の連絡会

保健所を基盤とする活動を担うスタッフは、毎朝９時に保健所にて全体のミーティングを開き、そこでは現状の確認、初めての活動への参加者への注意事項、日程とチーム編成の確認などがなされる。また、夕方には４時ないし５時に全員が再度ミーティングを開催して、爾後の活動への連絡、反省、持ち越し課題などについての検討を行っている。

また、保健所では適宜、これらのチームリーダーの検討会を開き、保健活動の課題や計画についても検討を進めた。たとえば、3月14日に開催された「保健活動検討会議」においては、兵庫県、西宮市の対策本部はじめ、支援スタッフを派遣している大阪府、京都府、および巡回保健、精神科、臨床心理、歯科、整形リハビリ、栄養の各チームの代表者が参加して現状の紹介、今後の課題について検討がもたれた。この席では、大阪府から派遣されてきた保健所の医師１名、保健婦２名の体勢について、できるかぎり派遣が続けられるよう要請があり、それに応える方向で４月末まで支援が継続されることとなった。**（資料5-1-4）**

資料5-1-1　第１回避難所の救護活動に係わる関係団体打ち合せ会概要

避難所の救護活動に係る関係団体打ち合せ会

西宮市生活経済局保健環境部

１・日時・会場　平成７年１月２６日午後２時より
西宮健康開発センター２階研修室

２・救護活動団体（主な団体）

(1)ＮＧＯ関西医療部会・ボランティアグループ
(2)自治医科大学
(3)関西労災病院（国立刀根山病院）
(4)兵庫医科大学
(5)福山市医師会
(6)兵庫県等の要請による支援医療機関等

３・西宮市の救護対策関係機関

(1)西宮保健所
(2)西宮市医師会災害対策本部
(3)西宮市歯科医師会
(4)西宮薬剤師会
(5)西宮市災害対策本部
(6)兵庫県救護対策現地本部

４・協議事項

(1)救護活動の現況

(2)関係機関による救護対策について

(3)ボランティアの受け入れと調整事項

(4)その他情報交換

５・その他

資料5-1-2　第２回避難所の救護活動に係わる関係団体打ち合せ会概要

第2回　避難所の救護活動に係る関係団体打ち合せ会

西宮市生活経済局保健環境部

日時・会場：平成７年２月３日午後２時より：西宮健康開発センター２階研修室

協議事項

１・救護活動の現況
(1)西宮市災害対策本部
①医薬品の供給方法について
②避難所でのインフルエンザワクチンの接種状況
③高齢者等相談コーナー

(2)兵庫県西宮保健所
・巡回保健相談情報
①保健巡回チーム
②精神科チーム
③整形外科（リハビリ）チーム

(3)西宮市医師会災害対策本部
・市内医療機関応需情報

(4)西宮市歯科医師会
・歯科診療巡回・常設情報

(5)西宮薬剤師会

２・関係機関による救護対策について
・ＮＧＯ
・兵庫医科大学
・自治医科大学
・関西労災病院
・国立刀根山病院
・日本赤十字社
・兵庫県救護対策現地本部
・西宮市医師会

３・今後の救護活動について

４・その他情報交換

５・その他　・スポーケン市よりの救援物資について

資料5-1-3　避難所の救護活動に係わる関係団体打ち合せ会参加者一覧

救護活動団体（主な団体）連絡先

ＮＧＯ関西医療部会		若井　晋	030-508-6290
自治医科大学		柏井昭良	030-14-89873
関西労災病院	事務局長	大木長生	06-416-1221
国立刀根山病院			06-853-2001
兵庫医科大学		吉永和正	４５－６５１４
		山中若樹	４５－６５８２
		太城力良	４５－６３９２
日本赤十字社	兵庫支部事務課長	高岡良和	078-341-8791
兵庫県救護対策現地本部		堀　三郎	３４－４１５３
大阪大学医学部	公衆衛生学教室（歯科	新庄文明	030-275-2231
西宮市医師会	会長	加古康明	２６－０６６２
西宮市歯科医師会	会長	長浜禎昭	３３－５６９８
西宮薬剤師会	副会長	田中京子	４１－６１４７
西宮保健所	所長	北岡　修	２６－３６６６
西宮市災害対策本部			
西宮市福祉事務所長	所長	西谷賢二	３５－３１８６
高齢福祉課	課長	阪本達夫	３５－３１８７
市立中央病院	事務次長	広瀬　進	６４－１５１５
教育委員会	総務部長	左海紀和	３５－３８２７
保健環境部	部長	北村直臣	３５－３３８８
健康管理課	課長	寺田公彦	３５－３３８８

資料5-1-4　保健所における保健活動検討会議の概要

阪神大震災復興対策保健活動検討会議

日時　平成７年３月１４日（火）午後５時～７時
場所　兵庫県西宮保健所　３Ｆ　衛生教育室

会議次第
開　会
1　あいさつ

2　参加者自己紹介

3　議題
（1）　現況報告
①　兵庫県保健環境部

②　西宮市対策本部

③　大阪府

④　京都府

⑤　巡回保健チーム

⑥　精神科チーム

⑦　臨床心理チーム

⑧　歯科チーム

⑨　整形リハビリテーションチーム

⑩　栄養チーム

（2）　今後の活動について

（3）　その他

閉　会

2）業務実績の推移

(1)避難所および避難者数の推移

西宮市では避難者の食糧供給を確保するために、避難施設ごとの日々の情報をもとに「食糧供給施設等一覧」を発行、更新している。それによると、震災発生直後の19日には44,351名と、市民の１割を遙かに越える避難者数があった。避難所の規模は、大きいところでは香炉園小学校、大社小学校2000人、中央体育館、甲東小学校などの1500人、夙川小学校1200人というところから、10数人規模までさまざまとなっている。地震の発生直後から３月末までの避難所の数および入所者の推移は表5-2-1に示す。

表5-2-1　西宮市における避難所数および避難者数の推移

1月 日	避難所数	避難者数	2月 日	避難所数	避難者数	3月 日	避難所数	避難者数
17	－	－	1	167	20877 人	1	141	9798 人
18	172	39888 人	2	168	20384	2	140	9690
19	184	44351	3	167	19647	3	139	9419
20	194	39721	4	168	19407	4	139	9199
21	192	33863	5	163	18696	5	136	8926
22	185	31368	6	159	17387	6	135	8751
23	184	28728	7	156	16926	7	135	8358
24	177	29580	8	156	16257	8	136	8240
25	174	28769	9	155	15995	9	136	8040
26	171	27089	10	153	15460	10	136	7982
27	170	25960	11	154	15444	11	136	7934
28	168	24818	12	154	15288	12	135	7825
29	169	23996	13	155	14815	13	135	7537
30	170	23053	14	155	14685	14	136	7471
31	168	22351	15	155	14650	15	135	7404
			16	155	14394	16	134	7337
			17	155	14071	17	134	7236
			18	156	14004	18	134	7166
			19	152	13603	19	133	7077
			20	149	13174	20	133	6934
			21	149	12741	21	133	6878
			22	149	12457	22	133	6726
			23	148	12354	23	134	6697
			24	148	12168	24	134	6670
			25	148	11934	25	131	6610
			26	144	11055	26	131	6546
			27	144	10772	27	129	6405
			28	143	9995	28	128	6259
						29	127	6174
						30	127	6099
						31	123	5961

資料5-2-1　避難所および避難者数

避難所1.CPT

原NO	指定	収容施設名	所在地	電話番号	収容予定人員	1/18	1/19	1/20
101	11	浜脇小学校	浜脇町5-48	33-0668	500	400	500	400
102	11	香櫨園小学校	中浜町3-32	22-1030	600	1,500	2,000	1,800
103	11	安井小学校	安井町1-25	36-1422	400	1,200	1,000	900
104	11	夙川小学校	久出ケ谷町8-4	72-1266	800	1,200	1,200	850
105	11	北夙川小学校	石刎町11-21	74-7009	700	550	600	500
106	11	苦楽園小学校	苦楽園二番町18-12	72-9803	900	13	14	16
107	11	大社小学校	桜谷町9-7	72-2274	700	2,000	2,000	1,300
108	11	神原小学校	神原12-62	72-9801	1,000	350	350	400
109	11	甲陽園小学校	甲陽園本庄町1-72	73-4671	700	230	320	170
110	12	広田小学校	愛宕山7-24	74-4213	500	700	800	700
111	12	平木小学校	平木町4-1	64-4000	1,000	850	850	750
112	12	甲東小学校	神呪町3-33	51-6677	900	1,000	1,500	1,500
113	12	上ヶ原小学校	上ケ原二番町3-13	51-7554	600	600	650	300
114	12	上ヶ原南小学校	上ケ原九番町2-93	52-3864	800	300	500	400
115	12	段上小学校	段上町７丁目5-21	51-7995	700	700	750	400
116	12	段上西小学校	段上町２丁目8-24	53-0560	500	500	500	600
117	12	樋ノ口小学校	樋ノ口町２丁目3-32	65-6558	800	1,400	1,500	1,000
118	12	高木小学校	高木西町17-57	67-2567	800	1,000	1,000	750
119	12	瓦木小学校	大屋町10-20	67-3500	600	100	600	500
120	12	深津小学校	深津町5-22	64-7241	500	100	200	250
121	12	瓦林小学校	瓦林町26-19	65-6503	900	160	200	150
122	12	上甲子園小学校	甲子園口５丁目9-4	67-7588	500	550	550	430
123	11	津門小学校	津門呉羽町5-13	22-2286	600	1,000	1,000	850
124	11	春風小学校	上甲子園３丁目8-39	47-1635	500	200	530	500
125	11	今津小学校	今津二葉町4-10	33-0923	600	80	80	200
126	11	用海小学校	用海町3-54	33-0760	600	300	350	300
127	13	鳴尾小学校	鳴尾町５丁目4-6	47-0130	800	150	150	150
128	13	南甲子園小学校	南甲子園３丁目9-16	47-0010	600	80	90	100
129	13	浜甲子園小学校	古川町1-65	47-3014	700	－	－	400
130	13	東甲子園小学校	枝川町17-52	47-7150	800	－	－	－
131	13	高須東小学校	高須町１丁目1-38	49-2283	600	30	60	48
132	13	高須南小学校	高須町１丁目1-41	40-1300	1,000	20	20	11
133	13	高須西小学校	高須町２丁目1-44	41-1950	500	－	－	－
134	13	鳴尾東小学校	笠屋町30-50	47-1073	500	220	230	110
135	13	鳴尾北小学校	学文殿町２丁目2-7	47-1051	600	150	200	200
136	13	小松小学校	小松東町１丁目3-59	47-0051	600	50	60	45

避難所1.CPT

原NO	指定	収容施設名	所在地	電話番号	収容予定人員	1/18	1/19	1/20
137	14	山口小学校	山口町下山口1403	078-904-0490	700	—	—	—
138	14	北六甲台小学校	北六甲台５丁目4-1	078-903-2800	1,000	—	—	—
139	14	船坂小学校	山口町船坂2098	078-904-0560	100	—	—	—
140	15	名塩小学校	塩瀬町名塩1169	0797-61-0624	600	—	—	—
141	15	生瀬小学校	塩瀬町２丁目26-24	0797-86-4601	300	20	74	90
142	15	東山台小学校	東山台２丁目8-2		1,000	10	10	—
201	11	浜脇中学校	門前町3-5	34-2345	1,000	105	200	150
202	11	大社中学校	神原12-45	73-5391	1,000	350	400	350
203	11	苦楽園中学校	苦楽園三番町14-1	71-0170	1,000	—	—	—
204	12	上ヶ原中学校	上ケ原九番町2-107	52-8410	1,000	270	270	300
205	12	甲陵中学校	上甲東園２丁目11-20	51-6781	1,000	100	600	250
206	12	平木中学校	平木町6-19	65-4500	700	800	850	600
207	12	甲武中学校	樋ノ口町１丁目7-55	64-5015	1,000	400	—	—
208	12	瓦木中学校	薬師町4-15	67-8440	1,000	1,000	1,000	1,000
209	12	深津中学校	深津町6-75	64-7251	1,000	60	60	60
210	11	上甲子園中学校	上甲子園４丁目9-11	33-0621	1,000	150	160	320
211	11	今津中学校	今津二葉町5-15	34-6622	1,000	—	150	190
212	13	真砂中学校	今津真砂町1-10	48-3803	1,000	—	27	15
213	13	鳴尾中学校	甲子園八番町1-26	47-0976	1,000	400	450	250
214	13	浜甲子園中学校	古川町2-60	47-1012	1,000	10	19	5
215	13	鳴尾南中学校	高須町１丁目1-36	49-5204	800	20	30	20
216	13	高須中学校	高須町２丁目1-48	43-0461	800	—	—	—
217	13	学文中学校	学文殿町１丁目5-7	47-0768	1,000	100	140	150
218	14	山口中学校	山口町上山口367	078-904-0477	700	—	—	—
219	15	塩瀬中学校	塩瀬町名塩2160	0797-61-0145	700	—	—	—
301	90	養護学校	甲子園春風町2-29	34-6551	—	—	—	—
302	12	市立西宮高等学校	高座町14-117	74-6711	1,500	—	—	—
303	13	市立西宮東高等学校	古川町1-12	47-6013	1,500	100	—	—
304	11	市立西宮西高等学校	建石町7-43	23-1911	1,500	306	350	300
305	90	県立西宮高等学校	上甲東園２丁目4-32	52-0185	—	180	600	250
306	90	大手前女子大学	御茶家所6-42	34-6331	—	150	120	120
307	90	朝鮮学校（青木町）吉井	青木町11-6	73-4991	—	60	60	60
308	90	甲陽学院中等部	中葭原町2-15	33-5012	—	100	300	300
309	90	仁川カトリック教会（学院）	段上町４丁目2	51-0175	—	400	400	400
310	90	関西学院大学　学生会館	上ケ原	54-6112	—	—	—	—
311	90	高木幼稚園	伏原町3-40	65-0055	—	10	40	35

避難所1.CPT

原NO	指定	収容施設名	所在地	電話番号	収容予定人員	1/18	1/19	1/20
312	90	門戸幼稚園	門戸東町3-25	52-5447	—	180	190	180
313	90	大社幼稚園	柳本町1-8	74-4051	—	60	70	30
314	90	瓦木幼稚園	中島町5-2	64-5017	—	—	—	13
316	90	安井幼稚園	平松町6-7	34-0607	—	50	40	50
401	11	中央公民館	両度町8-39	67-1567	200	80	35	75
402	13	鳴尾公民館	鳴尾町１丁目8-2	47-3838	200	35	30	38
403	13	鳴尾東公民館	東鳴尾町１丁目9-1	49-1300	100	33	35	38
404	13	南甲子園公民館	甲子園九番町15-40	49-4741	100	5	35	50
405	11	今津公民館	今津水波町9-28	22-3529	150	70	110	100
406	90	山口公民館	山口町上山口1064	078-904-0287	—			
407	12	上甲子園公民館	甲子園口３丁目9-26	67-4329	150	87	90	85
408	90	塩瀬公民館	名塩新町1	0797-61-0321	—			
409	11	春風公民館	甲子園春風町2-21	33-1123	150	562	558	500
410	11	夙川公民館	羽衣町1-39	33-1928	200	41	31	60
411	90	浜脇公民館	浜脇町5-14	26-0656	—	30	31	18
412	11	用海公民館	石在町10-21	26-0532	100	102	120	108
413	90	学文公民館	学文殿町２丁目4-24	41-6050				
414	11	若竹公民館	西福町15-12	67-7171	350	700	807	807
415	12	瓦木公民館	瓦林町8-1	65-0660	150	100	100	100
416	90	段上公民館	段上町２丁目10-3	53-0931	—	120	150	150
417	90	高須公民館	高須町２丁目1-35	49-1312				
418	90	神原公民館	神原6-11	71-7444				
419	90	越木岩公民館	樋之池町5-29	72-7521	—	120	163	120
420	12	高木公民館	高木東町15-10	65-1569	150	200	180	200
421	90	上ヶ原公民館	六軒町1-32	72-7286	—	380	380	300
422	11	中央体育館	河原町1-16	74-0720	1,500	1,500	1,500	1,500
423	90	中央体育館　分館	神祇官町2-6	67-0771	—	600	600	610
424	90	北夙川体育館	樋之池町11-33	70-2222	—	500	500	500
425	90	甲武体育館	上大市５丁目15-25	52-5293	—	12	75	40
426	90	今津体育館	今津真砂町1-4	48-4828	—	400	400	400
427	90	鳴尾体育館	上田西町4-43	46-1333	—	—	—	10
428	90	市民ギャラリー	川添町15-26	33-1666				
429	11	教育会館	津門呉羽町9-30	33-1424	100	36	50	80
430	90	西宮市職員会館	六湛寺町2-23	26-0016	—	70	70	130
431	90	総合教育センター			—	10	62	40
432	90	大谷記念美術館	中浜町4-38	33-0164	—	—	—	—

避難所1.CPT

原NO	指定	収容施設名	所在地	電話番号	収容予定人員	1/18	1/19	1/20
434	90	西田公園	西田町６	74-1903	－	60	60	60
435	90	能登運動公園	能登町14-26	74-3472				
501	90	本庁舎	六湛寺町10-3	35-3151	－	100	100	100
511	90	総合福祉センター	染殿町8-17	33-5501	－	500	483	518
513	90	安井保育所	安井町4-14	36-3778	－	14	17	20
514	90	大社保育所	神垣町7-32	73-4703	－	40	35	50
515	90	今津文協保育所	今津水波町11-26	22-3320	－	30	23	30
516	90	北夙川保育所	松風町7-25	72-3711	－	22	26	30
516	90	朝日愛児館	与古道町4-31	22-6901	－	－	－	10
517	90	幸和園保育所	中須佐町3-36	22-2953	－	－	－	50
518	90	月影保育所	広田町6-30	72-5731	－	－	－	－
519	90	津門保育所	津門稲荷町5-23	35-6204	－	100	72	100
520	90	上之町保育所	上之町24-44		－	－	－	30
531	90	すずかけ第一作業所	津門大塚町１番	67-2588	－	－	40	40
532	90	ワークホームつつじ（郷免町4-1）	郷免町4-1	22-7044	－	250	230	225
533	90	老人ホーム　寿園	上ヶ原八番町1-10	52-0938	－	12	15	12
534	90	老人ホーム　雅楽荘	愛宕山１８	74-4147	－	－	－	－
535	90	一里山荘	一里山町14-23	53-0415	－	50	50	50
536	90	母子寮（さくら園）	津門稲荷町5-23	22-6188	－	60	60	60
601	90	鳴尾支所	鳴尾町３丁目5-14	47-0101	－	－	－	－
602	90	瓦木支所	瓦林町8-1	67-5132	－	－	－	－
603	90	甲東支所	上甲東園１丁目4-12	51-2681	－	－	－	－
604	90	塩瀬支所	名塩新町１　塩瀬ｾﾝﾀｰ内	0797-61-0521	－	20	－	－
605	90	山口支所	山口町上山口1064	078-904-0395	－	－	－	－
606	90	夙川ＳＣ	羽衣町7-30-123	35-8181	－	－	－	－
607	90	上甲ＳＣ	甲子園口３丁目9-3	67-7080	－	－	－	－
608	90	北口ＳＣ	高松町20-20 厚生事業会館内	65-6930	－	－	－	－
608	90	厚生事業会館	高松町20-20　北口SC	65-6930	－	150	130	130
609	90	網引市民館	甲子園網引町7-1	41-4825	－	13	16	16
610	21	市庭市民館	市庭町7-13	22-3278	－	110	110	110
611	21	今津南市民館	今津出在家町10-5	22-4892	－	－	4	4
612	22	上ヶ原市民館	上ヶ原三番町6-22	53-7862	－	41	41	41
613	21	大箇市民館	津門大箇町7-29	26-3509	－	20	16	21
614	90	柏堂市民館	柏堂町13-16	70-0933	－	－	－	－
615	90	神原市民館	神原6-11	71-7444	－	－	－	－
616	22	北甲子園口市民館	松並町5-12	67-8118	－	－	－	－

避難所1.CPT

原NO	指定	収容施設名	所在地	電話番号	収容予定人員	1/18	1/19	1/20
617	21	苦楽園市民館	苦楽園五番町3-25	74-6601	－	24	24	24
618	21	甲陽園市民館	甲陽園本庄町1-75	74-4223	－	40	20	20
619	90	香櫨園市民館	中浜町3-15	35-9197	－	200	200	200
620	90	甲子園口市民館	甲子園口６丁目6-20	65-1500	－	151	151	151
621	21	夙東市民館	川添町10-30	22-3472	－	38	38	45
622	21	中市民館	中前田町8-11	26-0373	－	200	150	150
623	90	生瀬市民館	生瀬町２丁目20-22	0797-86-4629	－	－	－	－
624	90	平木市民館	大畑町1-35	67-6045	－	100	50	50
625	90	安井市民館	安井町2-4		－	－	50	50
626	23	八ツ松市民館	甲子園六番町11-12	46-3794	－	16	16	16
627	90	六軒市民館	大社町12-26	74-4337	－	160	160	160
628	90	夙川西市民館	大谷町3-50(皿池公園南)		－	300	300	300
629	22	上甲子園センター(上甲SC内)	甲子園口３丁目9-3	67-7080	－	10	10	10
630	90	瓦林公園センター	上甲子園３丁目7	49-6506	－	52	52	52
631	90	北瓦木センター	上之町24-40	65-0600	－	40	40	40
632	90	小松センター	小松北町２丁目4-1	46-7494	－	－	－	－
633	90	甲東センター	上甲東園１丁目4-12	51-2681	－	－	－	－
634	90	高木センター	伏原町1-58	66-0124	－	280	280	100
635	90	段上センター	段上町２丁目10-23	53-8304	－	7	7	7
636	90	鳴尾センター	笠屋町19-1	41-9200	－	20	－	－
636	21	鳴尾中央センター	鳴尾町３丁目5-14　支所内	47-0101	－	30	24	24
637	90	浜甲子園センター	枝川町19-10	46-5967	－	－	－	－
638	21	広田山荘	大社町7-17	71-8380	－	80	80	80
639	90	鳴尾３丁目自治会館	鳴尾町３丁目8　支所	47-0101	－	15	10	－
640	90	塩瀬センター	名塩新町1	0797-61-1712	－	－	20	20
641	90	門戸会館	門戸岡田町12-27		－	－	－	120
642	90	大塚会館（津門大塚町）	津門大塚町６　松本氏	33-4590	－	－	20	12
643	90	西宮福音協会（上ヶ原六番町）	上ヶ原六番町2-42	51-5100	－	110	100	80
644	90	月見里会館	甲子園町11	47-6633	－	－	－	40
645	90	神社会館	社家町1-17	23-3311	－	1,200	1,200	1,100
646	90	創価学会兵庫池田講堂（宮前町）	宮前町2-1	35-9611	－	500	500	500
647	90	創価学会高畑町西宮文化会館	高畑町1-68　山添氏	64-4816	－	350	350	350
648	90	メガロコープ大塚 -> 近隣ｶﾈﾓﾄ宅	津門大塚町7-11	23-2590	－	150	150	12
649	90	西宮ＹＭＣＡ	神楽町5-23	35-5987	－	－	45	45
650	90	西宮バプテスト教会	日野町4-10	67-7737	－	－	－	－
651	90	SDA西宮キリスト教会	上ヶ原七番町3-22	52-3307	－	50	50	50

避難所1. CPT

原NO	指定	収容施設名	所在地	電話番号	収容予定人員	1/18	1/19	1/20
701	90	こばと幼稚園	津門西口町5-9	22-2101	—	15	15	15
702	90	西宮公同幼稚園	南昭和町10	67-4691	—	40	40	30
703	11	勤労会館	松原町2-37	34-1662	300	500	500	400
704	90	ふじっ子会館（津門川避難本部）	津門川町３		—	80	70	70
706	90	伏越会館	仁川町２丁目４－２６	52-0188	—	—	50	—
707	90	浜甲団地自治会事務所	枝川町９－３	47-3078	—	13	—	—
708	90	産所町三井生命（元磯川塾）	産所町11-29	26-1180	—	130	150	140
709	90	広田会館	広田町5-10		—	—	—	—
710	90	丸紅独身寮	若山町9-9		—	—	200	190
711	90	甲東教会	甲東園１丁目2-15	51-0454	—	—	80	80
712	90	国際連合警備（株）	末広町2-31	23-7970	—	—	7	5
713	90	神慈秀明会西宮支部	大畑町1-33	65-6727	—	—	50	50
714	90	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾋﾞﾙ倉庫（産所町）	産所町2-14	35-7424	—	—	—	25
716	90	みんな元気ジム（神楽町1-27）	神楽町10		—	—	—	10
717	90	津門川ポンプ場	津門川町6-20	35-8273	—	80	70	70
718	90	甲子園一番町自治会館	甲子園１番町6-24		—	—	—	40
719	90	阪急西宮市場	南昭和町	5-28				
801	90	青木改良住宅集会所	青木町2-22		—	150	150	150
802	90	青木地区集会所	青木町7-12		—	—	—	—
803	90	生内（ﾊｳｴﾁ）歯科ガレージ	高木西町1		—	50	50	50
803	90	アメニティヒルズ３Ｆ	櫨塚町５－６	34-0463	—	—	—	—
804	90	今津駅前福祉会館	津門川町2-28	34-7357	—	20	20	20
805	90	上ヶ原七番町市住集会所	上ヶ原七番町１		—	150	100	100
806	90	上ヶ原八番町市住集会所	上ヶ原八番町		—	—	—	—
807	90	上ヶ原四番町市住集会所	上ヶ原四番町３		—	350	350	350
808	90	江上町市住集会所	江上町3-1		—	100	50	50
809	90	大谷町夙川ビューハイツ	大谷町11		—	—	270	250
810	90	北口第６駐輪場事務所（関信隣）	北口町７	67-6402	—	50	20	20
811	90	競輪事業団研修ｾﾝﾀｰ（今津小隣）	今津二葉町4-50		—	100	100	100
812	90	県総合庁舎	櫨塚町2-28	23-7788	—	60	60	60
813	90	郷免町老人いこいの家	郷免町	35-2528	—	20	31	31
814	90	里中自治会館	里中町２丁目５　寿公園内		—	—	—	60
815	90	三協アルミ　西宮寮	津門仁辺町3	34-2020	—	—	20	10
816	90	獅子ヶ口町市住集会所	獅子ヶ口町17	71-4491	—	10	—	40
817	90	末広町公社住宅(代表 302 柳本)	末広町1-5	36-3619	—	—	—	—
818	90	武田のぶひこ（宮西町）	宮西町5-15	22-8395	—	—	—	10

避難所1. CPT

原NO	指定	収容施設名	所在地	電話番号	収容予定人員	1/18	1/19	1/20
819	90	津門西口公園集会所	津門西口町5-9		－	50	50	50
820	90	ドーミー西宮寮（高松町15-34）	高松町15-34		－	110	110	100
821	90	西波止会館	西波止町		－	60	－	100
822	90	日野町集会所	日野町5-16		－	50	50	60
823	90	森下町集会所	森下町6-13		－	150	100	100
830	90	県立西宮病院	六湛寺町13	34-5151	－	500	500	500
831	90	中央病院	林田町8-24	64-1515	－	－	－	500
832	90	一ケ谷団地集会所	一ケ谷町	74-7509				
833	90	上大市第２集会所	上大市５丁目	52-7556				
834	90	協和倉庫サービス（神祇官町）	神祇官町６	67-7575	－	30	30	30
835	90	夙川カトリック教会	霞町5-40	22-1649	－	－	20	20
836	90	染殿町キリスト教会	染殿町2-6	26-0332	－	15	15	－
837	90	上ケ原７号棟自治会	上ケ原７番町1-7-601 奥山氏	52-2408				
838	90	江上町市住集会所付近個人分	江上町3-1 森本氏	22-6764				
839	90	大谷町JR団地集会所	大谷町 福永氏	23-4557				
840	90	トラピスチヌス修道院	鷲林寺2 佐藤氏	71-8111, 8121	－	70	70	70
841	90	本町楠老人いこいの家	本町5 小川氏	26-5526				
842	25	船坂公会堂	山口町船坂680-1 池田氏	078-904-1231	－	10	24	25
843	90	阪神競馬場	宝塚市駒の町1-1	51-7151	－	520	520	450
844	90	西安寺						
845	90	阪急西宮北口駅南出口ｼｬｯﾀｰ内	高松町６		－	－	－	－
	12	西宮球場	高松町14-30	66-1951	2,000	50	－	－
	13	甲子園球場	甲子園町1-82	47-1041	3,000	－	－	－
	23	鳴尾中央センター	鳴尾町３丁目5-14	47-0101	－	100	－	－
	24	青葉台集会所	青葉台１丁目15-8	0797-87-4863	－	－	－	－
	24	木ノ元青年会館	塩瀬町名塩1751	0797-61-1596	－	－	－	－
	24	惣川集会所	生瀬東町20-5	0797-87-4864	－	－	－	－
	24	宝生ケ丘自治会集会所	宝生ケ丘１丁目10-2	0797-84-3179	－	－	－	－
	25	上山口公会堂	山口町上山口663	078-904-0500	－	－	－	－
	25	金仙寺公会堂	山口町金仙寺1565-1	078-904-0841	－	－	－	－
	25	下山口会館	山口町下山口796-1	078-904-3195	－	－	－	－
	25	中野公会堂	山口町中野459-1	078-904-0310	－	－	－	－
	25	名来公会堂	山口町名来２丁目20-14	078-904-3457	－	－	－	－
	90	市川宅	塩塚町5-6		－	－	－	－
	90	上田チカ子（越水町）	越水町9-18 1F	70-3761	－	－	－	－
	90	協立外科病院	今津山中町12-1	33-2211	－	－	10	－

避難所1.CPT

原NO	指定	収容施設名	所在地	電話番号	収容予定人員	1/18	1/19	1/20
	90	厚生事業会館	高松町20-20		−	108	108	120
	90	香櫨園会館	弓場町8-10	22-1187	−	200	200	50
	90	坂上田病院	津門仁川町6-25	34-0002	−	25	25	25
	90	サンクリニック（甲子園口3丁目）	甲子園口３丁目3-33		−	20	20	20
	90	勝呂病院	与古道町1-37	22-1657	−	30	30	30
	90	高梨清一郎（神楽町1-27）	神楽町1-27		−	−	−	−
	90	田近野町７番３・４号棟集会所	田近野町７		−	−	30	−
	90	谷向病院	今津水波町6-30	33-0345	−	30	30	20
	90	中央図書館	川添町15-26	33-0189	−	10	6	6
	90	阪急西宮北口駅球場側臨時出口	高松町６		−	−	50	50
	90	西宮警察署	津田町3-6	33-0110	−	500	200	
	90	布谷整形外科病院	東鳴尾町１丁目7-26		−	−	150	150
	90	広本外科	北名次町13-16	74-1111	−	−	−	40
	90	ヘルスライフ夙川（ﾏﾝｼｮﾝ N 住人	安井町5-16	26-6000	−	70	60	60
	90	ベルコ会館	染殿町8-32	34-2991	−	−	50	10
	90	松井幹夫（江上町5-4）	上ヶ原八番町4-13-108		−	10	9	7
	90	マリアの園幼稚園	甲東園２丁目13-9	51-2454	−	350	450	400
	90	満地谷墓園	奥畑７		−	20	20	20
	90	阪神市場西ﾐｻﾜﾎｰﾑﾓﾃﾞﾙﾊｳｽ(国道沿)	津門川町		−	100	60	40
	90	三菱電機夙川寮	大谷町11-28	22-4731	−	150	150	150
	90	森下町２８号集会所	森下町		−	−	−	−
	90	渡辺病院	室川町10-22	74-2630	−	50	50	50

避難所数	計		172	184	194
	指定		66	65	65
	緊急		13	13	13
	その他		93	106	116
避難者数	計		39,888	44,351	39,721
	指定		25,985	29,325	25,171
	緊急		719	557	570
	その他		13,184	14,469	13,980
プレス 避難所数			172	184	194
避難者数			40,000	45,000	39,700

収容予定人員　59,200

(2)保健所の活動実績とその推移

a) 異常事態における保健所の対応

保健所の異常事態における対応としては、表5-2-1に示すとおり、「保健所機能の回復」「応援職員の確保」「ボランティアの受け入れ調整」「救援物資の受け入れ」「西宮市の保健衛生活動の応援指導」「防疫活動」「関係施設の実態把握」「避難所および仮設住宅の保健衛生対策」「被災動物への対応」など、さまざまな業務が要請された。

西宮保健所作成の「災害復旧活動状況」の一覧表によると、これらの対応の開始時期と当初２週間の初動体制確立とその経緯は次のとおりであった。

①保健所機能の回復

17日（火）　震災発生の当日より、２次災害の防止、被災状況調査、職員調査を実施。

18日（水）　庁内整理、緊急組織作成、県・市本部確認。

19日（木）　所内整理、ガソリン入手手配、通電。

20日（金）　修理の依頼。

②応援職員の確保

19日（木）　防疫、動物、環境等の対策を進めるために本庁に派遣依頼を行う。

24日（火）　７名の防疫活動への応援を得た。以後、連日、数名から10名の応援を確保。

31日（火）　防疫２名、環境３名、営業１名、動物１名、物資３名の応援。

③ボランティアの受け入れ調整

18日（水）　民間協力の申し出を土木関係について行う。

20日（金）　同じく、環境事業（汲み取り）について行う。

25日（水）　同じく、避難所の室内消毒・清掃について行う。

④救援物資の受け入れ

19日（木）　医薬品、防疫関係、生活用品の受け入れ配布開始。以後、保健所の職員が業務に連日あたった。

⑤西宮市の保健衛生活動の応援指導

18日（水）　火葬に関連して、震災発生の翌日に施設調査、ドライアイスの確保を行い、約700遺体について配布。

19日（木）　協力市町受け入れ調整、市の動き調整指導、霊柩車の手配。

20日（金）　遺体の空輸・霊柩車の手配、火葬計画指導、棺の管理、ドライアイス詰め。

21日（土）　搬出計画指導、遺体を空輸、市火葬場稼動開始。

22日（日）　遺体搬送手伝（自衛隊車）手配確認、ドライアイス配布打ち切り。

⑥防疫活動、消毒、汲み取り

20日（金）　バキュウム車受け入れ、仮眠所設置管理 。　（９台）

21日（土）　同乗巡回指導（８台）
22日（日）　同乗巡回指導（８台）
23日（月）　避難所巡回調査。
24日（火）　防疫班編成、巡回消毒指導、器具設置。以後連日の同活動持続。

⑦廃棄物処理
18日（水）　施設調査。
20日（金）　処理方針調査指導。
23日（月）　処理実態調査。

⑧水道関係（飲料水の確保）
19日（木）　施設調査。
23日（月）　給水状況調査、供給水利用上の指導方針の決定とＰＲ。
24日（火）　井戸水、湧水指導。

⑨営業関係（公衆浴場その他）
18日（水）　実態調査、旅館調査。
19日（木）　実態調査。
20日（金）　開設浴場確認、指導、実態調査。
21日（土）　開設上の指導、実態調査。開設は３か所。その後も連日、調査、指導。

⑩動物関係
18日（水）　犬の引き取り開始（死体を含む）。
20日（金）　行方不明届出。その後も連日継続、ピークは23日から24日に。
22日（日）　保護対策について市獣医師会と打ち合わせ。
23日（月）　里親、里子制度確立。

b）対人保健サービスの経緯

保健活動としての対人サービスとしては、前項で述べたように、避難所の巡回保健チームを中心として、精神科チーム、リハビリテーションチーム、栄養チーム、臨床心理チームなどが歯科保健チームと並行して活動を進めるほか、家庭訪問、仮設住宅訪問も実施された。精神科チームは保健所における所内相談、所外の巡回相談の他、電話相談をも行った。（資料5-2-2,3）

震災発生から西宮保健所を基盤とする対人保健サービスの各活動の開始時期とその初動体制の経緯は次のとおりであった。

①避難所巡回保健チーム
19日（木）　近畿保健所長会幹部緊急会議、大阪府職員派遣打ち合わせ
20日（金）　２チームで巡回開始
21日（土）　７チーム巡回、以後継続実施

②精神科チーム
23日（月）　京都府精神科チーム派遣打ち合わせ
24日（火）　精神保健相談開始

③歯科チーム

23日（月）　大阪大学医学部公衆衛生学教室より保健所、市への派遣打ち合わせ
25日（水）　歯科チーム派遣について歯科医師会と打ち合わせ
26日（木）　巡回歯科診療開始
2月1日（水）　岐阜県歯科医師会の巡回診療車による診療開始

④リハビリテーションチーム
27日（金）　巡回指導開始
28日（土）　保健チームと一緒に巡回実施

⑤栄養チーム
2月3日（金）　保健チームと一緒に巡回
2月6日（月）　阪神ブロック保健所栄養士打ち合わせ
2月7日（金）　保健チームと一緒に巡回、以後継続

⑥臨床心理チーム
2月4日（土）　巡回活動開始

対人保健サービスの各事業の実績は各該当の項目ならびに「阪神．淡路大震災対人保健活動報告（西宮保健所）」（**資料5-2-2**）に示されているとおりである。２か月を経過した３月１７日時点で、避難所巡回保健チーム、精神科チーム、リハビリテーションチーム、栄養チーム、臨床心理チーム、家庭訪問、仮設住宅訪問による相談指導にはのべ6,741件の相談事業を行った。これらの出務者数は医師のべ351人、保健婦のべ1,219人、理学療法士236人、作業療法士107人、栄養士106人、精神保健相談員46人、臨床心理士97人、看護婦14人、その他３人で、後に述べる歯科保健チームを含めると、この２か月間における出務者のべ数は、2,371人日となる。３月末時点の相談延べ件数は9,306件にのぼった。

(3)感染症対策

a)インフルエンザ対策

震災後の感染症予防のための対策として、被災地におけるインフルエンザワクチン接種が実施され、１月29日には25人、1月31日には30人、２月1日には55人が接種を受けた。その後も2月2日には安井小学校と高木小学校にて、2月6には若竹生活文化会館、2月7日樋口小学校、8日には平木小学校、10日には甲東小学校などで、それぞれ接種が実施されている。

b)結核対策

生活環境の著しい変化による疲労、ストレスや栄養状態の悪化、交通途絶による服薬の中断などから、治療中の患者の病状悪化、新たな患者発生が危惧された。避難所の被災者から数名の患者が悪化、または新発生したが、保健所保健婦が主治医と連絡をとりながら個別的に対応した。被災地における結核対策については(財)結核予防会結核研究所による避難所の視察、方向性の指導を受けた。

資料5-2-2 西宮保健所の対人保健活動報告

阪神・淡路大震災対人保健活動報告

兵庫県西宮保健所

平成７年１月１７日に発生した阪神・淡路大震災により、西宮市では死者１．０１０人、住居の半全壊５万世帯、１月１９日には避難所１８４か所、避難者は最高の４万５千人にのぼる多大な被害を被った。この様な状況下、多方面から様々な救援活動の手が差しのべられたが、被災者の身体的、精神的保健の保持増進も大きな課題であった。

西宮保健所と西宮市は県内外から多数の応援者を得て保健活動を進めた。

１　活動の経緯

保健チームは地域や人々が興奮状態の中、平素の地域・行政間・官民の枠を越えて、お互いが呼応し合った格好でスタートした。近畿の府県は勿論、全国から日々を追って応援者が急増し混乱の日々が続く中、多い時には７０人近い保健関係者がチームを編成し、保健所を拠点に西宮市内に入った。

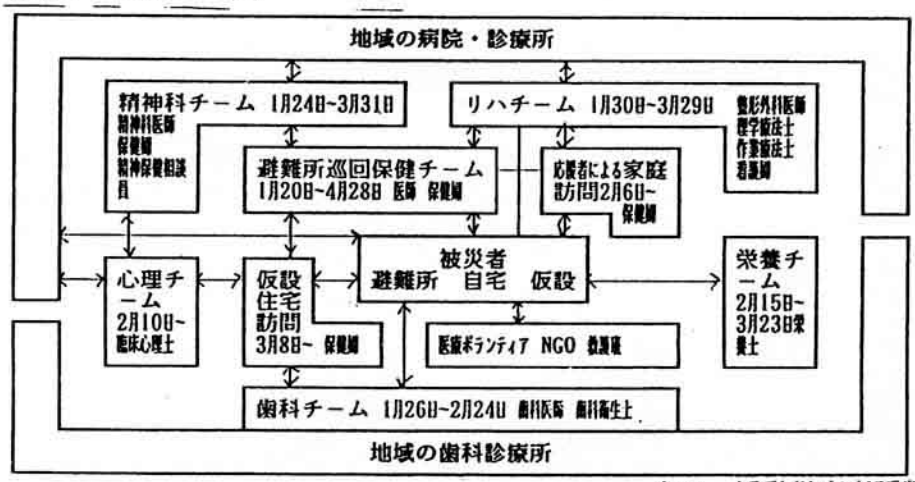
1）平成７年１月１７日　阪神・淡路大震災発生
2）平成７年１月１９日　兵庫県保健環境部から避難所保健巡回の指示
近畿保健所長会幹部緊急会議来所
所長が市災害対策本部、医師会へ保健巡回打合せ
夜半　大阪府職員派遣打合せに来所　２０日午後から大阪府の応援を得　避難所巡回保健チームがスタート
3）平成７年１月２２日　兵庫県内保健所・市町保健婦
4）平成７年１月２３日　京都府派遣打合せに来所　２４日から緊急精神保健相談所開設、精神科チームスタート　西宮市医師会精神科、大阪大学医学部精神科、兵庫医科大学精神科随時参加
5）平成７年１月２４日　大阪大学医学部公衆衛生教室医師　随時
6）平成７年１月２５日　大阪大学を中心に歯科チーム派遣打合せに来所、２６日から巡回診療・指導
7）平成７年１月２７日　リハビリテーションチーム地域状況把握に来西、兵庫医科大学リハ教室・理学療法課を中心３０日から巡回指導
8）平成７年１月２８日から和歌山県、２月３日から静岡県、４日から北海道、１３日から大阪市、１８日から滋賀県の医師　・保健婦　随時
9）平成７年２月　６日　応援者による保健婦家庭訪問開始
10）平成７年２月１０日　神戸女学院大学臨床心理チームが独立して避難所巡回開始
11）平成７年２月１５日　栄養チームが独立して避難所巡回開始
12）平成７年２月２２日　市健康管理課　感染症及び痒せん患者治療用住宅確保
13）平成７年３月　１日　市健康管理課　高齢者用２次避難所「かぶとやま荘」開設
14）平成７年３月　８日　保健婦仮設住宅訪問開始
15）平成７年３月２０日　避難所巡回検診開始

2　保健チームの体制

西宮保健所・西宮市健康管理課を中心とした公衆衛生・保健チームは県内外の保健所及び市町、大学、病院等の応援を得てチームを編成、図１のように相互に連携を図りながら活動を進めた。

チームには総数的活動を主とした避難所巡回保健チーム及び家庭訪問チーム、仮設住宅訪問チーム、そこから連携されたケースを主に支援する精神科チーム及びリハチーム、心理チーム、歯科チーム等があり、体制は重層的で保健・福祉・医療問題をきめ細かく、しかもタイムリーに、専門的に支援した。多職種・多チーム・多人数をまとめる要は朝夕のミーティングであった。

図１　保健チームフロー図



3　保健活動の従事者

西宮保健所医師は所長１名のため、明石・竜野・社・川西保健所長が交替で所長業務応援に来所。

保健活動に従事した地元保健婦は表１のとおり保健所と市健康管理課保健婦２６名であった。

多数の応援者（表２）は膨大な量の保健活動に有用であった。

表１　西宮保健所・西宮市地域保健活動技術吏員実数
（H7.1.17現在）

西宮保健所	人数
医師（所長）	1
保健婦	１４
看護婦	1
栄養士	3
歯科衛生士	1
西宮市保健婦	
保健環境部 健康管理課	１２
（福祉部保健事業課	２０）

表２　活動従事者延数（4月末現在

職　種	応援者
保　健　婦	1，５６２
医　　師	４２０
理学療法士	２４５
臨床心理士	１６１
栄　養　士	１１７
作業療法士	１１５
歯科医師	１０９
歯科衛生士	６２
精神相談員	５４
他	６７
合　計	2，９１２

4　保健活動実施状況

初期の保健活動は救急医療対応が求められたが、徐々に本来の保健指導対応に移行、疾病予防と健康増進、福祉面の支援といった公衆衛生活動が展開された。

取組の基本は被災者の人権を守り、自立を支えるもので、地域が日常化に向かうよう配慮しながらの活動であった。

表３　保健活動実施状況　　平成７年３月末現在

チーム名	相談延件数
避難所巡回保健チーム	３，７６５
精神科チーム	３９６
歯科チーム	５９２
リハチーム	５５４
栄養チーム	５０１
臨床心理チーム	６７７
応援者による家庭訪問	１，３２８（延訪問戸数２，０１９）
仮設住宅訪問（４月２８日現在）	９０４（延訪問戸数４，２５９）
避難所巡回検診（４月６日まで）	５８９
合　計	９，３０６

5　まとめ

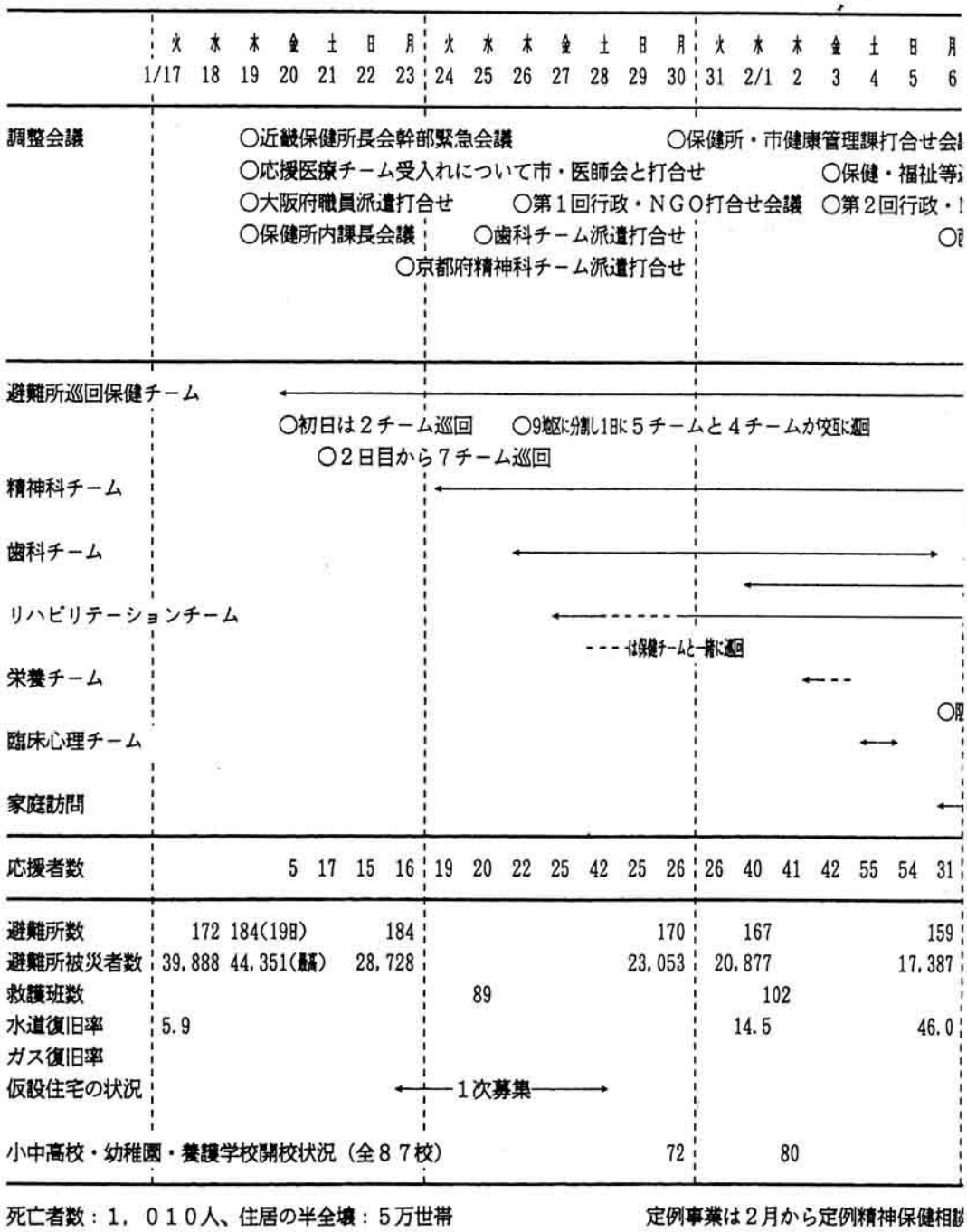
震災発生直後から多数の応援者を得て、避難所はじめ自宅、仮設住宅訪問を実施したが保健・医療・福祉に関する課題に加え、生活全般に係る問題も保健チームになげかけられた。

国及び県の指示、市、その他の関係機関との連携、情報交換が求められたが、微妙なズレが生じ、調整に苦慮した。

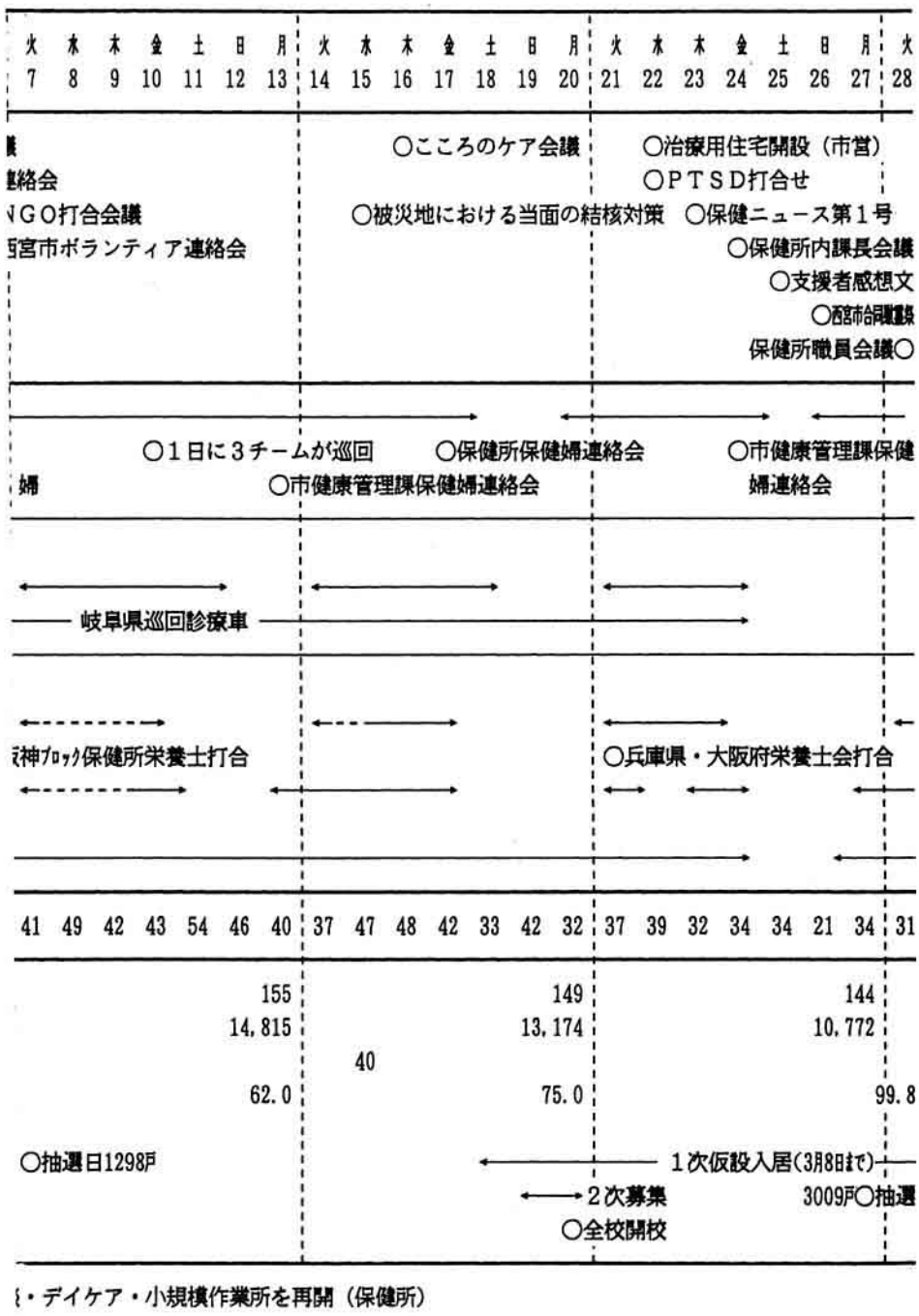
個々のプライバシーを尊重し、健康問題もその人その人に対応してきめ細かい保健行政をめざしていた我々にとって、今回の大災害下には個の犠牲もやむなしと考えざるをえないと大いに衝撃を受けた。しかし、日を追うに従って従来通の個人の人権を尊重する地域保健の本質に添った活動となった。特異な環境下にあって続出する人間関係トラブルを不十分とはいえ解決してきたと自負している。

資料5-2-3 西宮保健所の対人保健活動の推移

阪神大震災保健活動一覧表（対人サービス）（NO1）



平成７年３月末作成　　兵庫県西宮保健所・西宮市健康管理課

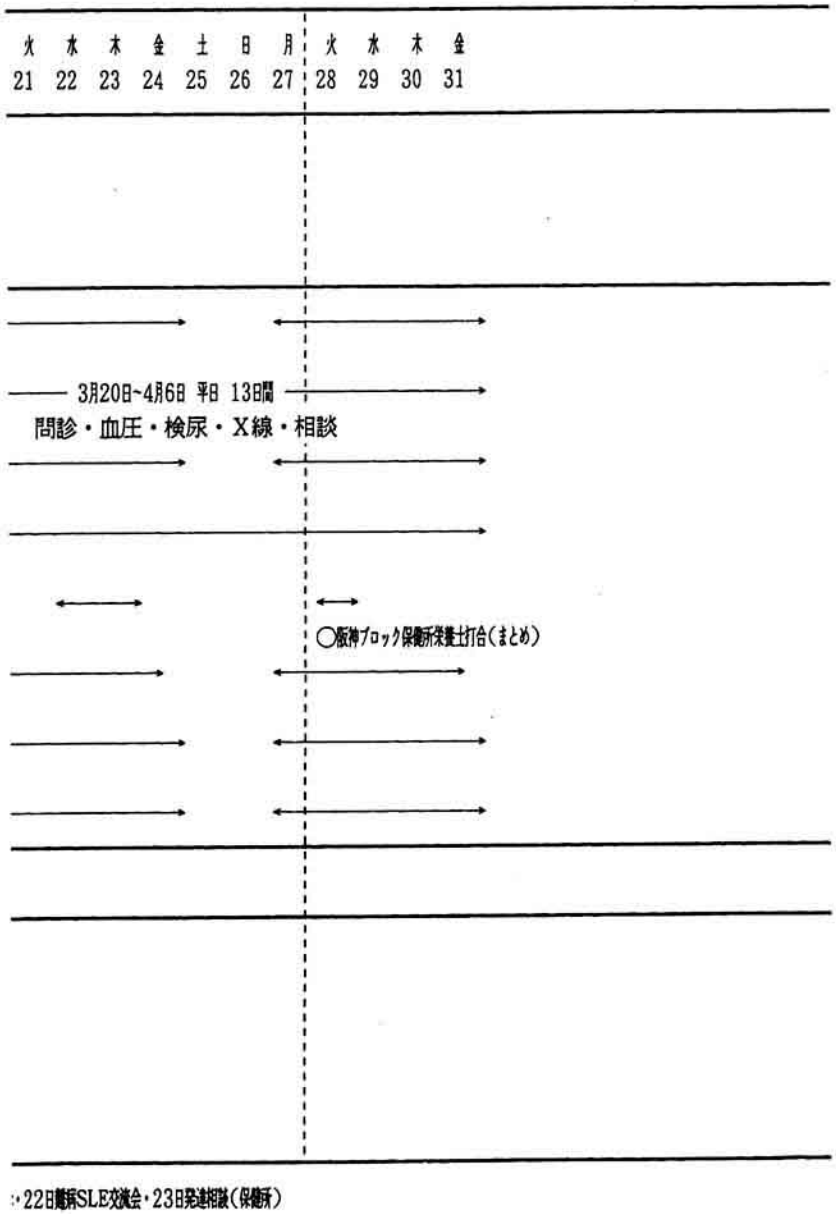


・デイケア・小規模作業所を再開（保健所）

阪神大震災復興対策保健活動一覧表（対人サービス）（NO2）

	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
	3/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
調整会議	○こころのケア打合会議						○2次避難所「かぶとやま荘」運営会議													
	○2次避難所「かぶとやま荘」開設													○保健活動検討会議						
		○保健ニュース2号																		
							○こころのケア西宮センター設立会議													
避難所巡回保健チーム	→						↔							↔						
	○保健所保健婦連絡会									○市健康管理課保健婦連絡会				○保健所保健婦連絡会						
避難所巡回検診																				←
精神科チーム	→						↔							↔						
							○精神科チーム活動検討会議													
リハビリテーションチーム	―						―							―						
栄養チーム	→						↔		↔					↔		↔				
臨床心理チーム	→						↔							↔						
家庭訪問	→						↔							↔						
仮設住宅訪問								↔												
支援者数	38	33	29	14	14	28	29	25	32	28	13	10	28	28	26	28	30	8	7	
避難所数	141				135				136											
避難所被災者数	9,798				8,751				7,982											
救護班数	6														4			3		
水道復旧率	99.9%																			
ガス復旧率								85%												
仮設住宅の状況	―1次仮設入居→																			
定例事業	乳児相談・健康相談・歯の健康相談・42歳検診・乳ガン検診（市健康管理課）													精神保健相談・デイケア・精神作業所・22日難病患者訪問診査・16日北部3歳児健診						

平成７年３月２０日作成（その後は計画）　兵庫県西宮保健所・西宮市健康管理課



・22日難病SLE交流会・23日発達相談（保健所）

3）医療救護活動の概況

(1)避難所における救護活動

西宮市における医療救護活動における特徴は、市対策本部（保健環境部）の判断により、ＮＧＯネットワークに医療活動の連絡調整が委任されてボランティアの主体性を活かすことによって救護活動が円滑に展開されたところにある。

市保健環境部と各医療チームの連携は「ＮＧＯ関西ネットワーク」の診療拠点ともなっている市立中央体育館における毎日のミーティングによって確保され、新たな活動を開始する医療グループにも、情報の交換、協議の機会が確保された。そのことにより、自治医大、自衛隊、兵庫医大、関西労災病院の各医療機関、日本赤十字、その他のボランティア医療グループは、それぞれ避難所に拠点をおける常設の診療活動や、避難所を巡回して診療、医療相談を実施することができた。**（資料5-3-1）**

また、市保健環境部は、これらの活動について所定の書式にもとづく「避難所救護活動記録」**（資料5-3-2）**の提出を求めて全体を掌握するとともに、適宜、「避難所の救護活動に係わる関係団体打ち合せ会」を開催し、医療救護活動に従事している各団体および市内の保健医療専門団体の活動の実情把握、交換、重複をさけるための調整、撤退時期の検討等を図った。

西宮市内では避難所における医療救護活動が1月20日より開始され、１週間を経過した1月25日現在では、28か所の避難所において常駐の医療救護所が設置され、またその他66か所の避難所において巡回診療活動が実施されている。

(2)西宮市医師会の会員診療状況

西宮市の医療機関については、西宮市医師会会員の医療機関374施設のうち診療中であったところは、1月25日現在で79％の295診療機関が診療可能、休診、全半壊および連絡不能が79施設であった。その後1月27日午後5時現在では、市内の374医療施設のうち、仮設を含めて305医療機関が診療を行っている状態であった・

市医師会のニュースでは「診療所の被害は全壊13、半壊11、連絡不能が6という状況」（2月1日）であった。大規模な被害をまぬがれた大阪府から近いこと、海路支援に駆けつけた福山市医師会はじめ近隣の病院や大学、ボランティアの支援を得られたという状況もあり、市避難所の常設救護所は外部からの「応援部隊」に任せ、市医師会では市内の各医療機関の早期再建に重点を置くことを方針とした。

併せて、避難生活の長期化を見据えて、会員に対しては各校区の避難所への巡回を要請し、かかりつけ医としてメンタルケアを含む医療対応を進めるなど、避難所に置ける医療を徐々に地域医療の中に組み込んでゆく方向を示した。

2月2日現在では、診療中は88％の328診療機関、休診、全半壊および連絡不能が46施設であった。

資料5-3-1 西宮市における医療救護班の組織体系

保健環境部 健康管理課

医療救護班の組織体制

総括チーム ◎保健環境部長 ○健康管理課長

庶務チーム ◎健康管理課長 ○健康管理課課長補佐、職員1名

(1)救急患者の医療の確保

①病院・診療所の被災状況の把握及び機能回復への支援調整
（ライフライン、医薬材料等）

②後送病院、搬送手段等の情報提供

③被災市民向けの医療情報の提供

④国、県、保健所、医療関係団体等との連絡調整

医療チーム ◎健康管理課課長補佐 ○保健予防係長、職員9名 ボランティア 8名

(2)救護所の救護に関すること

①避難所への救護所の開設に係る調整

(a)施設管理者、被災者の健康状況等ニーズの把握、場所の確保

(b)救援医療チーム、医療ボランティアの受入調整

(c)救援活動により提供される医療等の問題解決

(d)各救護活動状況の把握と情報交換

②救護所及び避難所への医薬品・衛生材料の供給

(a)医師指示医薬品の調達及び受払

(b)常備医薬品・衛生材料の救援受入と避難所への配給

(c)県、保健所、薬剤師会及びボランティアとの連絡調整

(d)救援医薬品等の受入及び仕訳管理

保健チーム ◎保健指導第1・第2係長 ○各係主任保健婦、 保健婦8名

(3)被災者に対する保健活動（西宮保健所との共同）

①避難所への巡回保健指導

②仮設住宅等への巡回保健指導

③避難所巡回検診の実施

④避難所に対する感染症対策

⑤二次避難所の開設・運営

⑥他都市派遣職員等ボランティア活動との調整ミーティング

資料5-3-2 避難所救護活動記録

西宮市避難所救護活動記録

西宮市避難所救護活動記録は、下記のルートで、活動翌日までに報告をお願いします。

救護活動チーム → 施設長 → 西宮市健康管理課長ＦＡＸ：２６－０６１６

救護所施設名：	救護活動年月日　平成７年　月　日 診療時間　：　～　：
救護活動チーム名： 代表者氏名：　　連絡先ＴＥＬ．	
従事スタッフ名：　Ｄｒ．　Ｎｓ．　薬剤師 医療事務等	

患者数：　人　（内訳再掲：　65歳以上　人、　15歳~64歳　人、　15歳未満　人）	
転送患者数：	転送先医療機関名
特記事項（主要疾病、その他）	

(3)西宮市内における病院の診療状況

病院の診療状況については、市内21病院のうち17機関が１週間後の１月25日の時点でほぼ平常通り外来を受け付けており、11病院においては空床状況であった。
(資料5-3-2)

資料5-3-3 西宮市内病院の診療状況

病院の診療状況

医療機関名	住所	TEL・FAX	外来診療	入院状況	備考
上ヶ原病院	上ヶ原十番町1-86 〒662	TEL 52-2001 FAX 52-2003			
西宮回生病院	大浜町１－４ 〒662	TEL 33-0601 FAX 22-9920	平常通り。月～金9:00～17:00 夜間診19:00まで 土 9:00～13:00 但し小児科20:00まで	可能 但し状況次第	給水、ガスがないため、トイレ使用不能。 消毒に苦慮。給食に 難渋している。
西宮協立脳神経外科病院	今津山中町12-1 〒663	TEL 33-2211 FAX 33-2438	平日9:00～12:00 (1/28まで) 完全復帰は不可能 13:30 ～17:00 投薬、救急(重症)	空床数１２床	
熊野病院	下大市西町14-13 〒663	TEL 52-3221 FAX 52-3269			
慢性疾患・リハビリテイション 桜が丘ホスピタル	鷲林寺南町2-13 〒662	TEL 73-3171 FAX 73-3279	９：００～１７：００	満室	ガス不通。
坂上田病院	津門仁辺町6-25 〒663	TEL 34-0002 FAX 34-0116			
笹生病院	弓場町５－３７ 〒662	TEL 22-3535 FAX 22-3400	９：００～１２：００ １７：３０～１９：３０	２０名可能 現在数１０１名	
医療法人ほまれ会 勝呂病院	与古道町1-37 〒662	TEL 22-1567 FAX 22-1372	月～金９：００～５：００ 土 ９：００～１２：００	状況により可能	
医療法人嘉望会 谷向病院	今津水波町6-30 〒663	TEL 33-0345 FAX 22-8740	月～金9:00～11:30 13:00 ～17:00 17:45 ～19:00 土9:00～11:30 13:00 ～17:00、日祭9:00～11:30	数名受け入れ可能 事前に 要連絡	ガスがでないため、十分な 料理はできません。
布谷整形外科病院	東鳴尾町1-7-26 〒663	TEL 46-7770 FAX 46-7785	９：００～１２：００ １３：３０～１９：００	可能	
医療法人芳恵会 三好病院	甲子園口北町24-9 〒663	TEL 67-3505 FAX 67-4255	９：００～１２：００ １３：００～１５：００	可能	
医療法人明和病院	上鳴尾町4-31 〒663	TEL 47-1767 FAX 47-7613	平常通り。平日9:00～16：30 土 9:00～12：00 診療時間外→当直医にて対応	可能	
医療法人高明会 西宮渡辺病院	室川町10-22 〒662	TEL 74-2630 FAX 74-7257	９：００～１２：００ １６：００～１８：３０ 救急告示 脳外・急性循環器疾病は引受体制を取ってる。腹部四肢については手術対応できます。		一次二次三次体制の崩壊に対しての全部の対応はできませんが状況により対応します。
西宮市立中央病院	林田町８－２４ 〒663	TEL 64-1515 FAX 67-4811	通常通り。９：００～１６：３０ 夜間・土日→緊急患者受け入れ可	可能 （２４時間）	非常事態に対応する体制を続ける。
県立西宮病院	六湛寺町13-9 〒662	TEL 34-5151 FAX 23-6140	内科・外科・小児科・産科→１／27まで24時間診療。 その他の 科→従来通り対応 (28日以降は検討中)	可能 救急医療センターについては、従来通り 受け 入れ をおこなっている 但し、水供給が 不十分なため 透析は 行えない。	
有馬病院	山口町下山口 1637-5 〒651-14	TEL 078-904-0721 FAX 078-904-3186	月～土 １０：００～１２：００	満床	
アガペ甲山病院	甲山町５３－４ 〒662	TEL 73-5111 FAX 74-8235	９：００～１２：００	満床	
甲山福祉センター 砂子療育園	武庫川町２－９ 〒663	TEL 47-4477 FAX 43-1022			
北摂中央病院	塩瀬町生瀬1281-5 〒669-11	TEL 0797-84-8281 FAX 0797-84-8285	平日 ９：００～１６：００ 土曜日 ９：００～１２：００	満床 １９０名	
仁明会病院 赤い羽療園	甲山町５３－２０ 〒662	TEL 71-3001 FAX 72-6004	月～土９：００～１２：００	満床	
高田外科病院	山口町上山口 477-1 〒651-14	TEL 078-903-0525 FAX 078-903-0270	通常通り9:00～12:00 17:00 ～ 19:00	空床5は利用可能 83人入院中	

資料5-3-4　兵庫医科大学による救護活動の実績

年　月　日	診療従事者数			救護施設数	患者数
	医師	看護婦	計		
平成7年　1月24日	30	16	46	63	209
平成7年　1月25日	58	34	92	63	377
平成7年　1月26日	59	30	89	63	287
平成7年　1月27日	79	45	124	63	339
平成7年　1月28日	69	42	111	63	345
平成7年　1月29日	57	33	90	63	344
平成7年　1月30日	69	38	107	60	217
平成7年　1月31日	64	37	101	55	224
平成7年　2月　1日	70	41	111	46	221
平成7年　2月　2日	48	32	80	46	144
平成7年　2月　3日	44	29	73	46	79
平成7年　2月　4日	44	30	74	45	114
平成7年　2月　5日	24	16	40	36	92
平成7年　2月　6日	42	23	65	36	92
平成7年　2月　7日	37	24	61	36	104
平成7年　2月　8日	34	22	56	35	71
平成7年　2月　9日	26	17	43	35	57
平成7年　2月10日	39	26	65	33	76
平成7年　2月11日	16	9	25	31	38
平成7年　2月12日	18	12	30	27	61
平成7年　2月13日	19	13	32	14	36
平成7年　2月14日	16	9	25	14	33
平成7年　2月15日	12	9	21	12	40
平成7年　2月16日	12	7	19	12	32
平成7年　2月17日	14	7	21	12	26
平成7年　2月18日	10	5	15	12	28
平成7年　2月19日	2	2	4	9	9
平成7年　2月20日	4	2	6	5	13
平成7年　2月21日	2	4	6	5	2
平成7年　2月22日	2	1	3	4	21
平成7年　2月23日	1	0	1	3	2
平成7年　2月24日	1	0	1	3	1
平成7年　2月25日	1	1	2	3	9
平成7年　2月26日	0	0	0	2	0
平成7年　2月27日	3	1	4	2	2
平成7年　2月28日	0	0	0	2	0
平成7年　3月　1日	1	1	2	2	6
平成7年　3月　2日	0	0	0	2	0
平成7年　3月　3日	0	0	0	2	0
平成7年　3月　4日	0	0	0	2	0
平成7年　3月　5日	0	0	0	2	0
平成7年　3月　6日	3	2	5	2	11
平成7年　3月　7日	0	0	0	1	0
平成7年　3月　8日	1	1	2	1	9
平成7年　3月　9日	0	0	0	1	0
平成7年　3月10日	1	1	2	1	7
平成7年　3月11日	0	0	0	1	0
平成7年　3月12日	0	0	0	1	0
平成7年　3月13日	1	1	2	1	4
平成7年　3月14日	0	0	0	1	0
平成7年　3月15日	1	1	2	1	5
合　計	1，034	624	1，658	1，080	3，787

【その他】　○事務局 …… 医師3名・事務職員3名　患者統計及び書類作成等
○学生ボランティア …… 若干名　薬品及び書類の搬送等
○薬剤師 …… 医薬品管理のため避難施設巡回
○1月23日～1月26日までの間に、医師により、西宮市内の全避難施設176ヶ所の調査を実施（調査のみの従事者は実績より除外）

(4)兵庫医科大学附属病院による救護体制

なお、兵庫医科大学は全学あげて救護体制をとり、１月24日には医師30名、看護婦16名が63か所の施設において合計209人に対処している。その後も連日、常駐の医療救護所あるいは巡回診療という救護体制がとられ、継続して積極的な救護活動が展開された。救護の対象者数は、1月24日から３月15日までに延べ3,787名、出務者の延べ人員は医師1,034名、看護婦624名であった。**（資料5-3-4）**

(5)兵庫県救護対策現地本部の活動

兵庫県被災地の阪神地区の７か所に救護対策現地本部を設置することとし、西宮市においては１月22日に安井小学校に現地本部が設置され、同時に診療活動も開始された**（表5-3-1）**。

診療活動は通常は医師１名、看護婦２名の体制で毎日一般診療が実施され、歯科診療は自衛隊の協力で１月24，25日の両日に行われている。自衛隊は２月１日より中央体育館駐車場へ歯科診療コンテナを設置して活動を開始したが、一般診療は３月末まで続けられた。その実績は、**表5-3-2** に示すとおりであるが、延べ出務者数は、医師75名、看護婦98名、その他428名で、対象者総数は1,344人となっている。

表5-3-1 兵庫県救護対策現地本部（西宮市安井小学校）の概要

兵庫県救護対策現地本部（西宮市安井小学校）の概要

１．主旨

被災県民に対して、緊急な生活、医療相談等の総合的な生活支援を行うため，現地本部を設置する。＜阪神地域に７カ所（西宮市１、芦屋市１、神戸市５）＞

２．設置年月日

平成７年１月２２日（日）,安井小学校１階小会議室及び校庭内テント

３,現地本部の機能

被災県民に対する総合的な生活支援を行うため、以下の機能を持つ。

（１）被災県民の苦情相談、要望聴取及びそれに対する対応
（２）被災県民の緊急軽易な要望、相談事項の即応
（３）被災県民の医療相談、診療施術
（４）避難所緊急パトロール隊の地区集結基地
（５）その他緊急対策についての県本部、市本部への手配要請

表5-3-2　兵庫県救護対策現地本部救護センター（安井小学校）の利用状況

月	出務者の内訳						受診者とその内訳				
			歯科	歯科		その		年齢区分			年齢
日	医師	看護婦	医師	助手	薬剤師	他	総数	0-14	15-64	65-	不明
1月											
22	1	0	0	0	0	3	35				35
23	1	2	0	0	0	3	63				63
24	11	4	1	1	0	6	65				65
25	1	4	1	1	0	6	52				52
26	1	2	0	0	0	7	58				58
27	1	2	1	0	0	6	68				68
28	1	2	0	0	2	6	53				53
29	1	3	1	1	1	6	54				54
30	1	2	0	0	1	7	52				52
31	1	2	1	1	0	6	53				53
2月											
1	1	2	0	0	0	7	35				35
2	1	2	0	0	0	6	47				47
3	1	2	0	0	0	9	30				30
4	1	1	0	0	0	7	16				16
5	1	1	0	0	0	6	23				23
6	1	1	0	0	0	6	22				22
7	1	1	0	0	0	6	13				13
8	1	1	0	0	0	6	16				16
9	1	1	0	0	0	7	22				22
10	1	1	0	0	0	8	15				15
11	1	3	0	0	0	7	23				23
12	1	1	0	0	0	8	16				16
13	1	1	0	0	0	6	16				16
14	1	1	0	0	0	6	16				16
15	1	2	0	0	0	6	14				14
16	0	0	0	0	0	7	15				15
17	1	2	0	0	0	6	10				10
18	1	2	0	0	0	6	14				14
19	1	2	0	0	0	7	5				5
20	1	2	0	0	0	6	16				16
21	1	2	0	0	0	8	20	3	10	7	0
22	1	2	0	0	0	6	12	0	8	4	0
23	1	2	0	0	0	6	8	2	5	1	0
24	1	2	0	0	0	6	7	0	1	5	1
25	1	1	0	0	0	8	12	1	8	3	0
26	1	1	0	0	0	7	6	0	6	0	0
27	1	1	0	0	0	6	14	2	10	2	0
28	1	1	0	0	0	8	9	1	5	3	0

月	出務者の内訳					受診者とその内訳				
							年齢区分			年齢
日	医師	看護婦	歯科医師	歯科助手	その他	総数	0-14	15-64	65-	不明
3月										
1	1	1	0	0	7	11	4	5	2	0
2	1	1	0	0	7	11	2	7	2	0
3	1	1	0	0	7	10	5	1	4	0
4	1	2	0	0	7	10	3	3	4	0
5	1	2	0	0	7	16	1	11	4	0
6	1	1	0	0	6	12	2	5	5	0
7	1	1	0	0	8	9	0	3	3	3
8	1	1	0	0	7	9	2	2	4	1
9	1	1	0	0	7	19	6	5	8	0
10	1	1	0	0	5	23	1	9	11	2
11	1	1	0	0	5					
12	1	1	0	0	7	8	2	2	4	0
13	1	1	0	0	6	6	0	4	2	0
14	1	1	0	0	7	19	1	8	9	1
15	1	1	0	0	5	14	3	4	7	0
16	1	1	0	0	5	5	1	2	2	0
17	1	1	0	0	5	5	0	2	3	0
18	1	1	0	0	5	7	0	2	5	0
19	1	1	0	0	5	5	0	2	3	0
20	1	1	0	0	5	11	0	3	8	0
21	1	1	0	0	5	7	0	5	2	0
22	1	1	0	0	5	11	1	5	5	0
23	1	1	0	0	5	8	0	3	5	0
24	1	1	0	0	5	9	1	2	6	0
25	1	2	0	0	5	8	0	3	5	0
26	1	1	0	0	5	11	0	3	8	0
27	1	1	0	0	5	5	0	0	4	1
28	1	1	0	0	5	13	0	3	10	0
29	1	1	0	0	5	8	0	3	5	0
30	1	1	0	0	5	10	0	3	6	1
31	1	1	0	0	5	19	1	10	8	0

(6)その他の医療救護班の活動

上記以外の医療救護活動は、日本赤十字社、自治医科大学その他多くのボランティア医療グループによって進められた。３月末までの延べ出務者数は、西宮市に報告のあった活動だけでも、医師1,080名、看護婦1,119名、薬剤師181名、その他163名の総勢2,543人日で、対象者総数は11,008人であった。これらの活動に参加した団体名を**表5-3-3** に示すが、この他、個人の医療従事者としてのボランティア参加も多数得られた。

表5-3-4 には西宮市に報告のあった活動内容をもとに、医療救護班の出務者数および利用者数の推移を示す。**表5-3-5** は救護グループ別にみた医療救護班の利用者数の推移を、また**表5-3-6** には避難所別にみた医療救護班の利用者数の推移を示す。
（兵庫医科大学の活動については、市に報告例のみを算定）

表　5-3-3　西宮市における医療救護活動への参加団体一覧

救護医療チームの派遣機関

愛知県医師会
青垣町国保診療所
朝日生命医療救護班
石橋クリニック
上が原病院
小笠原診療所
大石クリニック
大阪府保健医師会
回生病院
関西鍼灸短期大学
関西労災病院
京都女子大
京都府
近畿大学医学部
県立西宮病院
県市保健チーム
厚生省国立病院
神戸大学医学部
高知県立中央病院
国立刀根山病院
国土庁医療班
済田診療所
自衛隊
静岡県立総合病院
自治医科大学
大師はり灸病院
大同生命医療班
高橋内科循環器クリニック
刀根山病院
奈良保健チーム
西宮保健所
西宮市医師会
西宮MC
日本医師会
日本赤十字社各支部
日本ビワ温圧療法
兵庫医科大学
兵庫県医務課
兵庫県柔道接骨師会
兵庫難病等支援センター
兵庫県医師会
兵庫県立塚口病院
兵庫県立西宮病院
広川内科
広川クリニック
福山市医師会
福田胃腸内科病院
藤田保健衛生大学
明治生命医療班
保田区救援チーム

関西NGOネットワーク協力団体

会津中央病院
愛知国際病院
アジア保健研究所
大阪YMCA国際社会奉仕センター
国際保健協力市民の会
新生病院（長野県）
聖路加看護大学
東芝病院
東芝林間病院
とちの木病院
日本キリスト教海外医療協力会
日本薬剤師会
兵庫県看護協会
兵庫県薬剤師会
福島県立医科大学
山口昭和病院
淀川キリスト教病院

（団体名のみ：50音順）

(7)アメリカスポーケン市からの医療救援物資

アメリカ合衆国スポーケン市より救援医療物資の提供があり、西宮市の健康管理課を窓口として必要な活動に供与された。その数量は表5-3-7に示すとおり、総数2万点以上、推計総額約1000万ドル（約10億円）にのぼる。

表5-3-7　アメリカ合衆国スポーケン市からの救援医療物資

注射器類	1,799点	外科用器具	714点
採血輸液用器具	1,344点	外科用消耗品	955点
挿管用器具	592点	ガウン、手袋	7,357点
固定ギプス,シーネ類	605点	メス、ピンセット等	226点
聴診器、血圧計等	169点	ガーゼ包帯類	4,027点
尿道カテーテル、バッグ	46点	サポーター、テープ類	1,263点
舌圧子等雑品	1,027点	洗浄、消毒液	1,648点
テステープ、コップ等	522点	乳剤、軟膏	201点
総計	22,495点	推定総　1,000万ドル（約10億円）	

(8)医薬品の取扱い

被災地における医療や救護活動、避難所における薬品の配布に関連して、厚生省薬務局からの通達にもとづき、市、保健所へ別紙のとおり、周知がはかられた。供給された医薬品の市内における取扱いについては、仕分け、在庫管理を保健所が行い、受発注は市健康管理課が担当した。（資料5-3-5～9）

表5-3-4　医療救護班の出務者数および利用者数の推移

月日	医療救護班の出務者					利用者					
	医師	看護婦	薬剤師	理学療法士 作業療法士	その他	総数	0-14 (歳)	15-64 (歳)	65- (歳)	不明	診療実施 避難所数
1月21日	4	3	0	0	2	93	7	65	20	1	2
22日	12	10	0	0	2	130	9	96	25	0	3
23日	12	17	0	0	3	259	31	152	44	32	5
24日 *	7	11	0	0	3	414	18	120	44	232	27
25日 **	10	12	0	0	2	582	23	118	50	391	42
26日	11	12	0	0	2	262	15	120	32	95	7
27日	65	54	1	0	4	599	61	332	129	78	38
28日	45	36	3	0	5	592	20	124	83	365	31
29日	30	26	1	0	5	444	29	195	94	126	22
30日	55	43	1	0	10	518	24	214	75	181	36
31日	65	48	4	1	7	435	39	227	107	62	38
1月小計	316	272	10	1	45	4328	276	1763	703	1563	251
2月1日	53	44	3	0	6	409	41	260	100	8	35
2日	47	42	4	0	10	393	26	221	143	0	37
3日	57	41	4	0	7	317	23	206	81	0	37
4日	33	23	2	0	0	247	16	185	57	5	25
5日	38	45	4	0	4	374	25	173	100	0	28
6日	41	47	10	0	2	304	33	180	73	0	31
7日	52	58	10	0	6	314	38	168	68	4	46
8日	30	34	10	0	0	271	32	169	70	0	21
9日	39	43	8	0	0	277	40	169	55	13	25
10日	40	46	6	0	2	330	41	186	79	24	30
11日	28	44	13	0	0	262	34	165	51	12	27
12日	19	20	7	0	0	252	33	149	46	24	16
13日	21	16	5	0	0	218	29	140	49	0	15
14日	22	19	5	0	0	217	20	153	44	0	16
15日	22	26	6	0	0	185	30	119	25	11	19
16日	23	26	6	0	0	251	45	126	42	38	21
17日	20	20	7	0	0	175	23	109	33	10	16
18日	19	16	4	0	5	164	31	99	34	0	14
19日	10	16	7	0	0	178	29	107	40	2	10
20日	12	13	5	0	2	158	30	106	21	1	11
21日	9	12	3	0	3	113	24	68	21	0	7
22日	11	14	6	0	0	127	20	80	24	3	12
23日	7	14	6	0	0	110	22	57	31	0	7
24日	7	11	5	0	0	78	12	44	22	0	6
25日	7	10	9	0	2	103	10	75	16	2	7
26日	8	12	5	0	2	97	21	58	18	0	6
27日	6	14	5	0	0	69	17	43	9	0	6
28日	6	11	6	0	0	78	13	45	17	3	5
2月小計	687	737	171	0	51	6071	758	3660	1369	160	536

*　24日の22件、25日の36件の出務者数については未確認

**　未確認あり

月日	医療救護班の出務者					利用者					診療実施避難所数
	医師	看護婦	薬剤師	理学療法士 作業療法士	その他	総数	0-14 (歳)	15-64 (歳)	65- (歳)	不明	
3月1日	5	6	0	0	3	32	8	13	6	5	5
2日	4	5	0	0	4	20	1	5	5	9	3
3日	3	2	0	0	2	15	8	2	5	0	2
4日	3	4	0	0	4	14	2	4	1	7	2
5日	3	6	0	0	5	31	9	11	11	0	3
6日	4	4	0	0	2	49	7	15	16	11	4
7日	2	9	0	0	8	38	5	5	4	24	4
8日	1	3	0	0	4	10	3	5	1	1	2
9日	5	9	0	0	5	44	11	11	7	15	6
10日	3	8	0	0	3	23	6	6	5	6	4
11日	3	6	0	0	6	41	10	26	5	0	3
12日	3	6	0	0	6	36	5	21	9	1	3
13日	2	4	0	0	4	14	8	6	0	0	2
14日	2	4	0	0	3	15	5	6	4	0	2
15日	2	3	0	0	1	13	1	8	4	0	2
16日	5	2	0	0	2	12	3	4	5	0	3
17日	3	2	0	0	1	13	0	0	3	10	3
18日	5	14	0	0	2	50	0	6	24	20	6
19日	2	4	0	0	1	20	0	20	0	0	2
20日	4	4	0	0	0	22	6	10	6	0	4
22日	2	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2
23日	2	0	0	0	0	4	2	2	0	0	2
24日	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2
25日	2	0	0	0	0	6	0	6	0	0	2
27日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
28日	1	1	0	0	0	11	0	2	1	8	2
29日	1	0	0	0	0	2	0	0	0	2	1
30日	1	4	0	0	0	24	0	3	1	20	2
31日	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
3月小計	77	110	0	0	66	564	102	197	126	139	80
総計	1080	1119	181	1	162 0	10963	1136	5620	2198	1862	867

表5-3-5　救護グループ別にみた医療救護班の利用者数の推移

救護班名	1月 21日	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2月 1日	2	3	4	5	6
NGOボランティア								8		3	72						
大阪府保健医師会							0										
岩手県支部												48					
大山																44	
小笠原診療所																	1
上が原病院																	
奥田																	
青垣町																	
大森																	
大石クリニック																	
朝日生命医療救護班		0	25	35	60	50	50	60	65	45	40						
石橋クリニック									3								
関西NGO	50	58	85	55	48	43	31	32	x		15		17	19	29	10	
木村																19	
京都女子大																	x
回生病院																	
京都府																	
関西鍼灸短期大学																	
風川																	
県立西宮病院																	
県市保健チーム							7										
関西労災病院							23										
自治医大								47	38	45	39	36	26	47	45		17
白川												2					
坂本														8			
済田診療所																	
大師はり灸病院													6				
高橋内科循環器クリニック									15	10	5		8	4	6	4	6
大同生命																	
刀根山病院										27							
日赤								3	14	114	85	36	97	42	36	47	63
西脇												5					
仁科														1			
西宮市医師会										8							
日本ピワ温圧療法																	
西宮保健所											6						
奈良保健チーム							3										
西宮MC							26										
福山医師会	43	72	149	133	144	157	102	41				79					
兵庫医大				191	328		223	203	143	151	150	178	210	184	112	119	95
兵庫県柔道接骨師会					2	5	5				x	3					
広川内科													6			7	25
拍井																14	
藤田保健衛生大学																	
兵庫難病等支援センター																	
福田胃腸内科病院						7		1									
広川クリニック											1						
明治生命												22	16	12	19	22	19
保田区救援チーム							0	10									
不明							129	187	166	115	22					88	78
計（人）	93	130	259	414	582	262	599	592	444	518	435	409	386	317	247	374	304

7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
						3		4				1	1		2		1			0	
												23	5		7						
102	1	2	3	9	16			2	3												
7	25	33		5								5	2					2			
23	19	29	25 2	10	28	16	12	11	2												
				x							10										
2	5	2 17	4 27	4 13	3	3	3	3	6	5	1		14	1	1						
68	31		102	64	72	93	73	42	99	54	82	76	55	51	35	37	30	37	37	38	35
							8	4	12	9	5	1	3 x	5	4 x	6	4	5	0	2	
89	72	100	60	60	38	27	40	47	54	26	12	9	14	6	21	12		9	8		7
x			14	x				0		13						7				2	
4	16	13	14	15 x																	
19	26																				
	76	81	79	82	95	76	81	69	75	68	54	63	64	50	52	48	43	50	52	27	36
314	271	277	330	262	252	218	217	182	251	175	164	178	158	113	122	110	78	103	97	69	78

救護班名	3月 1日	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
NGOボランティア															
大阪府保健医師会															
岩手県支部															
大山															
小笠原診療所															
上が原病院	0		0												
奥田															
青垣町															
大森															
大石クリニック															
朝日生命医療救護班															
石橋クリニック															
関西NGO															
木村															
京都女子大															
回生病院															
京都府															
関西鍼灸短期大学															
風川															
県立西宮病院		1				10			9						
県市保健チーム															
関西労災病院															
自治医大															
白川															
坂本															
済田診療所															
大師はり灸病院															
高橋内科循環器クリニック															
大同生命															
刀根山病院															
日赤	21	19	15	14	32	28	14	9	28	16	41	36	14	15	8
西脇															
仁科															
西宮市医師会	5														
日本ピワ温圧療法															
西宮保健所															
奈良保健チーム															
西宮MC															
福山医師会															
兵庫医大	6					11				7					5
兵庫県柔道接骨師会															
広川内科							24	1	1	0					
拍井															
藤田保健衛生大学															
兵庫難病等支援センター															
福田胃腸内科病院															
広川クリニック															
明治生命															
保田区救援チーム															
不明															
計（人）	32	20	15	14	32	49	38	10	38	23	41	36	14	15	13

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	計(人)
																83
																0
																48
																44
																1
																11
																1
																23
																5
																7
																430
																3
																630
																19
																0
																7
																58
																12
																2
																20
																7
																23
																515
																4
																8
																10
																6
																115
																57
																27
6	13	22	10	10												2119
																5
																1
3	0	14		1		1	2	1	3							106
																0
																6
																3
																26
																920
																3027
																15
																100
																14
																62
																0
																8
												8		20		29
																155
																10
											0	3	2	4	1	2116
9	13	36	10	11	0	1	2	1	3	0	0	11	2	24	1	

表5-3-6　避難所別にみた医療救護班の利用者数の推移

避難所名	1月 21日	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2月 1日	2	3	4	5
西宮福音協会																
西宮市職員会館																
丸紅独身寮							0									
浜脇小学校				11	16		8	3	12	7		10				6
香櫨園小学校	43	72	65	72	67	81	102	116		47	13	16	15	24	32	20
安井小学校																
夙川小学校										23	14	18	7	20	19	14
北夙川小学校								47	38	22	25	18	19	27	26	
苦楽園小学校								0				0	0			
大社小学校							23			27						
神原小学校					3		11	4			6	3		7	6	
甲陽園小学校					3		5	1		5	5	2	8	6	3	
広田小学校			44	25	52	38	9					15		10	16	12
平木小学校	50	58	85	55	48	43	27	29		15	15	3	17	15		
甲東小学校			40	36	50	43	24				18	10		9	3	17
上ヶ原小学校					17			12			9		15	1		
上ヶ原南小学校				12	6		11			6						
段上小学校					1				5	4	1	5	3	2	4	5
段上西小学校					6		13	2	10	15	20	11	8	2	8	2
樋ノ口小学校										44	38	48	41	33	36	44
高木小学校				20	19					56	47	36	53			47
瓦木小学校				4	14		22	8	11	6	24	38			12	23
深津小学校				9	5		11	7	4							
瓦林小学校				1	3											
上甲子園小学校					6		7	7	6	9		5	0	3	9	7
津門小学校							32	8	18	11	11	12	17		9	11
春風小学校										1	3	2	4			
今津小学校										2		1				
用海小学校				3	11					6		7				3
南甲子園小学校										0						
生瀬小学校										14						
浜脇中学校							3	3			2		0	0	2	
大社中学校							8	8		4	4	5	5	4	1	
上ヶ原中学校							2	3						4		
平木中学校				19	14		15	30	46	13		10	10	3	30	6
瓦木中学校				13	8		8	6		3	1	3	4	1	2	
深津中学校							1				3			0		
上甲子園中学校							2			2			2			
今津中学校								2		3	2	2	1	2	2	2
学文中学校																
県立西宮高等学校				10	8				4	1	2	3	2	2	0	
市立西宮西高等学校				11	8						2	4	1			
母子寮					38											
一里山荘				28			28				21			7		
津門保育所											1	1			2	
総合福祉センター													6	8		19
勤労福祉会館					16						6		1	2	6	

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
	x																					
										2												
7		13	4	6	8		8	5	3	3	1	0	4	1	0	4						
27	32	17	26	19	20	16	6	10	8	12			5	13	6	17	12		9	8		7
	2		14	12		21	8		8	5	6	5	1	3	3	5	1	4	3	0	2	3
17	13	19	15	13	10	7	8	12	4	5		0		5		0						
1	3	4	6	5			1	0	3	3	3	0										
1	0	4	4	4			1	5	6	4	3	3										
7	15	8	10	6	9		5	4	8	7	4	6										
						16																
5	23		8	7	6		6	8	3	4	3	10	1	2	2	4	5	4	2	3		
	0		2			0	3		4					1		2		1			0	
3	5	5	2	0	0																	
2	4	4	0			0				2												
40	37	25	33	43	64	46	63	41	42	37	30	51	52	39	51	23	26	17	24	25	24	25
28	31	31		59		26	30	32		62	24	31	24	16		12	11	13	13	12	14	10
6	4	14	15	4												7						
5		3																				
9	5	7	14	6	21	11		9	15	11	9		12									
1				2																		
1																						
	5	3	9	5	7																	
0																						
2	3		0	3	0																	
4	2	6	3	2			4	3	3	4	4	3										
10	89	1			x	5	2	6	1	10	2	x										
	1			0																		
				0																		
				0																		
2	2	0		x																		
				x																		
	3			4																		
x					x																	

11

避難所名	1月 21日	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2月 1日	2	3	4	5
西宮YMCA		0	25	35	60	50	50	60	65	45	40	22	16	12	19	22
瓦木支所					8											
青木改良住宅集会所												5		3		5
森下町２５、２７集会所					3											
津門西口公園集会所					2					2						
日野町集会所													3	4		
田近野町7番4号棟集会所							11	3	14					5		
苦楽園市民館																
甲陽園市民館														1		
中市民館																1
安井市民館																
甲子園口市民館					5											
網引市民館				3												
市庭市民館					1											
今津南市民館				2												
大筒市民館				1												
夙川西市民館					8		8		4							
瓦林公園センター				5												
高木センター								3			x					
上ヶ原公民館						7		1								
越木岩公民館					7		0	7		6	5	7	5	1		
春風公民館				15	17		20	11	13	10	5	5	10	0		7
高木公民館				6	5											
夙川公民館					5											
中央体育館							129	187	164	93	72	79	92	97		88
中央体育館分館					4		0	18	5	x	1		7	1		8
甲武体育館							3						8			
北夙川体育館					9		6	2	8		6	3	4	1		
こばと幼稚園					1					3	1		2			
浜脇公民館																
中央公民館					3											
神社会館				9	24											
ふじっこ会館					1											
阪神市場西ミサワモデルハウス									15	10	5					
競輪事業団研修センター				5				4			7					
阪神競馬場				3												
仁川カトリック教会（学院）											x					
厚生事業会館				1												
西宮警察署																3
上ヶ原４番町市住集会所																2
不明									2	3						
計（人）	93	152	282	438	607	288	626	620	473	548	466	409	388	320	251	379

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
19	19	26	17	27	13																	
					6	3					0	x										
	0																					
	x																					
				2					2													
1																						
					2																	
			10					3														
78		76	81	79	82	95	70	75	69	72	68	54	63	64	50	52	48	39	50	49	27	33
26	1		0	17	5	2			0		13		5	x		x	7		2		2	
			0			1																
	x																					
	x																					
				1						1												
	x																					
2	0							1														
	5	5	4	4	9	3	3	3	6	7	5	1		14	1	1						
310	311	279	286	340	273	264	231	231	200	267	192	182	197	178	134	149	133	102	128	123	96	106

避難所名	3月1日	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
西宮福音協会																	
西宮市職員会館																	
丸紅独身寮																	
浜脇小学校									4	7							
香櫨園小学校	6					11									5		
安井小学校	0		0														
夙川小学校																	
北夙川小学校																	
苦楽園小学校																	
大社小学校																	
神原小学校																	
甲陽園小学校																	
広田小学校																	
平木小学校																	
甲東小学校																	
上ヶ原小学校																	
上ヶ原南小学校																	
段上小学校																	
段上西小学校																	
樋ノ口小学校	16	9	15	7	9	13	5	9	14	10	6	13	7	8	8		
高木小学校	5	10		7	10	15	9		6		7	12	7	7		3	0
瓦木小学校	5																
深津小学校																	
瓦林小学校																	
上甲子園小学校																	
津門小学校																	
春風小学校																	
今津小学校																	
用海小学校																	
南甲子園小学校																	
生瀬小学校																	
浜脇中学校																	
大社中学校																	
上ヶ原中学校																	
平木中学校																	
瓦木中学校																	
深津中学校																	
上甲子園中学校																	
今津中学校																	
学文中学校																	
県立西宮高等学校																	
市立西宮西高等学校																	
母子寮																	
一里山荘																	
津門保育所																	
総合福祉センター																	
勤労福祉会館																	

18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	計(人)
														0
														2
														0
														151
														1077
														0
														221
														350
														0
														50
														69
														73
														310
														476
														356
														67
														35
														45
														109
12														1303
2		1		1	2	1	3		0	3	2	4	1	875
														217
														36
														4
														67
														258
														13
														4
														59
														0
														14
														18
														77
														9
														322
														50
														4
														6
														20
														0
														32
														26
														38
														91
														4
														33
														42

避難所名	3月1日	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
西宮YMCA																	
瓦木支所																	
青木改良住宅集会所																	
森下町２５、２７集会所																	
津門西口公園集会所																	
日野町集会所																	
田近野町7番4号棟集会所																	
苦楽園市民館																	
甲陽園市民館																	
中市民館		1															
安井市民館						10											
甲子園口市民館																	
網引市民館																	
市庭市民館																	
今津南市民館																	
大筒市民館																	
夙川西市民館																	
瓦林公園センター																	
高木センター																	
上ヶ原公民館																	
越木岩公民館																	
春風公民館																	
高木公民館																	
夙川公民館																	
中央体育館					12				14	6	28	11				6	13
中央体育館分館							24	1	1	0							
甲武体育館																	
北夙川体育館																	
こばと幼稚園																	
浜脇公民館																	
中央公民館																	
神社会館																	
ふじっこ会館																	
阪神市場西ミサワモデルハウス																	
競輪事業団研修センター																	
阪神競馬場																	
仁川カトリック教会（学院）																	
厚生事業会館																	
西宮警察署																	
上ヶ原４番町市住集会所																	
不明																	
計（人）	32	22	18	18	36	55	45	18	48	33	52	48	27	29	28	25	30

18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	計(人)
														642
														8
														22
														3
														4
														7
														33
														0
														1
														6
														10
														5
														3
														1
														2
														1
														20
														6
														3
														10
														38
														126
														11
														5
22	10	10												2507
										8		20		178
														11
														39
														7
														1
														3
														33
														1
														30
														16
														3
														0
														1
														5
														2
														3
														76
54	29	31	21	23	25	25	28	26	27	39	31	54	32	

資料5-3-5 被災地における救護センター等への医薬品の供給について（厚生省薬務局）

事務　連絡
平成７年１月２４日

兵庫県保健環境部薬務課殿

厚生省薬務局経済課

被災地における救護センター等への医薬品の供給について

被災地からの要請を受けて、緊急援助物資として関係団体等の協力により供給された医薬品については、県下各市の需要を把握の上、適正な配分に努めるとともにその取扱につき下記の点に留意されたい。

記

1　医療用医薬品について

被災地からの要請に応じて、関係団体等から供給された医療用医薬品については、兵庫県、神戸市によりサンボーホールに集積され、緊急時の対応用に分配されることと聞いていますが、この医療用医薬品の取扱いについては、以下の点に留意されて、その分配等について遺漏なきよう周知徹底されたいこと。

① 援助物資の医療用医薬品については、救護センター、保健所等臨時に医療を提供するために設けられた施設等において必要とされた場合に配布するものであること。

② 医療機関で用いられる医療用医薬品については、卸売業者が、その要請に対応しているところであり、また、現時点においては十分供給できる見通しであるので、援助物資の医療用医薬品については、卸売業者に在庫がないなど緊急の場合を除いては提供をしないこと。

③ サンボーホール集積所、救護センター、避難所等には可能な限り薬剤師会の協力を得て薬剤師の配置を行い、医薬品の管理等を行うとともに、避難所等におられる方々に対する相談等に応じることができるよう努めること。

2　一般用医薬品について

被災地からの要請に応じて関係団体等から供給された一般用医薬品については、現在随時兵庫県を通じて各市に配布されていると聞いておりますが、各市に対しても、以下の点に留意されて、一般用医薬品の分配等について遺漏なきよう周知徹底されたいこと。

①　一般用医薬品は健康に関わる物資であることから、避難所等において一般用医薬品を配布する場合には、薬剤師会等の協力を得て被災者の健康の管理に万全の注意を払われるよう努められたいこと。

②　救助物資は関係団体等の善意による貴重な物資であることから、避難所等におられる方々の必要に応じて適切に行き渡るよう、各人への配分数量にご配慮いただきたいこと。

資料5-3-6 被災地における救護センター等への医薬品の供給について4（兵庫県薬務局）

事　務　連　絡
平成７年１月２４日

関係保健所
関係市町　　御中
㈳兵庫県薬剤師会

兵庫県保健環境部薬務課

被災地における救護センター等への医薬品の供給について

このことについて、平成７年１月２４日付事務連絡で厚生省薬務局経済課から別添のとおり通知がありましたので、お知らせします。
つきましては、救護センター、避難所等への医薬品の配布について御協力願います。

資料5-3-7 医薬品の取扱いについて

H7. 1. 26.

医薬品の取扱について

〔医療用医薬品〕

1　医療医薬品と一般用医薬品との仕分け　　西宮保健所

2　在庫管理　　西宮保健所

3　保管場所　　西宮保健所　（但し、輸液等スペースを多く取るものは、西宮市健康管理課）

4　受注方法　　各救護センター　→西宮市健康管理課（発注表により各救護所ごとにまとめる）　→西宮保健所がサンボーホールに発注する

5　発注方法　　在庫管理により不足している医薬品及び受注を受けた医薬品につき、サンボーホールに午前１０時、午後２時に発注し、翌日の朝、西宮保健所が取りに行き、各救護所ごとに仕分けしたものを、西宮市健康管理課に届ける。

〔一般用医薬品〕

1　一般用医薬品と他のものとの仕分け　　西宮保健所

2　在庫・保管管理　　西宮市健康管理課（西宮保健所）

3　保管場所　　西宮市健康管理課

4　受注方法　　各救護センター・避難所等　→西宮市健康管理課（発注表により各救護所等ごとにまとめる）　→西宮保健所が消防学校に発注する

5　発注方法　　在庫管理により不足している医薬品及び受注を受けた医薬品につき、消防学校に午前１０時に発注し、当日西宮保健所が取りに行き、各救護所等ごとに仕分けしたものを、西宮市健康管理課に届ける。

資料5-3-8 医薬品について（西宮市の掲示）

NO.4

医薬品について

避難場所にて、必要とされるクスリ等は、とりまとめて次の所に、ご連絡をください。

薬の種類、数量には、限りがありますが、できる限り努力致します。

記

● 一般大衆薬　（ 風邪　胃腸薬等 ）

電　話　３５－３３０７
ＦＡＸ　２６－０６１６

● 医　療　用　（医師の指示によるもの）

電　話　３５－３３０**２**
ＦＡＸ　２６－０６１６

西宮市　健康管理課

資料5-3-9 医薬品発注票

医療用・一般用医薬品発注票

発注日時　平成7年　　月　　日　　時　　分

（一般用：消防学校
医療用：サンポーホール）

西宮市健康管理課（35－3307）
兵庫県西宮保健所（26－3666）

施設名				
電話番号				
担当者				
品名	分量	剤形	数量	備考（代替医薬品）
	mg	cap 錠 顆粒 注 坐 ｼﾛｯﾌﾟ		
	mg	cap 錠 顆粒 注 坐 ｼﾛｯﾌﾟ		
	mg	cap 錠 顆粒 注 坐 ｼﾛｯﾌﾟ		
	mg	cap 錠 顆粒 注 坐 ｼﾛｯﾌﾟ		
	mg	cap 錠 顆粒 注 坐 ｼﾛｯﾌﾟ		
	mg	cap 錠 顆粒 注 坐 ｼﾛｯﾌﾟ		
	mg	cap 錠 顆粒 注 坐 ｼﾛｯﾌﾟ		
	mg	cap 錠 顆粒 注 坐 ｼﾛｯﾌﾟ		
	mg	cap 錠 顆粒 注 坐 ｼﾛｯﾌﾟ		
	mg	cap 錠 顆粒 注 坐 ｼﾛｯﾌﾟ		
処理欄	注文受者			
配達者名		受取者名		
配達日時	月　　日　　時			

4）保健婦による巡回保健活動

(1)巡回健康相談の実施

避難所を中心とする訪問により健康相談、保健指導を進める「保健チーム」の活動は、震災直後の西宮市における公衆衛生活動の特徴を最もよく示すものであるといえる。現場からの直接の要請に応える医療救護活動とは別個に、健康に関する課題を予測し、また、顕在化されないニーズに応える活動が、保健所のリーダーシップのもとに、救援の保健スタッフの人材を活用して進められたことの意義は大きい。

その実施にあたっては西宮保健所、西宮市健康管理課の保健婦が中心となり、県内外の保健所、市町、大学、病院等からの持続的な支援を得てチームが毎日編成された。巡回活動においては、地域の実情に詳しい市あるいは保健所の保健婦が巡回チームのリーダーにあたり、医療救護班との連絡調整も積極的に図られた。チームは通常一人の医師（主として他府県の保健所勤務の医師）と数人の保健婦を１チームとして、毎日数チームが活動に従事した。

巡回健康相談の実施にあたっては1月20日付けでその実施要領（**資料5-4-1**）が作成され、巡回健康相談の内容は所定の用紙（**資料5-4-2**）に対象者ごとに記載され、西宮市健康管理課にて保管、整理された。相談票の作成にあたっては、１年前に震災活動を経験している北海道江差保健所の「南西沖地震保健活動事例報告書」および同様に被災地の活動を記録した島原保健所の「雲仙普賢岳災害活動記録」が参考とされた。

巡回訪問は主に、被災地救援活動のために急遽購入された自転車を活用して行われ、そのため巡回保健チームは「銀輪部隊」とも呼ばれた。

避難所への巡回にあたっては「保健所からきました」がチームの第一声となり、避難所の責任者と主旨確認の上で、生活の場を訪問して保健指導が行われた。同様に巡回している医療救護班と重複する場合もしばしばあったが、それぞれ一方は診療、一方は保健指導という目的を明確にすることにより、大きな混乱はなかった。

また、毎日の巡回開始の前と巡回後には、保健所において全員が参加して連絡、報告のためのミーティングが開かれた。ミーティングには保健所長あるいはその代行として応援に来所している他地区の保健所長が参加し、保健指導課長、保健婦長が進行した。（**資料5-4-3～6**）

西宮保健所には医師が所長一人であるため、県下の明石保健所、竜野保健所、社保健所、川西保健所からそれぞれ所長が交代で所長業務の応援に来所された。

また、保健所における保健活動への派遣は、厚生省保健指導室、兵庫県保健環境部、近畿保健所長会、北海道庁、静岡県庁、京都府保健環境部、大阪府環境保健部および福祉部、大阪市環境保健局、堺市環境保健部、香川県庁、大阪大学医学部の公衆衛生学教室および精神科教室、兵庫医科大学リハビリテーション教室および理学療法科、神戸女学院大学人間科学部、ならびに各地の医師会、歯科医師会、歯科衛生士会、栄養士会などの協力を得た。

資料5-4-1 巡回健康相談実施要領

阪神大震災被災地域（西宮市）における
巡回健康相談実施要領

平成７年１月２０日

１　目的

阪神大震災により、災害を受け避難されている地域住民を対象に、関係機関の協力のもと、避難所を巡回訪問し、保健指導により、身体的、精神的保健の保持回後を図るとともに、環境改善を図る。

２　実施主体

兵庫県西宮保健所、西宮市健康管理課

３　支援

全国の保健所、大学、医療機関、ボランティア等

４　実施機関

平成７年１月２０日～当分の間

５　実施方法

（１）西宮保健所及び西宮市健康管理課は、全国の保健所等の協力を得て、保健チームを編成し、避難所を巡回し、健康相談を行う。

（２）巡回時間　午前１０時～午後４時
（緊急夜間対応は、随時）

（３）巡回健康相談により、医療、福祉、専門チーム等に連絡が必要な場合は協力依頼する。

（４）巡回健康相談後、毎日ミーティングを行い、ケースの適切な処遇及び今後の行政対応について検討する。

（５）巡回健康相談の結果は、兵庫県保健環境部及び西宮市災害対策本部に報告する。

資料5-4-2 巡回健康相談において用いられた健康相談票

健康相談票

（　　）避難所　相談日　　月　　日　サイン（　　）

住　所	町	既往歴
氏　名		治療　　有　　無
年　齢	歳	医療機関名（　　）

病　状

1　痛み　　有　　無　　部位（　　）
2　発熱　　有　　無
3　かぜ症状　有　　無
4　胃腸症状　有　　無
5　食欲　　有　　無
6　外傷　　有　　無
7　かめるか　良　　不良　義歯がない
　　痛みがひどい

（メンタル）

1　夜　ねむれない
2　気分がすぐれない
3　普段よりスッキリしない
4　落ちつかず、じっとしてられない
5　気分が沈みがちでゆううつ
6　何事でもやる気がしない
7　普段より疲れやすい

一番必要なもの（生活環境についての訴え）　○をつける

1　水　　2　食事　　3　衣服　　4　暖房　　5　トイレ　　6　風呂
7　換気　　8　臭気　　9　ゴミ　　10　ベット　　11　騒音　　12　虫
13　その他（　　）

診　察

BP　　～　　mmHg
kT　　℃
P　　／分

医師名（　　）

処置・対応

資料5-4-3 巡回健康相談配置表[2月4日]

巡回健康相談　配置表

◎はチームリーダー

H7年2月4日（土曜日）

グループ	ブロック	医師	保健婦 大阪府HC	保健婦 兵庫県HC	保健婦 静岡県HC 静岡市町	保健婦 西宮市	OT PT	臨床心理士	移動方法	巡回箇所数
8	甲東 上ケ原	里田（大阪大学）	平塚（京都府向陽HC）	矢田（豊岡市）	鶴庭（静岡県熱海HC）	◎松原	星栗PT（芦川西HP）	北村（神戸女学院）	車（芦ケ下）7人	
9	段上西 段上 樋ノ口	杉山（西宮市）	木村（大阪府松原HC）	方風（城崎町T）	平松（大阪府堺市） 藤森秀利（静岡県静岡市）	◎奥浦	ヤケオ PT（伊丹ケアーハイツ）	高久保（神戸女学院）	自転車 8人	
1	香櫨園 浜脇 用海	佐藤（大阪府富田HC）	奥井（大阪府平尾HC）	前田（日高町T）	田代（大阪府堺市）	◎風内	下之園 PT（県立塚口HP）	川端啓之（武庫川女大）	自転車 7人	
2	今津 津門 春風 上甲	伊藤（大阪府保予課）	田中（大阪府平尾HC）		稲村（静岡県清水市）	◎寺尾	大津 PT（協立温泉HP）		自転車 5人	
3	鳴尾 甲子園口	福島（大阪府母健課）	中沢（大阪府岸和田HC）	山中（豊岡HC）	滝辺（静岡県藤枝市）	◎長井	大木（OT）（岡本HP）		自転車 6人	
セラピストチーム					（中筋（河野）） 西宮保健所		PT①間三穂（介田大）・西岡（宝塚市） PT②奥座（明和HP）・西島（協立温泉HP） PT③平田（兵庫大）・永田（協立温泉HP）		6人	
精神科チーム		Dr 村田（京都府立医大）	PSW 三品（京都府精神センター）	PHN 福田（京都府向陽HC）	西宮HC 西田 津山				車（HC徳田）5人	
歯科チーム	甲東小 安川	歯Dr 垣内・福田 阪下 えじま 村井 尼崎保健所		歯衛士 田中（大阪東HC） 武村（西宮市） 松山、宝島 西田（大阪東HC） 千原（尼崎市）	西宮HC保				10人 十尼歯	
リハビリテーションチーム		Dr 北村（甲南女子大）	PT 安藤（明和HP）	OT 坂本美貴（協立温泉HP）	小西三洋（No）				車（HC中島）4人	
記録係	薬剤師	森本（大阪府薬務課）								
備考	ボランティア	黒岩（パンフレット作成） 岩野No							（総責任 北岡西宮保健所長 大島 杜保健所長）	

延人数 61人

資料5-4-4 医師・保健婦等保健スタッフの派遣について

兵庫県南部地震にかかる医師・保健婦等保健スタッフの派遣について

兵庫県西宮保健所を窓口として、医師・保健婦・薬剤師といった保健スタッフを派遣し、同保健所管内において、避難所の巡回等、保健活動の援助を行っている。

［派遣実績］

平成７年２月６日現在（平成７年１月２０日～）

延べ　医　師　　６２名
　　保健婦　　７３名
　　薬剤師　　１３名

［活動内容］

・医師、保健婦については、西宮保健所が行っている巡回保健指導に協力し、西宮保健所を基点に避難所等を巡回し、二次感染の防止、衛生状態の管理等、必要な処置や情報を提供している。
・薬剤師については、西宮保健所に集積される薬剤、衛生材料等の管理に協力している。（２月５日まで）
・活動を開始した当初は、周辺医療機関の機能が十分でなく、また、医師会、ボランティア等の活動も整備されていなかったことから、診療・投薬等の医療的な役割が前面に出されていたが、徐々に周辺医療機関の機能が回復し、兵庫医大、西宮市医師会、ボランティア等の医療班の活動が整備されてきたことから、本来の保健活動にシフトしつつある。

［避難所等における最近の状況］

（1）当初見られた、救護、救急処置の必要な外傷者はほぼ見られなくなっている。入院対応が必要なケースとしては、精神救急、インフルエンザ等の呼吸器疾患、衰弱の激しい高齢者等がある。
（2）疾病の割合は、インフルエンザ等：高血圧等慢性疾患：外傷＝5:2:1。（2月1日巡回時、総件数108件中、インフルエンザ32件、高血圧等13件、骨折・打撲・腰痛等6件、ＡＤＬ低下13件、精神不安5件、口内炎多発）
（3）インフルエンザ等の急性疾患は医療機関が約80％開院しているので対応されており、巡回保健チームの役割も本来の健康相談が中心となりつつある。
（4）避難所の問題点としては、体育館等では暖房がなく寒さが激しい。便所等の環境面では、断水しているところでも関係者の実施指導によりほぼ清潔に保たれている。
（5）個々の問題点としては、食生活の偏り・環境の変化等による高血圧・糖尿病等慢性疾患の管理低下と、寒さ等による高齢者のＡＤＬの低下がある。
（6）死の危険から脱却した喜びの時期を越えて、これからの生活への見通しが立たないことなど、精神不安が増えている。また、多様化・個別化したニーズがでている。

［今後の課題と対応方策］

（1）高齢者、障害者等のＡＤＬ低下防止に向けて（ケースは約30名）
　＊　暖房等の環境が比較的整っている避難所への移動
　＊　施設入所、病院への入院または治療訓練
　＊　巡回リハビリテーションチーム等の指導
　＊　ラジオ体操、レクリエーション等の集団活動
　＊　日常生活福祉用具等（杖、ポータブル便器、老眼鏡等）の支援
（2）食生活に関すること
　＊　お弁当等の業者発注が進められ、徐々に改善しているが、暖かい物、高齢者・乳幼児向けの柔らかい物が不足している。
　＊　ボランティアの炊き出しが多くのところでできるよう調整が必要である。
　＊　栄養士が巡回保健指導チームに同行し、栄養指導

資料5-4-5 避難所等の健康相談活動報告[2月3日]

避難所等の健康相談等活動報告

兵庫県西宮保健所
平成７年２月３日

１．避難所等における最近の状況

(1) 救護、救急処置のいる外傷者はほぼいない。入院対応は精神救急とインフルエンザ等の呼吸器疾患、高齢者で衰弱激しい者等である。

(2) 疾病の割合は　インフルエンザ等：高血圧等：外傷＝５：２：１
（２月１日巡回時　総件数１０８件中、インフルエンザ３２件、高血圧等１３件
骨折・打撲・腰痛等６件、ＡＤＬ低下１３件、精神不安５件、口内炎多発）

(3) インフルエンザ等の急性疾患は診療所、病院が約８０％開院しているので対応されており、保健巡回チームへの避難者の期待も変化し、本来の健康相談になってきた。

(4) しかし、食生活が糖質に片寄り、寒冷の中、高血圧、糖尿病等の慢性疾患の増加と、口内炎が多発している。また、環境の変化、寒冷から高齢者はＡＤＬの低下が激しい。

(5) 体育館等の大きな避難所は暖房がなく、寒さが激しく、身体的、精神的健康を疎外している。

(6) 避難所の管理者が疲れている所がある。

(7) 野菜、蛋白質食品が欠乏しているが、少数の避難所ではボランティア等の協力により炊き出しをしている。

(8) 便所等の環境面は断水している所でも関係者の実施指導でほぼ清潔に保たれている。

(9) 死の危険から脱却した喜びの時期をこえて、これからの生活への見通しが立たず、精神不安が増えている。又、多様化・個別化したニーズが出ている。

表１．避難所等の巡回健康相談実施状況（１月２０日～２月２日）

保健巡回チーム	実施日数	１４	精神科チーム	実施日数	１０(1月24日~)
	チーム数	６６		チーム数	１６
	巡回会場数	３５１		所内相談件数	７
	相談件数	１，４３６		所外相談件数	４５
	従事者数	医師 ８３		電話相談件数	７
		保健婦 ２１０		従事者	医師 １７
		理学療法士 １４			精神保健相談員 １０
		作業療法士 ６			保健婦 ２６
		栄養士 ４			計 ５３
		看護婦 ４			
		薬剤師 １			
		精神保健相談員 １			
		他 １			
		計 １２５			
巡回リハチーム	実施日数	４(30日~)	歯科巡回チーム	実施日数	８(26日~)
	チーム数	４		巡回会場数	４３
	相談件数	２８		相談件数	１５４
	従事者数	医師 ５		従事者	歯科医師 ４１
		保健婦 ４			歯科衛生士 ２２
		理学療法士 ４			他 １０
		作業療法士 ５			計 ７３
		計 １８			

4．今後の課題と対応方策

（1）高齢者、障害者等のＡＤＬ低下防止に向けて（ケースは約３０名））

＊　暖房等の環境が比較的整っている避難所への移動。
＊　施設入所、病院への入院又は治療訓練。
＊　巡回リハチーム等の指導
＊　ラジオ体操、レクリエーション等の集団活動
＊　日常生活福祉用具等（杖、ポータブル便器、老眼鏡等）の支援

（2）食生活に関すること。

＊　お弁当等の業者発注が進められ、徐々に改善しているが、あたたかいもの、高齢者・乳幼児向けの柔らかいものに不自由しているので、調理指導をする。
＊　ボランティアの炊き出しが、多くのところで出来るよう調整指導する。
学校給食施設等の使用を調整する。
＊　栄養士による栄養指導は２月２日から、保健チームに参加。
＊　ビタミン剤の使用。

（3）福祉との連携

＊　保健チーム、リハチームが福祉関係情報・活動状況の提供を求めている。
出来れば、ミーテング時（毎日午後４時から１時間程度）に参加希望。

（4）健康管理の必要な避難所の特定

＊　保健チームが巡回した避難所１８７の内、要継続管理が必要な所は１３８個所。

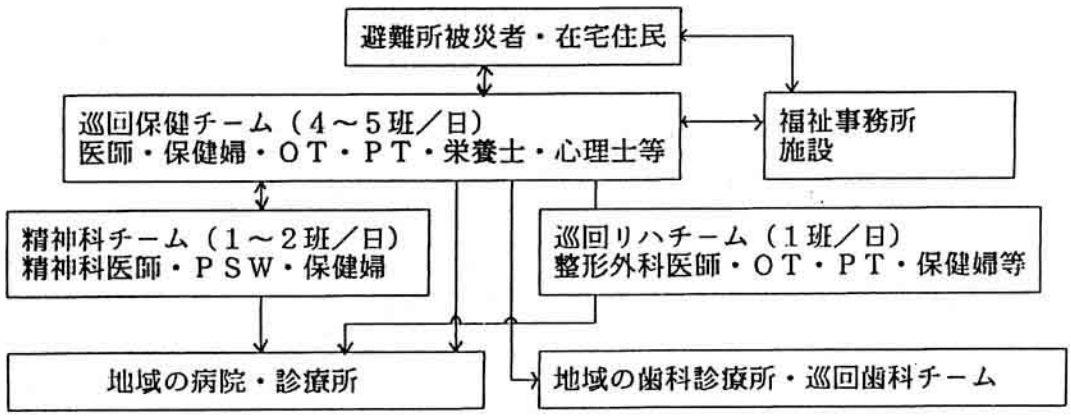
（5）在宅住民の健康状況の把握

＊　保健婦チームにより、結核、精神、難病、母子等の在宅要健康管理者について、可能なところから（２月６日頃を目途に）家庭訪問指導の再開。

（6）他

＊　一般・歯科診療所、病院の再開が進んでいるので、医療との連携を一層図る。
＊　避難所の昼間人口少ない。夕方、夜間の避難所の健康管理対応について
＊　寒冷への手立て
＊　避難所の管理者の健康維持もあり、自治組織の育成を図る。

図１．保健活動連携図



資料5-4-6 保健活動報告[3月13日]

西宮市阪神大震災復興　保健活動報告　　兵庫県西宮保健所　'95.3.13(月)

1．最近の状況

(1) 西宮保健所・西宮市健康管理課を中心とした公衆衛生、保健チームは県内外の保健所等の支援をえて、図1のように各チームが相互に連携を図りながら活動している。とりくみの基本として、被災者の人権を守り、自立を支えるためのとりくみであり種々の課題に対しては、地域が平常化に向かうよう配慮しながら、保健活動を行っている。

(2) 避難所の状況

①3月12日現在の避難所数は136か所、7，825人で、やや落ち着いてきている。

②救護班は、2月末には日赤等の6班を残し撤退した。この救護班も3月中旬にほぼ撤退する予定であるから、地域の医師会やかかりつけ医の対応が中心となってきている。

③3月10日巡回時の疾病割合は現在、指導件数43件中、インフルエンザ等15件、高血圧等7件、精神不安3件、その他18件であった。

④昼間の人口は夜間の1割程度であり、人口構成は老齢者が多い。3月10日の総指・導件数43件の内訳は老人17件、その他26件であった。

⑤食事の状況は、近隣の商店の利用が少しずつ可能になり、支援物資のみに頼っていた時期からみると改善されてきている。炊き出しについては、開始、回数増加、取り止めなどと、様々である。要望内容も、食材、調理器具、スペース等と変化してきていることから、徐々に自立へと向かっていると考える。

⑥3月になり、気温も上がってきたので、被災者からの寒さの訴えはやや減少した。

⑦震災後8週間を経過し、これからの生活への見通しが立ず、不眠やイライラを訴えている。家族全体が精神的困難に陥っているものがある。
アルコール飲酒により不眠、精神不安を解消しているものがあり、アルコール問題相談がここ2週間程続いている。

⑧収容者の多い体育館などでは、プライバシー保護の問題が大きいと考える。

⑨避難所の管理者が極度に疲労し、不眠、いらいらを訴えるものがみられる。

⑩比較的小集団で家庭的な公民館などでは、相互の関係が保たれ、自治組織ができている。

(3) 仮設住宅の状況

①1次募集入居世帯は、1，298戸で、2月18日から3月8日に入居している。。
2次の3．009戸は3月下旬から4月の入居予定となっている。

②訪問指導は3月8日から実施している。3月13日の訪問世帯数は163世帯で86名（53%）に面接し、残りは不在であった。
指導内容は、インフレエンザ14件、精神不安7件、高血圧2件であった。

③入居者の訴えは、水はけが悪い、ゴミが放置されたままである、掲示板がない、押入れがない、換気扇がなく蒸気が充満する、物干しがない等の環境面の訴えが多い。

(4) 地域全般の状況

①3月8日現在の病院、診療所の開院率は約92%、歯科診療所の開院率は約89%で、地域の医療機関の復旧に従い要医療者はかかりつけ医に連携している。

②水道の復旧率は3月8日現在約99．9%、都市ガスの復旧率は3月8日現在約85%である。

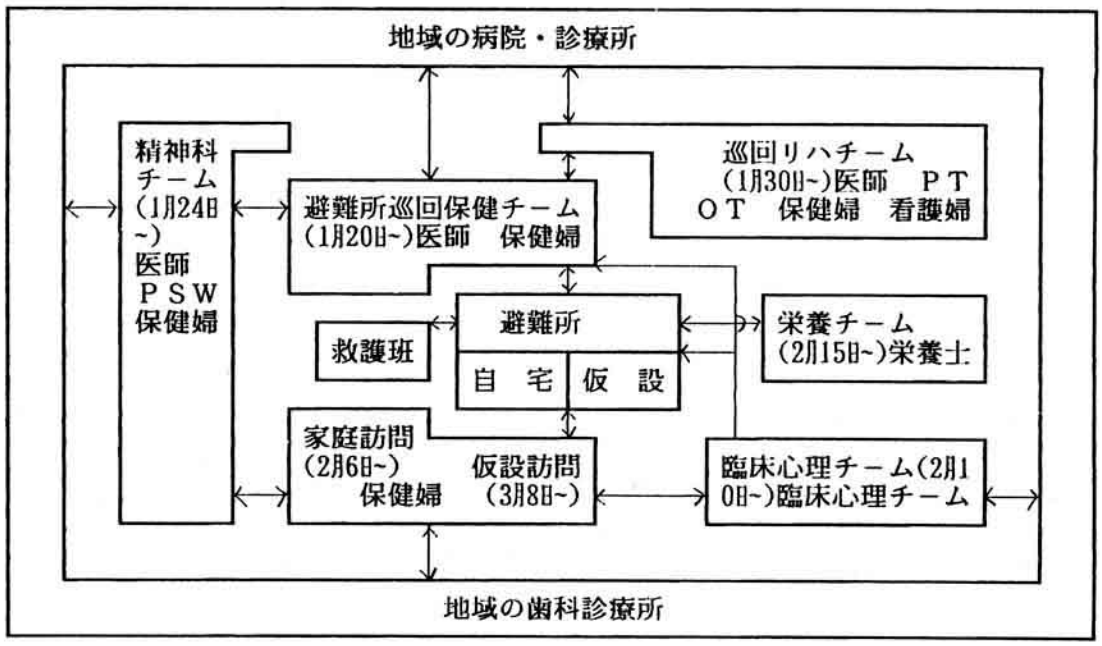
③家庭訪問では約50%が不在である。結核、精神、成人病、老人、妊産婦、乳幼児といった種々な者を対象とし、民生委員との連絡もとりながら訪問している。

④3月1日から要援護老人等を対象とした二次避難所が、西宮市社会福祉センターかぶとやま荘に開設し、3月12日には3人が入所している。

表１．保健活動実施状況　　平成７年３月１０日現在

避難所巡回保健チーム	実施日数	４５（1月20日~3月10日）	
	チーム数	１７４	
	巡回会場数	~~８７０５~~ 741	
	相談件数	３１７６	
	従事者数	医師	２０９
		保健婦	５２９
		理学療法士	３５
		作業療法士	２５
		栄養士	４３
		精神保健相談員	１
		臨床心理士	１７
		他	３
通回リハビリテーションチーム	実施日数	４１（1月30日~3月11日）	
	相談件数	４９８	
	従事者数	医師	５２
		理学療法士	１８４
		作業療法士	７３
		保健婦	１８
		看護婦	１４
臨床心理チム	実施日数	１７（2月10日~3月10日）	
	相談件数	４１４（約）	
	従事者数	臨床心理士	５９
精神科チーム	実施日数	４４（1月24日~3月10日）	
	所内相談件数	３６	
	所外相談件数	２０４	入院対応（再掲）14
	電話相談件数	３６	
	従事者	医師	７３
		精神保健相談員	４４
		保健婦	１２８
巡回歯科チーム	実施日数	２６（1月26日~2月24日終了）	
	会場数	１３７	
	処置、相談件数	５９２	
	従事者数	歯科医師	１０９
		歯科衛生士	６２
		他	２１
難訪問	実施日数	３０（2月6日~3月11日）	
	訪問指導件数	１１６８	
	従事者数	保健婦	４１９
難チーム	実施日数	１１（2月15日~3月9日）	
	相談件数	２３０（約）	
	従事者数	栄養士	５５
仮設訪問	実施日数	３（3月8日~3月10日）	
	訪問指導件数	２１１	
	従事者数 保健婦	１７	

図１．保健活動連携図　　平成７年３月１３日現在



2．今後に向けての意見（支援者の皆様が書かれた意見の要約）（2月25日~3月12日）

避難所	①管理者とボランティアとの調整を図る ②被災者の健康管理を校長、養護教諭、館長に委任する ③要フォロー者の各部屋別リスト、マップ作成 ④他職種間の連絡ノートの活用 ⑤巡回について事前に連絡する ⑥指導方法を検討（グループ指導、スキンシップの必要性（ダンス等） ⑦被災者の自立する気持ちを育てる ⑧被災者の想いを傾聴しこころのケアをすすめる ⑨プライバシー保護を是非進めて欲しい ⑩夜間、土曜日、日曜日の相談、検診の実施 配布薬のリストマップ、必要薬の情報を整理
仮設住宅 自宅	①訪問が一通り出来れば要フォロ者を継続管理する ②環境面も含めたマップをつくる。環境衛生課と連携する ③孤立化の防止 ④リーダー、自治会長となる人を育成し組織化をはかる ⑤連絡網の作成、掲示板が必要 ⑥高齢者、障害者への家屋設備の改造 ⑦留守家庭に訪問趣旨を書いたメモを ⑧家庭訪問というのは苦情相談係りみたいだが災害時には大切だ

西宮市職員 保健所職員	①西宮の保健婦は笑顔がいいので住民が救われる ②何時まで続くか分からないので職員の健康管理、ストレスを解消する ③他の県へ今回の体験を知らせる ④保健所技術者のチームで援助する ⑤法に基ずく権限業務から地域を指導 ⑥市保健婦と保健所保健婦の連携がいい ⑦日常業務へどう取りこんでいくか、中期、長期計画を ⑧チームの方向性を検討する

県内外からの支援者	①同じ人が支援出来ればいいので、県を通じて申しでる ②同じ地区、場所を同じ県が継続管理したい ③カンファレンスは非常に大事だ

全体的な事項	①デイサービス等の福祉サービスの早期再開。福祉情報が週１回でも欲しい ②精神科チームの増員充実 ③こころのケアの充実 ④地域リハビリの推進 ⑤問題の有無に拘らず定期的に訴えを聴く ⑥在宅ケアを民生委員と推進 ⑦スケジュールや申し送りを蜜に行い、情報を伝達すると全体像が把握出来る

(2)巡回健康相談の実績

a) 巡回保健チームの相談件数

巡回保健チームの実績は、**表5-4-1**に示すとおり、1月の12日間の巡回数は57チーム293か所、出務者は医師延べ70人、保健婦181人、その他21人で、相談件数は1,234件であった。同様に2月には151チーム718か所、出務者は医師延べ186人、保健婦439人、理学療法士35人、作業療法士25人、栄養士43人、臨床心理士17人、PSW1人、薬剤師1人で、相談件数は2,815件であった。避難所の巡回保健チームの相談延べ件数は3月末で3,765件となる。

これらの保健チームの巡回訪問は、時期を経て、精神科チーム、歯科保健チーム、リハビリテーションチーム、栄養チーム、家庭訪問チーム、臨床心理チームへと、専門性あるいは対象の性格に応じて分化して、それぞれ独立のチームとして巡回保健活動が展開された。

b) 栄養チーム

栄養チームの活動は2月3日より開始し、3月23日まで実施された。その活動の内容は、巡回栄養相談として、避難所の個別栄養相談や炊き出しの充実などによる避難所の食生活環境の改善と、仮設住宅入居者への栄養指導、および給食施設にたいする指導の3つの分野に及び、大阪府栄養士会の協力のもと延べ91人が参加した。

c)家庭訪問チーム

避難所の巡回と併せて2月からは応援者による在宅巡回家庭訪問も開始された。その実績は**表5-4-2**に示すとおり、保健婦延べ258人が1,790世帯を3月末までに訪問し、相談件数総数は1,287件となる。平成5年度の西宮保健所および西宮市の保健婦訪問件数が3,742件であることを考慮すると、この2か月余りの家庭訪問件数は平常時のほぼ半年の実績に相当する。

避難所の巡回保健チームの相談件数を加えると、3月末の時点における訪問相談件数は3,765件となる。**(表5-4-1～2)**

d)「保健ニュース」の発行

時々の保健課題に関連した情報の普及のために、「保健ニュース」を保健所が発行し、避難所や巡回訪問先等へ配布された。保健ニュースは2月に1号、3月に2、3号、4月に4号が発行された。**(資料5-4-7～10)**

表5-4-1　巡回保健チームの巡回件数と出務者数

月日	巡回班数	巡回先	医師 県内	医師 県外	保健婦 西宮HC	保健婦 西宮市	保健婦 県内HC	保健婦 県内市町	保健婦 京都府	保健婦 大阪府	保健婦 大阪市	保健婦 その他	その他 PT	その他 OT	その他 栄養士	その他 PSW	その他 薬剤師	相談件数
1月																		
20	2	2	0	3	2	2	0	0	0	2	0	0			2			32
21	7	23	1	6	4	7	0	0	0	5	0	0			2			176
22	6	6	1	5	2	3	6	0	0	4	0	0						81
23	6	25	1	5	5	3	5	0	0	4	0	1						183
24	4	17	1	5	2	2	4	0	0	4	0	2			1		1	87
25	5	19	0	5	2	3	4	0	0	5	0	2				1		84
26	4	22	1	3	1	4	3	2	0	4	0	2						84
27	5	35	2	5	2	5	3	0	0	4	0	2						130
28	4	42	2	5	2	4	4	0	0	4	0	4	6	3				112
29	5	37	1	4	1	5	4	0	0	4	0	0	2					106
30	4	23	1	6	2	4	3	1	1	4	1	0	1	1				51
31	5	42	1	6	1	5	5	0	1	4	0	0	1	0				108
2月																		
1	4	14	0	7	0	4	3	2	1	5	1		2	1				85
2	5	35	1	6	1	5	3	1	1	4			2	1	4			84
3	4	17	1	6	1	4	5	0	2	4	1		2	1	3			73
4	5	20	1	5	0	5	1	2	0	5	1	3	4	1	0			123
5	4	39	0	6	0	4	0	0	0	4		4	3	1	0			102
6	5	23	1	5		5				5	2		1	1	4			75
7	4	15	1	4		4				4			1	1	3			66
8	5	29	0	5		5				5			1	1	5			60
9	4	18	0	4		4				4			1	1	3			55
10	5	22	1	3		5				5			1	1	4			92
11	3	14	1	3		3				3			4	0	0			44
12	3	34	0	3		3				4			2	1	0			89
13	4	7	1	3		4		2		2			1	2	0			60
14	3	18	1	2		4			1	3			0	2	4			57
15	3	11	0	3		3		1	1			1		1	3			34
16	3	6	1	4		3		1		1		2		3	3			59
17	3	13	1	3		3		1	1			1		1	3			54
18																		
19																		
20	3	9	1	3		3	1			5								41
21	3	9	1	2		3					2	4						39
22	4	13	0	4	1	4		1			1	2	0	1				55
23	4	17	1	3	1	4												57
24	4	13	1	4	1	4		2	1	1		4	0					55
25																		
26	2	2	0	4	0	1		0	0	8	0	9	0	0	0			0
27	4	12	1	3	0	4		1		7		2	0	0				65
28	3	15	1	4	0	3	0	0	1	2	1	2	0	0	0			57

表5-4-2　在宅巡回家庭訪問の出務者数と内容別相談件数の推移

月日	保健婦 西宮HC	保健婦 県内HC	保健婦 県内市町	保健婦 県外	訪問世帯数	相談件数および相談内容 総数	結核	精神	老人精神	心身障害	成人病	65歳以上	妊産婦	乳幼児	その他	不在・不明
2月																
6	3	3	0	6	41	16	10				1	2			3	25
7	4	3	1	9	81	39	23	3		1		1			11	44
8	6	2	2	11	125	58	24	2				5			27	70
9	3	4	0	10	114	55	14	5		1	3	6	1	2	23	59
10	6	3	1	9	93	68	6	6	2		3	7		5	41	37
11	3	6	0	12	120	90	25	4	2	1	2	5	0	2	51	45
12	2	5		11	44	30	7	1			1	5			16	16
13	5	3		12	81	48	6	6		1	2	6			27	34
14	6	2	2	10	133	87	26	2		4	1	8	1	2	43	50
15	4	2		13	128	91	30	3	1	3	3	4			48	40
16	6	3		12	117	119	23	8			1	6			81	41
17	6	3		13	120	76	25	1	1	1		7			40	54
18	1			14	46	28	21				1				6	19
19	2			14	58	60	8	4		12	6	8	4	4	14	17
20	4	2	1	11	47	37	5	0	0	0	1	0	6	14	11	25
21	5	1	2	7	43	29	3	2				6	3	6	9	20
22	3		2	6	27	16	6							4	6	10
23	4	1		7	40	23	4	2		1		1	5	3	7	19
24	4	1		6	44	28	3			2			1	6	16	20
27	4	3		6	40	28	3	1	1			1	3	9	11	21
28	7	1	1	7	19	19		1			1	5			12	2
3月																
1	1			2	6	4							1	1	2	5
2	1	1		2	8	10	3	1					1	1	1	3
3	3			4	12	22	1	2					2	4	13	5
6				5	10	16	1							14	3	
7	1	1		7	33	21	1	4	2			3	1	2	10	19
8	6	1		3	24	25	6	5			2	1	2	2	8	5
9	4			4	25	21	3	7				3		1	9	10
10	1				1	1									1	
11				5	6	3									3	3
13	1	1		1	5	8				1	2		2	3	1	
15	2			1	5	7		3			1		1	1	1	
17	4	1		2	17	21	2	2	1			2		1	4	6
22	3	2		2	15	20	1					1	5	5	2	6
23		1			2	4							2	2		
24				4	14	17				1		2	2	3		9
27	1			3	10	9	1	1	1			1	1	3	1	4
28	1	1			8	4		1						2	1	4
29	1			2	7	13		4					2	6	1	3
30				2	9	6					1	3		1	1	3
31	1			3	12	9	2	2			1			2	2	6

表5-4-7　保健所発行の「保健ニュース」１号

（資料４－Ⅷ２(1)の３）



保健ニュース　　１号



1995. 2. 23

被災された皆様へ

この度の阪神大震災により被災されました皆さまへ、心からお見舞い申し上げます。避難所の生活には、何かとご不自由もあるかと思いますが、お身体に十分注意され、このつらい時期を乗り越えられるよう願っています。関西ＮＧＯ医療ボランティア・ネットワーク、西宮市医師会、西宮市、兵庫県西宮保健所のチーム一同、皆さまの健康を願って、お手伝いをさせて頂きたいと思っています。身体と心の色々な相談をお受けしていますのでご活用ください。

よく眠れない

集団生活が長くなり、眠れない夜をすごされている方が多いと思います。

夜ゆっくり眠るためには、昼間あまり仮眠をとらないようにしたり、休む時間を一定にしたり、ささいなことでも、他の人に相談したりすると休みやすくなります。

このような場合に、お酒を寝る前に飲まれる方もおられますが、お酒は量をすぎると疲れの原因となったり、習慣となる危険性がありますので、ご注意ください。病院・診療所で出される安定剤は、正しく服用されていれば、あまり習慣になる心配がないと思われます。どうしても不眠の方は、病院にご相談されることをおすすめします。

せき・かぜ

まだまだ、かぜが流行しており、皆さまもうがいをする、休息をとるなど、気をつけておられると思いますが、限られた食事や長い避難生活の中では、かぜが万病のもととなることがあり、注意が必要です。

○かぜ薬を飲んでも発熱の続くとき
○食欲が落ちたり、下痢のため、十分な食事が摂取できないとき
○黄色っぽいタンが多く出るとき
○夜間にせきが続くとき

このような症状の時は、かぜが重くなり、肺炎などの病気の原因となる危険性もありますので、早めに病院・診療所を受診することをおすすめします。

かゆみ・しっしんについて

現在のような集団生活では、「かゆみ」「しっしん」の原因は、乾燥によるものが多いのですが、それ以外に、「ダニ」や「菌」などによるものがあり、人にうつしたりすることもあります。被災以来、新たに「かゆみ」「しっしん」を感じるようになった人は、皮膚科専門医を受診するか医療班にご相談を！

関西ＮＧＯネットワーク医療ボランティア／西宮市医師会
西宮市健康管理課 0798-35-3388／兵庫県西宮保健所 0798-26-3666



表5-4-8　保健所発行の「保健ニュース」２号

保健ニュース　　２号

1995. 3. 1

○体を動かしましょう

避難所の生活は運動不足になりがちです。体を動かすと血行が良くなり肩こり・頭痛・便秘を予防します。また、気分爽快になります。
お天気の良い日は歩いたり、ふとんの上でも軽く体を動かしましょう。

肩の上げ下げ

耳もとまで肩をひきつけ力をぬきます。リラックスするコツを覚えましょう



片足かかえ

片足をかかえて胸までひきつけます



体幹の屈伸

- 手を床につけるようにします
- 立位で体側を伸ばしましょう



○お布団を干しましょう

長期にわたる避難所生活は、ダニ・カビ・菌が繁殖しやすくなり、それが健康状態に悪影響を及ぼすことがあります。その予防のため身のまわりの掃除をこまめに行い天気の良い日にはふとんを干しましょう。また、震災後「かゆみ」「湿疹」を感じる人は、皮フ科の医師にご相談下さい。



突然ですが

保健・予防接種・相談のお知らせ



健　診

4か月児健康診査
1歳6か月児健康診査
3歳児健康診査
　→ 4月より実施の予定です。健診はすべて個人通知します。

なお、他府県で健診を希望される方は、西宮市からの依頼書がなくても受けられます。最寄りの市町村・保健所に問い合わせて下さい。

予防接種

ツ反とＢＣＧ接種 ― 4月より実施します。
三種混合
麻疹（はしか）
　→ 西宮市予防接種委託の医院等で接種をしています。電話で各医院に事前に問い合わせて下さい。

なお、他府県で予防接種を希望される方は、西宮市からの依頼書がなくても接種できます。
最寄りの市町村・保健所に問い合わせて下さい。



乳児相談

＊3月7日、14日、28日の火曜日
時間　午後1時30分～3時
場所　西宮健康開発センター
保健婦・栄養士が相談



こころの相談（西宮保健所）

＊毎日午前10時～12時まで
＊第1・2・4月曜日の午後（要予約）
場所　西宮保健所

電話健康相談（西宮市健康管理課）

＊毎日9時30分～11時30分
☎ 0798-35-9530　保健婦が相談



歯の健康相談（西宮市健康管理課）

＊3月14日(火) 午後2時～3時30分
場所　西宮健康開発センター
歯科医師が相談
電話で申し込み　☎ 0798-35-3339



お問い合わせ先
西宮市健康管理課　０７９８－３５－３３８８
兵庫県西宮保健所　０７９８－２６－３６６６
西宮市医師会　西宮市歯科医師会



表5-4-9　保健所発行の「保健ニュース」３号

保健ニュース　３号

1995．3．14

二次避難所のご案内

避難所や自宅で震災のため不自由な生活が長引き、健康に不安のある高齢者のために、設備の整った西宮市の保養施設「かぶとやま荘」を二次避難所として開放します。ご希望の方には、保健婦が健康状況をお尋ねしますので、西宮市健康管理課までご連絡下さい。（お問い合わせ先　西宮市健康管理課　0798-35-3388　）

内　容　食事・入浴ができます（暖房設備あり）
介護の必要な人には、介護ボランティアが介護します
医師の診察が受けられます
家族も一人程度付き添いができます

期　間　家庭への復帰や健康不安が解消するまでの間



避難所巡回検診・健康相談会のお知らせ



3月20日～4月6日まで市内の避難所を巡回し、検診・健康相談会を実施します。
お身体について、気がかりな点がありましたらお気軽にお越し下さい。（無料です）

内　容　胸部X線検査　血圧測定　尿検査　医師による相談
希望者は直接検診場所にお越し下さい。（15歳以上の市民）

実施日	実施場所・時間			
3／20（月）	健康開発センター	（10：00～14：00）	今津小学校	（16：00～19：00）
3／22（水）	鳴尾会館 県立総合体育館	（10：00～12：00） （17：00～19：00）	鳴尾北小学校	（13：30～15：00）
3／23（木）	津門小学校	（10：00～14：00）	樋ノ口小学校	（16：00～19：00）
3／24（金）	用海小学校 健康開発センター	（10：00～12：00） （17：00～19：00）	春風小学校	（13：30～15：00）
3／27（月）	浜脇小学校	（10：00～14：00）	勤労会館	（16：00～19：00）
3／28（火）	生瀬小学校	（10：00～12：00）	香櫨園小学校	（14：00～19：00）
3／29（水）	安井小学校	（10：00～14：00）	大社小学校	（16：00～19：00）
3／30（木）	神原小学校 北夙川体育館	（10：00～12：00） （17：00～19：00）	夙川小学校	（13：30～15：00）
3／31（金）	上ヶ原南小学校 甲東小学校	（10：00～12：00） （17：00～19：00）	上ヶ原小学校	（13：30～15：00）
4／3（月）	若竹生活文化会館	（10：00～14：00）	中央体育館分館	（16：00～19：00）
4／4（火）	平木小学校 広田小学校	（10：00～12：00） （17：00～19：00）	平木中学校	（13：30～15：00）
4／5（水）	高木小学校 瓦木中学校	（10：00～12：00） （17：00～19：00）	瓦木小学校	（13：30～15：00）
4／6（木）	中央体育館 中央体育館	（10：00～12：00） （17：00～19：00）	段上西小学校	（14：00～15：30）

（休憩時間12:00～13:00）

お問い合わせ先　西宮市健康管理課　0798－35－3338
兵庫県西宮保健所　0798－26－3666
西宮市医師会・西宮市歯科医師会

表5-4-10　保健所発行の「保健ニュース」４号

保健ニュース　　４号

1995年4月

食中毒に気をつけましょう

細菌は、温度、湿度（水分）、栄養の３つの条件でふえます。

食品には、栄養分や水分が含まれているので、細菌がふえないためには、温度管理が大切です。また、細菌は時間とともにふえます。従って、細菌がふえないうちに早く食べることが大事です。

私たちは、食品の味、におい、色の変化によって食品がいたんでいるかどうか判断していますが、食中毒菌は、食品中で増えても外観では分かりにくいため、知らずに食べて、食中毒になる事件がおこったりします。



三つそろえば.おれたちの天国だ

食中毒予防の三原則



お弁当を食べるときの注意

- 配布されたお弁当は、早く食べましょう。
- 翌日にまわしたりすると食中毒の危険があります。食べ残しは処分しましょう。
- 充分な手洗いを心がけましょう。

こころの電話相談のお知らせ

この度の震災で被災された皆様方、また、ボランティアなど被災地で様々な支援活動をしておられる方々、心身ともに疲労が重なっておられるのではないかと思います。

西宮保健所では、臨床心理の専門家による"こころの電話相談"を下記のとおり行うことになりました。

どうぞご利用下さい。

電話番号　０７９８－２６－３６６６（代）　内線１７

受付時間　火・木曜日の午後１時～午後４時まで



集団生活を快適にするために

- お互いに迷惑にならないよう気を配りましょう。
- 掃除、布団干しも声を掛け合い助け合いましょう。
- 消灯後は、私語・テレビは控えましょう。

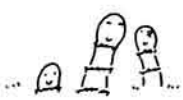


お問い合わせ先

西宮市健康管理課　０７９８－３５－３３８８

兵庫県西宮保健所　０７９８－２６－３６６６

西宮市医師会　西宮市歯科医師会



５）精神保健活動

(1)精神保健相談の開始

兵庫県立精神保健センターでは、国の財政的支援と他府県、関係団体からの援助をもとに被災地の保健所における被災者の精神科救護所を開始した。これはパンフレットやリーフレット「こころのケア通信」等を通じた情報の普及の他、阪神地区に10か所の保健所に精神科救護所を設置して精神保健相談や巡回精神保健相談を行うものである。

西宮市においては、西宮保健所に被災地の住民の精神保健に関する相談所を設置し、また地区や避難所を巡回して訪問し、精神保健の保持、回復をはかるために、１月24日より精神保健チームによる活動が開始された。午前中は相談所を保健所の中に設置し、来所者の精神保健相談に応じ、午後は住民や避難所からの連絡を受けて地区を巡回して訪問した。本業務は京都府立総合精神保健センターからスタッフの派遣を受けて実施された。**（資料5-5-1～4）**

(2)精神保健相談の推移

a) 精神科チームの活動

「被災者のこころのケア」活動は、１月に精神科救護所の設置、避難所巡回相談を開始したほか、２月上旬にはパンフレットやニュースレターの発行による啓発、相談電話の設置、中旬からはＰＴＳＤに関する専門家研修も開始した。3月31日までの相談者数は150人、延べ396件となっている。

震災発生７週までの精神科救護所と巡回相談の新規件数104件の中で最も多いのが「従来の精神科の診断の範疇にあてはまらない症状」44件で、ＰＴＳＤの多くが該当しているものと思われる。病型別の相談の時期をみると、分裂病圏に属する25件のうち24件は震災発生１か月以内に集中しており、一方アルコール依存症は、14件のうち11件が１か月以降に生じている。従来の診断の範疇にあてはまらない「その他」の症状は当初から、事業の時期を通じて新規相談が持続して生じているのが特徴である。入院件数は14件であった。**（表5-5-1）**

b) 臨床心理チームの活動

不眠や精神症状など、心理面でのニーズに対応するために、2月2日からは、西宮市心理チームが組織され、2月10日からは1チーム3人で巡回を開始した。これは臨床心理士を中心に、心理相談ならびに精神的不安への対処に加え、震災後の特徴的な対処として、不眠、心身症状（胃腸障害、喘息、身体の痛みなど）、アルコール依存・薬物依存、躁鬱、妄想症状、不登校（園）などの問題に対する相談を目的として始められ、１チーム3人で１日に平均2-3か所を巡回した。**（図5-5-1）**

3月末までに、延べ131人が延べ125か所を訪問して786件の相談に応じている。その中には、精神科チームあるいは保健婦チームからの紹介例に対する継続相談も含まれている。相談の内容は、主に「震災ショック」としてのＰＴＳＤ、および避難所あるいは仮設住宅における従来の生活環境との格差から生じる問題が多く、保健婦だけでなく民生委員の協力を求めて対処するなどのケースも少なくない。

独居老人に対する在宅ケアの取り組みが始まるなかで、個別的な対応としての継続が必要なケースが時とともに増え、避難所の巡回と並行して個別の対応の必要性が担当者からは指摘されている。

図5-5-1　「こころの電話相談」案内

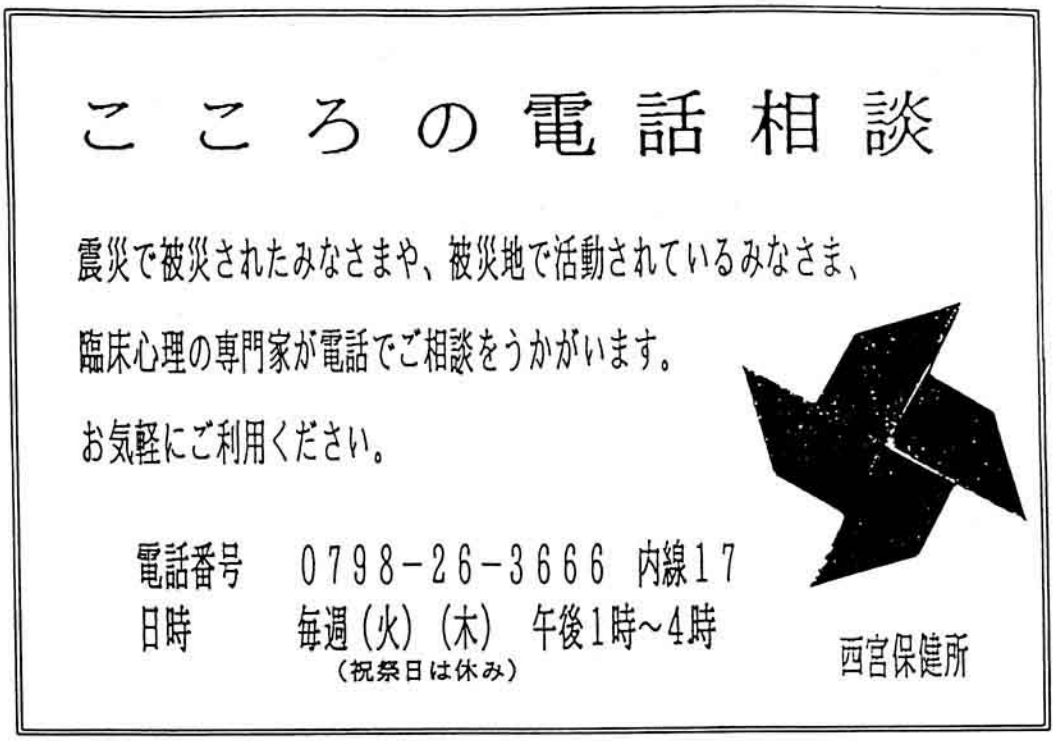


表5-5-1　西宮保健所における精神保健活動の新規相談件数の推移*

疾病 月日	分裂病圏	感情障害	神経症圏	ｱﾙｺｰﾙ依存	痴呆	その他**
1月24日	2					1
25					1	2
26	2					1
27	3	1				
28	3				1	1
29		1				1
30	3					
31	1					1
2月 1日	1		1			1
2	1			2	1	
3	2					2
4		2				2
5						1
6	1					2
7		1	1			1
8	2					
9				1		2
10			1			
11	1					2
12						1
13	1		1		1	1
14	1					3
15		1				1
16	1					1
17				2		1
18						
19				1		1
20		1		1		2
21		1				
22						
23						
24		1		1		2
25		1		1		1
26		1				
27	1					1
28				1		4
3月 1日			1	1		4
2						1
3				2		
4					1	
5						
6				1		

＊　：3月6日までについてのみ分類

＊＊：従来の精神科医療の対象となりにくい診断困難な症例

資料5-5-1　緊急精神保健相談実施要領

阪神大震災被災地域（西宮市）における
緊急精神保健相談所実施要領　　H７．１．２４

1　目　的

阪神大震災により、災害を受けた地域住民を対象に関係機関の協力のもと、緊急精神保健相談所を設置するとともに、地区巡回訪問を実施し、精神的健康の保持、回復を図る。

2　実施主体

兵庫県西宮保健所、京都府

3　実施期間

平成７年１月２４日（火）～当分の間

4　実施方法

（１）緊急精神保健相談所の開設

①開設時間　　午前１０時～１２時
（相談件数をみて随時変更する）

②設置場所　　兵庫県西宮保健所内

（２）地区巡回訪問

①訪問時間　　午後１時～４時

②避難所及び地域住民から連絡を受け訪問診察、指導を行う。

（３）ミーティング

毎日、事業終了後一般巡回チームと合同ミーティングを行う。

5　スタッフ

京都府

医　師	１名
精神保健相談員	１名
保健婦	１名

兵庫県西宮保健所

保健婦	若干名

6　後　援

兵庫県、西宮市、西宮市医師会、兵庫県精神保健センター

資料5-5-2「こころのケア」に関する通達（県保健環境部）

㊽ 新生活創造部

平成７年２月４日（１１時現在）
所管部局 保健環境部

被災者の「こころのケア」

1 趣旨・目的

全ての被災者が被災後に何らかの精神的不安を体験することから、これに適切に対応するための知識、ノウハウを提供するとともに、既往の精神障害者等に対して継続的な治療を確保する。

(1) ＰＴＳＤ（Post Traumatic Stress Disorder心的外傷後ストレス症候群）への対応

震災による精神的ショックや長期の避難所生活によるストレス、今後の生活のメドが立たないことへの不安などによる不眠、いらいら、頭痛、めまいなど、災害後２ケ月を過ぎる頃から発症すると言われるＰＴＳＤに対応する。

(2) 被災精神疾患患者への対応（実施中）

被災地域の住民で、診療所の被災、交通途絶等による通院や継続的服薬などが困難な精神障害者等に対して、定期的な服薬処置や精神症状の悪発・急変に対応する。

2 内容

(1) 被災者に対する情報提供（新規）

被災者の災害の後の気持ちの変化や身体の変調とそれへの対処の仕方を説明したパンフレットを配付する。

① 「災害の後、これだけは知っておきたいこころとからだＱ＆Ａ」（北海道庁編集）

ア 北海道庁より寄贈される４，０００部（２月１日北海道発送済み）を避難所回覧用に配付する。

イ 神戸大学国際交流センター・新福尚隆教授が、啓発用パンフレットを作成中であり、作成後は、これを１０万部印刷し、主に 避難世帯を対象に配付し、さらに、ニーズに応じ増刷する。

ウ 県の「震災ニュース」、被災市町広報誌等を通じ、全被災世帯にＰＴＳＤ等に関する知識の周知を図る。

② ニュースレターの配付

精神保健センターが、被災者が関心を持つ心理状態、行動パターン等に関する事項についてニュースレターを作成し、週報（２月上旬発行予定）として、パトロール隊員等により、避難所、保健所等に掲示、配付する。

(2) 講演会・懇談会等の実施（新規）

① 被災者を対象に市町が講演会を実施し、専門家がパンフレット等による説明や質疑応答を行い、ＰＴＳＤについて基本的な理解を得る機会を提供し、また、個別相談にも応じる。

② 市町が実施主体となり集会所等で被災者同士が自由に悩みを語り合い、理解し合う機会を設定し、その集まりには専門家（精神科医、臨床心理士、保健婦、ボランティア等）が参加する。

③ 開始時期：２月上旬から

(3) 精神科救護所の設置等（実施済）

ＰＴＳＤ及び被災精神疾患患者に対応するため、被災地の保健所に、地元及び他府県の精神科医師、看護婦、ソーシャルワーカー等を配置した精神科救護所を設置し、ＰＴＳＤに関する知識の啓発、精神保健相談や患者への投薬処置等を行う。

また、精神科救護所を設置しない保健所については、診療協力医療機関を確保する。

① 精神科救護所をおく保健所：１０ケ所（神戸市６、西宮、芦屋、伊丹、津名）

・スタッフ：現在、１０府県４市８機関（約50人／日）及び１６の民間ボランティアチームが参画しており、さらに、２３府県から協力の申し出がある。

・実施期間：１月下旬から概ね４月末（避難所の閉鎖状況、精神科医療機関の復興状況等により決定）

② 診療協力医療機関をもつ保健所：７ケ所（尼崎市６、宝塚）

・従来から保健所に嘱託医を派遣している医療機関及び通院患者の多い医療機関等（８診療所７病院）に診療の協力を依頼。

(4) 避難所巡回相談（実施済）

精神科医等が避難所を巡回（４～５個所／日）してカウンセリング等を行う。

(5) 相談電話（フリーダイヤル）の設置（拡充）

被災者が気軽に相談できるよう、精神保健センターで震災後、土、日を含め実施している「心の健康電話相談」をフリーダイヤルで実施する。（２月上旬から実施）

(6) 専門家の養成研修（新規）

被災者のＰＴＳＤ軽減のための実際の活動に従事する精神医療関係者、県・市町保健担当者、ボランティア等に対する研修を行う。

① 開始時期：２月中旬から

② 講師：新福尚隆教授（神大）、林春男助教授（京大防災研究所）等

(7) 精神科救護所廃止後の対応

① 保健所「こころのケア」相談の実施（新規）

精神科医、保健婦等を常時配置（概ね１保健所３人）し、被災者専用の相談窓口を設置するとともに、仮設住宅等への巡回相談を行い、治療の必要な者については医療機関につなぎ、継続的な治療を確保する。

② 精神保健センター巡回指導チームの設置（新規）

保健所「こころのケア」相談を支援するため、精神科医、ＰＳＷ、臨床心理士等（１チーム３人）による巡回指導を３チームで行う。

(8) 「こころのケア」支援連絡会議（仮称）の設置（新規）

精神保健センターが核となり保健所、関係機関・団体等による対策会議を設置し、連携強化を図る。（第１回：１月２６日実施済み、第２回：２月７日予定）

① 広報・啓発：市町

② 人材の確保：他府県、関係団体等

③ 診療、入院：精神病院、精神科診療所等

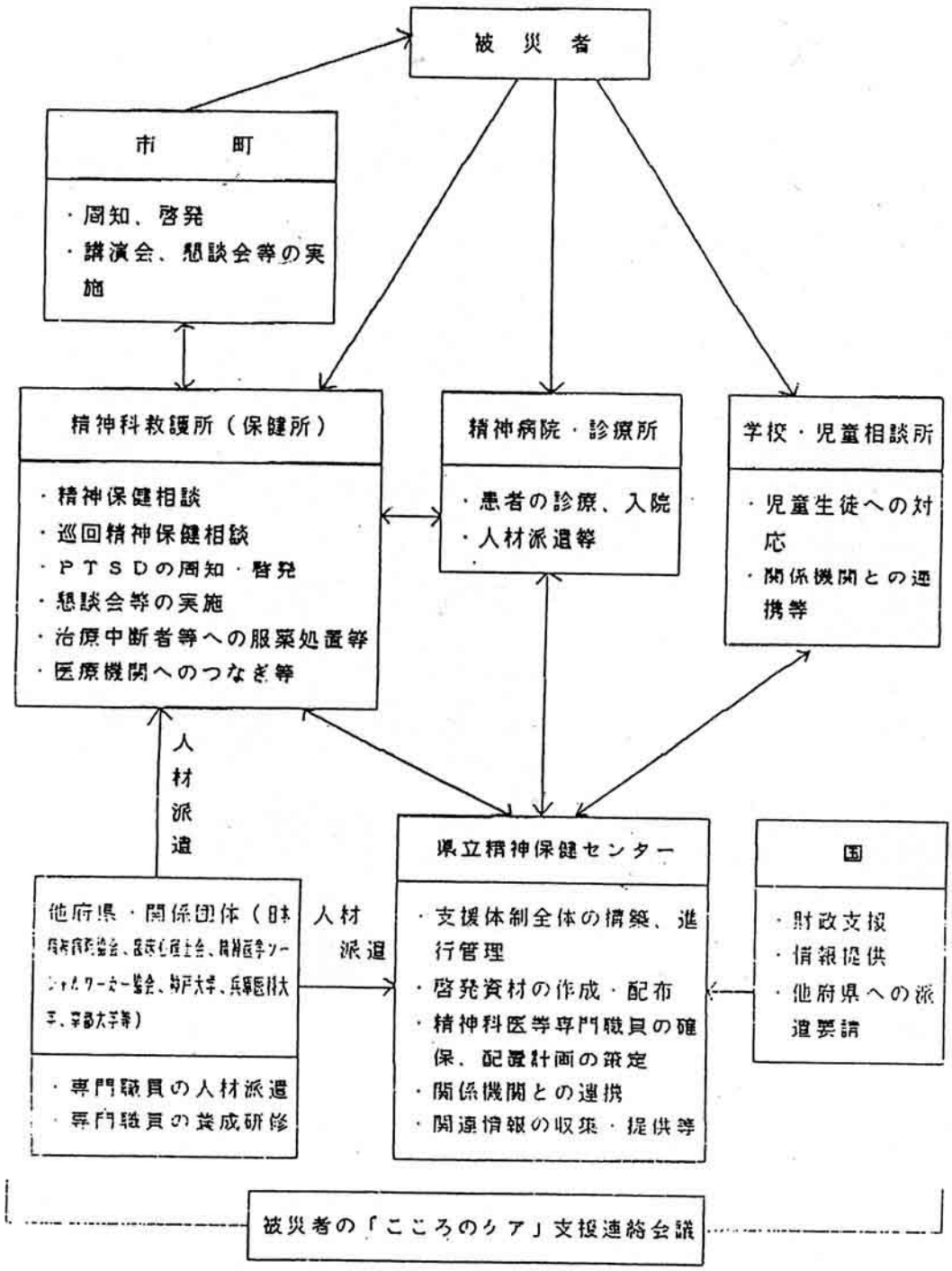
3 実施体制

別紙のとおり

資料5-5-3　「こころのケア」実施体制（県保健環境部）

（別紙）

被災者の「こころのケア」実施体制



資料5-5-4　「こころのケア通信」第１巻

平成７年２月１１日号

発行：県立精神保健センター
兵庫県神戸市須磨区友が丘2-1-29：TEL078-511-6581

こころのケア通信 vol.1

☆災害のあとのこころとからだの変化に悩んでいませんか？

災害のあとには、皆さんがこれまで日常生活では感じたことのなかったようなおかしな気分や身体の変調を経験することがあります。例えば、眠れない、いらいらする、気分が重い、頭痛、動悸などの症状です。これらの変化は、災害を体験したあと多くの人が示すことなのです。どうかひとりで悩まないでください。

☆　ある日の避難所での相談会の様子　☆

多くの方々に”こころとからだの変化”を知っていただくため、避難所で相談会を開催しています。この日は２４人が参加し、京都大学防災研究所の林春夫先生のお話をきいた後、個別相談が行われました。

（林先生のお話）

- 起こりやすい変化　☞ 不眠、息苦しい、寝汗、気分が重い等様々です。
- どうして起こるの？　☞ 災害により受けた様々な ストレス が原因です。
- 起こりやすい時期は？　☞ 避難所から仮設住宅等へ出る時期が多い様ですが、いつでも起こります
- どうしたらいいの？　☞ 身体の傷が治るのと同じように心の傷も次第に癒えてきます。自分がストレスにさらされていることを自覚し気長に付き合いましょう。
  - あまり我慢や無理をしない。
  - 小さな目標を持とう。
  - 思い出したくないかもしれないが、記録などをつけ、客観的に自分を見つめ直す。
  - 特別な方法はないが、人とのつながりを大切にし、身近な人に相談しよう。

（相談内容）

眠れないと言われる方が一番多く、その他先のことを考えると不安になる、周りの人に気がねする等の相談があり、林先生や医師が丁寧にアドバイスをしてくださいました



こころの病気をもつ人へのひとくちメモ

通院公費負担を受け、患者票や保険証等を紛失された方は、医療機関に患者票の交付を受けていることを申し出、氏名、生年月日、住所の確認ができるものを提示することにより、公費負担医療が受けられます。

＊　パンフレット「こころとからだＱ＆Ａ」を各避難所にお配りしています。ご一読ください。

ご相談は、もよりの保健所、または精神保健センターに！

6） 歯科保健対策

(1) 巡回歯科診療の開始

a) 歯科保健ニーズと歯科医療機関の実情

被災地を巡回している医療救護班、健康相談の各チームから、歯科治療のニーズに関する要望が保健所、市対策本部（健康増進課）の双方に届き、歯科保健救護活動の必要が早期から痛感されるようになった。しかしながら、診療不能の歯科医院が多い上、ほとんどの地区で水・ガスの供給が止まっているため、被害の少ない歯科診療室においても十分な歯科診療を行うことは困難な状況であった。

市歯科医師会が震災直後の市内の診療可能な歯科診療所数を調べたところ、全歯科診療所210か所のうち診療可能なのは、 86か所（25日）という状況であった。その後、市内の診療可能な歯科診療所数は、120か所（27日調べ）へと変動し、震災発生約１か月後の２月20現在では 163診療所（78%）の歯科医院が診療可能な状態に復帰してきている。**（表5-6-1）**

表5-6-1 震災直後の歯科医院の診療活動状況

	1月25日	1月27日	2月20日
診療可能歯科医院数	86	120	163
診療不能歯科医院数		21	22
未確認	124	69	25
診療可能診療所の割合	41%	57%	78%

b) 歯科救護体制の検討

市内の歯科診療所の多くが診療不能となっていることから、対策本部から歯科医師会に検討が依頼され、被災者等の歯科保健の維持・回復のための対策が進められることとなった。しかし、歯科医師会会員のほとんどが被災者であるために、避難所等における診療活動の体制を会員によって整えることには困難もあった。そのため、西宮保健所へ大学から派遣されて支援に来ている歯科医師を含めて、対策が協議され、その結果、以下の３点を基盤として並行して進める方針が確認された。

① 市内の診療可能な医院の機能をできるだけ生かす。

② 歯科総合福祉センターにおいて休日診療、心身障害者診療、在宅老人診療の体制を回復して、一般住民をも対象とする診療に備える。

③ これらの機能を補完するために主たる避難所への巡回診療を実施する。

この基本方針に沿って、歯科総合福祉センターにおける活動は歯科医師会が、巡回診療は歯科医師会との連携のもとで西宮保健所を事務局としてボランティアを募って

進めることとされた。（図5-6-1～3）

こうして、1月26日より避難所における巡回歯科診療が開始された。

c）人材の確保と調整

巡回診療の人材の確保、調整は、西宮保健所に連絡窓口をおいて進められた。

診療にあたっては、被災者の便宜を図りながら実施できるように、ポータブルの歯科診療機器等を携行して避難所を訪問して診療・保健指導・相談を進めることとした。ポータブルの診療機器と診療材料は、当初は県下の佐用郡歯科医師会と南光町歯科保健センターから貸出しを受け、また一部の材料、薬品等はサンデンタル、ＧＣ歯科工業、昭和薬品化工、有本歯科材料店などの歯科関連業者から寄付を受けた。その後、診療活動が進む中で必要に応じて、西宮市歯科総合福祉センターおよび尼崎市歯科医師会所属のポータブル歯科診療機器等も活用した。

巡回診療の実施は次のような原則のもとに、人材の確保をはかり進められた。

① すべての処置を無料で実施する

② 巡回診療にかかる費用ならびに機材は原則として出務者の負担とする

③ 治療は応急処置を主として、義歯は修理にとどめ、新しい義歯の作成ならびに継続した処置が必要な場合は、市内で診療している歯科医院名を紹介する

図5-6-1　巡回歯科診療の案内

歯の巡回診療

ボランティアの歯科医療従事者により実施され、費用は無料です。保険証は不要です。　日によって場所がかわりますので西宮保健所にお問い合せ下さい。



とき：　月　日（　）

AM 10:00～

ばしょ：



図5-6-2　巡回歯科診療の案内

歯科巡回診療のお知らせ

歯でお困りの方、治療中断の方、かかりつけの歯科医院が災害で診療中止のため不安のある方、どなたでも気軽にお越し下さい。

診療費は無料で健康保険証は不要です

診療日：２月３日　午前10時-午後3時

場　所：高木小学校

その他、診療に出られない方、他の巡回診療や開設歯科医院の情報については保健所へお問合わせ下さい。

兵庫県西宮保健所　電話　０７９８－２６－３６６６

人材の提供に関しては、尼崎市歯科医師会が会員チームを編成して土、日曜日に１～２避難所を分担して出動が開始されるほか、松本歯科大障害者歯科、阪大歯学部病院よりも援助の申し出があり、その他大阪府下はじめ全国各地からボランティアの歯科医師の協力を得た。

d) 巡回歯科診療の実施要綱、協力依頼と記録

巡回歯科診療の活動を円滑に進めるために、西宮市における緊急巡回歯科診療実施要領が、別紙（**資料5-6-1**）に示すとおり定められた。また、巡回歯科診療への協力に関して協力機関の大学へは依頼書が市対策本部から発行された。（**資料5-6-2,3**）

岐阜県歯科医師会からは県歯科医師会を通じて移動診療車の提供の申し出があり、１月31日に、大雪の中、総山和雄岐阜県歯科医師会長ほか７名の役員、スタッフの手によって移動され、避難所を数日ごとに移動して診療車による診療も、２月１日から開始された。（**資料5-6-4**）

また、自衛隊歯科チームには出動の申し出を西宮市から県を通じて依頼し、最大規模の避難所である中央体育館へ歯科診療コンテナが設置され、２月１日から定点での診療も巡回診療と並行して開始された。

巡回歯科診療の実施に際しては対象者ごとの診療録のほかに、各チーム、巡回避難所ごとに、別紙（**資料5-6-5**）のような診療記録を記入した。

図5-6-3　巡回歯科診療の案内（巡回診療の内容に関する掲示）

阪神大震災被災地
巡回歯科診療について

巡回歯科診療は、すべて無料で実施していますが、以下の点をご了解下さい。

1　治療は応急処置のみで、義歯の修理はできますが新しい義歯の作成はできません。

2　継続した処置が必要な場合は、診療している歯科医院名をご紹介します。

3　必要な指導や助言も行いますので、何でもご質問下さい

4　原則として１避難所では１回だけになりますので今回の巡回診療をご利用下さい。

資料5-6-1　巡回歯科診療の実施要領

阪神大震災被災地域（西宮市）における緊急巡回歯科診療実施要領

目的：

阪神大震災による災害を受けた地域において、歯科医療機関の機能を補完して住民の歯科保健の維持、向上を図る。

実施主体：

西宮保健所、西宮市、西宮市歯科医師会ならびに協力機関、協力歯科保健医療従事者

実施期間：

平成７年１月２６日（木）～当分の間

実施場所：

市内の歯科診療所の被害の大きい地区の中心的な避難所等

実施対象：

市内ならびに避難所に在住する者で、被災のために歯科治療中断や歯科的な愁訴あるいは不安を有し、既存の歯科医療機関における受診が困難な者。

実施方法：

主旨に賛同する有志歯科医師、歯科衛生士を中心とする巡回歯科診療班を構成し、訪問歯科診療ユニット、歯科診療車等を実施場所に設置し、口腔診査、診断、歯科保健指導ならびに歯科治療を行う。実施処置の内容は担当の歯科医師の判断に委ねるが応急処置とし、原則として義歯は修理のみで新しい義歯の製作はしない。

実施にかかる費用については原則的には実施担当者の負担とし、寄付を受けた医療資材等を充当する。機器は西宮市歯科医師会の機材その他、他地区の歯科医師会、歯科医療機関より貸与された機器を活用する。

連絡調整：

巡回診療の実施担当者ならびに実施場所については、西宮保健所に巡回歯科診療の事務局をおき、調整を図る。

資料5-6-2　巡回歯科診療への協力依頼

1995．1，31

大阪大学歯学部付属病院長
祖　父　江　　鎮　雄　様

西宮市災害対策本部長
西宮市長　馬　場

歯科巡回診療へのご協力のお願い

平素は歯科保健医療の向上にご尽力されていること、感服いたしております。
この度の阪神大震災における被災者の救援対策の一環として、西宮市におきましては、歯科医師会、保健所、市の三者の協力のもと、篤志の方々の援助を得て巡回歯科診療を下記の要領で実施しております。つきましては、貴台におかれましても、本巡回歯科診療へのご援助を賜ることができれば幸いです。

記

阪神大震災被災地域（西宮市）における緊急巡回歯科診療実施要領

目的：　阪神大震災による災害を受けた地域において、歯科医療機関の機能を補完して住民の歯科保健の維持、向上を図る。

実施主体：　西宮保健所、西宮市、西宮市歯科医師会ならびに協力機関、協力歯科保健医療従事者

実施期間：　平成７年１月２６日（木）～当分の間

実施場所：　市内の歯科診療所の被害の大きい地区の中心的な避難所等

実施対象：　市内ならびに避難所に在住する者で、被災のために歯科治療中断や歯科的な愁訴あるいは不安を有し、既存の歯科医療機関における受診が困難な者。

実施方法：　主旨に賛同する有志歯科医師、歯科衛生士を中心とする巡回歯科診療班を構成し、訪問歯科診療ユニット、歯科診療車等を実施場所に設置し、口腔診査、診断、歯科保健指導ならびに歯科治療を行う。実施処置の内容は担当の歯科医師の判断に委ねるが応急処置とし、原則として義歯は修理のみで新しい義歯の製作はしない。実施にかかる費用については原則的には実施担当者の負担とし、寄付を受けた医療資材等を充当する。機器は西宮市歯科医師会の機材その他、他地区の歯科医師会、歯科医療機関より貸与された機器を活用する。

連絡調整：　巡回診療の実施担当者ならびに実施場所については、保健所に当巡回歯科診療の事務局をおき、調整を図る。

資料5-6-3　巡回歯科診療への協力依頼

1995．1．31

松本歯科大学学長
小　林　茂　夫　　様

西宮市災害対策本部長
西宮市長　馬　場　順

歯科巡回診療へのご協力のお願い

平素は歯科保健医療の向上にご尽力されていること、感服いたしております。
この度の阪神大震災における被災者の救援対策の一環として、西宮市におきましては、歯科医師会、保健所、市の三者の協力のもと、篤志の方々の援助を得て巡回歯科診療を下記の要領で実施しております。つきましては、貴台におかれましても、本巡回歯科診療へのご援助を賜ることができれば幸いです。

記

阪神大震災被災地域（西宮市）における緊急巡回歯科診療実施要領

目的：　阪神大震災による災害を受けた地域において、歯科医療機関の機能を補完して住民の歯科保健の維持、向上を図る。

実施主体：　西宮保健所、西宮市、西宮市歯科医師会ならびに協力機関、協力歯科保健医療従事者

実施期間：　平成７年１月２６日（木）～当分の間

実施場所：　市内の歯科診療所の被害の大きい地区の中心的な避難所等

実施対象：　市内ならびに避難所に在住する者で、被災のために歯科治療中断や歯科的な愁訴あるいは不安を有し、既存の歯科医療機関における受診が困難な者。

実施方法：　主旨に賛同する有志歯科医師、歯科衛生士を中心とする巡回歯科診療班を構成し、訪問歯科診療ユニット、歯科診療車等を実施場所に設置し、口腔診査、診断、歯科保健指導ならびに歯科治療を行う。実施処置の内容は担当の歯科医師の判断に委ねるが応急処置とし、原則として義歯は修理のみで新しい義歯の製作はしない。実施にかかる費用については原則的には実施担当者の負担とし、寄付を受けた医療資材等を充当する。機器は西宮市歯科医師会の機材その他、他地区の歯科医師会、歯科医療機関より貸与された機器を活用する。

連絡調整：　巡回診療の実施担当者ならびに実施場所については、保健所に当巡回歯科診療の事務局をおき、調整を図る。

資料5-6-4　歯科診療車の貸与について

社岐歯巡発第１６４号
平成７年　１月２８日

兵庫県歯科医師会長
兵庫県西宮市歯科医師会長　　殿
兵庫県西宮保健所長

岐阜県歯科医師会
会長　総山　和雄

西宮市における緊急巡回歯科診療に関わる
巡回歯科保健診療車（けんし８０２０）の
使用について

このたびの兵庫県南部地震に伴い被災者が多数発生し、被災されました方々に対する救援活動（緊急巡回歯科診療）を行うにあたり、日本歯科医師会兵庫県南部地震災害対策本部を通じて、本県の巡回歯科保健診療車（けんし８０２０）の借用方ご依頼につきましては、所有者である岐阜県もこれを快諾いたしましたので、下記車両をご使用くださいますよう取り急ぎご連絡をさせていただきます。

なお、巡回歯科保健診療車（けんし８０２０）の運行は１月３１日（火）に可能となり、救援活動（緊急巡回歯科診療）に関わる器材料等必要とするものをお知らせいただけますれば準備整えさせていただきます。

また、使用にあたりましては別添をご留意くださいますようお願いいたします。

文移和Tel
近 030-309277 2
遠 040-309277 2

記

１．巡回歯科保健診療車（けんし８０２０）
　車　　両：　岐阜８８－る－２７６２
　車名型式：　トヨタ　U－HZB３６V改
　車台番号：　HZB３６－０００１０３３

２．ポータブル機器（１台）
　名　　称：　歯科用ポータブル診療装置ポータケアー
　型　　式：　HLU－D
　医療用具承認番号：　（０１B）第４３９号

同乗者
・総山会長
・酒向副会長
・中島事務
・伊藤先生
・保健衛生士
・横山（材料商 組合長）

会長	副会長	専務理事	常務理事			庶務担当
	河村					

資料5-6-5　巡回歯科診療記録

西宮市巡回歯科診療　記録

実施月日　平成7年 1月 29日（日）(AM)/PM 10:00 時～AM/(PM) 3:00 時

会場名　津門小学校

従事者

- 歯科(医師)（所属）　尼崎 8人　名古屋 1人
- 歯科衛生士名（所属）
- その他（所属）　尼崎技工士会 2人

対象者名	年齢	性	保存	義歯	受診指導	外科	相談	指導	その他
1 長[illegible]子	60	♀	✓						(抜) PKソニン2TX2日
2 [illegible]則	25	♂			口腔衛生	✓			抜 PKソニン ヒビテス 抜本 PKソニン ヘラミシン
3 新[illegible]江	69	♀		✓					
4 見[illegible]み	80	♀	✓						(抜) PKソニン
5 大[illegible]江	66	♀			主治医		✓		
6 篠[illegible]保	54	♂				✓			(抜) ヘラミシン PKソニン ヒビテス
7 北[illegible]一	17	♂	✓						抜 PKソニン
8 菊[illegible]子	63	♀		✓					
9 奥[illegible]子	73	♀		✓					
10 片[illegible]明	47	♂				✓			
11 保[illegible]子	41	♀	✓						
12 大[illegible]子	54	♀		✓	田中歯科			✓	
13 田[illegible]子	73	♀	✓						
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
計 13 件									

特記事項

乳幼児	老人	その他	計
0	5	8	13

(2) 巡回歯科診療の実施にいたる経過

1月23日（月）

保健チームによる巡回指導の中で、歯科診療を必要とする人に対する対応が話題となり、市は西宮市歯科医師会に対策の検討を依頼している。また、西宮体育館における医療チームのミーティングにおいても、避難所に歯科治療を希望する人があり、検討が必要であることが指摘された。このミーティングには市対策本部から北村直臣保健環境部長、寺田公彦健康増進課長も出席しており、大阪大学医学部公衆衛生学教室から現地の実情把握の一環として参加した歯科医師と、対策について協議した。

1月24日（火）

保健所、市健康管理課、派遣医師・保健婦による保健チームの巡回健康相談に大阪大学医学部公衆衛生学教室派遣の歯科医師が参加し、広田小学校において寝たきりの避難者に歯科治療が必要であることを確認。訪問歯科診療の資材を緊急に整備して避難所を巡回して歯科診療を実施することが必要と判断された。

医療チームにおいても懸案となっていた歯科医療対策について、西宮市歯科医師会と西宮保健所へ応援ボランティアとして出務した大阪大学医学部派遣の歯科医師の間で情報交換がなされた。

市からは市歯科医師会に、対処の方針について要請があり、西宮市歯科医師会は緊急理事会を開き、以下の点が確認された。

①早急に歯科医院の被害状況を調査し、診療可能な医院のリストを作成する

②会として歯科総合福祉歯科センターを基盤とした体制を確立するため、次の日曜日より休日診療を開始する

③来週からは水・金の心身障害者診療、火・木の寝たきり老人診療のスタッフは歯科総合福祉センターでの診療体制を確保する

巡回診療の実施に備えて、佐用郡歯科医師会の訪問歯科診療機器と南光町歯科保健センターからの歯科診療資材が、南光町から神戸市の避難所への救援物資とともに運搬され、東灘区の避難所にて受け取る。

1月25日（水）

西宮市内における緊急歯科診療体制について、歯科医師会緊急理事会において確認された歯科医師会としての対応に加えて、避難所等を対象とする巡回歯科診療については、大阪大学医学部公衆衛生学教室の歯科医師に企画立案を委ねる、との意向が歯科医師会長より確認された。また、西宮保健所の保健チームのミーティングにおいては、巡回保健指導にあたって歯科保健ニーズに関する実情の把握をして、巡回歯科診療に情報を提供することが要請、確認された。

巡回歯科診療に必要な資材を確保するために㈱ＧＣ、サンデンタル㈱からは歯科診療に必要な物品の寄付を依頼し、了承、提供を受けた。モリタ㈱にはポータブルユニ

ットの貸与について打診し、歯科医師会の依頼状があれば無償貸与するとの確認が得られた。

また、人材の確保について阪大歯学部同窓会（学内支部石田 武 検査室長）、ＪＩＣＯＨ（歯科保健医療国際協力協議会）の代表村居正雄氏、大阪府下の歯科医師（渡辺充春、北村康夫の両氏）に歯科医師のボランティア派遣要請について打診をする。また歯科衛生士のボランティア募集、派遣を大阪府歯科衛生士会（吉田幸恵副会長、事務局小杉公子氏）に依頼。大阪大学歯学部付属病院からは要請があれば協力できる体勢のあることが祖父江鎮雄病院長から伝えられた。

１月26日（木）

大阪府歯科衛生士会より、毎日２名づつのボランティア歯科衛生士が派遣される見通しとなり、本格的な巡回歯科診療が開始される。保健チームからの情報にもとづき、３か所の避難所および住居へ訪問診療機器を搬入して、午前中に訪問診療に訪れる。午後は保健所歯科衛生士とボランティア医学生が避難所を訪れ歯科保健指導を行う。

また、この日の午後、西宮市健康開発センターにおいて、第１回の「避難所の救護活動に係わる関係団体打ち合せ会」に歯科医師会からは長濱禎昭会長以下４名の役員と大阪大学医学部公衆衛生学教室派遣の歯科医師も出席。歯科保健対策について歯科医師会の計画ならびに巡回診療、歯科保健指導の実施の可能性とその計画について報告された。

その会議の後は、同会議に出席した長濱歯科医師会長および担当常務、理事、事務局長と大阪大学医学部公衆衛生学教室派遣の歯科医師が会議をもち、以下の内容の基本方針が確認された。

①すべての処置を無料で実施する

②巡回診療にかかる費用ならびに機材は原則として出務者の負担および寄付によるものとする

③治療は応急処置を主として、義歯は修理にとどめ、新しい義歯の作成ならびに継続した処置が必要な場合は、市内で診療している歯科医院名を紹介する

巡回診療の実施については、保健所に事務局をおき、その企画立案や人材確保の調整は大阪大学医学部公衆衛生学教室から応援ボランティアとして西宮保健所に派遣されている兵庫県歯科医師会会員でもある歯科医師が担当し、西宮市歯科医師会との協議の上で進めることが確認された。

当日の夜は、尼崎市歯科医師会館にて、水野康朗会長はじめ副会長、専務、常務、理事の各役員と大阪大学医学部公衆衛生学教室の歯科医師が西宮市における救援活動に関する協議を行い、土曜・日曜日に、白岡顕副会長を中心とする尼崎歯科医師会会員のチームが１日１～２か所の避難所を分担して巡回歯科診療に出動することが確認された。

１月27日（金）

各避難所へ連絡をとり、要請の高い避難所より巡回診療に回る。

巡回歯科診療に従事する歯科医師、歯科衛生士の継続的な確保のため、大阪府歯科衛生士会、阪大歯学部病院、その他の歯科医療機関等とそれぞれに折衝を行う。

また、兵庫県歯科医師会との協議の上で、岐阜県歯からは県歯を通じて移動診療車の提供の申し出を受けることとなり、岐阜県歯科医師会と連絡をとる。

また、他市への出動予定が中止となった自衛隊歯科医療チームに対して、西宮へ出動を依頼することについての打診が西宮市歯科医師会長濱会長へあり。基本的に受け入れる方向で協議をすすめることが確認された。

1月28日（土）

事前の連絡により、避難所の管理者より要請のあった2小学校において巡回歯科診療を実施した。

自衛隊歯科医療チームに対しては、出動の申し出を西宮市対策本部から県医務課を通じて行い、中央体育館へ配置することが確認された。

JICOH代表の村居氏より、松本歯科大学障害者歯科から人材派遣の計画があるとの連絡があり、笠原 浩教授と連絡をとり、西宮および神戸の概況を伝える。

兵庫県歯科医師会ならびに神戸市歯科医師会の各震災対策本部、兵庫県保健環境部あてに、西宮市における対策の現状を報告送信。

なお、被災地の各地区における歯科保健分野の実情や組織的な対応の現状について、主に所管の歯科医師会等に問い合わせを行った。

震災の被災地への救援体制として確認された内容は以下のとおりであった。

・大阪府歯科医師会対策本部

1　被災された会員への緊急融資、材料供給を行う。
2　被災地への義捐金を募る。
3　身元不明の確認を早急に行う。
4　厚生省、日歯の要請による保険証なしの歯科診療の周知をはかる。

・兵庫県歯科医師会対策本部

1　休日診療は従来どおり対応する。
2　稼働機関の実態調査を実施する。
3　各市の対策に関する情報を収集する。
4　歯科診療車は１７台ほど提供の申し出あり。問題は活用する人材確保。
5　長岡市など、２－３日滞在で人材派遣の意向も確認されている。
6　病院の歯科、神戸大学の人材による歯科診療の実施が検討されている。

その他、大阪・姫路からも約１０名、他地区からも１０名ほどの申し出があるが、宿泊の確保が困難であるために要請されていない状況であった。

・宝塚市、垂水区歯科医師会

休日、急病歯科診療の体制で対応する。

・芦屋市歯科医師会

1　歯科医師会館における診療を実施する。
2　市内15医療機関における診療についてマスコミを通じて周知をはかる。

・尼崎市歯科医師会

1　救援活動に出動する準備ができている。

2　会員の意向もあり積極的に活動したい。

3　技工士会の協力体制を確認している。

4　寝たきり老人対策に用意した診療機器も活用する。

・神戸市歯科医師会

1　市内の各地で診療バスを他県より借りて稼動させる。

2　大阪歯科大学の診療班が１７～８人の人材を投入し中央区で開始する。

3　遠隔地より歯ブラシやリンスなどの薬品の提供を依頼している。

4　1000人に17-18人の歯科需要があり、口内炎、急性症状、義歯紛失が多い。

・阪大歯学部病院

1　病院長を本部長として対策本部が設置されている。

2　要請があれば、病院から医員を毎日２名づつ派遣できる体勢がある。

1月29日（日）

３か所で巡回歯科診療を実施。

歯科医師の派遣について大阪の渡辺氏（松浦診療所）と連絡をとり、募集を依頼。

1月30日（月）

大社中学、瓦木小学校における巡回歯科診療を実施。

大阪大学歯学部病院へ、西宮市巡回診療班を代表して大阪大学医学部公衆衛生学教室からの派遣歯科医師が協議のため訪れ、病院長、病院長代理、事務長、事務課長補佐に、派遣要請をする。保健所長あるいは市長の名前で派遣要請を受ければ全面的に協力するとの確約が得られた。

岐阜県歯科医師会の歯科診療車は１月31日に運転して輸送し、２月１日から稼動が可能である旨、確認された。

松本歯科大学からは、保健所長あるいは市の部長名で派遣要請を受けて医員の派遣を検討したいとの意向が伝えられる。

1月31日（火）

広田小学校における巡回歯科診療を実施。

松本歯科大学、大阪大学歯学部への歯科医師派遣協力要請は西宮市災害対策本部長（市長）名で行うことを市健康管理課寺田課長と確認。

岐阜県歯科医師会の歯科診療車「けんし８０２０」が総山会長はじめ７名の役員、スタッフとともに市内に運転して輸送され、香炉園小学校の校庭に設置。

松本歯科大学障害者歯科学教室より笠原教授をはじめとする３名の医員が到着。医療救護および歯科保健対策の現状についての紹介、活動の予定についての確認の後、避難所となっている夙川公民館に宿泊。

２月１日（水）

大阪大学歯学部病院派遣の歯科医師、松本歯科大学障害者歯科学教室のスタッフを加えて巡回歯科診療を開始。自衛隊による診療も、市民体育館の駐車場に設置した診療コンテナ内で開始される。

(3)巡回歯科診療の実績

１月26日から２月24日までの診療実績は表5-6-2に示すとおりであった。

診療の内訳は、保存的処置 156件、義歯修理調整84件、外科処置23件、および保健指導 240件、相談 154件、受診指導 160件であった。

診療内容を年齢区分別にみると、保存処置は若い年齢区分に多く、高齢者では義歯修理が多くなっている。あらゆる年齢区分において保健指導が40％前後となっていることは、活動において歯科衛生士の参加が多かったこと、当初より保健指導を重視して巡回訪問を行ったことのほか、被災地の避難所においては歯科治療のみでなく、口腔清掃指導や口腔乾燥、口内炎などに対する指導のニーズが高かったことを裏付けている。

地区別にも処置内容の偏りがみられるが、上ケ原・甲陽園地区で受診指導が多くなっているのは、夜間のニーズ調査をこの地区で集中して実施したこと、この地区の避難所が従来より公営住宅として生活の場となっている居宅であったために、具体的な受診への要望が高かったことを示すものかもしれない。（表5-6-3～6）

２月24日時点で、市内の 140余りの避難所になお１万数千人が生活していたが、巡回歯科診療班はのべ 144か所（実数95か所）の避難所において約600名の住民に対する歯科治療、保健指導等を実施した。

(4)巡回歯科診療の出務者

巡回診療の業務の調整は西宮保健所と西宮歯科医師会において行った。

現場で診療業務に従事したのはほとんどがボランティアで、歯科衛生士は主に大阪府歯科衛生士会から募集して派遣された歯科衛生士ならびに尼崎、西宮市内在住でボランティアとしての参加申し出を保健所あるいは西宮歯科医師会が受けた歯科衛生士によって担われた。

また歯科医師は、大阪大学歯学部、同医学部公衆衛生学教室からの派遣にくわえて大阪府、千葉県、東京都からの歯科医師の個人ボランティアの協力を受けた。土・日曜日には尼崎市歯科医師会の協力を得た。その他、大阪府、愛媛県、東京都、北海道など県外からも個人的なボランティアとしての協力を得た。

この間の巡回歯科診療の活動に出務した人の数は、歯科医師延べ 125人、歯科衛生士延べ67人、運転や診療補助等のボランティア延べ29人で、出務者延べ総数は221人にのぼった。

表5-6-2　巡回歯科診療の実績一覧

月日	場所		歯科医師	衛生士	その他	利用者数	保存処置	義歯	受診指導	外科	相談	指導	投薬ほか	
1月														
26日	安井小		1	3	1	0								
	用海小		1	3	1	0								
	大社小		1	3	1	0								
	末広町住		1	3	1	1		1					ｲｿｼﾞﾝ	
	大社中			3	1	5			2		3			
	神原小			3	1	0								
	北夙川保			3	1	0								
	北夙川小			3	1	0								
(日計)		8	1	3	1	6								2
27日	段上西小		1	1		4			1		3	3		
(日計)		1	1	1		4			1		3	3		
28日	北夙川小		3	5	2	8	5		4		3	4		
	大社小		9			13	3	3	3	4	2		投薬7	
(日計)		2	12	5	2	21	8	3	7	4	5	4		7
29日	平木中		3	4	2	8	5	1	5			1		
	津門小		9		2	13	5	4	3	3	1	1	投薬5	
	春風小		6		1	5	1	2	2	1	1		投薬3	
(日計)		3	18	4	5	26	11	7	10	4	2	2		8
30日	大社中			1		1			1					
	瓦木小			1		4			2		2	2		
(日計)		2		1		5			3		2	2		
31日	広田小		3	2	1	3	2		2			3	投薬2	
(日計)		1	3	2	1	3	2		2			3		2

月日	場所	歯科医師	衛生士	その他	利用者数	保存処置	義歯	受診指導	外科	相談	指導	投薬ほか
2月												
1日	夙川公	2	1		1					1		
	夙川西公	2	1		3	1	1			1		
	大社中	2	1		2	2						
	神原小	2	1		0							
	神原公	2	1		2	1	1					ｱﾌﾀ投薬
	甲陽園公	2	1		0							
	甲陽園小	2	1		2	2						
	上ヶ原公	2	1		4	4						
	上ヶ原中	2	1		0							
	上ヶ原小	2	1		4	2				1		ｱﾌﾀ投薬
	寿園	2	1		0							
	香露園小	1	1		9	2	2	1		4		投薬3
	教育会館	1	1		7	2	4	1		1	1	
	浜脇小	2	1		6	3	3			1		要抜歯
	浜脇中	2	1		0							
	浜脇公	2	1		4	4						
(日計)	13	5	3		44	23	11	2		9	1	7
2日	香露園小	2	1		10	1	3	2	1	4	2	ﾍﾙﾍﾟｽ1
	上ヶ原小	2	2	1	9	3	3	2	1	9	9	
	夙川西公	2	1		4	2	1				3	義歯紛失
	総福ｾﾝﾀｰ	2	1		3	2					1	義歯紛失
	福祉会館	2	1		2		2					
	今津駅福	2	1		0							
	今津公	2	1		2		1					口内炎1
	今津文保	2	1		1		1					
	勤労会館	2	1		2					2		
	若竹生文	2	1		3	1	1					
(日計)	10	6	4	1	36	9	12	4	2	15	15	2
3日	ｱﾒﾆﾃｨﾋﾙｽﾞ	1	1									
	一ヶ谷団地集	1	1									
	国際連合警備	1	1									
	大社保	1	1									
	朝鮮学校	1	1									
	西田公園	1	1									
	広本外科	1	1									
	上ヶ原中	2	1									
	北夙川小	2		1	1		1	1				
	田近野町集	1	2	1	2		1				1	
	高木小	1	2	1	13	7	1	8		4	3	
	上甲子園中	1	2	1	1					1		
	上甲子園小	1	2	1	8		3	1			6	
	北夙川体	2		1								

	北夙川保	2		1									
	越木岩公	2		1									
	夙川Vﾊｲﾂ	1		1									
	大谷町団集	1		1									
	北夙川小	1		1									
	神原小	1		1									
	安井小	2		1									
(日計)	21	5	5	2	25	7	6	10	0	5	10		
4日	夙川小	2	1		14	10	1	2	1	1			1
	段上小	2		1	1	1		1		1			
	若竹公	2		1									
	平木小	2		1									
	平木中	2		1									
	仁川ｶﾄ教会	2	1		4	3	1	3					
	瓦木小	1											
	瓦木中	1											
	瓦木支所	1											
	瓦林小	1											
	高木小	1											
	高木ｾﾝﾀｰ	1											
	高木幼	1											
	高木公	1											
	桶ノ口小	7		1	4	1		1		2	1		
	段上西小	8		2	5	2	1		1	2	1		1
	段上公												
	甲東小	2	2	1	11	3		4		5	1		1
(日計)	18	22	4	5	39	20	3	11	2	11	3		3
5日	総教育ｾﾝﾀｰ	9		1	10	7		2	1				2
	瓦木小	9		1	2				1	1			
	瓦木中	9		2	4	2				2	2		
	競輪事業団	2	1		2		1	1					
	寿園	1	1	1	2	1	2						
	上ヶ原中	1	1	1	3	2	1						
	上ヶ原公	1	1	1	3	2			1				
	用海小	1	1		5	2	1			1		洗浄1	
	今津中	2	1		3					3		母子相談	
	西高校	2	1										
	中央図書館	2	1		2					2			
	上ｶ原南小	1	1	1									
	上ｶ原4住集	1	1	1									
	甲陵中	1	1	1									
	浜脇公	2	1		1					1			
	今津小	2	1		2					1			
	総福ｾﾝﾀｰ	1	1		5	2	1		1			洗浄1	
	夙川小	1	1		7	3	3		1				
(日計)	18	23	3	5	51	21	9	3	5	11	2		

月日	場所	歯科医師	衛生士	その他	利用者数	保存処置	義歯	受診指導	外科	相談	指導	投薬ほか
2月												
6日	青木住集	1		1								
	中央公	1		1								
	創価学会館	1		1								
	用海公		1		3					2	1	
	青木２集	1		1	4	2	1	1				
	今津小	1	1		1					1		
	市庭市民館		1		2			1			1	
(日計)	7	1	1	1	10	2	1	2		2	2	
7日	春風公		1		6						6	
	大箇公		1		3			3				
	上甲子園公		1		4						4	
	総教育ｾﾝﾀｰ	2	1	1	9	6	1		2	3		
(日計)	4	2	2	1	22	6	1	3	2	3	10	
8日	総教育ｾﾝﾀｰ	1	1	1	9	6	1	1			2	
(日計)	1	1	1	1	9	6	1	1			2	
9日	用海公	1	1		2	1	1					
	今津	1	1		2	1	1					
	平木小	1	1		2	2						
	総教育ｾﾝﾀｰ	2	1		2				1	1		
(日計)	4	2	2		8	4	2		1	1		
10日	総教育ｾﾝﾀｰ	2	1		4	3			1			
	体育館分館		3		4					4		
	若竹公		3		27			4		23	25	
	夙川公	1	1		2		1	1		2	2	
	越木岩公	1	1		1	1		1		1	1	
	神原小	1	1		1		1			1	1	
(日計)	6	3	5		39	4	2	6	1	31	29	
11日	春風公	1	3		20	2		3		18	18	投薬3
	北口SC	1	3		17		6	4		11	11	投薬5
	夙西市民館	2	3		15	2	2	5	1	2	7	投薬1
	中央体育館	2	3		20	2		3		3	18	
(日計)	4	3	6		72	6	8	15	1	34	54	

14日	平木小		2	1		8	4	1	2		1	5	
	鳴尾東公			1		4		1	1		2	4	
	平木小			1		4			4		3		
(日計)		3	2	2		16	4	2	7	0	6	9	
15日	平木小		3	2		4	1		1		2		
	平木中		2	2									
	平木公		4			16			16				
	平木小		4										
	上ケ原７		4			29			29				
(日計)		5	6	2		49	1	0	46	0	2	0	
16日	平木小		1	1		4	4				1	4	
	中市民館			1		8	3	6	8		6	8	
	月影保			1		7		1	1		1	7	
	広田会館			1		5		1	1		1	4	
	幸和園保			1		2						2	
(日計)		5	1	2		26	7	8	10	0	9	25	
17日	平木小		1	1		3	1			1	1	1	
(日計)			1	1		3	1			1	1	1	
18日	夙川西市民		1	3		44			2			44	
(小計)		2	2	4		47	1	0	2	1	1	45	
21日	上ケ原7住		2	1		11	4	2	4		1	4	
	今津中			1		1					1		
(日計)		2	2	2		12	4	2	4		2		
22日	上ケ原7住		2	1	2	6	1		6			6	
(日計)			2	1	2	6	1		6			6	
23日	上ケ原7住		1	1	1	8	3	2	4			1	
	上ケ原公		1	1	1	1		1				1	
(日計)		2	2	2	2	9	3	3	4			2	
24日	上ケ原8寿園		1	1	1	7	6	3	1			7	
(日計)			1	1	1	7	6	3	1			7	
総計（人）		144	125	67	29	592	156	84	160	23	154	240	

表5-6-3　巡回歯科診療の処置内容の推移

	1月						2月																			
	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	14	15	16	17	18	21	22	23	24	総計
保存処置	0	0	8	11	0	2	19	9	7	20	19	0	6	5	4	4	6	4	1	7	1	0	4	1	3	6	147
義歯修理	1	0	3	7	0	0	10	12	6	3	9	0	2	1	2	2	9	2	0	8	0	0	2	0	3	3	85
受診指導	2	1	7	10	3	2	1	4	10	10	3	1	7	1	0	6	15	7	46	10	0	0	4	6	5	1	162
外科処置	0	0	4	4	0	0	0	2	0	3	5	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	22
相談	3	3	3	2	2	0	9	15	5	7	12	3	5	0	1	31	33	5	2	9	1	0	2	0	0	0	153
保健指導	0	3	4	2	2	3	1	15	10	5	2	2	6	2	0	29	49	9	0	25	1	43	4	6	2	7	232
投薬	0	1	7	8	0	2	9	6	0	7	3	2	0	0	2	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	1	59
対象者数	6	4	21	26	5	3	44	36	25	39	51	10	22	9	8	39	72	16	49	26	3	44	12	6	9	7	592

表5-6-4　巡回歯科診療の地域別処置内容

	上が原 甲東園	西宮北口周辺	夙川・香櫨園	今津・甲子園	総数 (%)
保存処置	35	47	42	23	147
	30.2	24.4	24.9	20.2	24.8
義歯修理	17	20	28	20	85
	14.7	10.4	16.6	17.5	14.4
受診指導	56	60	26	20	162
	48.3	31.1	15.4	17.5	27.4
外科処置	3	5	8	6	22
	2.6	2.6	4.7	5.3	3.7
相談	20	69	27	37	153
	17.2	35.8	16.0	32.5	25.8
保健指導	35	98	62	37	232
	30.2	50.8	36.7	32.5	39.2
投薬	11	13	19	17	60
	9.5	6.7	11.2	14.9	10.2
総数	116	193	169	114	592
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表5-6-5　巡回歯科診療の利用者の地域・年齢別構成

年齢（歳） 地区	-19	20-39	40-59	60-	不明	総数
上が原・甲東園	21	12	37	36	10	116
	18.1	10.3	31.9	31.0	8.6	100.0
西宮北口駅周辺	34	44	62	52	1	193
	17.6	22.8	32.1	26.9	0.5	100.0
夙川・香櫨園	27	23	49	69	1	169
	16.0	13.6	29.0	40.8	0.6	100.0
今津・甲子園	11	18	34	50	1	114
	9.6	15.8	29.8	43.9	0.9	100.0
総数	93	97	182	207	13	592
（%）	15.7	16.4	30.7	35.0	2.2	100.0

表5-6-6　巡回歯科診療の年齢別処置内容

年齢（歳） 地区	-19	20-39	40-59	60-	不明	総数 （%）
保存処置	31	28	52	32	4	147
	33.3	28.9	28.6	15.5	30.8	24.8
義歯修理	0	0	8	76	1	85
	0.0	0.0	4.4	36.7	7.7	14.4
受診指導	20	31	54	55	2	162
	21.5	32.0	29.7	26.6	15.4	27.4
外科処置	6	3	7	5	1	22
	6.5	3.1	3.8	2.4	7.7	3.7
相談	18	33	44	56	2	153
	19.4	34.0	24.2	27.1	15.4	25.8
保健指導	35	38	70	87	2	232
	37.6	39.2	38.5	42.0	15.4	39.2
投薬	6	11	18	19	6	60
	6.5	11.3	9.9	9.2	46.2	10.2
総数	93	97	182	207	13	592
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(5)巡回歯科診療の成果と限界

a) 巡回歯科診療の成果と保健指導への課題

1月26日より開始された巡回歯科診療は、市内の診療可能な歯科医院の機能を生かしつつ、西宮歯科総合福祉センターや自衛隊の仮設歯科診療所などの定点における歯科診療機能を補完するものとして、積極的に避難所等を訪問して保健指導をも併行して進め、被災地における歯科保健対策に一定の成果をあげ得たと考えられる。

巡回歯科診療の活動の内容は、参加者の意見をも受けて検討しつつ、状況の変化に応じた対応が試みられたが、2月11日の時点では活動参加者によって、その成果や問題点について検討会がもたれ、現状における課題が担当者によってまとめられた。

その内容は別紙「阪神大震災の被災地における歯科保健の現状と課題について」**(資料5-6-5)**に示す通りであるが、その中では、とりわけ歯科衛生士による訪問歯科保健指導の重要性が指摘され、そのための条件が提示された。しかしながら、さまざまな要因で保健指導としての継続的な実施には至らず、2月24日をもって保健所を基盤とした巡回歯科診療は終結した。

b) 巡回歯科保健指導の意義

巡回歯科診療と併せて実施してきた保健指導・相談は、これまでも歯科医療のニーズを発見して受診に結び付けるほかに、直接的な保健指導を進めることにより住民の不安を解消したり、口腔保健上の問題を解決してきた。それは、あたかも保健所スタッフや援助ボランティアによる保健チームが、医師、保健婦、臨床心理士、理学療法士、作業療法士等を中心として構成されて巡回保健指導を実施することにより、住民に大きな安心と信頼を与えてきた活動に匹敵するといえる。

巡回して歯科保健指導を実施する目的と意義は次のように考えられる。

①住民の歯科医療のニーズを発見し、早期に適切な対処に結び付ける。

②市内の診療可能な歯科診療所等、歯科医療の現状についての周知をはかる。

③制限された生活状況を強いられ、緊張、疲労、栄養不足などの影響から口腔疾患をきたしている住民に適切な指導・助言を通じて口腔衛生の維持、改善を図る。

④住民に直接に接して話をきくことにより、生活上の不安や精神的な不安定を来たし易い人々に精神的な援助を与える。

⑤外出や受診が困難な人々の保健上の課題を発見して、歯科医療、医療、あるいは適切な保健指導、カウンセリング等に結び付ける。

c) 巡回歯科診療の限界

巡回診療に従事した歯科医師、歯科衛生士から、活動の反省として数々の意見が提出された。その主な者を列記する。

①地区格差

地区、施設により、恵まれている場所とそうでないところがある。しかし一般に、風呂もあり、歯ブラシもゆきわたって、食事もいいところでも、サービスの情報が十分に行き渡っていないところがある。また、避難所の管理者、担当者によっても対応が異なる。

②受診の動機づけ

巡回診療に関しての周知が十分に図られていないところが多く、一般にＰＲ不足が感じられた。そのような場合でも避難所の中をを回って宣伝すると、相談者も増える。また、一度放送をすると、その都度、２－３人の来所がみられることもある。

また、歯科治療だけでなく、相談も受け付けるという情報も重要であり、衛生士が事前に調査を実施して、必要な歯科治療に結び付けるというように、有効な活用を検討することも重要である。つまり、自発的な受診者は少ないが、避難者の生活の場に出向いて働きかければ反応が得られており、従事者の対応が重要である。

③避難者の昼間不在

避難所に訪問して巡回診療を行うのは主として昼間であったが、住人の数が変化する上に昼間は不在の避難者が多く、巡回診療先で、一人も避難者のいない場所などもあった。

しかし、移動が困難な人は昼夜を問わず避難所におられ、そのような人々こそ、訪問巡回診療の対象とすべきであるが、歯科治療一般に対する不安や、応急処置なら辞退するという反応もあり、すべてのニーズに必ずしも有効に対処し得ていない。

また、住民の中にはストレスを抑えるためか「飴」を食べ続けるようになったという人が多いことも指摘され、口腔保健面での指導が重要であることも痛感された。また、通院の困難な人が継続的に歯科受診をする方法についても配慮することが重要である。

一般には、主訴が受診には必ずしも結びつかない歯科疾患の特性が巡回診療においても現れているといえる。

④歯科衛生士による現状把握、相談、指導

避難所の住民には、歯科保健に限らず様々な生活上の不安が多く、どこに相談してよいかわからずに放置されていることが多い。したがって巡回にあたっては、歯科的な愁訴の有無を尋ねるだけでなく、まず住民に「何かお困りのことはありませんか」と、耳を傾ける姿勢を示すことが重要である。保健上の問題については衛生士だけでも対処できるケースもあり、歯科保健指導によって、しばらくは受診が困難な人の不安を解消することもあるが、住民の要望の中で訪問担当者が十分に対応できない課題についても、施設の担当者や他の保健チーム等への連絡をとる、あるいは搬送や訪問診療などに結びつけるなど対処をとることが、ニーズに的確に対処することになる。

歯科医師とともに出務する場合でも、巡回するスタッフはできる限り避難所の住民の生活の場に訪れ、身近に相談に応じる姿勢が極めて重要である。

d) 巡回歯科保健指導の条件

保健チームの巡回保健相談が保健婦を中心として企画されているように、歯科保健チームの巡回歯科保健指導は保健所歯科衛生士を中心として計画、実施されているが、その継続のためには、引続き、これまで以上の援助を要すると思われる。

特に、上の目的を達成するためには、従来の援助に加えて、当面、以下の点が必要である。

① 保健所歯科衛生士のサポート体制

現在、西宮保健所には1名の歯科衛生士が勤務しているが、巡回歯科診療にともなう調整・連絡と併せて巡回歯科保健指導のコーディネータとしての機能を1名で持続するには著しく困難があるが、その機能をボランティアに期待することも困難である。そこで、県下の他保健所の歯科衛生士を始めとする職員の応援体制を確立することが必須である。

② 実施のための歯科衛生士の要因確保

実際の活動に従事する歯科衛生士は、従来の巡回歯科診療がボランティアの歯科医師、歯科衛生士によって実施されてきたように、ボランティアの歯科衛生士を確保することが必須である。そのため、県下や大阪府など近隣の歯科衛生士会の協力を得るほか、広報機関を通じて、ボランティアを募集して、必要な人員を確保することが必要である。

③ 巡回歯科保健指導マニュアルの作成と研修

歯科保健指導は本来の歯科衛生士の業務であるが、実情からして、多くの歯科衛生士は訪問あるいは巡回歯科保健指導の経験が希薄であり、事業を円滑に進めるためには、これまでの被災地での活動や訪問歯科保健指導の経験を生かして、実施マニュアル（必携品一覧、その整備、注意点など）を作成することが重要である。また、ボランティアとして参加する歯科衛生士に対して、出務前に必要最小限のミーティングを通じて、活動の目的や意義、留意点について周知を図ることが必要である。

(6)必要な資材

診療機材は携行が限られているが、一方でどのような事態、どのような症例にも対処しなければならない。また毎日、診療に出かけるチームの数は1チームから数チームまで多様であり、その成員も異なるので、携行器具も毎日変わり得る上に、スタッフが変化するので、備品の管理は極めて重要かつ困難な側面がある。また、往診機材をすべての巡回診療チームに同様に用意するのではなく、巡回診療の基地となる場所、機動的に対応するチームが持ち回るもの、と区別することも必要である。

表5-6-7に、巡回訪問指導の従事者から、巡回診療必携として指摘をいただいた資材の一覧を記す。

表5-6-7　巡回歯科診療における必携資材一覧

歯科巡回診療必携資材一覧

・歯科診療情報
　　近隣の歯科医療機関リストと地図
　　避難所の管理者と担当者の一覧
　　保健所、歯科医師会等の相談連絡先
　　日常的な口腔衛生管理に関する案内
・診療用具
　　口腔内診査用ペンライト
　　デンタルミラー（ディスポ）、歯科用ピンセット
・口腔清拭、洗浄、指導用具
　　ハンドミラー
　　綿花、ガーゼ、綿棒、巻綿子（割箸し利用も可）
　　歯ブラシ、歯間ブラシ、歯周疾患用ソフトブラシ、ウッドピック
　　液状みがき、洗口剤、水歯みがき、含漱剤（ポピドンヨード剤など）
　　義歯洗浄剤
・粘膜塗布剤
　　リップクリーム、ワセリン、軟膏（アフタゾロン、ケナログ等）
・治療材料
　　レジン（光重合）、セメント、アイオノマー
・義歯調整剤
　　ティシューコンディショナー、リベース用レジン、修理用即充レジン
・手指保清、洗浄、消毒
　　ウエットテイシュー、テーシューペーパー、ゴム手袋
　　ペーパーシート、ペーパーエプロン
　　ビニール袋、ビニールシート、ピニールパック
　　紙コップ
・内服薬、その他
　　抗生物質、鎮痛剤、消炎剤
　　目薬、マスク、テープ絆創膏

(7)巡回歯科診療の実績をふまえた今後の対策

a) 震災１か月経過時点における歯科保健ニーズの調査

震災１か月を経過した２月15日と18日には、市内で被害の大きかった代表的な被災地域である夙川・香櫨園地区（夙川西市民館）、西宮北口駅周辺（平木中学校）、甲東園・上ケ原地区（上が原７番地集会所）の３避難所において住民の全員を対象とする歯科保健ニーズ調査を行った。回収率は56.3%であった。

その結果から以下のような歯科保健ニーズの現状が明らかとなった。

震災発生後の歯科受療状況については、6.2%が受診しており、76.8%は「受診の必要を感じてない」という回答であったが17.0%が「受診したいができない」「受診したいと思っていたとき被災した」と回答した。対象地区のうちすでに巡回診療を実施した夙川地区では回答者の24.0%が震災発生後に歯科診療を受けていたが、その他の地区では受診者は全体の4%であった。一方、「受診したい」「受診したいと思っていた」という者は、夙川地区では6.9%、その他の地区では18.1%にのぼっていた。このように、巡回診療の実施の有無により、地域ごとの受診者や受療希望者の割合に顕著な差が認められた。

自覚症状では、15.5%が痛みを訴えており、口腔所見でも「腫脹」が全体の12%に認められ、「発赤」が18.4%に、う窩（虫歯）が6.6%に認められるが、義歯の紛失あるいは使用時の痛みを訴えているのは、それぞれ１%、1.6%であった。

歯科医院の開設状況に関する認識については、5.3%が「歯科医院が被害を受けているので通院できない」としているが、歯科受診を「受けたいが受診できない」と回答した者の中で「医院の被害」を理由に挙げる者はなかった。

このニーズ調査において特徴的であったのは、巡回診療を実施した地区では受診を希望している者が少なく、他方で、多くの歯科治療ニーズが受診や受診希望とむすびついていないということであった。

市内の歯科医療機関の復旧は2月にはかなり進んでおり、また、このニーズ調査において受療希望が多かった２地区では、その後、巡回歯科診療も実施されている。したがって住民が自覚している顕在化された歯科需要には既存の歯科診療機関の対応に期待できる状態となり、歯科診療車による活動は２月末の時点でほぼその役割を果たしたと評価された。また、身体機能の制限のために受診が困難な住民にたいしては、歯科総合福祉センターを基盤にした歯科医師会による在宅老人訪問歯科診療事業が従来の体制を回復して毎週火・木曜日に実施されていることとから、その機能に委ねることとされた。

一方、巡回歯科保健診療と併せて実施してきた保健指導・相談は、直接的な保健指導を進めることにより住民の不安を解消したり、口腔保健上の問題を解決する上に、歯科医療のニーズを発見して受診に結び付けてきたが、受診や受診希望とむすびついていない歯科治療ニーズも少なくなかった点からも、被災地の健康管理の一環としてのニーズは高いことが明らかとなった。

b）巡回歯科診療の現状と課題に関する中間報告

巡回診療の計画は、初期に計画された主要避難所における被災者を対象とする巡回歯科診療から、実施過程で明らかとなった実情や支援体制を背景に、全ての避難所の訪問を目標とする巡回訪問指導へと対象が拡大され、当面は期待された以上の成果をあげた。また、市内の歯科診療機関の機能も１か月を経た時点ではかなり回復してきたという状況から、既存の歯科診療機能を補完するという当初の任務は、ほぼその時点で終了したと考えられた。

一方、１か月を経た時点で行った歯科保健ニーズに関する調査結果からも、住民の歯科保健に関するニーズが必ずしも受診希望や受療に結びついていない現状が明らかであり、その主要な要因は、住民が口腔疾患や口腔衛生保持に対する認識を得る機会が十分ではないことと、極めて制限された状況での生活を余儀なくされているために住民の意識における保健課題の優先度が低くなっているためであると考えられた。

実際に、診療を再開した市内の歯科医療機関においても受診患者の著減がみられていることが報告されていた。

一方、巡回歯科診療の実施にあたっては、歯科治療の実施と並行して、歯科衛生士等による積極的な保健指導を、各避難所の生活の場において実施されるようことが望まれた。しかし、そのような計画を遂行するためには、引き続きボランティアの歯科衛生士の協力体制を確保するとともに、通常業務をかかえた保健所が、被災地における活動のコーディネーターとしての役割を引き続き果たすことが必須であり、そのためには、被災地を有する保健所への歯科衛生士業務の支援体制の強化が不可欠であることが予測された。

そこで、引続きボランティアとして活動する歯科衛生士の確保を図るために大阪府歯科衛生士会、兵庫県歯科衛生士会への歯科衛生士ボランティア確保の打診ならびに、兵庫県保健環境部への他地区保健所の歯科衛生士派遣の可能性についての打診などをはかると同時に、西宮保健所、県と市の歯科医師会へは別紙の中間報告が提出された**（資料5-6-6）**。また、それにもとづき、「巡回歯科保健活動についての試案」も作成された**（資料5-6-7）**。

しかしながら実際には、巡回歯科診療の活動は多くの歯科医師と多くの歯科衛生士の活動によって支えられたが、その連絡調整機能は保健所に派遣された歯科医師と常勤の歯科衛生士に委ねられる中で、保健所としての通常業務の再開への要請もあり、継続して巡回指導の連絡調整を保健所を基盤として行うことには現実的な困難があること、また他地区でのボランティア歯科衛生士派遣への要請の中で応援スタッフの継続的な確保も困難となり、各地からの応援への申し出はありながら、２月24日の巡回歯科診療の終結をもって、避難所における歯科診療と歯科保健指導の活動は同時に収束することとなった。

巡回歯科診療活動には、電話や口頭でも数々の感謝が述べられたが、避難所から届いた感謝状の一つを章末に紹介する。**（資料5-6-8）**

資料5-6-6　巡回歯科診療の中間報告　　[2月11日]

阪神大震災の被災地における歯科保健の現状と課題について

1)巡回歯科診療の成果

保健所を基盤とする保健チームによる巡回保健指導、各種医療機関や医療ボランティアによる医療チームの取り組みの中で、「義歯を無くした」「食事が出来ない」「治療にかかっていた歯科医院が倒壊して受診できない」などの歯科保健に関する課題が現れたことを契機に、西宮市では１月26日より巡回歯科診療が開始された。

これは、①市内の診療可能な医院の機能、②歯科総合福祉センターにおける定点での診療体制、等の機能を補完することを目的として取り組まれ、２月９日時点で、市内の162か所の避難所のうち93か所を巡回し、303名の住民に対する歯科治療、保健指導等を実施した。

２月11には歯科医師３名、歯科衛生士７名が従事して巡回活動を継続しているが、以下のような実情の変化に対応して、当巡回歯科診療の実施体制を、現時点で再検討する必要があると考えられる。

① 市内の診療可能な歯科診療所数は、210か所のうち 86カ所（25日しらべ）から120カ所へ（28日調べ）と変動しており、更に現在ではほぼ９割の歯科医院が診療可能な状態に復帰してきている。

② 巡回歯科診療において特徴的であったのは、緊急避難的な救急処置を必要とする症例は決して多くない反面、住民の多くは歯科治療のニーズがあっても放置して必ずしも受診にむすびついていない。

③ 緊張や疲労、栄養不足、消化器系の障害などの影響か、口内炎や口腔、口唇の乾燥、炎症が比較的に多くみられるたり、水の使用制限からブラッシングを中断している住民が多く、歯肉炎も多くみられるが、これらの愁訴は歯科受診の動機とはなっていない。

④ ２月１日より自衛隊歯科診療隊、および岐阜県歯科医師会の診療車による診療が実施されているが、受診車は漸減の傾向にある。

などである。

これらの実情を受けて、第１次の巡回歯科診療は十分な成果を上げたと判断し、今後は、市内の重点的な地区に歯科診療車を数日毎に移動して、毎日１カ所の歯科診療を維持する一方で、従来より歯科診療と並行して実施してきている歯科衛生士による訪問歯科保健指導を主な事業とすることが重要であると判断される。

2)巡回歯科保健指導の継続

巡回歯科保健指導は、単に歯科医療のニーズを発見して受診に結び付けるだけでなく、直接的な保健指導を進めることが主な目的となる。それは、あたかも保健チームが医療チームとは別個に、主に公衆衛生の医師と保健婦を中心とするグループにより巡回保健指導を実施している目的に匹敵する。それは住民に大きな安心と信頼を与えると同時に、ここ事後の継続的なサービスを持続させる重要な情報源ともなる。保健チームのオーガナイザーは保健所保健婦であるように、歯科保健チームのオーガナイザーは保健所歯科衛生士が担当すべきである。

3)巡回歯科保健指導の条件

上の目的を達成するためには、当面以下の点が必要である。

① 保健所歯科衛生士のサポート体制

現在、西宮保健所には1名の歯科衛生士が勤務しているが、巡回歯科診療にともなう調整・連絡と併せて巡回歯科保健指導のコーディネータとしての機能を1名で持続するには著しく困難がある。

そこで、県下の他保健所の歯科衛生士を始めとする職員の応援体制を確立することが必須である。

② 実施のための歯科衛生士の要因確保

実際の活動に従事する歯科衛生士は、従来の巡回歯科診療がボランティアの歯科医師、歯科衛生士によって実施されてきたように、ボランティアの歯科衛生士を確保することが必須である。そのため、大阪府・兵庫県歯科衛生士会の協力を得るほか、広報等を通じて、ボランティアを募集して、必要な人員を確保することが必要である。

広報原稿

被災地域の歯科保健指導チームに参加するボランティア歯科衛生士を募集します

阪神大震災による災害をうけた地域の住民については歯口清掃の不良からくる口腔内の不潔などにより、各種症状を訴える人が多くなっています。そこで、西宮保健所では、歯科衛生士による巡回歯科保健指導活動を行い、口腔内の健康状態の改善を図っています。

つきましては、下記のように、歯科衛生士のボランティアの募集をしています。

記

巡回地区： 西宮市

申込先： 兵庫県西宮保健所健康課 0798-26-3666

③ 実施要綱の確認

巡回歯科診療は県・市歯科医師会、保健所、市ならびに篤志の共同で実施されてきたが、歯科保健指導の実施は、以下の実施要綱（案）のように、あくまでも保健所がそのリーダーシップをとり、実施すべきである。

④ 巡回指導マニュアルの作成

歯科保健指導は本来の歯科衛生士の業務であるが、実情からして、多くの歯科衛生士は訪問あるいは巡回歯科保健指導の経験が希薄であり、事業を円滑に進めるためには、これまでの経験を生かして、実施マニュアル（必携品一覧、その整備、注意点など）を作成することが必要である。それにより事業が他地域へも波及した際に、スムーズな実施を可能とする。

資料5-6-7　巡回歯科保健活動についての試案

被災地区の巡回歯科保健活動についての試案（1995.3.7）

1　目的：

被災者の口腔保健の確保のため、生活ならびに健康状態に応じた相談、指導を行い、必要な場合は適切な歯科医療、継続的な歯科保健指導あるいは一般の保健、医療、社会サービスによる対処に結びつける。

2　実施要員：

当該および近隣府県歯科衛生士会、国際歯科協力協議会等を通じた働きかけにより、主旨に賛同し、協力の申し出のある歯科衛生士を中心とする。

3　実施内容：

・方法：

歯科衛生士を中心とする歯科保健指導チームを構成、あるいは保健・在宅訪問チームに歯科衛生士が参加し、避難所等あるいは居住している場所を巡回、訪問する。

・実施日：

参加可能者を整理して、週のうち実施曜日を限定して数人単位が同時に参加できる機会を設定する、あるいは日差はありながら、参加人数に応じてチーム構成をはかる。

・研修

従事者には、被災者に接する心がまえ、市内の保健医療の現状などについて、事前に必ず研修を行う。これには、歯科衛生士会、大学からの派遣担当者、保健所歯科衛生士が分担して行う。

・事後の報告

実施後、ミーティングを行い、事例の確認、報告、参加者の申し送り等の機会をもつ。

4　準備ならびに連絡調整：

人材確保は各歯科衛生士会等で行う。従事者のチーム編成や実施場所については、保健所にて調整を図る。

資材の準備や資料の整理は保健所にて行う。

5　条件：

保健所業務の支援体制の強化が不可欠である。

経験ある歯科衛生士は適応力があるが、若い歯科衛生士にもできるだけ参加できるよう、事前に充分な研修や周知を行うことが必要である。

日曜日は主婦の歯科衛生士は出務しにくいが、若い会員は木、休日などが参加しやすいなどの事情があり、曜日によって参加者の層が異なる可能性に配慮する。

資料5-6-8　巡回歯科診療を実施した避難所からの感謝の手紙

様　　1995.2.16

西宮市立高木小学校
校長　荒巻　勲

阪神大震災のお見舞いへのお礼

拝啓　立春も過ぎ日ごとに春の訪れを感じさせる昨今ですが，ご健勝にてご活躍のことと存じます。

さて，この度の「阪神大震災」はわたしたちの高木小学校にも甚大な被害を与えました。高木小学校の児童の５名もの尊い命が失われました。また，親族も１０名を越える方がたが亡くなられました。そして，多くの家屋が倒壊し，避難所や親戚・知り合いへ避難している方がたも数多くおられます。

このようなまさに未曾有の大災害に直面しておりますとき，わざわざ高木小学校にお越しくださり，お励ましくださったことに心よりお礼を申し上げます。これからどうしようと困っておりましたときの激励は本当に心の支えになりました。また，その際に被災者にとって本当に必要な物品を頂戴し，感謝いたしております。いただいた品々は早速被災者にお届けし，喜んでいただきました。そして，多くの方から「お見舞いいただいた方に厚くお礼を申し上げてほしい」という声が寄せられています。

高木小学校はみなさまがたのお励ましもあり，去る１月３０日に教育活動を再開いたしました。まだまだ不充分なところもありますが，日を追って教育活動を充実してきております。避難していた児童も少しずつ帰って来はじめ，学校に活気がよみがえりつつあります。また，亡くなった５名の児童を追悼する「５人の友だちとお別れする会」を２月１０日に児童．教職員をはじめ保護者．地域の方がたにご参列いただいて，行いました。５名の児童の冥福を心よりお祈りするとともに，大震災のよる被害から一日も早く立ち直ることを誓いました。

大震災によって心身に受けた傷は，あまりにも大きくそう簡単に復旧できるとは思えませんが，みんなで力を合わせてがんばろうと励ましあっています。もし，高木小学校の近くにお越しの節には，ぜひお立ち寄りくださるようお願い申し上げます。きっと，復興のためにがんばっている児童や教職員．保護者．地域の方がたの姿を見ていただけると存じます。

この度のご厚意．ご厚情に心よりお礼を申し上げますとともに，今後のご指導，ご支援をお願いして，お礼の言葉といたします。最後になりましたが，まだまだ寒い日が続きます。くれぐれもご自愛くださいますように。

敬具

7）機能訓練活動

(1)巡回リハビリテーションの開始

西宮市における被災地リハビリテーション活動は１月２７日から、兵庫医科大学リハビリテーション科の指導と協力で開始された。巡回リハビリは専門医師、ＰＴ／ＯＴ、保健婦を含む「フルリハビリチーム」、保健所の医師、保健婦にＰＴまたはＯＴが同行する「保健巡回チーム」、ＰＴ、ＯＴが２名構成で保健婦１名が加わる「セラピストチーム」の３種類として行われ、それぞれの特色をいかした活動を実施した。

１月３０日時点で西宮市内では１０医療機関においてリハビリテーションの対応が可能であったが、被災した高齢者が避難所などの不自由な環境の中で「寝たきり」などになりやすい状態があったため、訪問して相談、指導、援助にむすびつけることを目的として実施された。**（資料5-7-1～4）**

(2) 巡回リハビリテーション活動の実績

リハビリテーションチームの活動は３月27日まで継続して実施され、この間の対象者は226名で、60歳以上が76％をしめていた。

資料5-7-1　リハビリテーション活動の案内（掲示）

リハビリテーション医療を必要とされる方へ

リハビリテーション医療の受けられる病院等の再開状況は別表の通りです。

今まで診てもらっていた病院等へ行かれるのも結構ですし，近くへ行かれるのも結構かと思います。

新たに、運動の機能とか、生活上の各種動作に困難を感じられる方々も、この病院等で相談を受けて下さい。

出向くことの出来ない方、出向くほどではないが寝たきりになりそうで心配な方には、「巡回リハビリチーム」がありますので問い合わせて下さい。

問い合わせ先：西宮保健所（TEL　0798-26-3666）

資料5-7-2　巡回リハビリテーション実施要領

巡回リハビリテーション実施要綱

1．支援内容

①寝たきりにしないための環境調整を行う（トイレ・椅子・段差等の住環境）
②動作指導（寝返り・起き上がり・立ち上がり・歩行）
③相談（情報収集・医療・福祉情報の提供）
④実施記録の作成
⑤現場の状況によってＰＴ・ＯＴとしての専門性を生かせるよう、適時対象者のニーズに沿った支援を行う。また、現場に入ってから医師・保健婦等からの具体的な指示や依頼を受けることも必要である。

2．巡回リハ医師との連絡

①医療という色彩も入るが、医師の派遣は全てのチームに派遣できないこともあるため、医師のいないチームだは必要に応じて巡回リハの医師の指示を受ける。
②巡回リハの医師が近隣地にいたり、連絡がとれない場合は、翌日の巡回リハの指示を受けるよう日誌に申し送る。

3．持ち物・服装

①弁当・水筒・身の回り品
②服装は普段着（ジーパン可能）

4．派遣協力について

今回の巡回リハビリテーションチームメンバーはボランティアとして支援いて頂きます。
メンバーおよびその所属施設に対する派遣協力依頼がもし必要であれば、県の方にお願いすることができます。
派遣要請は各県士会事務局がおこないます。

資料5-7-3　巡回リハビリテーション活動マニュアル

「巡回リハビリチーム」活動マニュアル

1．チーム構成

1）フルリハビリチーム：リハ医－セラピスト（ＰＴ＋ＯＴ）－保健婦

2）保健巡回チーム：保健所医師－保健婦・看護婦－セラピスト（ＰＴまたはＯＴ）

3）セラピストチーム：ＰＴ－ＯＴ（場合によってはＰＴ－ＰＴ、ＯＴ－ＯＴ）
２名構成の複数チームに統括保健婦１名

2．従事内容

1）フルリハビリチーム：a.筋骨格系、神経系疾患の医療相談、
b.運動機能・動作能力障害のリハビリテーション
c.心身の適応についての相談
d.生活の確立に向けての援助、福祉への橋渡し
e.その他リハビリテーション一般

2）保健巡回チーム：a.西宮保健所の巡回に随行して、その都度セラピストとしての対応をする。要すれば、フルチームに引き継ぐ。
b.避難所の外観的なこと、社会的側面、一般的生活を記載しておく

3）セラピストチーム：a.避難所内で、個別に問いかける。
b.必要に応じて、別紙「明るい明日のためのリハビリ」のアプローチをする。
c.心理的問題については、共感出来る者でありたい。いたずらに背負い込もうとしないようにする。
d.アプローチの全てを、ミーティング（口頭或いは書面）で報告する。
e.要すれば、フルチームに引き継ぐ。

3．銘記すべき事

今、この時点で、生活の目標を定め難い方が多いと思います。空しく、漠然とした現状の中にも、一つでも、非常に細かなことでも、具体的な、自分自身のための取り組みが進むと言うことに重要な意味があると思います。本当に、我々は微力ですが、身体機能或いは生活行動についての相談相手になって上げ、また、一緒になって生活のための行動を起こして行ければと思います。

資料5-7-4　避難所における巡回機能訓練について（県健康課）[1月29日]

県健康課資料
H7.1.29 FAX.

避難所における巡回機能訓練について

このことについて、1月29日（日）10時から、健康課内において協議した結果は次のとおり。

〔出席者〕○神戸大学医学部教授　水野耕作、同助手　佐藤俊一
兵庫県理学療法士会長　八木範彰、同副会長　神沢信幸
兵庫県作業療法士会長　大喜多暉
○兵庫医科大学PT　小室透、県総合リハセンターOT　松田美穂
県健康課長　高岡道雄、副課長　久戸瀬況夫、健康政策係長　河野益

1　調査結果報告
―27日及び28日の調査結果は別紙のとおり。

2　活動体制
活動の性格、組織、活動方法等について協議した結果は次のとおり。

〔活動の性格〕
ボランティア活動

〔名　称〕
巡回リハビリテーションチーム（略称：巡回リハチーム）

〔組　織〕
（1）代　表：神戸大学医学部教授　　水野耕作
（2）幹　事：兵庫医科大学教授　　藤原　誠（阪神地区医師担当）
神戸大学医学部助手　　佐藤俊一（神戸地区医師担当）
兵庫県理学療法士会長　八木範彰（理学療法士担当）
兵庫県作業療法士会長　大喜多暉（作業療法士担当）
（3）事務局：兵庫県理学療法士会・兵庫県作業療法士会内
（TEL 078-927-2727　兵庫県総合リハビリテーションセンター内　担当：小嶋功）

〔活動方法〕
（1）PT及びOTでチームを構成し、避難所等を巡回することを基本とする。
（2）医師は、巡回チームと常時連絡がとれるよう待機し、助言、指導、その他の支援を行う。
（3）活動拠点は、神戸地区は避難所救援センター、阪神地区は県保健所とする。

3　今後の活動計画
（1）1月30日（月）から2月3日（金）まで、各避難所等の要訓練者の実態把握を目的として、神戸市内及び西宮市内の避難所等を巡回し、2月4日（土）午後2時から健康課において、次週以降の活動方法を協議する。
（2）調査対象、結果の分類整理方法は次のとおり。

調査対象 ＼ 結果の分類：	従来からリハを受けていたが中断している者	災害で受傷しリハが必要と認められる者（骨折腰痛、打撲等）	傷病はないが、生活環境の変化、精神的ショック等により機能低下が著しくリハが必要な者
入院が必要な者			
現地でPT・OTの訓練必要な者			
指導のみでよい者			

（3）神戸市内は、30日は長田区内の救援センター（県立文化体育館）を拠点として実施し、順次他の区へ拡大する。（兵庫区は27日に、中央区は28日に実施済み）
（4）西宮市内は、原則として県保健所の巡回健康相談に同行して実施する。
また、マンパワーの確保状況に応じて、西宮市以外にも拡大していく。
（5）健康課は、県立病院のPT、OTが参加し易いよう、病院局等に協力依頼する。
また、県保健所への協力依頼、医務課を通じての救援センターへの協力依頼を行う。
（6）藤原教授には水野教授から電話するほか、小室理学療法士から詳細を伝える。

1）はじめに

わが国において災害時における精神科救護の必要性が阪神・淡路大震災時における規模でが顕在化してきたことはなかった。また、精神科救護を効果的に行っていく上の、連絡調整や情報交換といった側面においても今回の震災下の精神科救護には、広報にパソコン通信などが使われ、他の地域にいる者にも、今現地でどのようなことが問題になっているのか、どのような支援が必要なのかなどについて、時間とともに変化する情報の提供がなされた点も特徴的なことであった。この点について、兵庫県精神保健センターニュースが大きな役割を果たしたと判断された。これ以外に、大阪府の環境保健部健康増進課精神保健室が１月26日から「精神科救護所情報」を、京都市立病院が１月26日から「支援ニュース」を、岡山県精神保健センターが２月２日から「岡山県精神医療救護チームニュース」を発行し、これらも適切な支援、継続的支援に大きな役割を果たしたと考えられる。これの内容については、すでに精神神経学雑誌第97巻号外「阪神・淡路大震災における支援活動資料集－こころのケアをめざして－」として発行されている。

2）対策の流れ

今回の震災後の精神科救護対策の流れについては、まず被災により発生した診療機会の喪失に対し保健所に救護所を設置して対応する体制をつくり、精神科スタッフについては厚生省を通じて全国から動員された。

また、被災地での精神科的課題の対応には、兵庫県立精神保健センターが調整といった点で大きな役割を果たした。保健所や救護所から継続的に情報を収集し還元することを繰り返すことにより、支援内容を経時的なニーズの変化に対応した現実的な対策をつくりあげたこと、および行政機構の異なる兵庫県下ならびに神戸市の双方の精神科支援体制を構築したことがこの間の活動の特徴としてあげられる。

その結果、夜間対応、避難所でのメンタルケアの対応、援助スタッフのこころのケア、ＰＴＳＤへの備えなど、わが国の災害時の精神科活動を考える上においての貴重な実践例をつくりあげた。

3）活動内容の流れ

震災後の精神科活動内容の流れについては、震災直後は、医療の中断者、住宅損壊で生活の場がなく入院を志向した者、また急性再燃した者に応急的に対応する必要性が顕在化し、入院などの処遇を行うことや保健所に精神科救護所を開設して対応する形が出来た。

１週間後からは、避難所生活による急性ストレス反応を起こした者の応急的対応がでてくる。

２月になると精神科医療ﾁｰﾑの数が増加してくるが、各地域の精神科救護の体制としては保健所救護所を中心とし、スタッフとしては保健所の精神保健相談員を軸とし、応援医療チームと保健所との連携で対応する形が基本としてつくられた。応援医療チームが行う救護活動の原則としては、精神科ケースに対する処遇の方針は出来るだけ地域（在宅、避難所）での生活の継続をめざし、避難所で生活している精神科ケースであってもそこで適応している者はそのままの生活をつづけさせること求めていた。

震災後の時間とともに、救援や復興などのため働かざるを得ない公的職員、避難所の管理者、支援にきたﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ、ならびに被災者の中には、この間の過剰な活動のために、いわゆる燃えつき状況と考えられるケースがでてきたために、独自に職員への啓蒙や巡回時の啓蒙活動を独自に始めた保健所もあった。

また、避難所生活による管理とプライバシーがないことによる精神的ストレスから、避難所に常駐したケアを求める要望もでてくる。

さらに、アルコール依存の者が目立つようになる。ついで、避難所から帰宅後に抑うつ症状やＰＴＳＤの問題、さらに避難所から仮設住宅に入居した者についてのケアの問題が生じてくる。

４）保健所における活動の状況

保健所における精神科救護所に配置された医療チームの配置状況（**資料6-4-1**）、被災地の保健所の精神保健活動の状況（**資料6-4-2、3**）、精神科救急ボランティアの２月時点の活動状況を資料として示す（**資料6-4-4**）。

兵庫県下の保健所、尼崎市の保健所に比べ、神戸市は被害が大きかったことにより神戸市の保健所は定例の保健所の精神保健相談ならびにディケアは中止されている。

資料5- 4- 1　兵庫県被災地域の精神科救護所の医療チームの配置状況

各救護所での自治体要請精神科医療チームの状況

平成7年2月14日

保健所	協力県等	夜間対応状況（宿泊場所）	避難所巡回	備考
東　灘	奈良県(1)		3チームが地域を	医師1
	大阪市(2)	大阪市大チームがHC泊	決めて巡回	医師2
		（夜間も実質対応）		
	大阪医大(2)			医師2
灘	大阪府(4)	2名1チームがHC泊	2名1チーム巡回	医師2. PSW1. Ns1
	埼玉県(3)	成徳小泊	HC巡回常駐	医師1. PSW1. Ns1
中　央	和歌山県(1)	HC泊	HC常駐	医師1
	滋賀県・滋賀医大(2)	宮本小泊	巡回	医師1. Ns1
	千葉県(2)	上筒井小泊	巡回	医師1. Ns1
	大阪府東大阪市堺市(1)	HC泊	巡回	PSW1
	東邦大チーム(1)		巡回	医師1.
	愛知県(4)	HC泊	HC常駐	医師1. Pt1. Ns1. 事1
兵　庫	京都市(2)	光風病院泊	HC常駐	医師1. 事1
	北九州市(1)	神戸工業高泊	巡回	医師1
	沖縄県(1)	市立盲学校		医師1
	北里大学	県立精神保健センター	夜間対応中心	医師2
長　田	兵庫県・宮崎Dr(3)		HC常駐	医師2. Ns1
	国立療養医療チーム(4)		巡回	医師1. Pt1. Ns1. 事1
	新潟県(4)	池田小泊	常駐	医師1. PSW2. Ns1
	島根県(2)	長田高泊	常駐	医師1. Ns1
	神奈川県		巡回	医師1. Pt1. PSW1
須　磨	岡山県(3)	生村診療所泊	3チームになり	医師3. コメディカル他名
		夜間対応可	2チームが巡回、	
			1チームHC常駐	
西　宮	京都府(3)	管内の新川診療所が往診	巡回　往診可	医師1. PSW1. PHN1
芦　屋	岡山県(3)	HC泊	巡回	医師1. Ns2
伊　丹	大精協(3-5)	夜間対応の例なし	HC常駐	医師1. Pt1. Ns1. 薬剤1
津　名	徳島県(3)	育波小泊	巡回	医師1. PSW1. 事務1
	新潟県・香川・滋賀医大	又は新淡路病院連絡	巡回	医師3. Ns3
	大阪医大チーム(6)			医師

（訂正・変更があればお知らせください）

資料5- 4- 2　兵庫県下保健所精神科ディケア活動状況一覧

被災地保健所デイ・ケア活動等状況

県保健所

震　災　前			平成７年２月２８日現在		
保健所名	定例精神保健相談	デイ・ケア	保健所名	定例精神保健相談	デイ・ケア
西　宮	第１月（一般） 第２月（老人） 第４月（ｱﾙｺｰﾙ）	週１回	西　宮	通常通り	1日のプログラムを半日で行い、3月より通常通り行う。
芦　屋	第４木（一般） 第１水（老人）	月１回	芦　屋	３月から再開	３月から再開
伊　丹	第４木（一般） 第３火（老人）	週１回	伊　丹	通常通り	通常通り
宝　塚	第２水（一般） 第４水（老人）	月４回	宝　塚	通常通り	通常通り
川　西	第2･3月（一般） 第３火（老人）	月４回	川　西	通常通り	通常通り
明　石	第３金（一般） 第2･4木(老人･ｱﾙｺｰﾙ)	週１回	明　石	通常通り	３月中旬より再開
三　木	第4 木(一般･ｱﾙｺｰﾙ) 第２水（老人）	月１回	三　木	通常通り	通常通り
洲　本	第２火（一般） 第４月（老人）	月２回	洲　本	通常通り	通常通り
津　名	第４火（一般） 第１火（老人）	月２回	津　名	通常通り	通常通り
三　原	第３火（一般） 第１月（老人）	月２回	三　原	通常通り	通常通り

資料5- 4- 3　神戸市・尼崎市精神科ディケア活動状況

被災地保健所デイ・ケア活動等状況

神戸市保健所

震　災　前			平成７年２月２８日現在		
保健所名	定例精神保健相談	デイ・ケア	保健所名	定例精神保健相談	デイ・ケア
東　灘	週３回	週１回	現在、全面中止 平成７年度以降は様子を見ながら各ＩＣごとで再開する予定		
灘	週３回	週１回			
中　央	週３回	週１回			
兵　庫	週２回	週１回			
長　田	週２回	週１回			
北	週３回	週１回			
須　磨	週２回	週１回			
垂　水	週３回	週１回			
西	週２回	週１回			

尼崎市保健所

震　災　前			平成７年２月２８日現在		
保健所名	定例精神保健相談	デイ・ケア	保健所名	定例精神保健相談	デイ・ケア
中　央	第１木（一般） 偶数月 第2木（老人）	週１回	全保健所通常通り行っている。		
北	第２木（一般） 偶数月 第1火（老人）	週１回			
北・園田支所	第１木（一般） 奇数月 第4火（老人）	週１回			
北・武庫支所	第４水（一般） 偶数月 第1金（老人）	週１回			
東	第３木（一般） 奇数月 第1木（老人）	週１回			
西	第２木（一般） 奇数月 第2火（老人）	週１回			

資料5- 4- 4　精神科救急ボランティアの活動状況

阪神大震災における精神科救急ボランティア（ＮＧＯ）状況
～当センターで把握した限りで推測や予定も含む～
（変更はセンターに連絡して下さい）

平成７年２月14日現在

保健所名	チーム名	協力体制		
		活動内容	期間	宿泊場所(連絡先)
東灘区	地元医	巡回		
	地神経懇談会（京都府病院）	心療内科　六甲	1/28~	東灘小学校
	ＮＧＯ	東神戸病院でリエゾン支援		東神戸病院 TEL(841)5731
	小坂山本病院	週２回巡回		住吉小学校
	小川・渡辺クリニック	週１回巡回(AM)		住吉中学校
灘区	地元医			西灘小学校
	関西ＮＧＯネットワーク		2/6~	六甲小学校
中央区	JEA支援センター	抗てんかん薬投与、てんかん相談	1/25~3/31	県福祉センター TEL(271)1000
	精療クリニック・全国の民間チーム と地元医３名	２４ｈ電話相談，巡回（北野小・生田中・眼鏡山小）		神戸精療クリニック TEL(393)9800
	ＮＯＶＡ	ケア・ボランティア養成	1/31~	ＹＷＣＡ TEL(251)3646
	九大	巡回（摩耶高・湊小・市立盲学校）		神大病院病棟 TEL(341)7451
	地元医	巡回		
兵庫区	神大・他大学合同チーム	メンタル・ケア活動	1/28~	神大病院病棟
	九大チーム	大学の被災職員面接		〃
長田区	関西医大	心療内科（週２回巡回）	2/7~	
	牧原クリニック		2/14~17	勤労福祉センター
	地元医	巡回（週１回）		蓮池小学校
須磨区	兵庫教育大	調査	2/5~	山田 TEL0792(22)5302
	ＮＧＯ	駐在		勤労会館海の家
西宮市	心療チーム	巡回		西宮市体育館
芦屋市				
伊丹市				
津名郡	新淡路病院	精神科救護所活動		新淡路病院 TEL0799(62)0181
	大阪医大・慶応大	新淡路病院後方支援		
その他団体	日本ＰＳＷ協会	相談活動		東灘、灘、須磨、芦屋の各HCにて
	日本臨床心理士会	各地で相談活動		芦屋、東灘、須磨
	ＹＷＣＡ	巡回カウンセリング		西宮、芦屋

１）災害関係法制と防災計画

災害時の公衆衛生活動は、災害時の総合的な対策の中に位置づけられている。

わが国の災害時の対策は、総合的な対策については「災害対策基本法」、被災者に対する具体的な応急的な内容を「災害救助法」に定めている。この両法規に従い、厚生省においては「厚生省防災業務計画」が、各自治体には「地域防災計画」が策定されている。以下において、その内容を整理した。

２）災害対策基本法

わが国の災害対策は災害対策基本法が基本的指針となっている。この法律は戦後疲弊した時期に、昭和27年の十勝沖地震、昭和34年の伊勢湾台風などの地震台風等の災害による被害が相次いだこと、さらにこれらの災害発生時の対応の多くが後手々々の状況にあったこと、さらに制度的には災害関係の法律が一本化しておらず、各省行政の中に個別に組み入れられ、責任の所在が不明確であったことなど、総合的な施策が実施出来きているとはいえなかったことから、これらの状況を解消するために、あらたな立法が必要ということで、昭和36年11月15日に成立したものである。

その主たる内容は、防災責任を明確にする、総合的な防災行政を推進する、計画的に防災行政体制を準備する、財政援助指針をつくっておく、災害時の緊急事態に対する措置を定めておくことからなっている。

災害対策基本法によって国、都道府県、市町村の各行政単位ごとの対応策を定めている。その内容は、地域防災計画（都道府県地域防災計画、市町村地域防災計画）を定めること、災害時における応援のため職員の派遣に関連したこと、防災計画に定めるべき内容に関することを定めている。

防災計画については昭和38年に国の中央防災会議による防災基本計画、指定行政機関における防災業務計画（厚生省は昭和43年策定）、都道府県の地域防災計画（昭和50年 3月に全国都道府県で完成）、そして具体的かつ実務的な市町村地域防災計画の策定が行われている。

これらの関係は、地域レベルの防災計画の策定を踏まえて国レベルの防災基本計画を定めるかたちを目指している。そして、災害が発生した場合、その災害対策は第一次的には市町村の責務であり、都道府県、国の支援のもとに災害時に市町村が、部内各組織を挙げて、機動的に対策を実施するために災害対策本部を設置し、地域防災計画の定める災害応急対策を実施することとしている。つまり、災害応急対策についての市町村の役割を明確にし、市町村長に広範な権限が付与されるかたちにしている。

地域防災計画の中に策定が定められている公衆衛生関係の業務としては、医療救護に関する事項、清掃、防疫その他保健衛生に関する事項、災害時における病害虫防除に関する事項がある。

3）大都市震災対策推進要綱

昭和46年5月25日の中央防災会議により大都市震災対策推進要綱が決定された。これは大都市において震災が発生した場合の被害の甚大かつ広範なものとなることの恐れから特別に決められたものである。

事前対策、災害応急対策、震災復興計画の３つにわけて記載されている。

災害応急対策の中にみられる公衆衛生活動関連としては、救護対策として、応急収容対策、給食、給水対策、救急対策、医療対策、被災者等に対する相談機能の充実があげられている。保健医療対策としては、医療、医薬品、防疫がある。この中に定めている防疫対策の目的は、伝染病の防止、環境の悪化防止、衛生状態の保持（清掃、し尿処理等）である。

4）災害救助法

災害時の、被災者の生活支援については、戦前からの経過がある。明治８年に窮民一時救助規則が成立し、明治１３年に備荒儲蓄法の成立を経て、明治３２年の罹災救助基金法が成立してようやくわが国の災害救助制度が確立した。

しかしながら、戦後すぐに起こった南海大震災を契機に新たな法律が必要となったことから昭和２２年に現在の災害救助法が成立した。その後、大規模災害ごとに改正を重ねて今日の災害救助法にもとづく災害時の救助体制ができあがった。

この法律によって、災害が発生した時には、国が地方公休団体、日本赤十字社その他の団体および国民の協力の下に、応急的に必要な援助を行い、災害にかかったものの保護と社会の秩序の保全を図ることとされている。法律の中に定められている内容は、総則、救助、費用、罰則に分けて記載されている。ここに定められている災害救助の責任は国にある。しかしながら、災害実務は都道府県知事に全面委任している。

5）厚生省防災業務計画

災害対策基本法第３６条から第３９条に定められている指定行政機関の防災業務計画の作成に基づき中央省庁においても防災業務計画が定められている。

これに従って厚生省においても昭和43年に厚生省防災業務計画を定めている。

この計画の中の災害予防措置とともに、災害時の対応策を定めている。

主なものは、災害応急対策として定めている災害時における清掃、防疫その他の保健衛生について、および災害に関する情報の収集を迅速かつ的確に行うことについて、伝達経路を確保することについてなどである。また災害復旧についても定めている。

阪神・淡路大震災時においては、省内の対策本部とあわせて、神戸市に現地対策本部が設置され、兵庫県、神戸市、西宮市と堅密な対策の調整が実施されていた。

６）地域防災計画

災害対策基本法には、第４０条において都道府県地域防災計画、第４２条において市町村地域防災計画を策定することを求めている。今回、被災した地域においても地域防災計画が策定されていた。以下において、地域防災計画の中の公衆衛生活動に関連する点について限定して内容を整理した。

（１）兵庫県地域防災計画

総則、災害予防計画、災害応急対策計画、災害復旧計画から構成されている。

災害時に必要な業務として、避難所の供与、応急仮設住宅の供与、炊き出しその他による食品の給与および飲料水の供給、炊き出しその他による食品の給与および飲料水の供給、被服、寝具その他生活必需品の給与又は貸与、医療及び助産、災害にかかった者の救出、災害にかかった住宅の応急修理、学用品の給与、埋葬、死体の捜索及び処理、障害の除去等に分けて計画されている。

災害時の公衆衛生活動としては、医療助産計画、救急医療対策計画、死体処理計画、防疫計画の各計画がある。

（２）西宮市地域防災計画

総則、災害予防計画、災害応急対策、災害復旧対策から構成されている。公衆衛生関連活動としては、医療助産計画、死亡者捜索及び収容・埋葬計画、防疫計画がある。

（３）神戸市地域防災計画

公衆衛生関係の計画については、医療および助産計画、死体の捜索及び処理並びに埋・火葬計画、防疫計画がある。地域防災計画の地震対策編には、医療救護計画、防疫・清掃・保健衛生計画がある。

医療及び助産計画の中で、救護班について罹災地区の保健所長は応援救護班を掌握して、医療活動を行った際は、その状況をすみやかに衛生局長に報告しなければならないとしている。

また、救護所の設置は災害地の保健所長の指示より、被災者の収容所、被災者の通行の多い地点、その他（被災地区）に設けるとされている。

防疫計画は、災害時に被災地において衛生条件が悪化するため発生する恐れのある伝染病の予防等に関する計画である。被災地で検病調査班と防疫班を編成し、前者は検病調査・健康診断の実施、避難所の防疫活動、臨時予防接種の実施、予防教育及び広報活動、患者措置を任務とし、後者は消毒方法・清潔方法の実施、そ族・昆虫等の駆除を任務とする。また必要な消毒薬を備蓄することを求めている。

7）まとめ

（1）わが国は災害大国であり、防災・災害対策の枠組みは、昭和36年の災害対策基本法の成立によりほぼ完成したといえる。しかしながら、時代とともに変化する国民の生活水準の向上に見合った内容の変更や、最近の保健福祉の対人サービスに関する活動レベルの充実を取り入れた援助計画をもつにはいたっていない。

（2）災害救助法においては、救助は国の責任で行うものであるが、実務は都道府県知事に全面委任して行うことにしている。また、災害対策基本法においては災害応急対策において市町村の役割を重視し、市町村長に広範な権限を付与している。これらのことから、市町村の保有する平時の機能のあり方が、災害発生後の対策のあり方と関連し、指定都市と県の保健所の役割と機能に異なる活動実態がみられることになった。つまり、指定都市である神戸市は保健活動の拠点は保健所に限られていたことから、医療救護、保健活動、防疫活動のすべてが保健所に集中していたのに対し、西宮市は県の保健所による防疫活動と保健活動、市の医療救護活動と保健活動の重層的構造がみられた。このように災害時のフォーマルな公衆衛生活動については災害対策における地方自治体機能、公衆衛生活動における自治体機能が密接な関係にあることが観察された。

参考文献

1）**防災６法５**、消防庁防災課編集、ぎょうせい、平成５年版、1993年
2）**逐条解説　災害対策基本法**、消防庁防災課編集、ぎょうせい、1995年
3）**救急・救助６法**、消防庁救急救助課編集、東京法令出版、平成７年版、1994年
4）**災害救助の実務－平成４年版－**、厚生省社会局施設課監修、1992年
5）**兵庫県地域防災計画**、兵庫県防災会議、1993年
6）**西宮市地域防災計画**、平成６年修正、西宮市防災会議、1994年
7）**神戸市地域防災計画**、神戸市防災会議、1993年

１）神戸市における活動

平成７年１月２３日（月）

震災後はじめての定例の教室会議において、阪神・淡路大震災に対する教室としての活動について討議した。その結果、当面、神戸市、西宮市における復旧支援活動に参加することを決定し、神戸市は多田羅浩三が班長、西宮市は新庄文明が班長となって、アプローチの方法を検討することとした。また、教室員の状況について発言があり、震災直後より新庄は西宮市における自宅周辺の災害復旧活動に参加し、大学院生の高島義裕、藤原仁史らは19日よりＡＭＤＡの医療ボランティアとして、長田保健所において医療支援に加わったことなどが報告された。また、教室内部の被害や多田羅宅の全壊など、教室員の被害状況について確認した。

会議後直ちに、神戸班の高鳥毛敏雄、高橋進吾が先発隊として神戸市に出発した。到達経路は、ＪＲにて甲子園口まで行った。ＪＲはここで終点となっている。そこから約１キロ南の乗り場からバスを利用した。バスは約１時間待ちの列が公園の中にできている。周囲は土埃が目立つ。ようやくバスに乗車することができたが、灘区付近になって渋滞がひどく、先に進まなくなったため下車する人が目立ってきた。われわれも下車することとし、あとは徒歩にて新神戸にたどり着いた。新神戸のあたりは被害が目立たない。しかしながら、新神戸から三宮に向かうメインストリート沿いの歩道が一部歩行不能であり、押しつぶされたようなビル、崩れた家屋が目につく。崩れたビルの一部に対して歩行者に対するロープなどによる保護が十分なされていない状態であった。ネオンなどの電気は消え、薄暗くなりはじめていたこともあり、古代遺跡の暗い廃虚といった雰囲気が漂っていた。まさに近代都市神戸崩壊の状況であった。

目的地の市役所に着いた時にはすでに５時半ころとなっていた。市役所旧館は５階部分が押しつぶされて、新館との連絡橋が落下していた。しかし、高層の新館の建物はきちんと建っていた。

神戸市役所新館に入る。玄関の自動ドアは、手で開け閉めしなければならない状態にあった。ロビーに入ると足の踏み場もない程の避難者の海である。市役所１号館の１階、２階は避難者で埋め尽くされていた。エレベータが動いていないため、まず訪問することとしていた衛生局地域医療課はどこからいけるのかわからないために途方にくれた。しばらく探し回ったあと、作業服を着た人が急ぎ足で出入りしている通路があったためついていくと、非常用の階段が市役所の各課への唯一の通路となっていることが判明した。ようやく地域医療課に到着できた。しかしながら、電話、ファックスであわただしい雰囲気にあり、窓ガラスにファックスの連絡文が何枚も貼られており、殺気のようなものが漂っている状況にあった。

どのような状況にあるのか、話を聞くのが難しい雰囲気ではあったが、職員に面会をお願いしたところ医療ボランティアと間違えられる。これは地域医療課で医療ボラ

ンティアの登録と調整をしていたためである。

神戸市衛生局地域医療課にて課長が不在であったため、地域医療係長に地震後の神戸の状況と衛生局の業務の概略を教えてもらった。

現状については、神戸市内の医療体制について、医療機関のダメージが大きく、量の確保が民間だけで可能なのかどうか実態の把握を最優先にしている、各方面からの医療援助の問い合わせとその受け入れ体制の確保、医薬品などの物資の支援の受け入れと救護所への配送に追われている、医薬品の振り分けには薬剤師の手が足りない状況にある、医師会との連絡が思うように取れない状況にあるとの説明があった。

状況の詳細は、以下の通りである。

①交通網が、遮断され復旧のメドがたっていない。市内の交通は落ちついてきているものの、市外から市内への流入は依然として難しい状況にある。

②医療については、地震発生後３～４日までは救急的医療処置が第一であったが、現在ではその後の安定した医療の供給や継続的な疾患管理の需要に対応することが課題となってきている。地元医療機関活動については、医療施設の損壊に加え、水・ガス等の供給も途絶えているため医療活動に支障を大きく与えている。とくに第一線の医療拠点である診療所レベルの活動が大きな打撃を受けている。市内の状況把握を行いたいが、医師会・歯科医師会とのコンタクトがとれていない。

③医療の人的支援については、現在までのところ、主として日赤、大学や自治体からの組織的な支援を受けて、巡回診療活動は満たされつつある状況にあるが、将来的に各避難所に医師を常駐させる体制にもっていく必要があると考えている。医療スタッフからの個人ボランティアの申し込みは多いが、業務の割り振りなどの調整等に手間がかかりすぎるため、申し出に有効に対応できる体制にない。まとまった組織・団体として登録して、支援活動をしてくれる人がきてくれることが助かる。

④食料・水・医薬品等の物資は不足しない程度に確保できている。しかし、市に集中してくる医薬品を各医療現場に集配するスタッフ、とくに薬剤師が不足している。そのため、外国から支援された薬剤等の物資が英語表示のため市職員・ボランティアは専門的で判読できず、仕分けが迅速にできず、国内からのものが優先され、外国からのものが積み上がっている。支援物資を使わないといけないと国際問題になることが気になっている。

⑤歯科について、入れ歯をなくして、つくって欲しいなどの歯科医療サービスの希望が多くでている。しかし、歯科医療活動については、現時点で大学単位でアプローチしているところはなく、ほとんど手つかずの状況になっている。

⑥現在の市の行政機能はマヒしており、出てこれる職員が数日泊まりがけで24時間体制で業務を遂行しており、中枢と末端との指揮・連絡系統も十分確保できているとはいえない。医療活動の点においては、市内の全保健所は機能しており、保健所を中心に、医療関係の各団体からの支援の受け入れと配置、ニーズの把握を行っている。しかし、保健所の活動に支障が生じることを避けるため、保健所は医療活動の調整な

どに医療の関与はとどめ、保健所の建物をつかった医療活動はひかえている。しかしながら今後、保健所を使った医療活動も考える必要が生じるかも知れない。

⑦現在最も大きな市民生活上の課題は、水とゴミと寝床である。水が使えないため水洗トイレが機能していない、また風呂や洗濯ができない、市内にゴミが大量に生じてきているなど、生活衛生面で極めて深刻な不衛生な状況が生じてきている。この点は、伝染病の流行など公衆衛生上懸念される状況になっている。

これらの現状を踏まえた上で、特に今後望まれることは、近隣圏のスタッフで編成された常設の医療拠点の整備、中長期的展望に立った、神戸市のプライマリケア体制の整備、医療のみならず歯科医療体制の整備であるとのことであった。

１時間あまり話を聞いたが、絶えず電話があり落ちつかない状況であった。帰りは新神戸まで歩き、三田経由で３時間位を要して帰阪する。

１月２４日（火）

多田羅、高橋、Ｒ．スコットは、午前９時に大阪を出発、三田経由にて神戸市役所に１２時に到着した。市役所の地域医療課によった。課長が不在であった。その後、兵庫県庁に保健環境部次長を訪問したが、次長も留守であった。

兵庫県庁の建物も相当の被害があり、職員の「命懸けです」という言葉が印象的であった。県庁から長田保健所にまわる。３時頃到着した。途中震災の現場をみる。保健所ではフランスからの医療援助隊員、ＡＭＤＡの一員として参加しているバングラデッシュ、ネパールからの医師に会った。

街の中の復旧作業に従事する多くの人々のあわただしい動きが感じられた。保健所の窓からみる市内は、西側は焼けあとが目につく惨状にあった。

各訪問場所とも、日中の非常に多忙な時間帯であり、具体的な話をすすめることは不可能であった。三宮以西の電車網は遮断されていたため、三宮から長田保健所までは徒歩にて訪問した。途中、ボランティアの露店が多く見られた。店にはそれぞれ活気が感じられ、途中でもらったうどんがおいしかった。２２時過ぎ、帰阪する。

１月２８日（土）

高鳥毛は、阪神電車梅田駅で待ち合わせしたが、高橋、井田修、中西幸範と合うことができなかった。高鳥毛は、神戸市役所から県庁、神戸大学医学部を経由、湊川公園を経て、周辺医療機関の診療状況をみてまわった。

中央区、兵庫区の診療施設の多くは診療可能な状況と見えたが、診療時間は１０時から１６時頃などと狭めているところが多い印象であった。三宮に運輸大臣が視察にきていたためにマスコミなどの人だかりがあった。県庁前には日赤関係の多数のバスが駐留し、医療救護に投入している日赤の派遣規模の大きさがうかがえた。

湊川公園には自衛隊のトラックが１０台程度終結して、物資の配給を実施中であった。また、地下鉄駅の破損に伴う道路の陥没警戒のために、道路の通行制限がなされていた。常時救急車が走りまわっていた。新開地は商店街に大きな損害がでていた。

古いビルの多くは大きく破損していた。兵庫から神戸にかけてのＪＲ沿い北側の小路に沿って歩いたが古い家は崩れさって、都市の老朽化が街の損壊に関係していると感じられた。

帰りは、海を通ればバスのように待たされないと考えて、神戸駅から国道４３号線を横切ってハーバーランドにある連絡船乗り場に行った。長蛇の人の列で、乗れるのか不安であったが、船は大きいので積み残しはないとのアナウンスがあったので、１時間寒い風ににさらされた後ようやくサンタマリアに乗り込むことができ、大阪天保山を経て帰阪する。ハーバーランドは、歩道や植え込みのところの地盤はゆがんでいる。しかし、高層ビルはまっすぐ立っており表面的な損傷ですんでいる状況であった。

一方、高橋は井田とともに１１時前に大阪を出発して、１２時半に中央保健所に着いた。当初の予定であった中央保健所主査中瀬克巳医師との面会は、不在のために果たせなかった。保健課長の加納繁美さん、保健婦の三代薫さんに保健所の状況を教えてもらった。その後、１３時半より、応援にきて常駐していた滋賀県のスタッフの会議に参加した。滋賀県のメンバーは、保健婦の草野とし子さんがまとめ役をしていた。保健所長の大佛正隆医師その他８名ほどで３泊４日の交代制で仕事についているとのことであった。

会議では、現在の状況を医療、衛生、保健、その他、に分けて説明していた。１月２６日現在で８８か所、約３万８千人が避難所で生活しており、そのうちの20か所には医療団が派遣され、定点での医療を供給している。派遣医療団は、申し出のあった医療団をグループとして、救護所ごとに割り振りしたとのことである。残りの６０か所については、巡回班を組織して対応している。個人ボランティアとして申し込みのあった医療スタッフは、中央保健所の中の救護所の診療活動に従事しているとのことであった。

会議で検討された内容は、以下のとおりである。

①医療面については、いわゆる「かかりつけ医」が壊滅してしまっている、住民に対する開業医の診療状況に関する情報が不足している、診療を再開している開業医においては薬剤が不足している、三次医療の体制はほとんど機能していない状況にある、救護所での医療は基本的に薬剤を投与した上で開業医の紹介のみにある、精神科関係の需要が大きいが対応できていない、などであった。

②衛生面については、水の供給は改善されつつあるものの未だ不十分である、トイレはバキュームカーが巡回している、手洗いについてはオスバンを指導している、風呂の問題が大きい、避難所には換気の問題がある、暖房のないところが多く窓をあけられない状況にある、ゴミ置き場を設置し回収車が巡回して集めている、などであった。

③保健面については、西市民病院のスタッフが地域の巡回医療などに協力している、港島には子どもが多い、阪大小児科が２６日より診療している、などであった。

④物資供給については、食料品は十分にあるものの栄養面の偏りがある、食料のメニューの不満が顕在化してきている、温かいものが食べられない、ボンベはあるが使

えない、薬剤は一般的なものは充足されている、精神薬を保健所で配布している、などであった。

⑤その他の事項として、ボランティアについての詳しい情報は得られていない、各救護所における情報が得られず分断されている（電話はある）、医師会、歯科医師会との連絡は今一つ不十分、他の区との連絡は中瀬医師がしている、などであった。

その後、保健課保健婦の三代さんから厚生省からの要請で医療団体が協力にくるようになった、個人ボランティアがぞくぞく集まってきている、コントロールセンターの必要性が感じられる（自分達では少々無理）、夜間診療が開始された、医師会・歯科医師会とのコンタクトができるようになった、薬局の情報が不足（一般家庭用薬の不足）している、災害時対策のマニュアルがない、母子・老人などへの本格的対応はこれからであるなどのことをうかがう。

１月２９日（日）

高橋は、午前１０時に中央保健所に到着した。保健婦の三代主査に相談して、保健所活動の支援作業として、「２８日現在の中央区管内避難所マップ」と「医療団体設置状況マップ」の作成を一日中行った。保健所内に掲示するためのものと資料として保存するものの、大小２部ずつ作成し、午後５時過ぎに退所した。作業しながら保健所において伝わってくる地域の状況としては、情報収集・管理システムが確立していないこともあり、住民の間に正確でない情報が飛び交っているということであり、情報提供が重要であるというこであった。今日現在、水の復旧率５０％である。

１月３０日（月）

午前９時からの教室のミーティングにおいて、三重県津保健所の佐甲隆医師から、情報提供を受ける。長田区の真陽小学校（夜間人口2000人）を三重県グループ（医者２・看護婦４・薬剤師２）が援助している、神戸市の西の方は、医療その他の援助が入るのが遅かった、民間の病院が機能している、区では一日２回ボランティアの会議をもっている、日曜日にはＡＭＤＡが巡回している、保健部門は整備されておらず、医療スタッフが兼務してやっている、社会的弱者が厳しい状況にあり、これからの巡回の必要性があるなどの話しを聞いた。

午後、多田羅と高橋が中央保健所を訪問した。１５時半頃に到着する。差し入れを持参する。浜田実所長と会談した。救護班活動をスムーズにどう地元医療機関に切り替えるか今後の課題である。救急以外の耳鼻科・眼科・歯科等の需要が増大してきている。精神科面で、とくに薬剤常用者の問題が出てきている。医師会がどう対応するか課題である。ボランティアの方々には、自前で参加してもらわなければ対応できない。インフルエンザワクチンの接種を実施している。あらゆる問題が噴出してきている。個人での対応は限界があり、組織での行動が望ましい。滋賀県グループが２１日より来所している、とのことであった。

滋賀県保健チームの田崎正善医師と面談した。滋賀県の医療スタッフ（科学技術庁の船に滞在）は灘区にて活動している、保健所ニュースを発行している、避難所生活が長引いた場合の食生活の問題が生じてきている、インスタント食品、ファストフードには塩分過剰に注意喚起が必要である、避難所は日中は老人だけが目立つ、親類縁者などに頼れない人々が、依然滞留している、滋賀県の定点医療団は３か所を巡回して情報を入手している、希望者には一人３日分のビタミン剤・うがい薬を配布している、という話であった。

中瀬先生、厚生省の保健指導室長平野かよ子保健婦と会談した。第三者としての冷静なアドバイスを希望している、阪大小児科が看護婦を派遣している、２４時間の精神科対応が必要となっている、全国で1200人ほどの保健婦を出せる、救護と保健活動、在宅者について人海戦術による実態の把握が必要である、東灘区は被害が大きくまだまだ課題が残っているとのことである。

兵庫区医師会の森本祐二郎医師（菊水診療所）を訪問した。２時間半ほどかかって、１９時半すぎに到着した。近くの特養「海光園」を訪ねた。上海よりおしめ・ふとんなどの救難物資が到着していた。昨日、田中真紀子科学技術庁長官が来園した。

その後、森本先生の先導で兵庫区の火災発生地域を視察した。眼を覆うばかりの惨状にあった。暗闇の中ではあったが、一面焼け野原の重苦しい雰囲気が伝わる。日中であればなおさらであろう。本日は、三宮駅を出発点に兵庫区まで徒歩にて移動した。午前０時頃に帰阪できた。

２月６日（月）

高鳥毛、高橋は、ＪＲ茨木駅より大阪駅、阪神梅田駅より青木駅に到着した。駅前は焼けている。青木よりバスで三宮に至る。途中阪神高速の高架の転倒箇所を通る。ほとんどの橋げたが損傷していたのが、その多くがすでに鉄骨による補強工事がされていた。

午後３時半中央保健所に着き、中瀬医師に震災後の保健所活動記録の件について相談する。１月２０日以降は保健婦が業務日誌を付けており、利用が可能とのことであった。震災時の保健活動の資料収集を依頼された。震災時の過去の文献資料検索を望んでいる。

午後４時半ころ、神戸市役所に着いた。神戸市衛生局において、地域医療課長、主事に合い、この間の公衆衛生活動の記録の保存と整理することを内容とする研究計画について相談する。

公衆衛生活動となると衛生局の複数の課の協力を得る必要があるとのことで、庶務課を窓口にしてはどうかとの示唆を頂き、庶務課主幹を紹介していただいた。主幹の

導きにより健康増進課、保健予防課、公衆衛生課の各課に案内して頂いたが、あいにくいずれの担当課の課長も不在であった。

保健予防課に待機していた衛生局長に面会し、今回の震災時の公衆衛生活動の記録収集の件について相談した。

局長より、それまでの状況について以下のような話しを聞いた。

①震災日の午後３時に鳥取日赤、高槻日赤、山口日赤など日本赤十字社が医療援助のため駆けつけてくれたことに感銘した。

②電話など通信と交通の遮断が当初から大きな支障となり市職員を灘区、東灘区の方面に送り込めなかった。

③神戸市内の交通網にすべてが集中して、医薬品の配送もままならない状況となっていた。

④外部からの医療援助を受け入れるにあたって、誘導にあたる地域の案内役の保健婦などの職員の配置が間に合わなかったことや受け入れ地域の決定に時間を要した。

⑤医療ボランティアの生活基盤の確保が市内の宿泊施設が使えないような激震であったため遅れ、船会社からの客船とフェリーの確保ができてはじめて軌道にのった。これに対し日赤、自衛隊、新潟県からの医療援助は生活体制を各組織が整えており、災害時の初期援助としては大いに助かった。

⑥災害時の救急医療から高血圧の管理などの日常医療に、医療ニーズが変化してきている。

⑦地元医療機関の復興を支援して独力で医療の供給を考えていくべき段階になりつつある。

⑧医療機関の中で病院は約９割まで軌道に乗りつつあり、ベッド不足は緩和しつつあるが、診療所はまだ６割から７割程度の復旧レベルに留まっている。

⑨診療所を建て直し中であったり、診療の場がない医師に避難所救護活動や市の保健活動に参加してもらえないかどうか、医師会を通じてはたらきかけをはじめようと考えている。

午後６時ころ神戸市役所を出て帰阪することとした。

三宮のバス停は長蛇の列で、乗れる目途がないし、また何時頃帰れるかの目途が立たないため前回の船旅の快適さを考え、船で帰ることを考えてハーバーランドに向かった。途中の元町の商店街は健在であった。その後中華街を通る。中華街はすでに、ラーメンと豚饅頭等の店頭販売をしていて活気があった。午後７時頃、ハーバーランドに到着したが人気はなく、６時半頃に最終便がでた後であった。新神戸へ向けて引き返すが、もう遅い時間で岸壁がゆがんでいたり、街の光も乏しく心細い中、幸いにも個人タクシーが通りがかった。タクシーにて新神戸に至る。新神戸に８時頃着、食事後をとって谷上経由三田着く。午後１１時のＪＲ線にて新大阪を経てＪＲ茨木に午前０時着き大学経由で各々帰宅する。

２月１０日（土）

高鳥毛、高橋、臼井桂子（５年次学生）は、ＪＲ住吉駅からバスで三宮に着いた。中央保健所、神戸市衛生局健康増進課、公衆衛生課に公衆衛生活動記録収集の趣旨を説明してまわる。健康増進課長は、調査には協力したいが夕方以降でないと時間がとれる状況にないとのことである。この間の保健活動の中心は健康増進課であったので期待したいが、課長の髭面をみてあまり時間をとってもらうのは難しい感じがする。

大久保主幹は、熱心に受けとめてくれる。震災後は各課とも特別ファイルをつくって対応しているので、調査は可能ではないかとのアドバイスをもらう。トイレの消毒に忙しかったが、復興に伴い露天などの飲食店がでてきているため、寒い時期なので問題になりにくい時期ではあるが、春近くなっての食中毒などを懸念しているとのことである。

監視員などは兵庫県や周辺保健所の応援を得ていかなければならない。検査機能については県も市も機能していないので、大阪府、大阪市の支援を得て行かねばならない。

その後、高速神戸鉄道で三宮から高速神戸駅、ＪＲ神戸から鷹取駅に着く。２月から大阪大学医学部が担当している板宿小学校を訪問することとし、高速神戸駅経由ＪＲ鷹取駅より板宿小学校に着く。

鷹取駅から小学校の間は、想像以上に地震と火災により焦土と化していた。戦争中の空襲により焼け跡はこのようなものであったのかと想像する。

しかしながら、地下鉄板宿駅から小学校につながる周辺の商店街のアケードならびに各店舗は何事もなかったかのように野菜に魚の販売などで活況を呈していた。まさに神戸における別世界であった。

小学校は、モダンで新しい洋風の建物である。運動場に仮設トイレがあったが、水がでるようになり、使われていない状況にあった。

今回もハーバーランドより帰阪する。船は座席を取り外し船室にビニールシートを引きしめ、多くの人がリュックをかつぎ、ビニールシートの上に詰め込まれ、さながら引き揚げ船といった状況にあった。前に比べて移動の人が多くなり、たくさんの人を運ばなければならなくなって改造されたものと思われる。

２月１７日（金）

高鳥毛は、ＪＲ住吉駅を経て連絡バスに乗り、三宮に着き、歩いて神戸市役所に行き神戸市衛生局庶務課主幹と合い、公衆衛生活動に関する調査方法について検討する。

その結果、具体的な内容を明らかにする必要があり、そのためには記録用紙にあらかじめ記入する方式がよいのではないかということとなった。

聞き取り調査の日時は、各課各係ごとに出向いて直接調整する方がよいとのことであった。各課にどのような資料があるかは、庶務課ではわからない。文書を局長宛に出してもらわないとスタートできない。２月２０日ころに依頼文送付の約束をする。

２月１８日（土）

午前１０時から１９日午前１０時まで、須磨区板宿小学校に高鳥毛、楢村裕美（大学院生）が救護班活動に出務する。

早朝、ＪＲ、地下鉄を使って板宿小学校に着く。引き継ぎをして、阪大医療チームの調整担当の第２内科竹村芳助手に携帯電話で状況報告をする。午前中に堺市民病院松浦基夫医師（中央区小野柄小学校夜勤明け）応援に現れる。また午後に高森行宏、高島義裕、藤原仁史が応援にくる。医学部５年次ボランティアの森泰丈、中田健も参加する。学生は、検査と薬物の振り分け、また保健所との連絡が担当となっている。

小学校内の状況は、避難者は約1300人、廊下のほか運動場でのテント生活者もいる。避難者は教室単位で班長がおり、組織化されている。毎日、午後６時に班長会を行い、所内の状況を掌握するかたちになっている。

廊下にもまだ多くの人が居住しながら、教室内に空きがあるのが奇妙に思えたが、一旦定まった居住場所には人間関係が形成されて移動は難しいとのことである。高齢者が目立つ。アルコール依存症の者も若干名存在する。所内の清掃、便所掃除や食事配布、新聞の配布、ラジオ体操、部屋の換気など、本部、学校の教職員を中心に自治機能ができていることは安心できる体制である。その反面、救護所に遊びにきた飲酒者は、この避難所は我々のようなものも、うろうろできるが、避難所によっては管理が厳しく飲酒者は閉め出されてしまう。わざわざ遠方からここに話友達を求めてきているとのことである。

避難所内の健康管理体制については、所内の巡回は、地元の看護大学、看護協会のボランティア看護婦数名で実施されている。

救護所では、阪大より医師２人、看護婦２人、学生２～４人、薬剤師１人（昼間のみ）で、主に来所者に対しての医療活動のみが役割となっている。周囲の住民も利用している。とくに、市販薬をもらいに来る住民が多い。

正規の診療時間帯は日に３回設けているが、事実上２４時間体制になっている。ただし、精神科診療はしないと公表している。精神科は保健所に紹介することが原則となっている。

１日の来所者は５０～７０人くらいで減少傾向にある。主たる疾患は風邪、一部ガーゼ交換、高血圧者の管理と投薬であった。医療設備は、血液検査、心電図も可能。酸素、除細動装置、点滴セットなどがそろっている。市販の薬も豊富にある。布マスクの希望が多かったが紙のものしかなく不評であった。慢性の疾患管理者は出来るだけかかりつけの医療機関の受診を勧奨している。

夜になり、家族も困りきっている重症糖尿病のアルコール依存者の相談にのる。巡回のボランティアの精神科医がきて避難所内の精神科ケースとの面談を行っていた。夜、近くの私立高校に避難しているおばあちゃんの様態がおかしいと巡回ボランティア看護婦が相談にきたので往診したが、おじいちゃんが病院から帰ってきて、家族が一緒に連れて帰って不在であり、明日また巡回看護婦により状況をみてもらうことにして板宿小学校救護所に戻った。

２月２２日（水）

高鳥毛、高橋は、神戸市中央保健所以外の地域の状態についての情報を得ることを目的に、12時に大学を出発し、ＪＲ経由にて東灘区のＪＲ住吉駅に着いた。歩いて東灘保健所に着いた。保健所は区役所の中にあり、右に保健所があった。

東灘保健所石井昌生所長は、もと外科医で、市民病院設置準備班として作業の経験がある方とのことである。

所長室で面談中に、保健課長が入れ替わりの挨拶にきた新しい医療班の医師団を招き入れ、15分話を中断される。新しい医療班にも、今夕方の連絡会への出席を呼びかける。その後、この間の東灘保健所が行ってきた概要を説明していただく。

基本的な活動方針は、先手必勝（問題を予測して迅速に対応するの意）とのこと。

医療班については、中央市民病院の人脈を活用して行ってきたとのことである。

中央市民病院の石原享介呼吸器科医長を医療参謀に、保健課長が管理・庶務などの事務の要に、保健所長が公衆衛生活動の要となりかつ、全体の調整をはかるといったように陣頭指揮に立っていた。

医療チームとボランティアらについて適材適所の配置を行うことに留意していた。各方面からの医療チームの能力を判断して配置することができた。とくに保健所の保健課長（事務職）の果たした役割は極めて大きく、保健所活動の要となって組織的対応と外部の団体の配置がスムーズに遂行できた。現に訪問時も各医療チームに指示をテキパキ与えていた。

今回の震災はボランティア活動の果たした役割が大きいが、各ボランティアには特徴があり、その能力を判断しないと色々なトラブルが生じる、参加してくる人の能力の見極めが重要であるなど、話しをうかがった。

保健所活動としては、危機管理は平常時の業務の習慣が基本で、日頃からポイントをさだめた会議を実施することが重要で、きちんと業務を遂行している基盤がないとこのような事態で対応できないとのことである。

今後の課題としては、復旧できる診療所は出そろったといえるが、量の点で十分でなく、外部援助が少なくなってくるにつれ苦しくなる。一方、診療所活動を圧迫しないために稼働状況をみて救護所の数を減らすようにもっていっている。どうソフトランディングさせていくべきかに苦しんでいる時期にあった。所長室に地図と診療実績の推移の棒グラフがあり、それをみて次の日に閉鎖する救護所を検討している。あくまで地域の自助努力で医療問題を解決していくことを基本と考えて作戦を立てている。

避難者の援助として、まず実態の把握が必要と考えて、１月下旬から３日間、医療ボランティアの協力を得て保健婦を中心に全戸訪問調査を実施した。その結果、要援助と考えられた者が９９人いることが判明した。このうち４０人は調査前より把握していた者であった。４０人はその後援助不要となり、現在６０人くらいが保健婦の援助対象者となっている。

今後の保健所活動としては、保健婦業務が所内の人間では回らない状態にあり、マスコミの取り上げ方も少なくなっていくと、外部からの支援が途絶えていくと考えられる。しかしながら、管内の被災者への保健活動は現スタッフだけでは困難であり、

ここ半年は他からの保健婦活動に対する援助を期待している。保健所関係の来所者にはお願いし続けているとのこと。向こう半年先までの援助が必要と判断しているとのことであった。

保健所の役割としては、１月２０日より、３日に１回のペースで、すでに１７回管内の関係者の連絡会（医療チームを含む）を開催しており、他区保健所より管内を掌握できていると考えている。所長室に布団があり、現在も毎日７人は交代勤務体制にある。

次ぎに、ＪＲ鷹取駅から歩いて須磨保健所を訪問する。区役所２階にあがる。丁度、保健婦、巡回看護婦（主に西市民病院看護婦）のミーティング中（引き継ぎか）であった。所長に面会の依頼をすると、快諾してロビーで話をしてくれた。

和気健三所長の話は、以下のとおりであった。

①地震当日、車で出勤するも渋滞で動けず。西神の保健所の支所に出勤し、炊き出しの指示に従った。

②保健所は午前中に出勤できた者は２人位であった。一時電話が不通になっていた。

③夕刻に保健所に到着したが、電気がなく、ろうそくを集めて明かりとした。所内には避難者が多数寝ている状況にあった。水がきていないため、近くの川から水を運びトイレの汚物を流した。ガスは現在も来ていない。

④次の日くらいから医療チームが入ってきた。

⑤避難所を何か所か巡回したが、保健所のみの活動では歯が立たないと判断した。

⑥職員の消息も不明で、東灘区に住む保健課長の安否はかなり後まで確かめられなかった。

⑦１週間を経てようやく管内の状況が掌握できるかたちとなった。当初は住民が区役所を取り囲み、区長との交渉を求めるなど騒然たる状況にあった。

⑧現在までの業務内容は整理できていない状況であり、全体はどうなっているかすぐにはわかりかねるとのことである。

⑨公衆衛生活動に関する記録収集については断片的な保管状況にあり、どの程度協力できるか検討してみたいとのことであった。保健所職員自身は業務に追われており、この時期は第三者の手による情報の集約を望みたいとのことである。

所長の謙虚な話から、震災直後の混乱した保健所の現状を伺うことができた。個々の職員の自立した業務遂行能力が、震災時の対応にとって重要であると感じられた。

須磨保健所を後に神戸市役所に着く。１階、２階の避難者の数がなぜか激減している。１階ロビーの無料電話が設置されているが、ここでの電話の声は外国語が多く、とくにアジア系の人が多い。

市役所の事務所内にも従来とは違ってリラックスムード、ないしは平常時の雰囲気が感じられた。職員の仕事もワープロに向かってのものが大勢となっている。

衛生局地域医療課地域医療係太田係長に状況をうかがった。

それによると、要介護者向けの２次避難所の設置を検討している。市内医療機関の中で稼働していない施設についての将来見通しの調査を、医師会、病院協会が機能できていないため、直接実施することを検討している。神戸市にとっては、外部の医療援助が引いた後にプライマリケア体制（かかりつけ医）を維持できるかどうかが、今後の課題である。神戸市のインナーシティ問題について、神戸の開発批判がある、とのことである。

この間の業務経過については、勤務体制の関係もあり、日曜日の感覚がなくなっており、いつはどうであったか言われてもすぐわからない状況にある。

衛生局庶務課曽和主幹、川村計画係長と会う。庶務係長は、各課の協力が得れるのか懸念。内部で検討するとのことで文書をあずかってもらう。衛生局長は退庁途中で、急ぎ足で出て行かれる。森課長、中西課長は不在であった。神戸市は、都市機能を回復しつつあるのが実感される。ＪＲ三宮駅も回復している。ホテルオオクラのライト、神戸市役所前の不動産会社のライトアップ、露天商のならび、ラッシュ時の人の流れなどから、震災直後とは異なり、生きている都市の雰囲気になっている。２１時に帰阪する。

２月２４日（金）

午後、高鳥毛は、神戸市の他地域の状況の調査を目的に、神戸に行く。

神戸市灘保健所、所長不在のため、保健課長、衛生課長と面談する。保健所は区民ホールの上階にあり、１階は避難者が生活している。建物は新築のものであったが、中央保健所程ではないものの、柱に亀裂があるなど相当のダメージを受けていた。この間は、保健所の課・係としての仕事にはなっていないとのことである。全職員が揃っている状況にはなく、毎日、出てきている職員の顔ぶれをみて業務を割り振って、ここまでやってきた状況で、保健課、衛生課の職員の区別なく、保健所職員として目の前の課題に追われてきたのが現状であり、この間の公衆衛生活動は何か言われてもわからないというのが率直な回答とのことである。この間の書類は１つの段ボールにまとめているだけであり、整理するどころの状況にない。現在は、救護所の撤退を如何に進めていくかに追われており、毎日避難所に行って撤退することについて怒られている。衛生課業務は、大阪府職員の援助を得ているとのことである。トイレ掃除は給水車の水、または衛生課の車で運んだ水を使う。保健婦活動については、この日は青森県の腕章をつけた人を２人見かける。もう少し落ちつかないとわれわれの調査活動への協力が困難であるとのことであった。

灘保健所では、保健課長に衛生課長が協力して業務を遂行しているように見受けられた。ここでも、医療チームからの電話や新しく来た人の挨拶で忙殺されている状況にあった。

ＪＲ兵庫駅から歩いて、神戸市兵庫保健所に行く。湊川公園はこの周囲を援助する自衛隊の基地であった。公園内の仮設トイレは板宿小学校同様、東京都内各区のものである。東京都では防災対策として確保しているのであろう。また、市内巡回の機動

隊は警視庁からの部隊が目立った。所長は会議中のため、保健所主幹（平岡恭典医師）、保健課長（妻木敏彦氏）と面談する。保健所は落ちついた雰囲気であった。今後の結核対策と、神戸市の結核検診体制について話を聞かせてもらった。避難所管理者から結核治療中の者の処遇を持ち込まれて、問題がないケースと考えられたが、理解を得るのに５時間かかったとのことである。神戸市の保健所には検診車はなく、今後の対応としては衛生局に４台あり、足りなければ県の協力を得ることもあるとのことである。

課長は、地震当日、早く目が覚め、家が垂水区で地震があった後も周囲に大きな変化がなかったので、普通に出勤しようとしたが電車不通のため、徒歩で２時間かけて９時過ぎに保健所に到着した。そのとき、管内の病院で火災にみまわれているところがあり、その病院に入院している患者を避難させる場所の確保が保健所の大きな役割となり、精神病院を含め、あちこちの病院にあたってベッドを確保した。

初期の医療活動については、どこがどう入ってきたのか整理できていないが、１月20日ころより、衛生局をとおして、保健所に医療班がはいってくるようになった。

今後の見通しについては、４月から平常業務に戻る計画にしている。しかしながら、保健所の講堂などに避難者が生活しているため業務再開のネックとして残りそうである。県立兵庫高校は学校を避難者に明けわたして、北区に仮設校舎を建設しはじめている。帰りは、地下鉄で湊川公園駅から谷上、神戸電鉄三田経由で帰阪する。

２月２８日（火）

多田羅、高橋は、昼過ぎに大学を出発して神戸へ向かう。４時に、神戸市衛生局地域医療課に着いた。課長と主事に会う。今夕、一連の経過についてプレスへの発表があるとのことである。

震災発生以後の衛生局の活動内容、とくに公衆衛生関係の地域医療課、健康増進課、公衆衛生課に関する情報を集約し、レポートする研究計画について、多田羅以下の阪大公衆衛生学教室のスタッフと共同して、すすめる方向を打診した。

局内情報の集約、簡単なアンケート調査、補完的な面接調査の実施につき提案した。前向きの検討を要請する。庶務課および他の課の承諾が必要とのことである。

局長、地域医療課主事、庶務課計画係長を含めて打ち合わせを行う。上記の内容を多田羅より局長に打診した。局長も、情報の掘り起こし、整理、保存の重要性については、地震発生直後より局員に訓示し、要請しているとのことである。大学からのサポートの申し出に対し、前向きに考えてくれる。

しかし、庶務課計画係長は重要性は認識しているが、この多忙な状況では衛生局、保健所ともに対応が難しいのではないかと心配している。少し時期を待った上での取り組み、日常業務の復興後が望ましいのではないかとの提案をされた。

しかしながら、時期をはずすと記憶が消失し、かつ、あやふやになると考えられることから、多忙は重々承知の上での英断を期待したいと要請した。この後、記者発表

があるため局長が退席する。

神戸市中央保健所に午後６時に到着した。中瀬医師および保健婦の三代主査は外出しており、メモを残す。

大阪府職員の控え室を訪問する。経過を聞き取り、今後の展望等を談話する。

後、滋賀県職員チームを訪ね、歯科医師井下英二先生より現状をうかがう。当分は職員の派遣が続きそうであるとのこと。

午後９時に帰阪した。

３月１日（水）

高橋は、朝、大阪を出発、10時頃中央保健所に着く。

保健課主査、中瀬先生と今後の問題につき検討した。現在、避難所９０か所、避難者が13000人いるとのことである。

本日より、医師会が夜間の対応を開始するとのことである。診療所自身はほとんどが午前中の診療のみである。医療団は現在１５チームあって、地元医師会への引き継ぎは順次行うが、一斉ではなく地区毎の状況にそって各団体ごとに対応するとのことである。定点での診療から漸次、巡回に切り換える方向にある。

精神科の診療については徐々にニーズも消化しつつあり、現在は本部内の診療所のみで対応している。感染性疾患についてはさほど問題になっていない。２名水痘症の報告があった。発症者を収容する病室・療養所を確保する必要がある。

今後の継続した保健管理が課題であり、体制をどう構築するか検討中である。保健面で滋賀県のスタッフの助力が大きい。３月一杯は要請している。

保健所の通常の業務については、４月１日より部分的に戻す方向とのことである。ツベルクリン反応検査とＢＣＧ接種については、３月１日より開始する予定である。

建造物の取り壊しにともない、粉塵、その他の環境問題が懸念される。測定など、何らかのはたらきかけの必要性が考えられる。

三代保健婦に聞く。２月１３日の医師会を入れたミーティングにおいて、医師会の方から不安が噴出した。医療団体の３月１日からの再編成と、３月末撤退に向けて話し合った。医療団の拠点は、２３か所から１２か所に減少している。

区の北部はガス、水道が復活しつつある。東部が問題としてのこっている。夜間対応が可能な診療所はわずかしかない。市の医師会の救急診療所が中央区にある。今後、老人、難病患者の洗い出しが課題である。医療と保健の立場の違いから、医者と保健婦の意見の食い違いが問題となることもある。

滋賀県チームの１月２３日からの活動報告については、井下医師より、アルコール中毒患者のこと、雑誌の密着取材について、宮本小学校（430人）と沖洲会館（80人）を担当していること、医療班には２月２８日までは精神科医がいたこと、３月１日からは、医師１・看護婦１・薬剤師１・事務１の体制であることを聞いた。

井下医師と保健所の中瀬医師からは、保健所の栄養士３名も巡回して栄養指導等を行っている、ボランティアグループによるうどんやその他の炊き出しは通常、土・日のみ実施している、平日の日中の避難所は老人のみであり、老人の保健問題の検討は急務である、新神戸と幹線駅下のテント村にトレーニングを受けた一団が駐在している、歯科方面からの広報活動への協力を井下先生に要請していることなどを聞く。

その後、滋賀県医療班の滋賀医大五月女隆男医師より現況の説明を受ける。全体として、避難所の雰囲気は落ちつきつつあり、医療の需要も現在の所少ないとのことである。

２２時頃に帰阪する。

３月３日（金）

高鳥毛、高橋は、三宮に降り立つと駅のホームは線路の上に仮設していたが、駅のテナントは復活している。構内の喫茶店で食事をした。以前のような紙コップ、使い捨て食器ではなく、普段どうり食器を使っての営業となっており、三宮らしくなっている。

午後１時に衛生局庶務課長、主幹、計画係長と調査計画について検討する。阪大の調査に衛生局が協力することに合意が得られる。ただし今後、衛生局各課、神戸市保健所における調査は衛生局庶務課を窓口にして進めてほしいとの依頼があった。現在、長田保健所において調査が行われているとの連絡が保健所から衛生局にあるが、本調査研究との関係を説明してほしいと言われる。

神戸市における調査活動について、庶務課より、衛生局の資料ともなるものにしたいので、業務分類など衛生局の業務に沿った内容に改善してほしいとのことなどで、３月８日に再検討することとした。また調査時期も３月中旬になるのはやむを得ないとした。この間の衛生局の活動について、大まかな業務の分類方法について検討する。その中で、今回明らかになったこととしては、震災後、病院の入院患者の水と食事の手配が問題となり、衛生局が間に入り手配したということがわかった。当初は直接市が弁当の配送を担当していたが、途中から民間委託に切り替えた。遺体関連業務については、本来は遺骨になってからが衛生局の業務であるが、今回は棺に入ってから担当せざるをえなかった。

３月４日（土）

高鳥毛、高橋が芦屋経由、東灘保健所、兵庫県立精神保健センター、中央保健所を訪問し、この間の業務内容と課題を整理することを予定した。牧里毎治助教授（府立大学社会福祉学部）、大阪府環境保健部石橋克己参事、福島俊也係長、堺市金岡保健所更家充医師、小出保広精神保健相談員、他に堺市の食生活改善推進委員２名と合同で、震災時の公衆衛生事情の調査企てた。その目的の一つは神戸市復興委員会委員の牧里助教授に震災による地域の保健活動と精神保健活動の現状と今後の課題について確認することと、災害時の保健所活動のあり方を検討することにあった。

まず、ＪＲ芦屋駅から芦屋保健所に到着する。神戸市の保健所の雰囲気と相当異なる様相にあった。１つには救護班に関連する業務がないためか。中谷洋子所長に挨拶した。予定外の面会であったため、残念ながら、この間の活動について十分話しを聞けなかった。

神戸市東灘保健所を訪れる。奥山基子精神保健相談員より、相談件数500件あまり、入院24人で震災後の件数は、東灘保健所１年分にあたる。避難所において、高齢者と精神障害者の問題があるとの話があった。

石井昌生保健所長からあらためて状況を聞いた。東灘保健所は当初、死体の安置場所となっていたために避難者が保健所に入ってこなかった。そのために、保健所活動ができる体制を整えられた。

保健所医師の役割としては、援助に来た医療団の力を判断することにある。事務職員の貢献が７、８割の大きなウエイトがある。避難所に救護所を設置して医師を配置することや、所内をまとめる上で要となった。

避難所には当初は、遠方から来て、長期滞在してくれる医療チームを優先して配置した。２週間位してから医療チームの力量をみて、力のあるチームを配置する戦略に切り替えた。つまり、量から質を考えた方向をすすめた。最近は地元医療機関で対応する形に切り替えていく戦略にある。この点、震災前より医師会とは信頼しあう関係にあるという財産があった。

現在は、ケアがわかる医療チームが期待される。すぐれた医療チームはケアまで考えて行動してくれている。いままで応援を申し出たもので断った医療援助はない。

災害時の行動は、平常時の業務をきちんと実施していく形態があれば対応できると考えている。また、現場経験で力を得た者が頼りになる。ヒエラルキーに乗っかっているだけで日頃仕事をしていると、災害時に役に立てないとのことである。

区役所と同一建物ということは、相手の疲れ具合がわかり、一体となって仕事が出来る利点がある。

連絡会は、医療チームへの情報提供を考えて実施することとなった。

ボランティアの利点はその行動が迅速で小回りが利くことと、優れた企画力、情報収集力にあると考えている。Ｆａｘの確保、バイクや携帯電話の確保、全戸ローラー作戦などすばやかった。

外部のチームの援助が撤退した後は、保健所の活動はマラソン状態として取り組んでいかなければならない課題が残る。

保健所は、市民の健康を守ろうとする気迫を日頃持っているだろうか。

精神障害者の点では、神戸市は精神科救急が遅れている。医療従事者の人間的な成長も課題がある。異質の人を受け入れようとしない社会構造にも問題がある。

この間の東灘保健所の方針は、以下のとおりである。

①長期滞在が可能なチームのＡ型救護所配置。

②救護チームには、自主行動、自主判断、本部との連絡を義務づけている。

③拠点は減らさない。
④１チームは１か所を原則にする。
⑤単独班、小チームは巡回型活動にまわってもらう。
⑥本部では、自力完結処理と可能な限りリアルタイム処理を行う。
⑦緊急救護からケア支援への移行が始まっている。
⑧地域医療体制の回復。
⑨ケア体制の長期化に対応する。

救護所については、東灘保健所において救護所を４タイプに分けて医療チームの特性をみて振り分けているとのことである。Ａ型は２４時間対応、Ｂ型はディケアのみ、Ｃ型は巡回診療、Ｄ型は巡回介護・看護としていた。これを所長室に掲げて応援者に説明して配置していた。

管内のローラー作戦として、第１回は、全世帯一斉調査の実施、第２回は乳幼児、妊婦調査の実施。乳幼児、妊婦は震災後移動して少なくなったとのことである。第３回は、衛生課関係調査の実施である。３つ目のローラー作戦は衛生課業務として実施した。保健所の腕章をつけて行い、保健所に対する苦情を積極的に聞くように考えた。避難所のトイレは自主活動に移行した。ヒビテンよりクレゾールの方が消毒薬として親しまれている傾向があり、避難者に安心感を与えることからクレーゾールのみを使うことにした。食中毒は、広島からのボランティアがカキで１件あった。

今後の保健所活動としては、保健婦活動の支援が課題である。中長期的な支援策を望んでいる。この点は、神戸市衛生局よりも厚生省が理解を示してくれているように受けとめている。避難所がある限り、精神科的な問題が残ると考えている。精神保健は、県の精神保健センター１か所では不十分である。

所内に、管内の世帯別の詳細地図があり、ここに建物被害状況を色分けで表示してあった。ボランティアの力をかりて作成したものと考えられる。管内の状況を押さえている様子がうかがえた。

あらためて奥山精神保健相談員から精神保健活動の詳細を聞く。精神科面では当初は、医師のみの応援であったため保健所相談員が同行する必要があったが、その後ケースワーカーの応援も得られるようになった。大阪市、大阪医大、慶応大学、奈良県、広島市などの応援があった。３ブロックに分けて巡回診療を実施した。２月２０日ごろまでは病院入院ケースが増加した。薬切れのケースが目立った。初期のころは保健所は遺体の処理に追われていて、１月２５日より相談体制がとれるようになった。ボランティアの支援が大きかった。しかし、ボランティアの中には正義感の強い人が多い反面、個性の強い人も来たとのことである。精神障害者は、２次避難所が設けられているが、そこは高齢者で一杯であり、精神疾患を持つ者の大部分は入れない状況にある。

ボランティアの心のケアのための講座を保健所で実施している。まず被災者の心のケアについて、ついで被災者の立ち直りについて、ボランティアの心のケアについて、

ボランティアが心にしこりをのこさないために、という４本の話を軸に実施している。

全国からの精神科チームがやってきたため、精神疾患のアプローチの異なった方法に接することができて勉強になった。

神戸市は、入院ベッドが少なく、今回の震災で精神科診療所がダメージを受けたことは大きな影響を及ぼしている。市内に40の精神科診療所があり、うち管内に６か所あったが１か所のみが震災時にも機能していた。すぐに３か所になった。衛生局には精神保健担当者は1.5人しかいない。また、県と市の連絡が不十分な状況にある。精神保健相談員としては、大都市特例が前倒しで実施され、県から市に精神保健行政が全面的に移管され、責任ある行政システムになることを望んでいる。現在の緊急の課題は、避難所生活などで抑圧された状況にあり、安心して住める住居と集まれる場を確保することにある。重度の精神薄弱者、人工透析者、癲癇を持つ者などの問題もある。家族がいる障害者は、家族とともに移動している。

兵庫県立精神保健センターを訪れる。兵庫県立光風病院岩尾俊一郎医師、他にセンター尾下久男ＰＳＷ、応援の吉川公章ＰＳＷから話しを聞く。この間の精神保健の課題と対策については、大阪府精神保健室の納谷敦夫医師と大阪府立こころの健康センターの岡田清医師のメモに示されているとのことである。初期のころ光風病院も入院の問い合わせが多かった。また、診療所に受診できなくなり薬が切れた者が出てきた。医療チームは内科、外科系のものが多く、これらのチームは精神薬をほとんど持っておらず、精神障害者の薬切れに対処できなかった。

長田区の宮崎診療所は、自分の診療所が火災にみまわれて診療活動が出来なくなった。宮崎隆吉医師は保健所嘱託医師でもあり、自分の患者の動向について１月２１日に問い合わせにきた。自分の診療所がなくなったために、１月２２日より保健所で診療活動を開始した。これが神戸市の保健所における精神科救護所の始まりとなった。薬は幸村クリニックから得た。１月２１日には、精神障害者の薬切れなど精神科医療の重要性が認識されたため、県、市を通じて厚生省に精神科医療チームの要請を行った。厚生省から全国に呼びかけたところ、１月２３日より援助の申し出が殺到して大変な事態となった。１月２４日に各保健所に精神科救護所の設置を決定する。１月２６日には全保健所における精神科救護所の開設が完了した。これと対応して、神戸市、兵庫県、県精神保健センター、県立光風病院、精神医会、精神病院協会が集まって会議がもたれ、精神科関係の医療情報を一元化することが大切であるとの認識となった。１月３０日に第１号の兵庫県立精神保健センターニュースが発行された。精神科ベッドの空床状況などを載せる。各精神科救護所に配布するとともに、各救護所の情報を取りまとめて掲載した。

淡路の方は、新淡路病院が中心になっている。そこは大阪医大が支援している。各避難所における巡回の精神科救護活動は、２月に千葉県チームが強引にやってきたことでスタートした。これにより急性ストレス反応などに対応できるようになった。２月中旬より、夜間対応の要望が保健所精神保健相談員からでてきた。北里大学、東海大学、聖マリアンヌ大学の協力により夜間往診チームをおくことができた。精神保健

センターに連絡があれば、チームに連絡し、タクシーにて現地に行って、診療するといった形態である。震災後のこのような体制は、震災前の神戸市には精神科救急がなかったことと比べると大きな進歩である。いつまで維持できるかが問題である。緊急の入院の対応に課題がある。また、避難所救護所が縮小されるにともない精神科救護チームの活動をどうするか考えなければならない。

神戸市衛生局には、精神科医師、精神保健相談員など、実務に詳しい者がいないため現場の指揮をとったり、相談に応じるには支障がある。県立精神保健センターが頼りにされているが、神戸市の自律した体制が望まれる。大都市特例を前倒しして体制がためをして欲しい。

神戸市中央保健所で森井俊次精神保健相談員から精神保健活動について聞く。

長田区、兵庫区、中央区には老朽住宅に多くの精神障害者が生活していた。これらの者が今回の震災で、建物が壊れて避難所生活を強いられている。これらの者が最後まで残る避難所生活者になる可能性がある。

一般の医療チームは精神科に対応できていない。１月中にピークが終わったが、当初薬切れが問題となった。避難所で生活している者は、こっそりと服薬していた。苦しくなった者は自分で病院に飛び込んだ。避難所で浮いた状態になる者もでた。２月になって相談件数が減少傾向となった。他地域からの精神障害者の流入も認められた。相談件数でもこのような者が目立った。ボランティア活動が、平穏に暮らしている精神障害者狩りにならないように気をつけている。アルコールは、平時の量を越えて飲む者が増加しているように思われる。

管内の松本神経内科病院が地震でダメージを受けて、アンプル薬剤が割れてしまった。震災直後はアンプル剤の需要が多かったので、入手に苦労した。すぐに大阪府精神科診療所医会の方からアンプル剤の供給があった。その後、大阪府精神保健室ルートから提供があった。在宅の精神障害者には、毎日訪問援助をせざるをえなかった。千葉県、滋賀県などが支援してくれた。

避難所にいる精神障害者はいつまでも耐えていけないし、行き場がない。震災前には市営住宅に入っていた者が多かった。仮設住宅の多くは、ベッドタウンである西区、北区に集中している。六甲アイランドにかなり供給される。しかし、精神障害者は単身者が多いが、単身者用の住居は六甲山の北にある北区にしかつくられない予定となっている。精神障害者には自然環境が良くても、公的サポートがないと社会生活の上で適切な地域とはいえない。グループホーム的なものも望まれる。兵庫県フェニックス計画には心のケアセンター、ブロック別の地域ケアセンターが盛り込まれている。県行政にも保健婦か精神保健相談員が必要であるが、作業所や生活の場を追われた者が神戸市に多く、将来の見通しがほとんど出せない状況にあることから、神戸市健康増進課にも精神保健相談員を配置するなど精神保健行政の担当機能を高めて、全市的な問題を集約して今後の支援策を考えて行政を実施してもらうことが必要な状況となっている。また、神戸市職員のコーディネート機能の強化が課題ではないか。

厚生省は、精神保健対策として保健婦支援の指示を出してくれている。神戸市にお

いては、精神保健相談員が保健婦と独立して存在しているため、保健婦の精神保健活動の基盤が希薄であった。外部からの応援保健婦の方が、熱心に取り組んでくれている現状にある。また、神戸市保健婦は地域活動を強化して欲しいと考えている。現在、建物が使えなくなったことなどにより断酒会の活動が止まっているが、断酒者の飲酒も問題になってきており、早急に断酒会開催の場を確保して再開させていく必要がある。

3月6日（月）

この間、日帰りでの神戸訪問であったが、片道2時間以上かかり、支援や応援するには往復に費やす時間と疲労が大きいことから、中央保健所の了解が得られたことから本日より高橋が中央保健所に泊まり込み、保健所業務の支援を始めることとした。

救護活動を中心とした震災後の混乱は落ちつきつつあるものの、震災後の対処に追われ、実績のまとめや業務整理にまだ手が足りない状況にあった。そこで、この間の記録の作成と資料の収集と保存作業を集中して行う。また保健所職員からの初動体制と活動内容の聞き取り、資料の整理作業をはじめた。

保健所の初動記録の作成にあたって、1月17日から3日ほどの間について、保健所に出務した者を集めて当時の様子を述べてもらうミーティングを企画して、その内容を整理することによって行うこととした。また、医療救護班からの診療記録の集計と分析作業をあわせて実施することとした。所内の診療記録の保管状況や内容を確認する。

3月7日（火）

高橋は、中央保健所において開催された第2回目の応援医療班・3師会・保健所の会議に出席する。

会議において、現在の救護活動状況、地元医療機関の立ち上がり状況が説明された。今後医療活動を地元医療機関にスムーズに引き継ぐ予定が示された。

その後、保健課中瀬主査、三代主査と打ち合わせを行い、今後の保健所活動の方針について意見を交換した。

3月8日（水）

国立公衆衛生院より研究員が来所し、保健婦活動に関する情報収集活動を開始した。

保健所の保健活動の中核は、保健婦活動にあることから、高橋はいままで整理した情報を提供し、相互の情報の交換を行った。

保健所職員の初動活動の記録を作成するためのミーティングを明日に開催することにし、職員に連絡文を配布して周知する。

医療活動状況調査を保健所が実施した。この調査結果に基づきカルテ等の保管状況をまとめ関係機関に送付した。

高鳥毛は、この間の保健所業務の整理には支援が必要ということで、神戸市中央保健所に公衆衛生専門学校学生の松浦綾子を伴い、ＪＲ住吉経由で中央保健所にいく。

高橋と会い、松浦さんに作業手順を説明してもらい、さっそく医療班の診療報告データの概要を理解してもらい、コンピュータ入力作業をはじめてもらった。

午後１時に衛生局庶務課にいく。計画係長、主幹、主事と調査の実施について打ち合わせを衛生局会議室で行う。すでに作成した調査票を使って業務内容を記入すると業務内容の重みが違ったり、分類で重複したりするすることがある。また数値など埋めることが難しいものが多くなり、調査票をまとめても意味あるものとならない可能性があるとの判断となった。そこで、まず庶務課の手により、この間の業務の一覧をリストアップする。さらに、震災後統一した形式の統計は、１月３０日から日単位で集計している区別の業務実績表があり、２月２８日分まで提供するので、それをたたき台として肉付けしていくかたちで作業を進めることに話がかたまる。各課のヒアリングはその作業をある程度行ってからということとした。次回は１１日に打ち合わせすることにした。

サンチカを通って三宮駅から中央保健所につく。神戸復活の感がするくらいの華やかさで、婦人服店、カバン店、喫茶店が賑々しく営業し、歩行者も梅田と変わらない風情である。ところどころ震災ファッションがあるが、しかし、帽子もリュックも服装にあわせたおしゃれなものが目立つ。

神戸市中央保健所にもどる。中央保健所で高橋と作業内容を確認し、浜田保健所長、中瀬主査と中央保健所で行う調査活動の協力体制を、所長の了解のもとに、職員の意見を反映して進めていくということ、震災後の職員からの業務内容の聞き取りについてはいくつかのグループに分けて座談会を実施して行う、また救護所活動についてはコンピュータ処理をすることとして、中央保健所分については高橋が専任して、人を導入して行わせてもらうこととした。高橋は、しだいに保健所に馴染みつつある様子である。

大阪市生野保健所の中村日吉所長の震災時援助活動メモをコピーさせてもらった。このような外部から入った援助チームの残したメモが貴重であり、積極的に収集することが震災時の状況を把握する上で今後は重要であると考えられた。

夕方、垂水保健所から中央保健所派遣事務職員の方と三宮駅近くの飲食店で会食する。神戸、明石、姫路にかけて地域特性などを教えてもらう。

午後７時半ころ三宮を出発して、松浦さんをともない帰阪する。交代に応援として明日からは河本靖子にきてもらい高橋の作業を手伝ってもらう約束がつく。

３月１０日（金）

高橋は、中央保健所で衛生活動、保健予防活動、医療救護活動それぞれについて関係する資料を整理し、関係者に対するこの間の業務内容の聞き取りを継続する。

医療活動の今後の指針とするため、救護班受診者のカルテデータ入力を行い、疾病状況を分析する。

高鳥毛は、堺市金岡保健所更家医師から電話で情報提供をしてもらう。栃木県チームは県の保健所のメンバーと済生会病院のメンバーと一緒に須磨保健所管内太田中学校に入っている。このチームに知り合いがいるとのことである。

東灘保健所長石井所長に電話にて、当初の医療団体の入り方とそのリーダについて教えてもらう。迅速対応医療団は、自治医科大学、自衛隊、ＮＧＯであった。自治医科大学については、自治大臣からの要請によるものである。麻酔科瀬尾医師、胸部外科川島医師が中心である。自治医科大学は長期にわたるため、担当者が前半、後半で入れ替わっている。大宮医療センターも入っている。慶応大学は救急部相川直樹教授、消化器外科大上正裕医師などである。灘高など地元出身ＯＢが母校に応援を依頼したことで組織的に派遣されてきたようである。２月に入ってから、北大、帝京大、近大、広大が入ってきた。北大、広大は衛生局を通さず直接やってきて、他医療団の移動を補完するなど、保健所の立場から大いに助けになったとのことである。

３月１１日（土）

高鳥毛は、神戸市中央保健所に午後１１時過ぎに到着する。西宮、東灘の震災風景は見慣れて、新鮮さが乏しく感じられる。中央保健所にいく途中のビル解体はショベルカー２台が瓦礫に乗って水をまきながら作業を進めているが、その騒音と粉塵には閉口せざるを得ない。

高橋、松浦、河本が、会議室で作業を進めている。公衆衛生専門学生も７階の心電図ベッドで泊まり込みで作業をしてくれている。

大野千恵子係長と雑談する。震災後、現在避難先での生活が続いており、夫婦別居して勤務している。大野さんは武庫之荘から２、３時間かけて通勤しているとのことである。

加納繁美保健課長にあいさつする。９日の座談会は好評であった。職員の息抜きにもなって、積極的に進めてよいとの感想であった。また、保健所活動の記録は職員だけでは難しいので手伝ってもらうことはありがたいとのことであり、高橋の保健所寝泊まりのボランティア的２４時間体制を評価してくれている様子がうかがえた。

三代主査と簡単な打ち合わせをする。高橋とは意志の疎通がスムーズになっている様子である。

サンチカが通れるようになったため、地下を通って市役所まで行くことが出来るようになり、地表の粉塵を避けれるのがうれしい。

神戸市衛生局に行き、計画係長、主事と会う。地域医療の作業デスクで打ち合わせをする。庶務課で整理した震災時の業務リストと１月３０日以降の統計をそろえてもらう。

中央保健所の浜田所長、中瀬主査から、局から会議の席での口頭ではなくて、文書で震災後の記録の保管、整理について通知してほしいと言っていた件は、どのような記録を保管せよとの具体的に明示せずに通知することはできないとの返事であった。

医療記録等は法的に保健所で保管しないといけないことになっている。

市役所の中層階用のエレベータも運転再開している。玄関扉も自動化にもどっている。震災後２か月というかなりの日々が経ていることが実感される。サンチカを通って中央保健所にいく。

神戸市中央保健所に戻る。三宮の駅周辺の復旧にもかかわらず、保健所の建物ではトイレの水洗もまだ復旧しておらず、あわただしい人の流れがなくなったものの地震後の変化に乏しい状況にある。保健所事務所向かいの会議室に陣取って作業している高橋と作業内容について相談する。黒板のメモを転記する。厚生省に報告する枠組みを考える。また、衛生局よりもらった資料から衛生局活動をどうまとめて次の作業に進むか検討する。

保健婦活動については、国立公衆衛生院チーム（金子仁子、古閑文代、野中伸子、鳩野洋子、渡辺輝美、星野明子、久保倫子）が記録のまとめをはじめている。保健婦活動については専門の立場であり相互に補完することが重要ではないかと考え、コンタクトをとった。

６時頃三宮発、灘で４０分待ちのバス列を経て、高橋らを残して高鳥毛のみ２０時ころに大阪に向けて出発する。多田羅との協議は１３日にすることとする。

３月１２日（日）

高橋は、この時点までに行った活動について、その進捗状況と内容の概略をまとめて、教室に連絡し、今後の作業の方向と判断を求める。

これまでに行ってきた事項は、①職員の初動体制の記録収集、②地震発生以降の業務内容の分析、③外部関係団体との協力・連絡、④ボランティア活動、⑤その他に分けて活動内容を整理することを行った。

３月１３日（月）から１６日（木）

高橋は、引き続き、情報収集活動を行う。大阪府立公衆衛生専門学校の保健科学生遠藤忍、松岡孝子の２名が調査活動に協力してくれ、医療班のカルテを入力し疾病動向を分析する。

３月１７日（金）

東京大学医学部健康科学・看護学科教室の金川克子教授より学生の松本卓也を派遣され、以降の活動を共同で行う。保健婦の活動記録を主に担当してもらい、活動日誌より全ての訪問活動をひろい、データとして表を作成することをはじめた。

また、栄養活動関係の記録を得るため、保健所の管理栄養士３名を対象としてミーティングを実施し記録を作成する。

３月１８日（土）から２９日（水）

医療班のカルテ情報の整理、衛生課、保健課の活動記録の作成作業を引き続き行う。保健婦活動の詳細な記録を作成するため、再度のミーティングを計画し、30日に実施することとする。

東大より、成瀬和子、古佐小基史の両名が派遣されてくる。一緒に保健婦記録作成を行う。膨大な関係資料をつなげ、今般の震災下で保健婦がどのように動いたのか詳細に記録する。

3月30日（木）

保健婦対象のミーティングを行い、一連の活動の背景やデータ類を補完する。3月一杯で泊まり込みでの情報収集活動を終了し、まとめに入ることとする。

3月31日（金）

30日のミーティングの結果から得られた情報を整理し、古佐小は東京への帰路につく。成瀬は、残った詰めの作業を継続する。

4月 1日（土）

成瀬は、一連の保健婦記録を完成し、早朝に出発する。高橋は、保健所での情報収集活動を終了し、大学でのまとめ作業に入る。

2）西宮市における活動

1月23日（月）

教室会議にて、震災発生後の各教室員の活動および現況について報告を受け、今後の教室としての取り組みについて協議した。会議中にも、当方の問い合わせに対して西宮保健所の米田満子副所長（健康課長）から、西宮保健所の現状に関する連絡の電話があり、多田羅、新庄が受ける。

17日の地震発生直後は、自宅の家屋が被災しての避難、自宅周辺の被災者の救護・救急活動、ボランティア医師グループとしての診療活動、教室員・同窓会員の被災状況の確認、被災した知人の訪問や死亡者の追悼会など、教室員は様々な形で震災を経験しているが、今後も当面は教室として被災地の公衆衛生活動に出来る限り協力することが確認された。

教室員は多田羅浩三教授をリーダーとする神戸市と新庄文明講師をリーダーとする西宮市の2地区の担当に分けることとなり、早速に午後、西宮地区へは新庄、日野陽一、ニール・シーガルの3名が実情の把握のために向かった。

西宮保健所では北岡修所長から、西宮では、①医療機関やボランティア医師団による「医療チーム」、②保健所を基盤とする「保健チーム」、③医師会や病院の診療機能の回復という、3つの方面での保健・医療活動が課題となっていること、ならびに④葬儀、トイレ、ゴミ処理などの環境衛生、が保健所および市にとっても重要な課題であること、保健所としては第1週は④葬儀の準備・対応にかかりきりであったとの説明を受けた。公衆衛生チームの援助としては保健チームに参加することのほか、荷物の搬入、搬出など所内の用務への援助も可能性があるとの由であり、大阪大学医学部公衆衛生学教室としては、できる限りの協力を惜しまない用意があると伝え、翌日からの参加を約束した。

市役所では福祉課が被災者の救援、消防局が人的救援関係、人事課がボランティアや専門家の援助の窓口となっており、各部署をまわるが、保健・医療については保健所ならびにＮＧＯグループがそれぞれ外部からの援助の窓口となっているとの情報を得る。環境保健部の対人保健サービスは健康開発センターを基地として活動をしているが接触をはかることはできなかった。

その後、避難所の実情を把握するために高木小学校を訪れ、荒巻勲校長より、当該避難所および市内の避難所について、学校管理者が責任者として被災者の保護を進めている現状について説明を受けた。

その夜に新庄は、市内でも最も大規模の避難所で、市の被災者救援の拠点となっている中央体育館を訪れる。ここでは医療活動の情報センターをも兼ねている「ＮＧＯ関西ネットワーク」の医師・看護婦から、自治医大、自衛隊、兵庫医大その他の医療チームが市内約200 か所の避難地の内、11カ所に拠点をおいて、また10班の医療チームがその他の避難所を巡回して診療、医療相談を実施しているとの状況について、説明を受け、午後8時には医療活動に従事しているすべての組織のミーティングに参加

した。これには大阪府看護協会、大阪府立看護大学、大阪府環境保健部等からの参加者もみられた。市の環境保健部の北村部長、寺田課長ともミーティングで合うことができ、市の対応について説明を受けるとともに、会議で浮上した精神保健、歯科保健への対策立案への援助を求められた。

1月24日（火）

西宮保健所への当教室としての支援として、黒田研二、新庄、井田修、シーガルの4名がゆき、当日から保健チームの避難所巡回による健康相談に参加する。

また、保健チームおよび医療チームの双方において懸案となっていた歯科医療対策については、西宮市歯科医師会と新庄が、対応についての情報交換をはかる。市からは市歯科医師会に、対処の方針について要請がされており、西宮市歯科医師会はこの日、緊急理事会を開き、①早急に歯科医院の被害状況を調査し、診療可能な医院のリストを作成する、②会として歯科総合福祉センターを基盤とした体制を確立するため、次の日曜日より休日診療体制を開始する、来週からは水・金の心身障害者診療、火・木曜日の「寝たきり老人診療」のスタッフはセンターでの診療体制を確保する、ということが確認された。

巡回診療の実施に備えて、佐用郡歯科医師会の訪問診療器具がと南光町歯科保健センターからの診療資材を、神戸市の避難所への救援物資の輸送とともに南光町役場の職員の手で運搬されるよう依頼する。新庄は車で、東灘区の避難所となっている本山第一小学校において受け取る。往路および復路、芦屋市と東灘区のほぼ全域にわたって被害が大きく、西宮市内よりも道路交通事情も悪いことを痛感した。

1月25日（水）

西宮市歯科医師会長より、歯科巡回診療については教室の新庄に企画と調整を委ねたいとの意向が伝えられる。歯科診療に必要な物品に関しては関連数社に寄付としての提供を依頼し、㈱ＧＣ、㈱サンデンタルから快諾を得る。モリタ㈱にはポータブルユニットの貸与について打診し、歯科医師会の依頼状があれば無償貸与するとの確認をとる。また、人材の確保について阪大歯学部付属病院の祖父江静雄病院長から協力的な意向のあることを、石田武検査室長を通じて得る。また、歯科衛生士の派遣を大阪府歯科衛生士会に依頼した。

1月26日（木）

新庄、シーガルは午前中に3避難所（用海小、安井小、大社小学校）を保健所の西崎美恵子歯科衛生士、大阪府歯科衛生士会の小杉公子衛生士と訪問し、その後、医療チームから連絡のあった被災者の訪問歯科診療を末広町市営住宅にて行う。

午後はシーガルは2人歯科衛生士とともに避難所を訪問し、歯科保健指導ならびに歯科受療ニーズの把握につとめる。

新庄は、健康開発センターにおける「第1回避難所の救護活動に係わる関係団体打ち合せ会」に出席、歯科保健対策について意見を求められ、巡回診療、歯科保健指導

の実施の可能性について意見を述べる。

その後、同会議に出席した長濱禎昭歯科医師会長、水谷太一事務局長および担当常務、理事と会議をもつ。またその夜は、尼崎市歯科医師会を訪れる。尼崎市歯科医師会は会員２名を震災で失い、すでに一部の会員による自主的な診療活動も西宮市内で実施されていたが、協議の結果、土曜、日曜日には会員のチームが西宮市内の１～２か所の避難所を分担して巡回歯科診療に出動することとし、その場所については西宮市の巡回歯科診療班が連絡調整をとる、との合意を得る。

西宮保健所の保健チームのミーティングで、巡回歯科診療の開始を報告し、保健チームの巡回において歯科保健ニーズに関する実情の把握を依頼する。

１月２７日（金）

黒田、シーガルは保健チームの巡回保健相談に参加。

新庄は巡回歯科診療に従事する歯科医師、歯科衛生士の継続的な確保のため、大阪府歯科衛生士会、松本歯科大学、阪大歯学部病院、その他の歯科医療機関等と電話を通じて折衝。また、兵庫県歯科医師会、西宮市歯科医師会と、岐阜県歯からの移動診療者の提供、自衛隊歯科チームへの出動依頼などについて協議。

１月２８日（土）

新庄は２つの小学校における巡回歯科診療の準備を午前中すまし、JICOH代表の村居氏、松本歯科大学笠原浩教授と連絡をとり、西宮および神戸の概況を伝える。また、兵庫県歯科医師会ならびに神戸市歯科医師会の各震災対策本部、兵庫県保健環境部あてに、西宮市における対策の現状を報告送信し、被災地の歯科医師会、近隣府県の歯科医師会に連絡をとり、それぞれの対応状況についての情報収集にあたる。

１月２９日（日）

３か所における巡回歯科診療の準備、開始の後、新庄は松浦診療所(大阪市)の渡辺充春歯科医師に、府下からのボランティア歯科医師、歯科衛生士の募集を依頼。

１月３０日（月）

２か所の避難所における巡回歯科診療の準備、開始の後、新庄は大阪大学歯学部病院を訪れ、病院長、病院長代理、事務長、事務課長補佐と、人材派遣について協議。

１月３１日（火）

１か所で巡回診療を行う調整を済ませた後、新庄は移動電話の確保をはかる。夕方、岐阜県歯科医師会の歯科診療車が到着し、香炉園小学校の校庭に設置。

その夜は、伊丹空港を経由して救援と実状の把握に到着した松本歯科大学の一行を西宮保健所で迎え、現状と予定についての説明の後、避難所となっている夙川公民館での宿泊を確保し、案内する。

２月１日（水）～２月２８日（火）

西宮市内における巡回歯科診療の体制がかたまり、新庄はほぼ毎日、保健所を基盤として巡回歯科診療の調整に従事した。大学院生の日野が３日間、高橋が２日間、巡回歯科診療および歯科保健ニーズ調査に出務した。

この間、黒田は保健チームに７回参加した。また、医学部学生福島啓も約２週間にわたって精神保健チームに参加した。その他、大学院医学修士課程の桑原裕祐は巡回歯科診療ならびに市健康管理課所管となっている巡回健康相談関連の資料整理作業等に２日間出務した。

おわりに

わが国においては、全国的に保健所を中心とする地域の公衆衛生網がすでにできあがっている。また、基本的な保健福祉の活動が、住民に身近な市町村を中心に推進される体制が近年とくに充実しつつある。これらの実績をもとに保健所法が改正され、新しく地域保健法が制定され、わが国は２１世紀に向けた地域保健体制の構築を目指して、全国の都道府県、あるいは市町村において、意欲的にその取り組みが進められつつある。このようにわが国の公衆衛生体制が大きな改革期を迎える中で、阪神淡路大震災が発生した。長い歴史の中で培われてきた、わが国の公衆衛生の力量が、まさに根本から問われるという事態を迎えることになったといえる。

わが国の公衆衛生が大震災の中でどのような実践を担い、どのような役割を果たしたのか、その実績を正確に記録することは、新しい地域保健体制の構築に対しても、極めて重要なことであると思われる。そこで当公衆衛生学教室は、神戸市衛生局や、神戸市中央保健所、西宮市保健環境部、兵庫県西宮保健所などを中心に、関係の機関や施設を訪問し、震災時の公衆衛生活動の内容に関する様々な資料を収集、確保する作業を行ってきた。

わが国の災害時の公衆衛生体制の枠組みは、災害救助法および災害対策基本法にもとづいて設定されるものであり、これに付随して多くの衛生関連法規が関係している。とくに、災害時の被災者に対する福祉および医療サービスについては災害救助法が、災害時の公衆衛生業務については災害対策基本法に基づくものが中心となっている。

地域防災計画の中の公衆衛生活動としては医療救護、防疫などの衛生活動については計画が策定されているが、保健活動については明確な内容の記載がない。地域保健法や老人保健福祉計画に基づき市町村の保健福祉活動の基盤が充実強化されてきつつあることから、震災後に課題とされている避難所や仮設住宅における高齢者などの被災者に対する保健福祉活動についても、今後、地域防災計画の中で対応策を準備しておくことが必要と考えられる。

対物衛生サービスおよび対人保健サービスの両者を総合的に推進する機関として、全ての地域に保健所が存在していることは、災害時の対策の実施に対し不可欠の基盤である。急速に変化する住民の生活環境、損壊したビル・家屋や道路からの廃材にともなう環境の汚染、さらに避難所や家屋などの生活基盤に対する監視、また医療情報の収集にもとづく医療救護体制の整備、あるいは健康上の課題に対する状況の的確な把握や訪問指導など、保健所に期待される役割は非常に大きいものがあると思われる。この点、現実に本報告書の内容からも、大震災後の復旧活動の中で保健所がその期待に応えるべくかけがえのない役割を果たしたことは、理解いただけると思う。

わが国は、地震、風水害などの自然災害が非常に多い国土にあることから、今回の大震災を契機に災害時の公衆衛生活動について、十分な点検を常に行い、今後のあり方に資する指針を明らかにしていくことの重要性はいくら強調してもしすぎることはないと思われる。折りしも、今回の震災は地域保健法施行前のことでもあり、新たな地域保健体制は、大災害にも耐えるシステムとして構築されるよう意識的に取り組みを進める必要がある。本報告書がそのような取り組みの推進にあたり、いくらかでも役にたつところがあれば幸甚である。

なお今回の調査活動では、大震災時において展開された公衆衛生活動の実態を反映した資料を収集、確保することに作業を集中してきたので、実績についての具体的な分析についてはほとんど行われていない。そこで、今後は山積みされた膨大な活動の記録に対し、現場の人たちと一緒に少しづつ手をつけていきたい。その中から２１世紀の地域保健の構築に資する具体的な視点をいくらかでも明らかにできればと考えている。